平成 30 年度

男女共同参画に関する
意 識 調 査 報 告 書

平成 31 年 1 月

阿 賀 野 市

目　　次

第１章　調査の概要 ･･･ １

第２章　市民意識調査
Ⅰ　回答者の属性 ･･･ ２
Ⅱ　男女の地域・家庭に対する考え方について
問 9　男女の地位の平等感について･････････････････････････････････････ ５
問 10　男女の役割分担意識について ･････････････････････････････････ １３
問 11　男性、女性の望ましい生き方について ･････････････････････････ ２０
問 12　少子化の理由 ･･･ ２３
問 13　安心して子どもを産み育てるために必要なこと ･････････････････ ２４
Ⅲ　男女の職業生活に対する考え方について
問 14　就業状況･･ ２５
問 15　職場の待遇･･･ ２６
問 16　就労経験･･ ３０
問 17　退職理由･･ ３１
問 18　現代社会の労働環境 ･･ ３２
問 19　男性にとっての働きやすい環境づくり ･････････････････････････ ３５
問 20　女性にとっての働きやすい環境づくり ･････････････････････････ ３６
Ⅳ　男女の人権について
問 21　セクシャルハラスメントの被害経験 ･･････････････････････････ ３７
問 22　ドメスティック・バイオレンスの被害経験 ･･････････････････ ３８
問 23　セクシャルハラスメント、ドメスティック・バイオレンスの相談状況
･･････････････････････ ３９
問 24　セクシャルハラスメント、ドメスティック・バイオレンスの相談先
･･････････････････････ ４０
問 25　セクシャルハラスメント、ドメスティック・バイオレンスを相談し
なかった、できなかった理由･･････････････････････････････････････ ４１
Ⅴ　男女共同参画社会に関する法制度等について
問 26　男女共同参画社会に関する法制度等の認知度 ･･････････････････ ４２
Ⅵ　阿賀野市での男女共同参画の推進について
問 27　男女共同参画の推進で市に期待すること ･･････････････････････ ４４
☆自由意見 ･･ ４６

第３章　児童・生徒意識調査

Ⅰ　回答者の属性 ･･･ ６４
Ⅱ　性別役割意識に対する大人の影響について
問 2 「男だから、女だから」と言われた経験･････････････････････････ ６５
問 3 「男だから、女だから」と言われる内容･････････････････････････ ６７
問 4 「男だから、女だから」と言われる相手･････････････････････････ ６９
問 5 「男だから、女だから」と言われた影響･････････････････････････ ７１
Ⅲ　家庭における男女の役割分担について
問 6　家庭における男女の役割分担･･････････････････････････････････ ７３
Ⅳ　男女の平等感について
問 7　男性に生まれたことについて･･････････････････････････････････ ７８
問 8　女性に生まれたことについて･･････････････････････････････････ ８０
Ⅴ　将来について
問 9　将来の職業･･･ ８２
問 10　将来の人物像 ･･･ ８６

第４章　職員意識調査

Ⅰ　回答者の属性 ･･･ ８８
Ⅱ　男女の職業生活に対する考え方について
問 3　男性の育児休業・介護休暇の取得について･･････････････････････ ８９
問 4　育児休業・介護休暇制度の利用状況・利用意向･･････････････････ ９２
問 5　育児休業・介護休暇制度を利用する上で支障となること･･････････ ９５
問 6　職場の待遇･･･ ９６
問 7　職場の待遇で実感すること･････････････････････････････････････ ９７
問 8　職場の男女共同参画推進への取り組み･･････････････････････････ ９８
Ⅲ　男女共同参画社会に関する法制度等について
問 9　男女共同参画社会に関する法制度等の認知度･･･････････････････ ９９
問 10　新潟県ハッピー・パートナー企業登録の周知度 ･･････････････ １０１
Ⅳ　阿賀野市での男女共同参画の推進について
問 11　男女共同参画の推進で市に期待すること ･･････････････････････ １０２
☆自由意見 ･･･ １０４

第５章　単純集計表

１．市民意識調査 ･･･ １０６
２．児童・生徒意識調査･･ １１９
３．職員意識調査 ･･･ １３２

第６章　使用した調査票

１．市民意識調査 ･･･ １３７
２．児童・生徒意識調査･･･ １４６
３．職員意識調査 ･･･ １５２

〔利用にあたって〕

１　調査結果の数値は原則として回答率(％)で表示し、％の母数は、その質問項目に該当する回答者の数であり、ｎ＝と表記している。また、複数回答についても回答者の数としている。

２　集計は、小数点以下第 2 位を四捨五入し、少数点以下第 1 位までを表記している。このため、合計が 100.0%にならない場合がある。また、複数回答可の質問では、母数に対する回答率のため、各回答率の足し上げは 100.0％を超える場合がある。

３　「無回答」とは、記入がなかったもの、回答の判断がつかなかったものである。

第１章　調査の概要

１　調査の目的

男女共同参画社会に関する意識を把握し、阿賀野市男女共同参画プランの見直しや、今後の取り組みについての基礎資料とすることを目的に実施する。

２　調査の種類

調査名	調査対象
市民意識調査	市内に居住する満 20 歳以上の男女 3,000 人
児童・生徒意識調査	市内の小中学校に通う小学５年生、中学２年生
職員意識調査	阿賀野市役所職員（消防を含む）

３　調査方法

調査名	調査方法
市民意識調査	抽出方法：層化抽出法(比例配分法) 調査方法：郵送法
児童・生徒意識調査	調査方法：学校にて配布・回収
職員意識調査	調査方法：職場にて配布・回収

４　回収結果

調査名	標本数 A	有効回収数 B	有効回収率(%) B／A
市民意識調査	3,000	1,130	37.7%
児童・生徒意識調査 （小学５年生）	361	354	98.1%
児童・生徒意識調査 （中学２年生）	369	349	94.6%
職員意識調査	459	421	91.7%

５　比較した前回調査

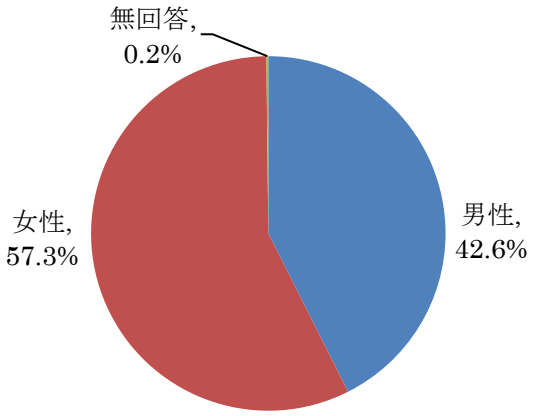
調査名	比較した調査名
市民意識調査	男女共同参画に関する市民意識調査（平成 25 年度）
児童・生徒意識調査	男女共同参画に関する児童・生徒意識調査（平成 25 年度）
職員意識調査	男女共同参画に関する職員意識調査（平成 25 年度）

第２章　市民意識調査

Ⅰ　回答者の属性

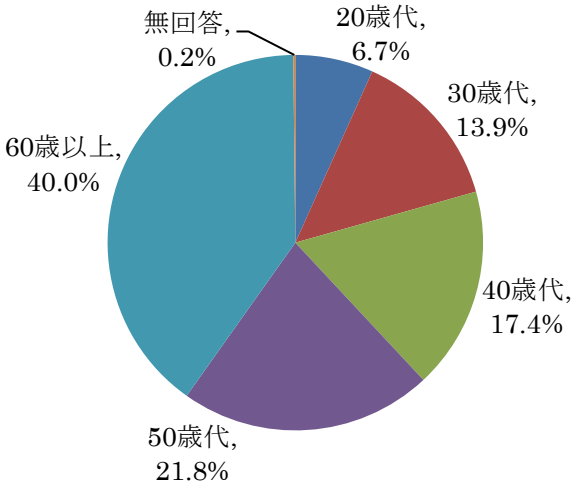
（１）性別

	人数	割合
男性	481 人	42.6%
女性	647 人	57.3%
無回答	2 人	0.2%
全体	1,130 人	100.0%



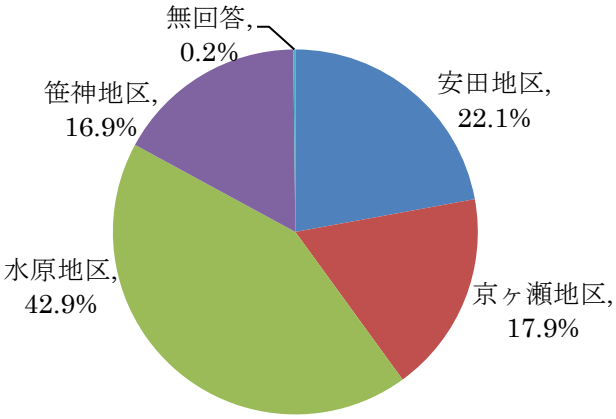
（２）年齢別

	人数	割合
20 歳代	76 人	6.7%
30 歳代	157 人	13.9%
40 歳代	197 人	17.4%
50 歳代	246 人	21.8%
60 歳以上	452 人	40.0%
無回答	2 人	0.2%
全体	1,130 人	100.0%



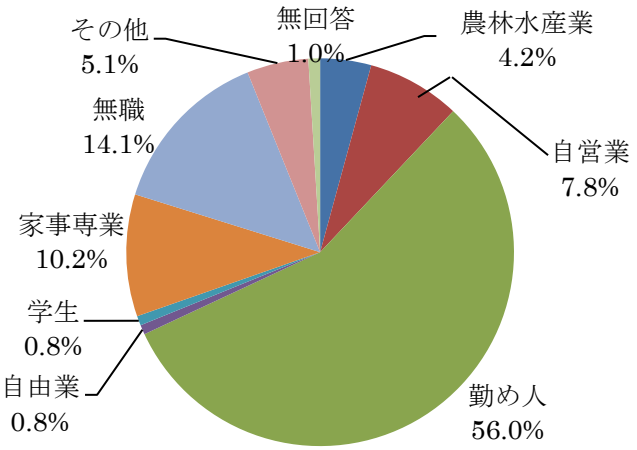
（３）お住まいの地域

	人数	割合
安田地区	250 人	22.1%
京ヶ瀬地区	202 人	17.9%
水原地区	485 人	42.9%
笹神地区	191 人	16.9%
無回答	2 人	0.2%
全体	1,130 人	100.0%



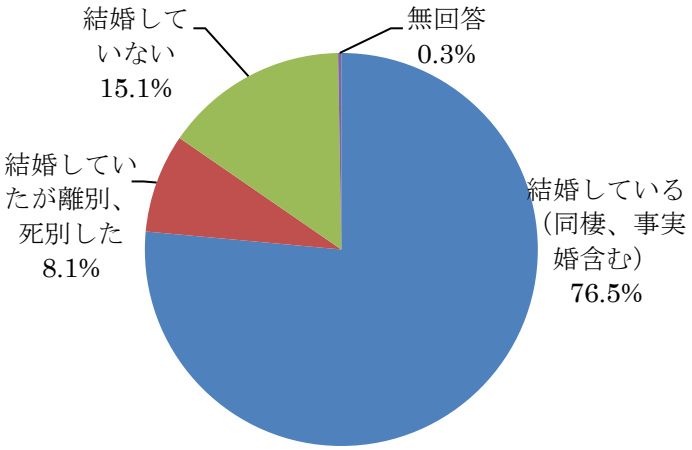
（４）職業

	人数	割合
農林水産業	48 人	4. 2%
自営業	88 人	7. 8%
勤め人	633 人	56. 0%
自由業	9 人	0. 8%
学生	9 人	0. 8%
家事専業	115 人	10. 2%
無職	159 人	14. 1%
その他	58 人	5. 1%
無回答	11 人	1. 0%
全体	1, 130 人	100. 0%



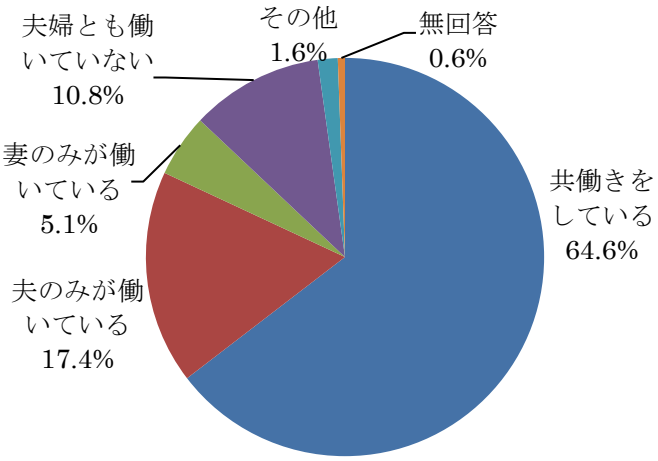
（５）結婚の有無

	人数	割合
結婚している（同棲、事実婚含む）	864 人	76. 5%
結婚していたが離別、死別した	92 人	8. 1%
結婚していない	171 人	15. 1%
無回答	3 人	0. 3%
全体	1, 130 人	100. 0%



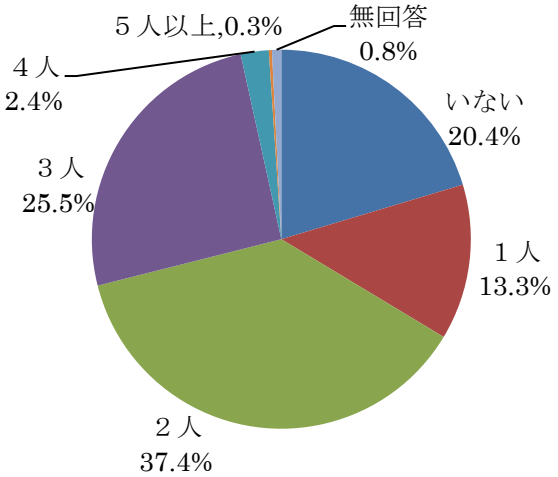
（６）共働きの有無

	人数	割合
共働きをしている	558 人	64. 6%
夫のみが働いている	150 人	17. 4%
妻のみが働いている	44 人	5. 1%
夫婦とも働いていない	93 人	10. 8%
その他	14 人	1. 6%
無回答	5 人	0. 6%
全体	864 人	100. 0%



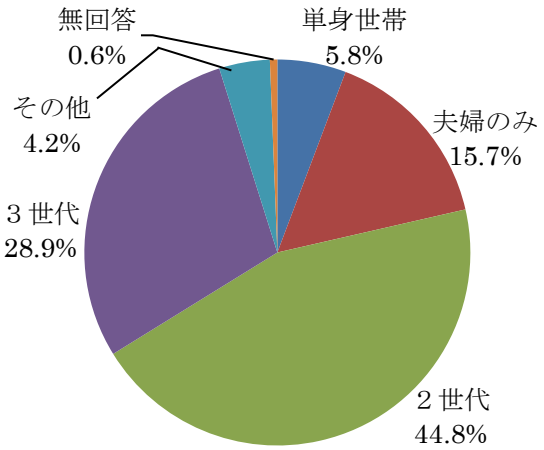
（７）子どもの人数

	人数	割合
いない	230 人	20.4%
１人	150 人	13.3%
２人	423 人	37.4%
３人	288 人	25.5%
４人	27 人	2.4%
５人以上	3 人	0.3%
無回答	9 人	0.8%
全体	1,130 人	100.0%



（８）家族構成

	人数	割合
単身世帯	65 人	5.8%
夫婦のみ	177 人	15.7%
２世代	506 人	44.8%
３世代	327 人	28.9%
その他	48 人	4.2%
無回答	7 人	0.6%
全体	1,130 人	100.0%



Ⅱ　男女の地域・家庭に対する考え方について

問９　男女の地位の平等感について

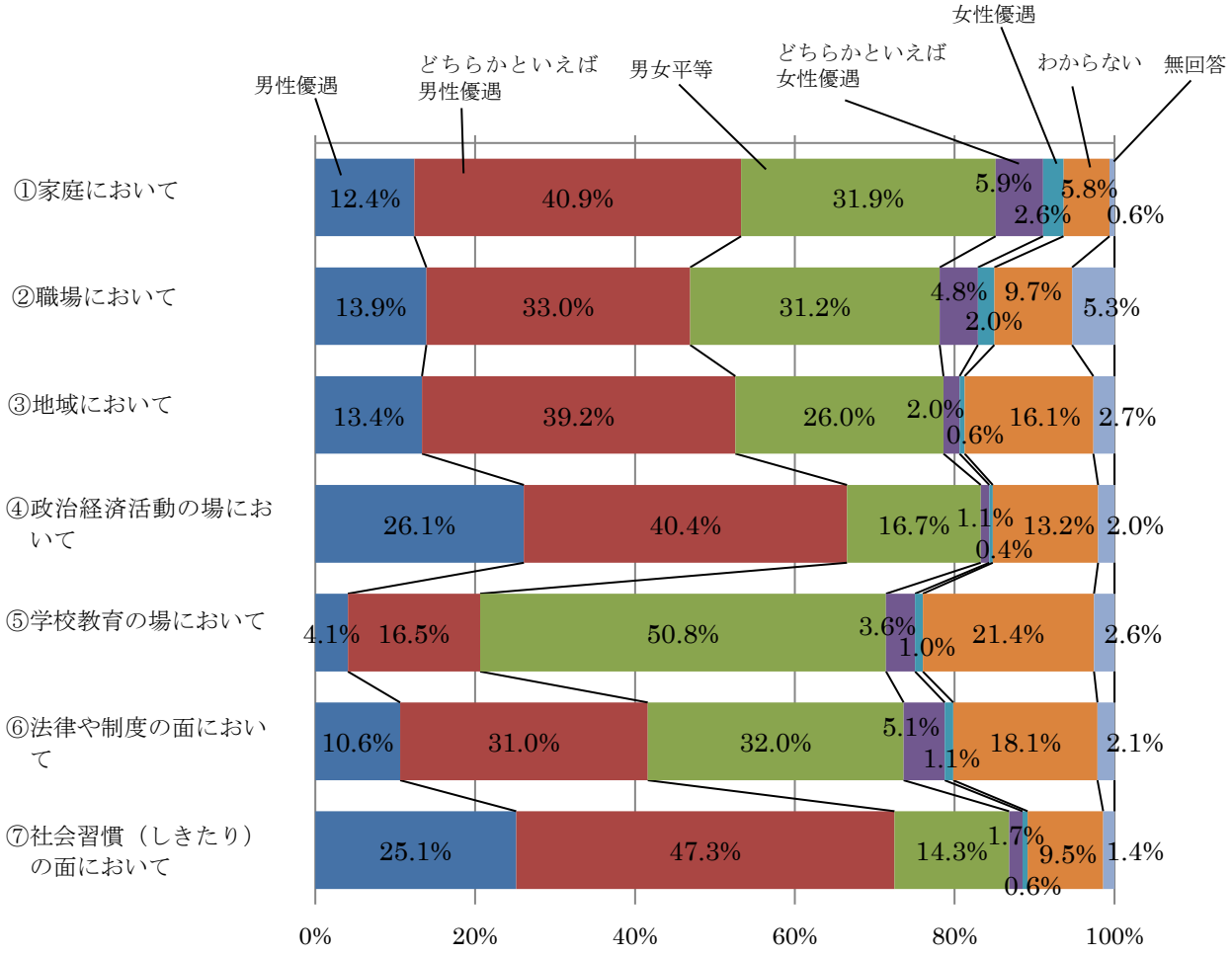
あなたは次のような項目で男女の地位が平等になっていると思いますか。①～⑦のそれぞれについて（ア）～（カ）の中から１つずつ選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

男女の地位の平等感について、「男性優遇」は「政治経済活動の場において」が 26.1％と最も高く、次いで「社会習慣（しきたり）の面において」(25.1％)、「職場において」(13.9％)の順となっている。また、「男性優遇」「どちらかといえば男性優遇」を合わせた割合（以下「男性優遇（計)」と記す）では、「社会習慣(しきたり)の面において」が 72.4％と最も高く、次いで「政治経済活動の場において」(66.5％)、「地域において」(52.6％)となっている。

「男女平等」は、「学校教育の場において」が最も高く 50.8％となっている。

「女性優遇」「どちらかといえば女性優遇」を合わせた割合（以下「女性優遇（計)」と記す）で最も高いのは「家庭において」で 8.5％となっている。



問９　男女の地位の平等感について

①　家庭において

【全　体】

「どちらかといえば男性優遇」が 40.9%と最も高く、次いで「男女平等」が 31.9%となっている。

【性　別】

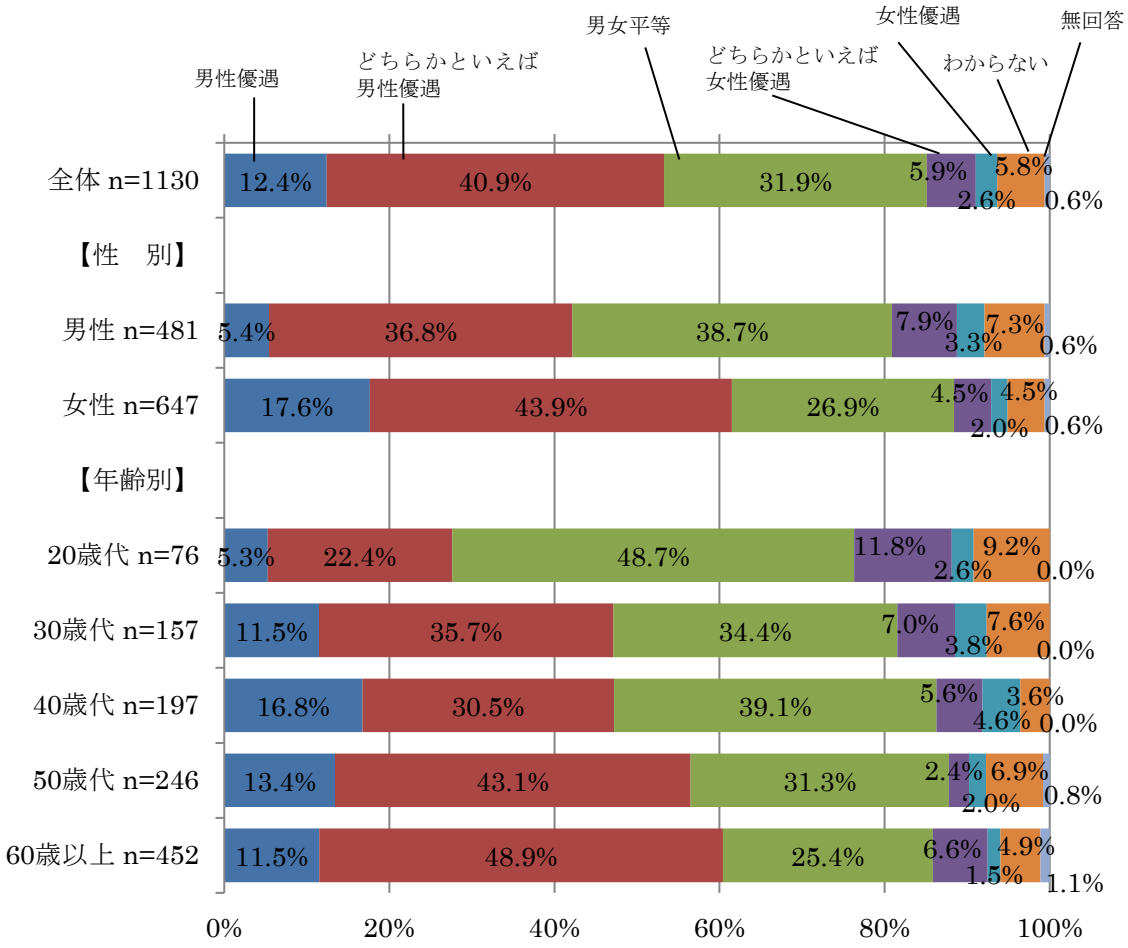
男性は「男女平等」が 11.8 ポイント、「女性優遇（計）」が 4.7 ポイント、女性より高くなっており、女性は、「男性優遇(計)」が男性より 19.3 ポイント高くなっている。

【年齢別】

20 歳代は「男女平等」が最も高く、30 歳代以上は「男性優遇（計）」が高くなっている。また、「女性優遇（計）」で最も高いのは 20 歳代で 14.4%となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて全体に大きな変化は見られないが、20 歳代で「男女平等」と答えた割合が 18.7 ポイント増加し、前回最も高かった「男性優遇（計）」と逆転している。



問９　男女の地位の平等感について

②　職場において

【全　体】

「どちらかといえば男性優遇」が 33.0%と最も高く、次いで「男女平等」が 31.2%となっている。

【性　別】

「男性優遇」と答えた女性は男性より 7.2 ポイント高くなっているが、「どちらかといえば男性優遇」と答えた男性は女性より 4.7 ポイント高くなっている。

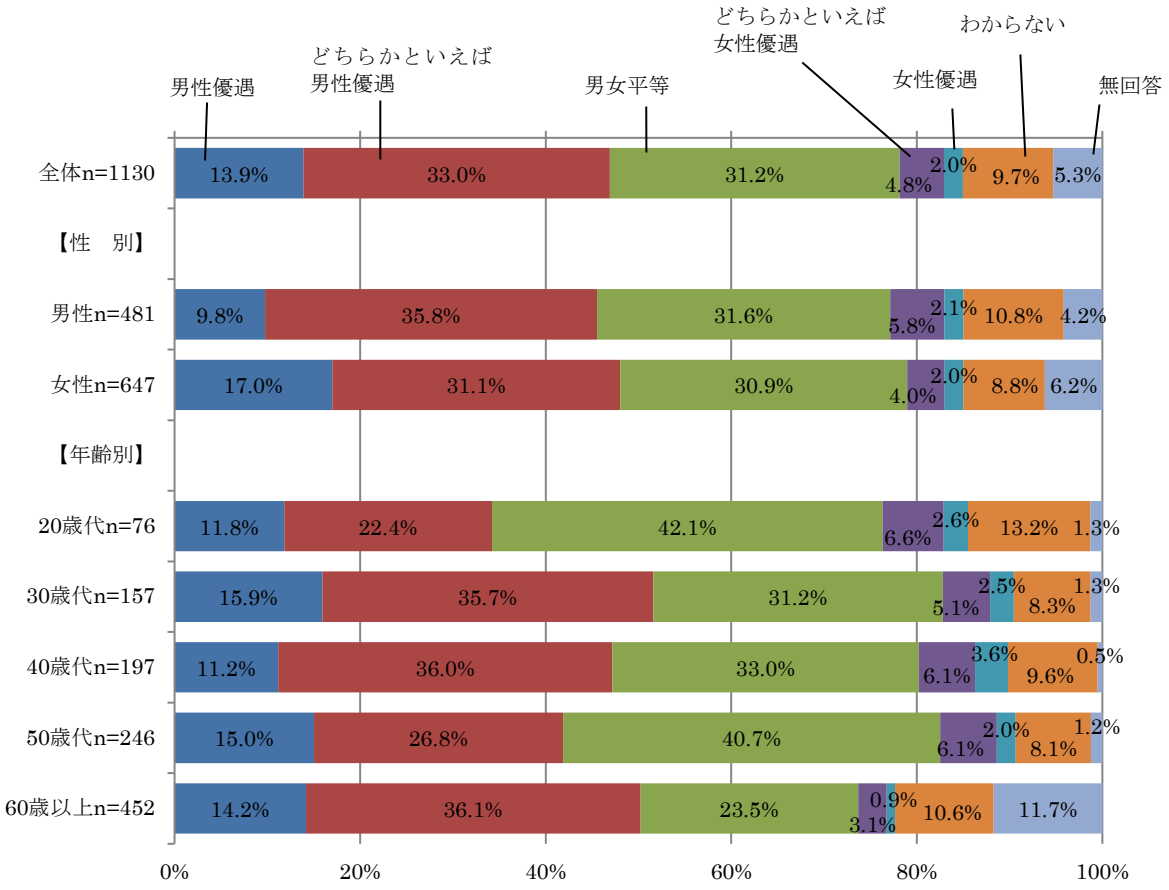
【年齢別】

20 歳代は「男女平等」が最も高く、30 歳代、40 歳代、60 歳以上は「男性優遇（計)」が高くなっている。50 歳代は「男性優遇（計)」と「男女平等」がほぼ同率である。

「女性優遇(計)」が最も高いのは 40 歳代で 9.7%となっており、最も低い 60 歳以上の 4.0%と 5.7 ポイントの差がある。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体の「男性優遇(計)」が 5.3 ポイント減少し、「女性優遇(計)」が 1.0 ポイント増加している。また、「男女平等」の割合は 5.5 ポイント増加している。



問９　男女の地位の平等感について

③　地域において

【全　体】

「どちらかといえば男性優遇」が 39.2%と最も高く、次いで「男女平等」が 26.0%となっている。

【性　別】

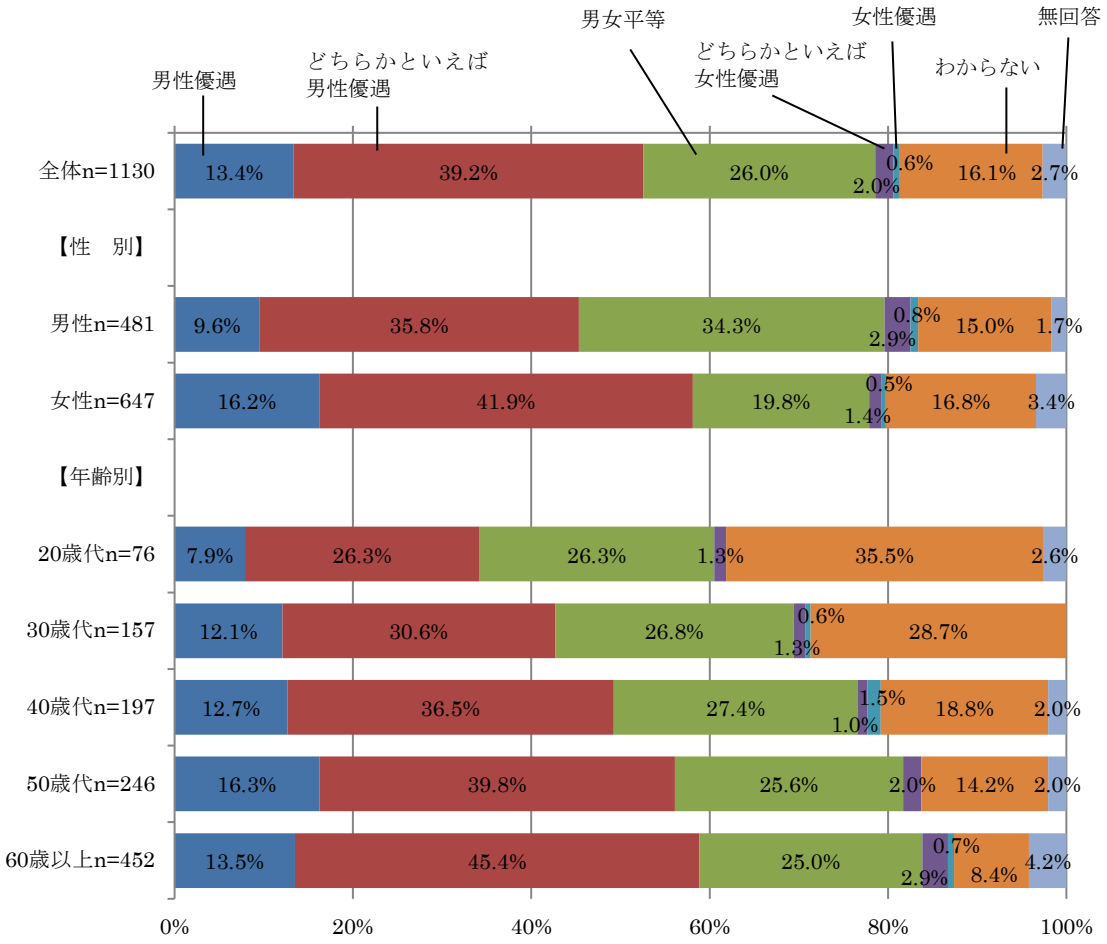
男性は「男女平等」が女性より 14.5 ポイント高くなっており、これに対して女性は、「男性優遇(計)」が男性より 12.7 ポイント高くなっている。

【年齢別】

「男性優遇」が最も高いのは 50 歳代であるが、「男性優遇（計)」は年齢が高くなるに従って高くなっている。「男性優遇（計)」の最も高い 60 歳以上（58.9%）と最も低い 20 歳代（34.2%）では 24.7 ポイントの差がある。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体の「男性優遇(計)」が 3.4 ポイント減少した。また、「男女平等」が 3.6 ポイント増加している。



問９　男女の地位の平等感について

④　政治経済活動の場において

【全　体】

「どちらかといえば男性優遇」が 40.4%と最も高く、次いで「男性優遇」が 26.1%となっている。

【性　別】

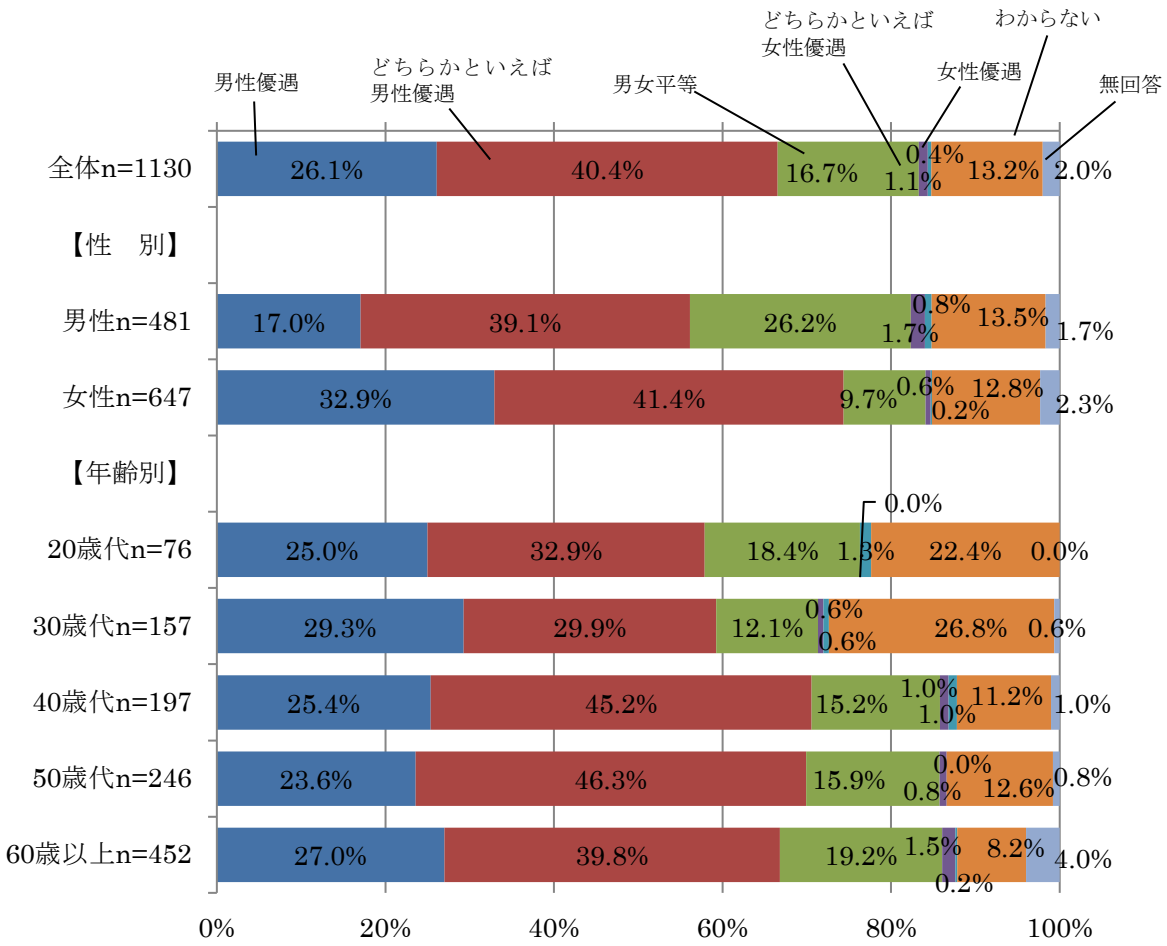
男性は「男女平等」と答えた割合が女性より 16.5 ポイント高くなっており、これに対して女性は、「男性優遇(計)」が男性より 18.2 ポイント高くなっている。

【年齢別】

年代を問わず「男性優遇(計)」が過半数であり、40 歳代と 50 歳代が特に高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体の「男性優遇(計)」が 3.9 ポイント増加したが、「女性優遇(計)」は前回とほぼ同率である。また、「男女平等」が 1.1 ポイント減少している。



問９　男女の地位の平等感について

⑤　学校教育の場において

【全　体】

「男女平等」が 50.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性優遇」が 16.5%となっている。

【性　別】

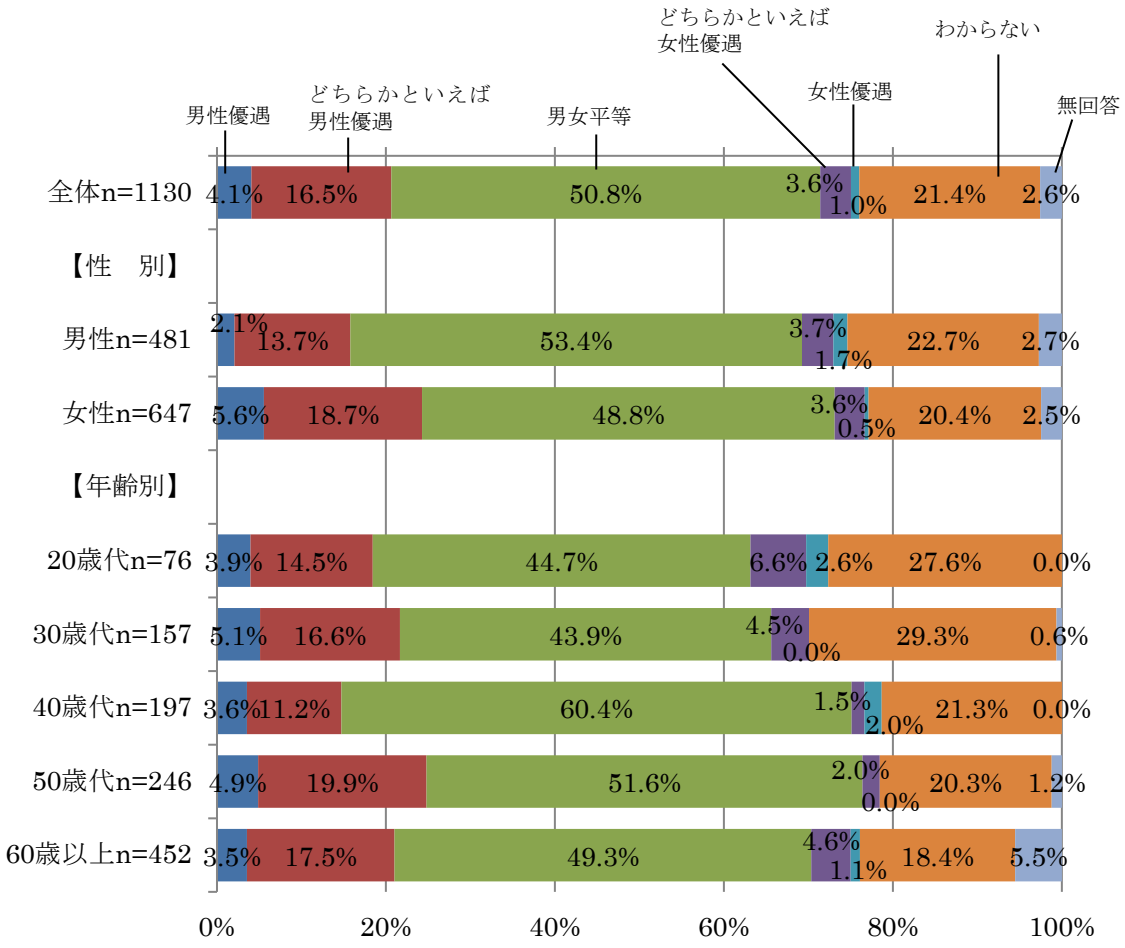
男性は「男女平等」が女性より 4.6 ポイント高くなっており、これに対して女性は、「男性優遇(計)」が男性より 8.5 ポイント高くなっている。

【年齢別】

年代を問わず「男女平等」と答えた割合が高いが、中でも 40 歳代は 60.4%と最も高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体の「男性優遇（計)」が 1.5 ポイント増加、「女性優遇(計)」が 2.1 ポイント減少しており、「男女平等」が 2.4 ポイント減少している。



問９　男女の地位の平等感について

⑥　法律や制度の面において

【全　体】

「男女平等」が 32.0%と最も高く、次いで僅差で「どちらかといえば男性優遇」が 31.0%となっている。

【性　別】

男性は「男女平等」が 16.7 ポイント、「女性優遇（計)」が 4.5 ポイント女性より高くなっており、これに対して女性は、「男性優遇(計)」が男性より 16.2 ポイント高くなっている。

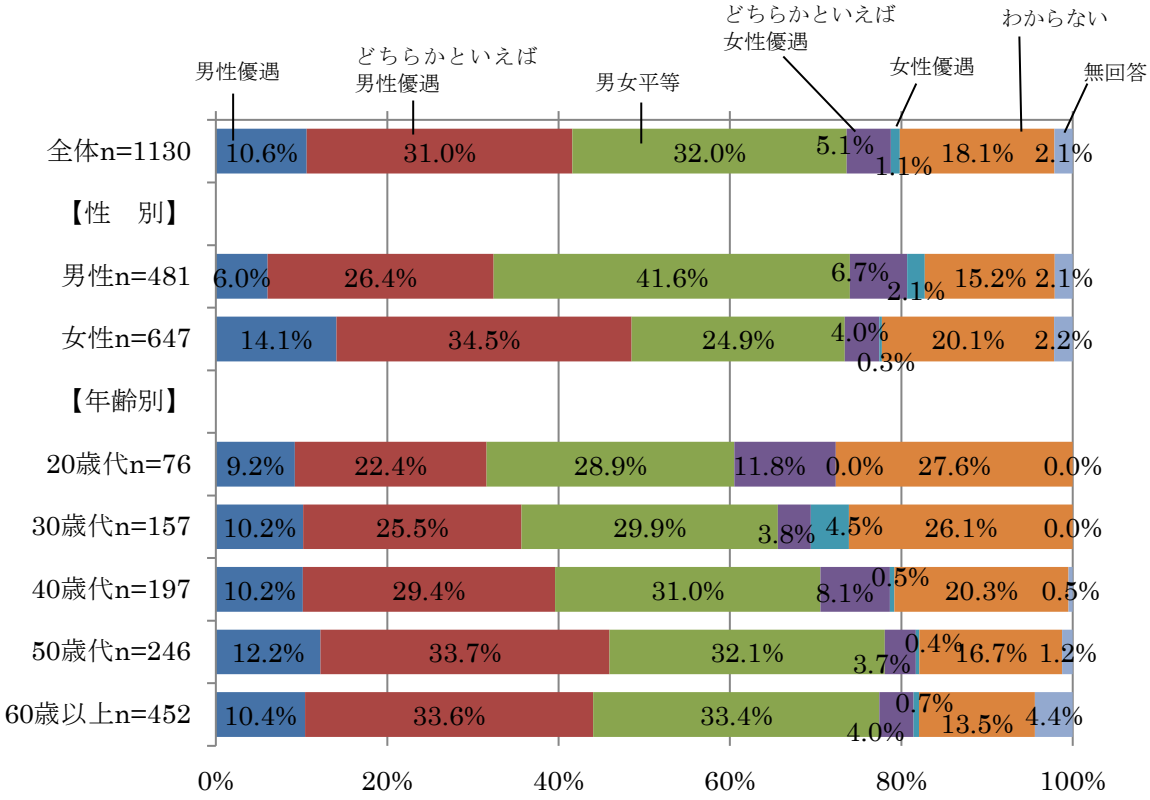
【年齢別】

年齢が高くなるに従って「男性優遇(計)」と「男女平等」の割合が高くなる傾向がある。「男性優遇（計)」で最も高い 50 歳代と最も低い 20 歳代では、14.3 ポイントの差がある。「男女平等」で最も高い 60 歳以上と最も低い 20 歳代では 4.5 ポイントの差がある。

「女性優遇（計)」が最も高いのは 20 歳代で 11.8%である。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体の「男女平等」が 0.1 ポイント増加、「男性優遇（計)」が 0.5 ポイント減少、「女性優遇(計)」が 0.3 ポイント減少と、いずれの項目も大きな変化は見られない。



問９　男女の地位の平等感について

⑦　社会習慣（しきたり）の面において

【全　体】

「どちらかといえば男性優遇」が 47.3%と最も高く、次いで「男性優遇」が 25.1%となっている。

【性　別】

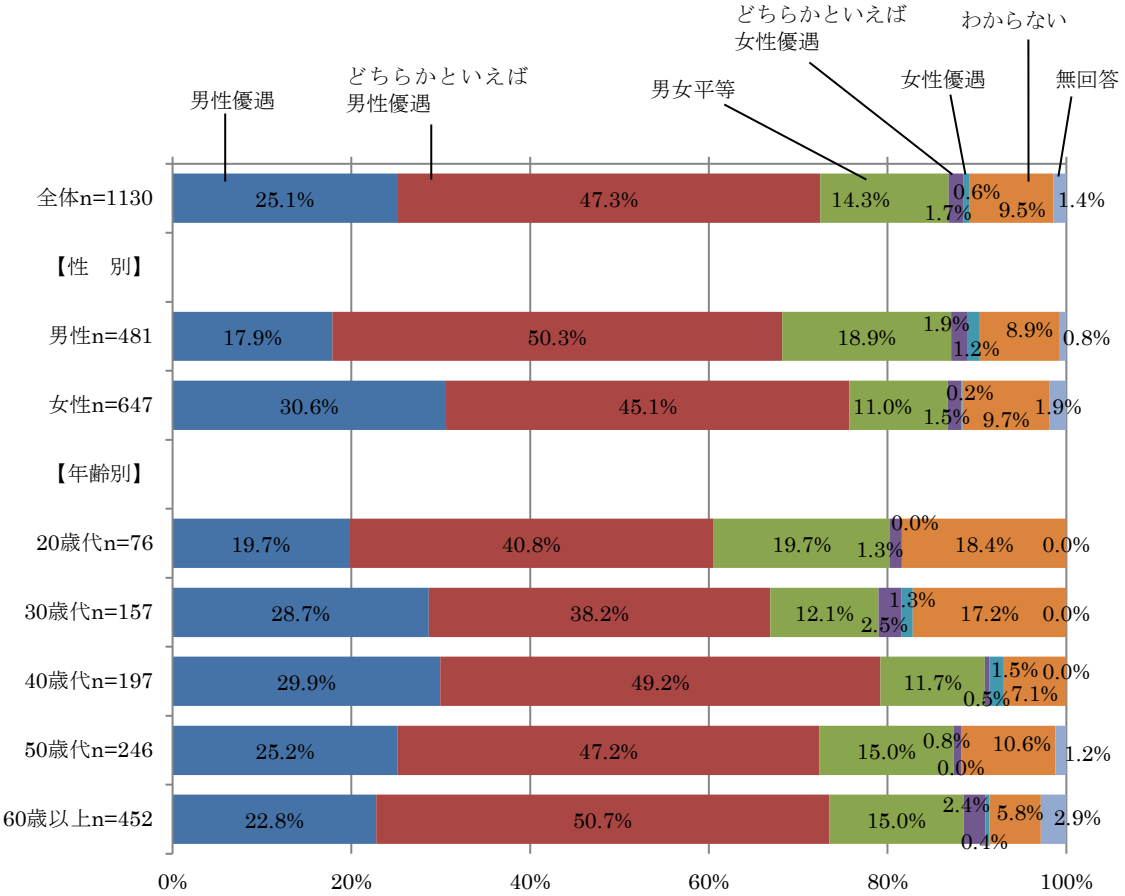
男性は「男女平等」とする割合が女性より 7.9 ポイント高くなっており、これに対して女性は、「男性優遇」が男性より 12.7 ポイント高くなっている。

【年齢別】

年代を問わず「男性優遇(計)」の割合が 6 割を超えており、最も高い 40 歳代と最も低い 20 歳代では 18.6 ポイントの差がある。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体の「男性優遇(計)」が 0.5 ポイント増加、「女性優遇（計)」が 0.6 ポイント減少、「男女平等」が 1.4 ポイント増加と、各項目に大きな変化は見られない。



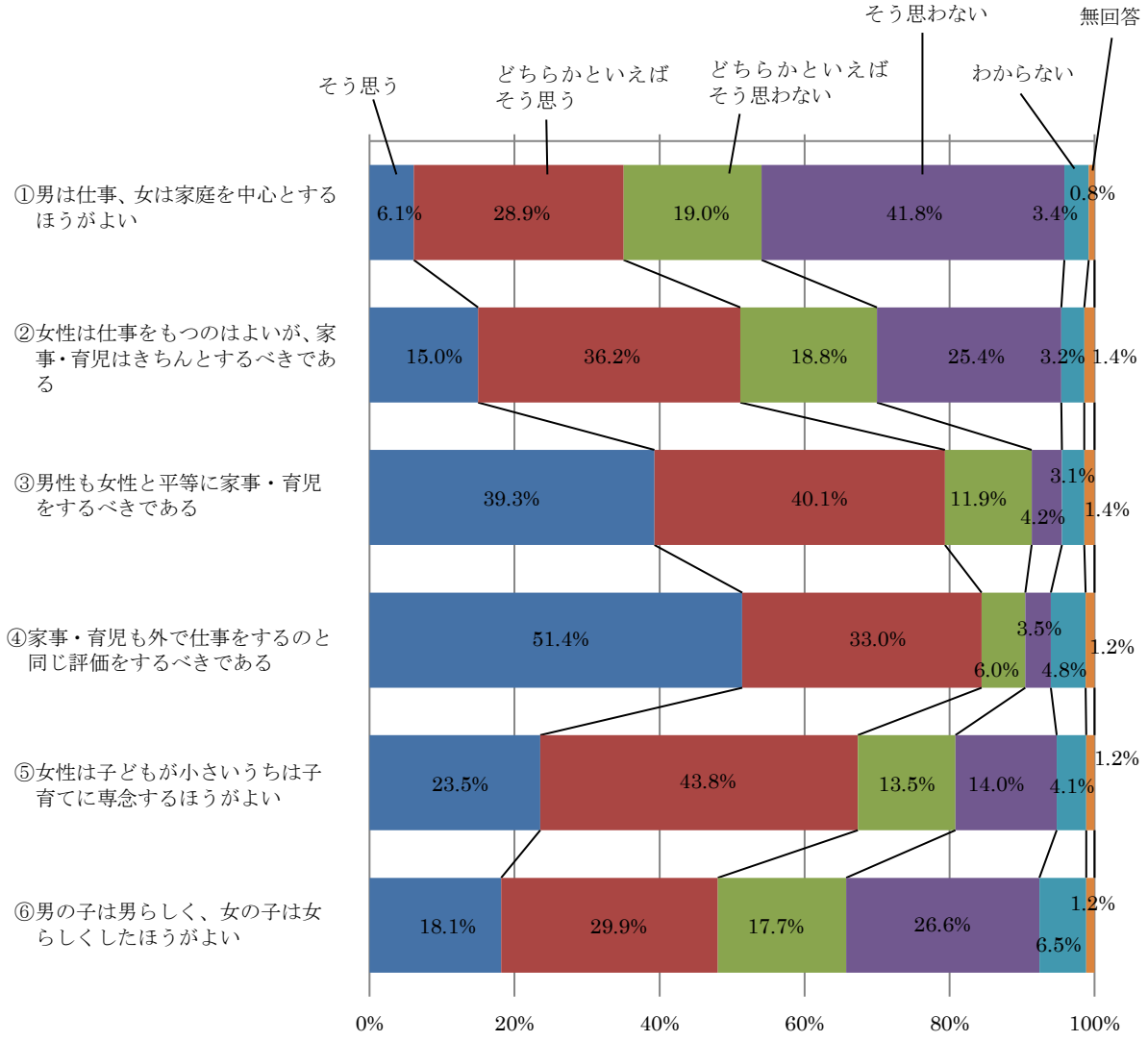
問１０　男女の役割分担意識について

あなたは次の項目についてどのように考えますか。①～⑥のそれぞれについて（ア）～（オ）の中からあなたの考えに一番近いものを１つずつ選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

男女の役割分担意識に対する考え方について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合（以下「そう思う(計)」と記す）で見ると、「家事・育児も外で仕事をするのと同じ評価をするべきである」が 84.4%と最も高く、次いで「男性も女性と平等に家事・育児をするべきである」（79.4%）、「女性は子どもが小さいうちは子育てに専念するほうがよい」（67.3%）の順となっている。

また、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた否定的な割合（以下「そう思わない(計)」と記す）を見ると、「男は仕事、女は家庭を中心とするほうがよい」（60.8%）、次いで「男の子は男らしく、女の子は女らしくしたほうがよい」（44.3%）が高くなっている。



問１０　男女の役割分担意識について

①　男は仕事、女は家庭を中心とするほうがよい

【全　体】

「そう思わない」が 41.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 28.9%となっている。

【性　別】

男女ともに「そう思わない(計)」の方が「そう思う(計)」より高くなっている。

「そう思う（計)」と答えた男性の割合は、女性より 10.3 ポイント高くなっている。

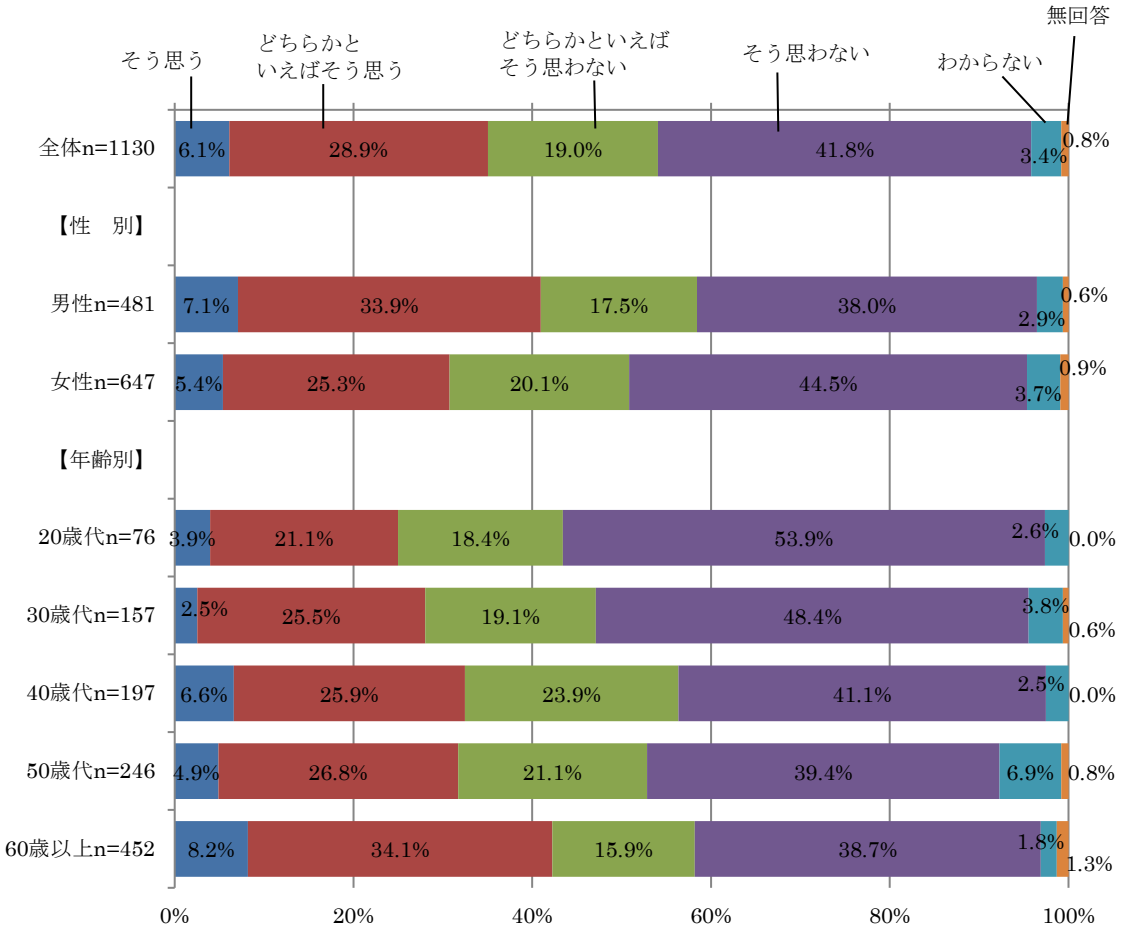
【年齢別】

すべての年代で、「そう思わない(計)」の方が「そう思う(計)」より高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体の「そう思う(計)」が 9.4 ポイント減少し、「そう思わない(計)」が 10.3 ポイント増加している。

男性において、前回は「そう思う（計)」が最も多かったが、今回は「そう思わない（計)」が最も多かった。



問１０　男女の役割分担意識について

②　女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児はきちんとするべきである

【全　体】

「どちらかといえばそう思う」が 36.2%と最も高く、次いで「そう思わない」が 25.4%となっている。

【性　別】

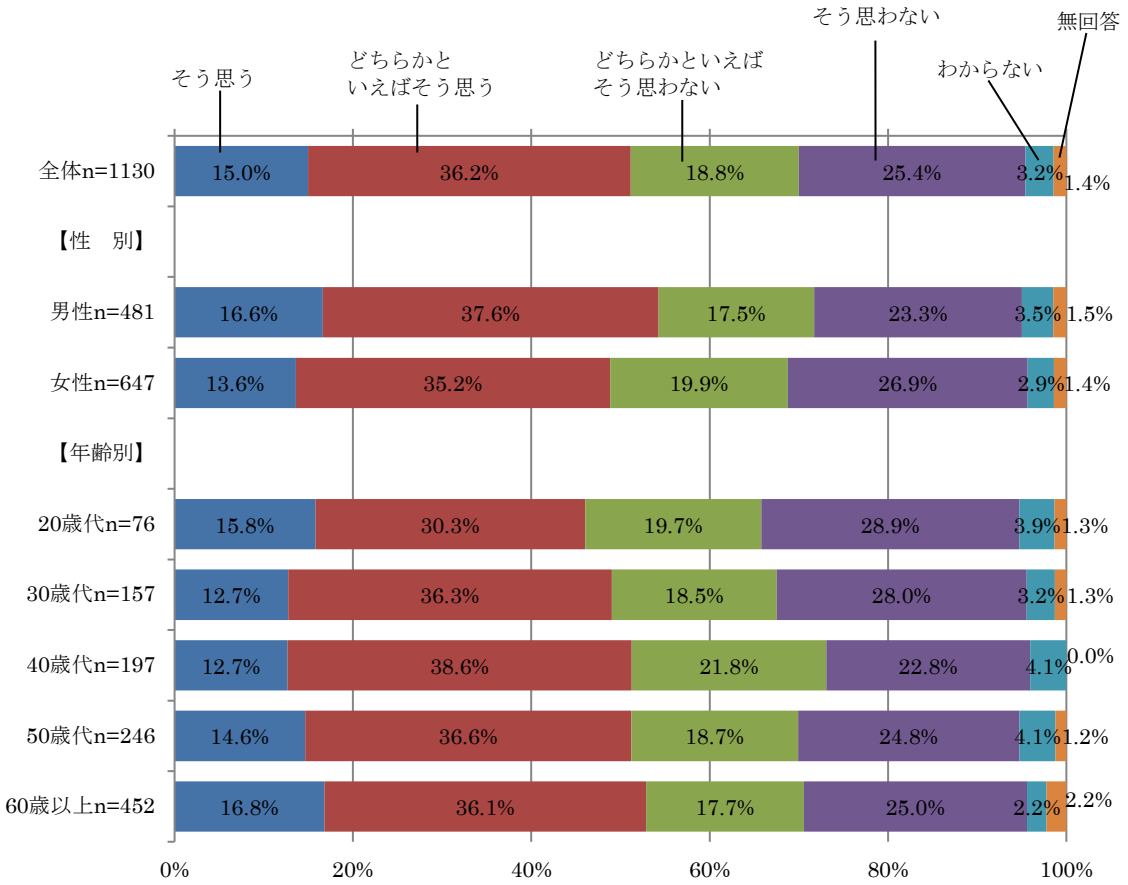
男性は「そう思う(計)」が女性より 5.4 ポイント高くなっている。

【年齢別】

年代を問わず「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっている。「そう思う（計)」が最も高いのは 60 歳以上（52.9%）で、「そう思わない（計)」が最も高いのは 20 歳代（48.6%）である。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「そう思う(計)」が 9.8 ポイント減少し、「そう思わない(計)」が 10.6 ポイント増加している。



問１０　男女の役割分担意識について

③　男性も女性と平等に家事・育児をするべきである

【全　体】

「どちらかといえばそう思う」が 40.1%と最も高く、次いで「そう思う」が 39.3%となっている。

【性　別】

男性、女性ともに「そう思う(計)」が高くなっている。

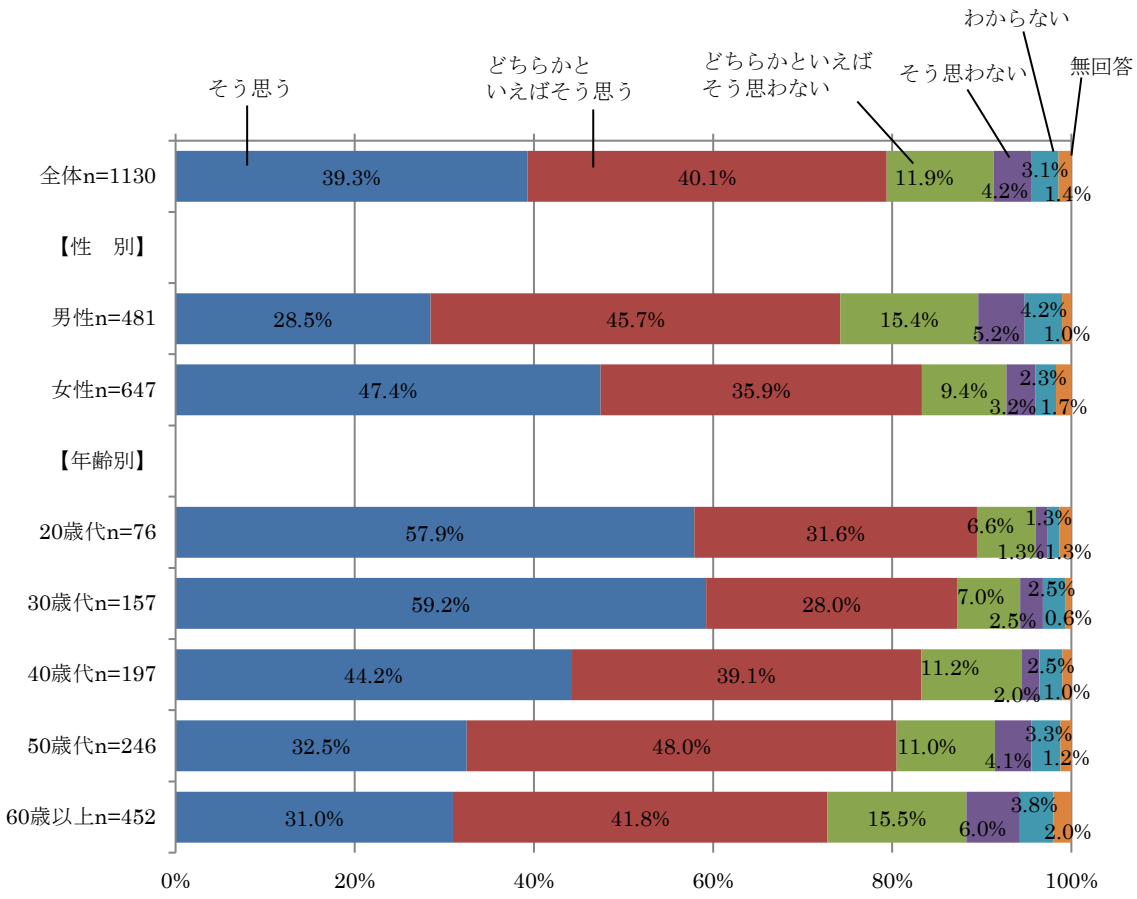
「そう思う（計)」では女性の方が男性より 9.1 ポイント高くなっており、中でも「そう思う」と答えた女性は男性より 18.9 ポイント高くなっている。

【年齢別】

「そう思う」が最も高い 30 歳代（59.2%）と最も低い 60 歳以上（31.0%）では 28.2 ポイントの差がある。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて､全体で｢そう思う(計)｣が 4.0 ポイント増加し､｢そう思わない(計)｣が 3.5 ポイント減少している。



問１０　男女の役割分担意識について

④　家事・育児も外で仕事をするのと同じ評価をするべきである

【全　体】

「そう思う」が 51.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 33.0%となっている。

【性　別】

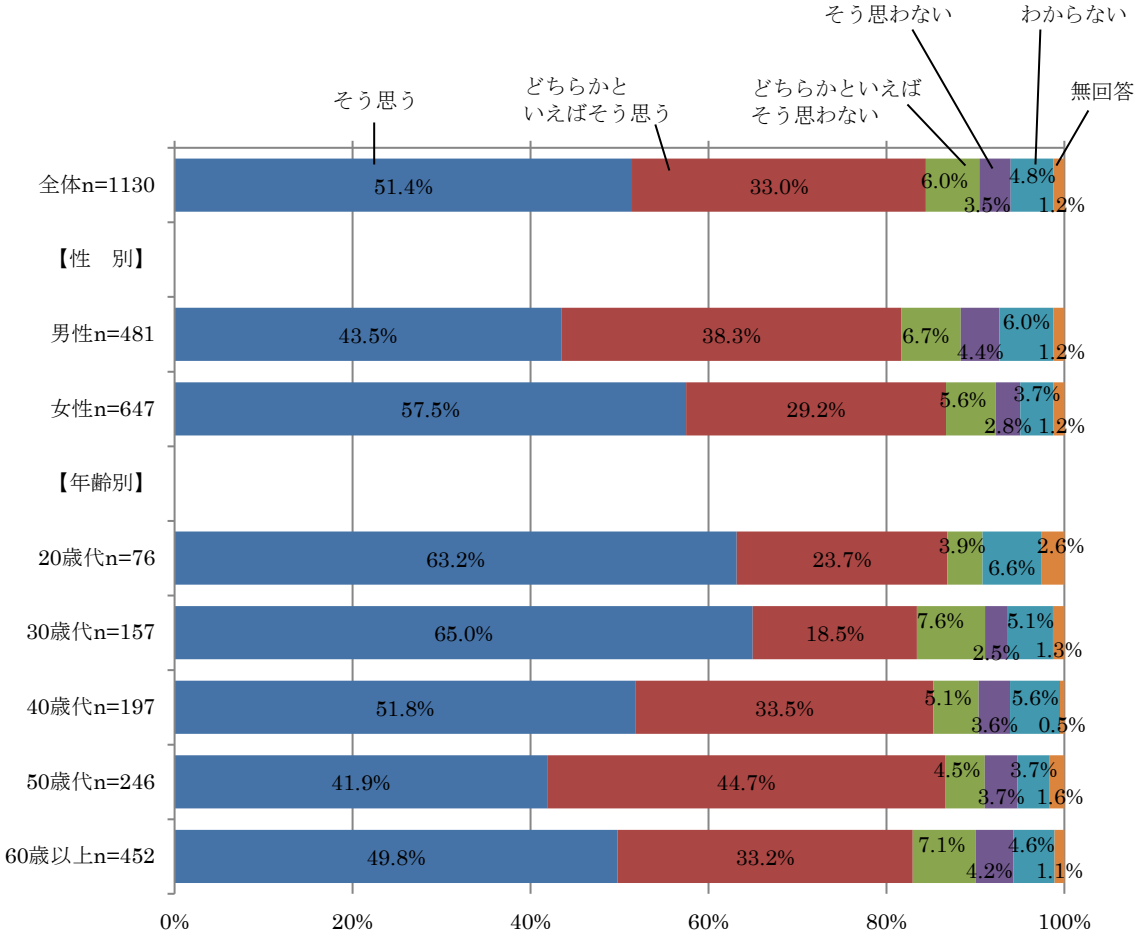
男性、女性ともに「そう思う(計)」が８割を超えており、その中でも「そう思う」と答えた女性は男性より 14.0 ポイント高くなっている。

【年齢別】

「そう思う」が最も高い 30 歳代（65.0%）と最も低い 50 歳代（41.9%）では 23.1 ポイントの差がある。ただし、「そう思う（計)」でみると 50 歳代は２番めに高く（86.6%)、最も高い 20 歳代（86.9%）とも 0.3 ポイント差である。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「そう思う（計)」が 4.5 ポイント増加し、「そう思わない（計)」が 3.6 ポイント減少している。



問１０　男女の役割分担意識について

⑤　女性は子どもが小さいうちは子育てに専念するほうがよい

【全　体】

「どちらかといえばそう思う」が 43.8%と最も高く、次いで「そう思う」が 23.5%となっている。

【性　別】

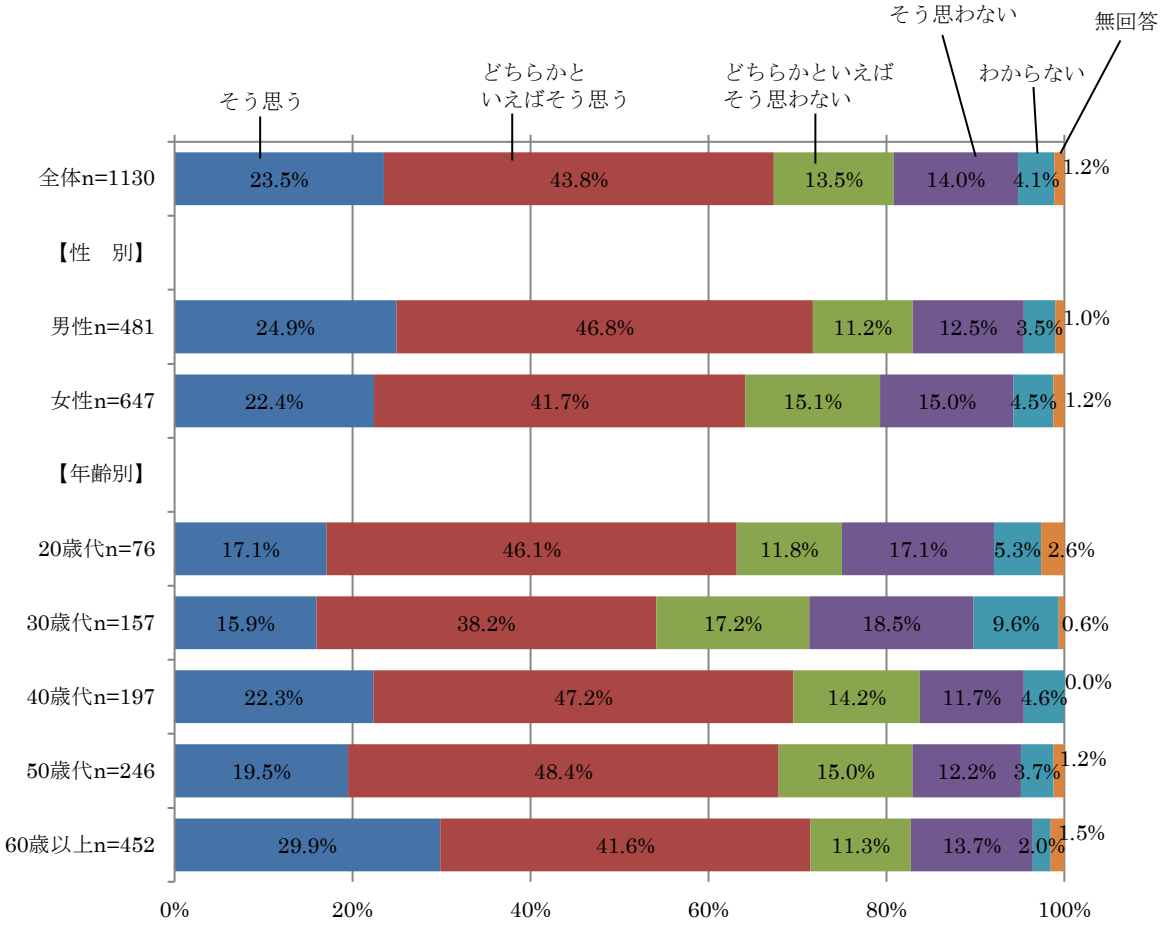
「そう思う(計)」と答えた男性は７割、女性は６割を超えており、男性の方が女性より 7.6 ポイント高くなっている。

【年齢別】

年代を問わず「どちらかといえばそう思う」が高くなっているが、30 歳代は他の年代と比べて「そう思わない（計)」が比較的高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて「そう思う(計)」が 4.3 ポイント減少し、「そう思わない(計)」が 5.3 ポイント増加している。



問１０　男女の役割分担意識について

⑥　男の子は男らしく、女の子は女らしくしたほうがよい

【全　体】

「どちらかといえばそう思う」が 29.9%と最も高く、次いで「そう思わない」が 26.6%となっている。

【性　別】

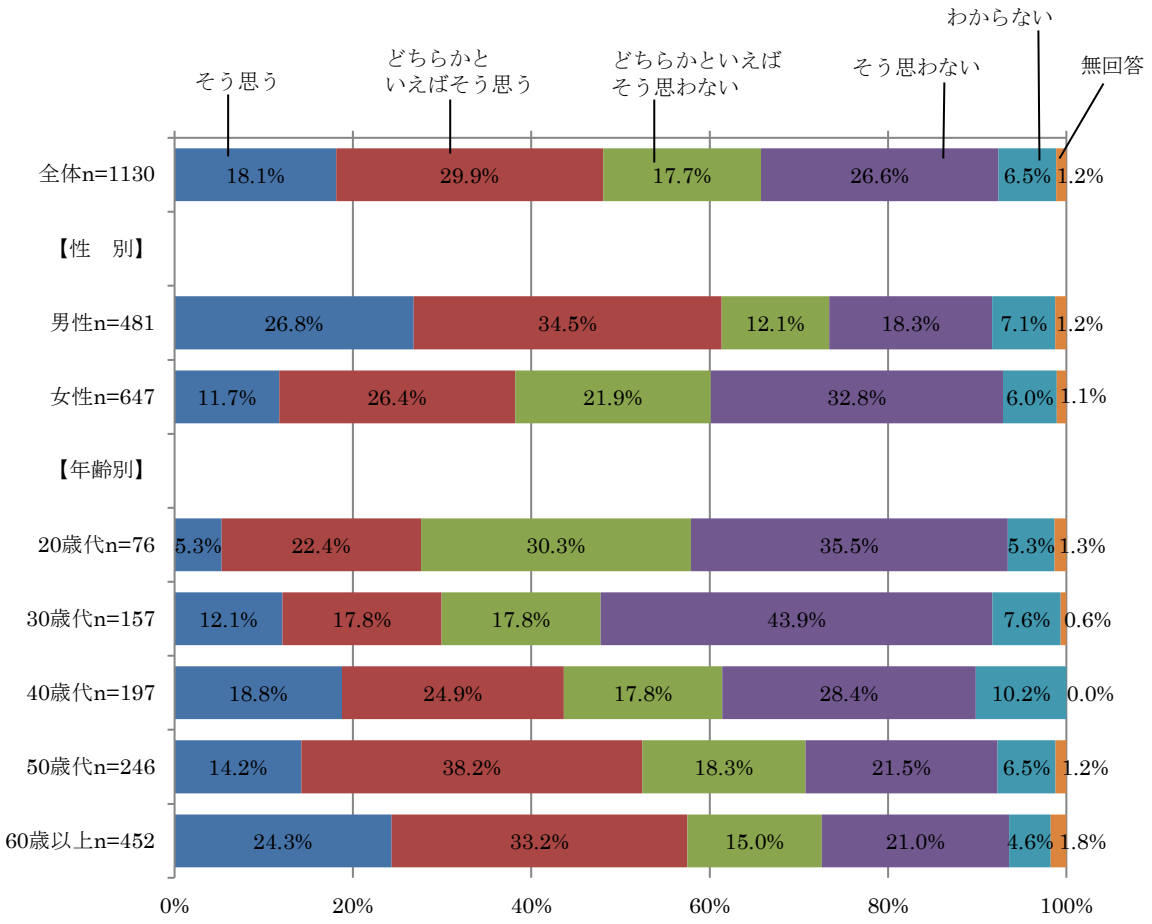
男性は「そう思う(計)」が６割を超えたのに対し、女性は４割弱となっており、その差は 23.2 ポイントである。その中でも「そう思う」は男性が女性より 15.1 ポイント高くなっている。

【年齢別】

「そう思う」が最も高いのは 60 歳以上で 24.3%、最も低いのは 20 歳代で 5.3%であり、その差は 19.0 ポイントである。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「そう思う(計)」が 13.9 ポイント減少し、「そう思わない(計)」が 12.8 ポイント増加している。



問１１　男性、女性の望ましい生き方について

あなたは、仕事と家庭生活・地域活動の関係をどのように位置づけることが望ましいと思いますか。①②のそれぞれについて、次の中から１つずつ選んで（　）内に番号を記入してください。

①　男性の仕事と家庭生活・地域活動のかかわり方

【全　体】

「家庭生活・地域活動にもたずさわるが、あくまで仕事を優先させる」が 52.9%と最も高く、次いで「家庭生活・地域活動と仕事を同じように両立させる」（31.7%）となっている。

【性　別】

「家庭生活・地域活動にもたずさわるが、あくまで仕事を優先させる」が男性、女性ともに過半数となっている。

【年齢別】

「家庭生活・地域活動にもたずさわるが、あくまで仕事を優先させる」は、最も高い 60 歳以上（60.6%）と最も低い 30 歳代（41.4%）では 19.2 ポイントの差がある。

「家庭生活・地域活動と仕事を同じように両立させる」は、最も高い 30 歳代（47.8%）と最も低い 60 歳以上（21.9%）では 25.9 ポイントの差がある。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「家庭生活・地域活動にもたずさわるが、あくまで仕事を優先させる」が 0.7 ポイント減少、「家庭生活・地域活動と仕事を同じように両立させる」が 1.9 ポイント増加しているが、各項目の大きな変化はみられない。

問１１　男性、女性の望ましい生き方について

②　女性の仕事と家庭生活・地域活動のかかわり方

【全　体】

「家庭生活・地域活動と仕事を同じように両立させる」が 33.8%と最も高く、次いで「仕事にもたずさわるが、家庭生活・地域活動を優先させる」（29.1%）となっている。

【性　別】

男性、女性ともに「家庭生活・地域活動を仕事と同じように両立させる」が最も高く、男性が 33.3%、女性が 34.3%となっている。次いで「仕事にもたずさわるが、家庭生活・地域活動を優先させる」で、男性が 27.7%、女性が 30.1%となっている。

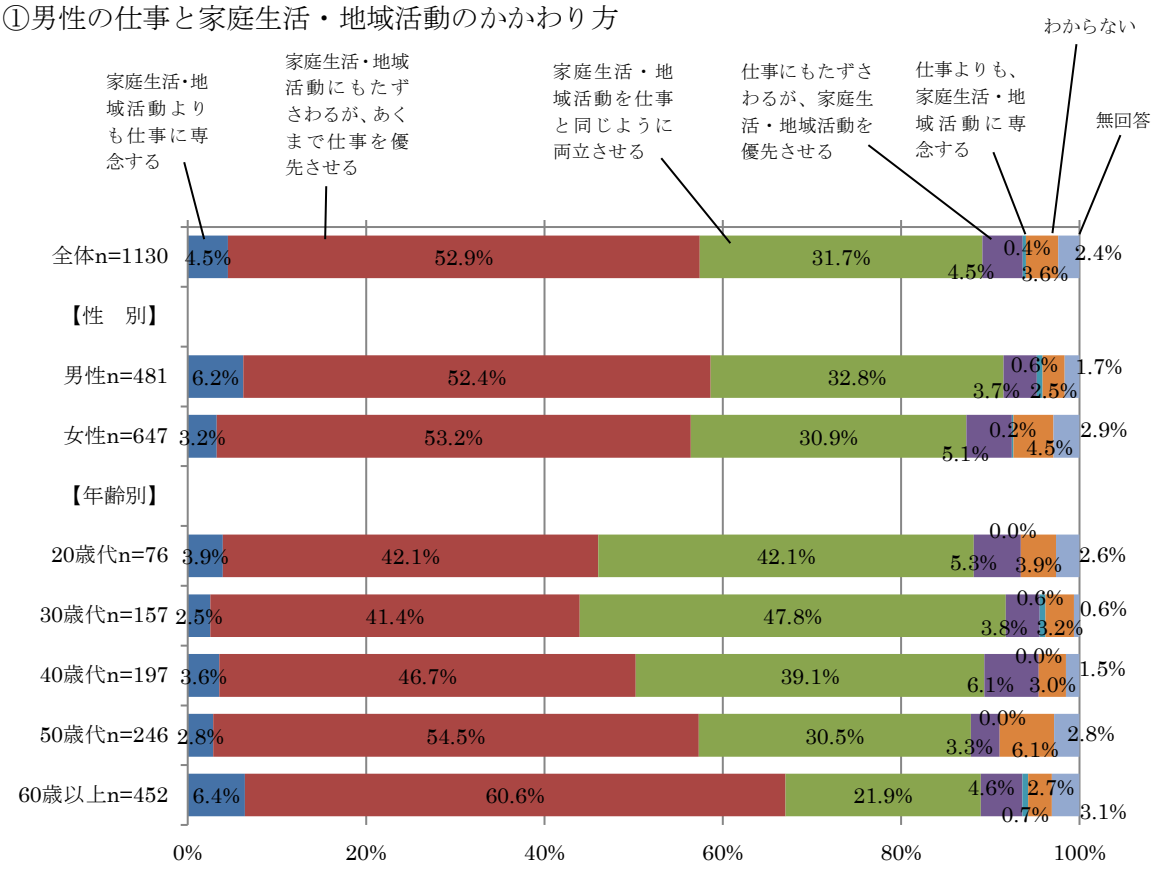
【年齢別】

「家庭生活・地域活動と仕事を同じように両立させる」は、最も高い 30 歳代（44.6%）と最も低い 60 歳以上（29.4%）では 15.2 ポイントの差がある。

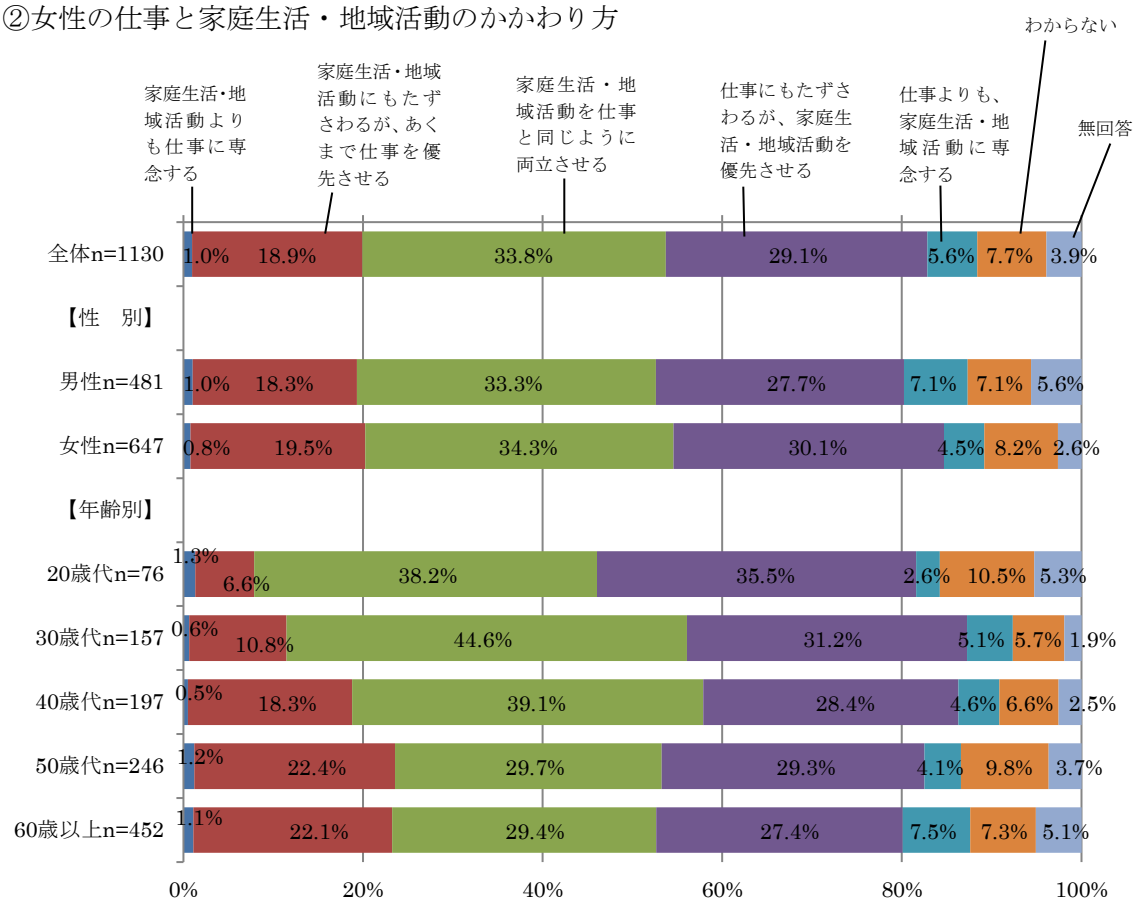
【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「家庭生活・地域活動にもたずさわるが、あくまで仕事を優先させる」が 2.5 ポイント増加、「家庭生活・地域活動と仕事を同じように両立させる」が 0.2 ポイント減少、「仕事にもたずさわるが、家庭生活・地域活動を優先させる」が 1.4 ポイント減少している。

①男性の仕事と家庭生活・地域活動のかかわり方



②女性の仕事と家庭生活・地域活動のかかわり方



問１２　少子化の理由

近年、少子化が進んでいますが、その原因はどんなことだと思いますか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

「子育てにかかる経済的負担が大きいから」が 67.6%と最も高く、次いで「仕事と子育てを両立できる環境が整っていないから」（56.9%）、「晩婚化が進んでいるから」（44.0%）の順となっている。

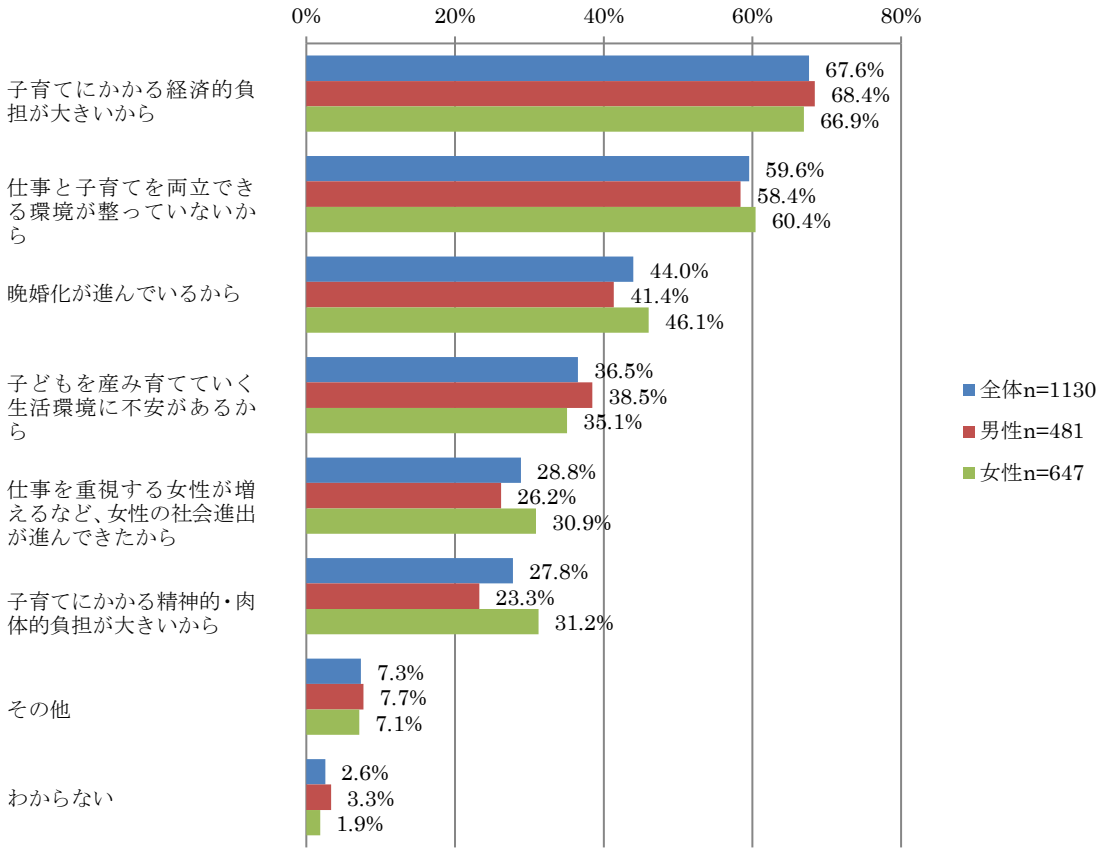
また、「その他」の記述の中で多かったものが、「結婚しない人が多いから」「収入に不安があるから」という回答であった。その他に、核家族の増加、価値観の変化、制度面の不備を指摘する意見もあった。

【性　別】

男性、女性を見ても、【全体】とほぼ同じ順である。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、各項目の順位に変動はなかった。



問１３　安心して子どもを産み育てるために必要なこと

安心して子どもを生み育てるためには、どんなことが必要だと思いますか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

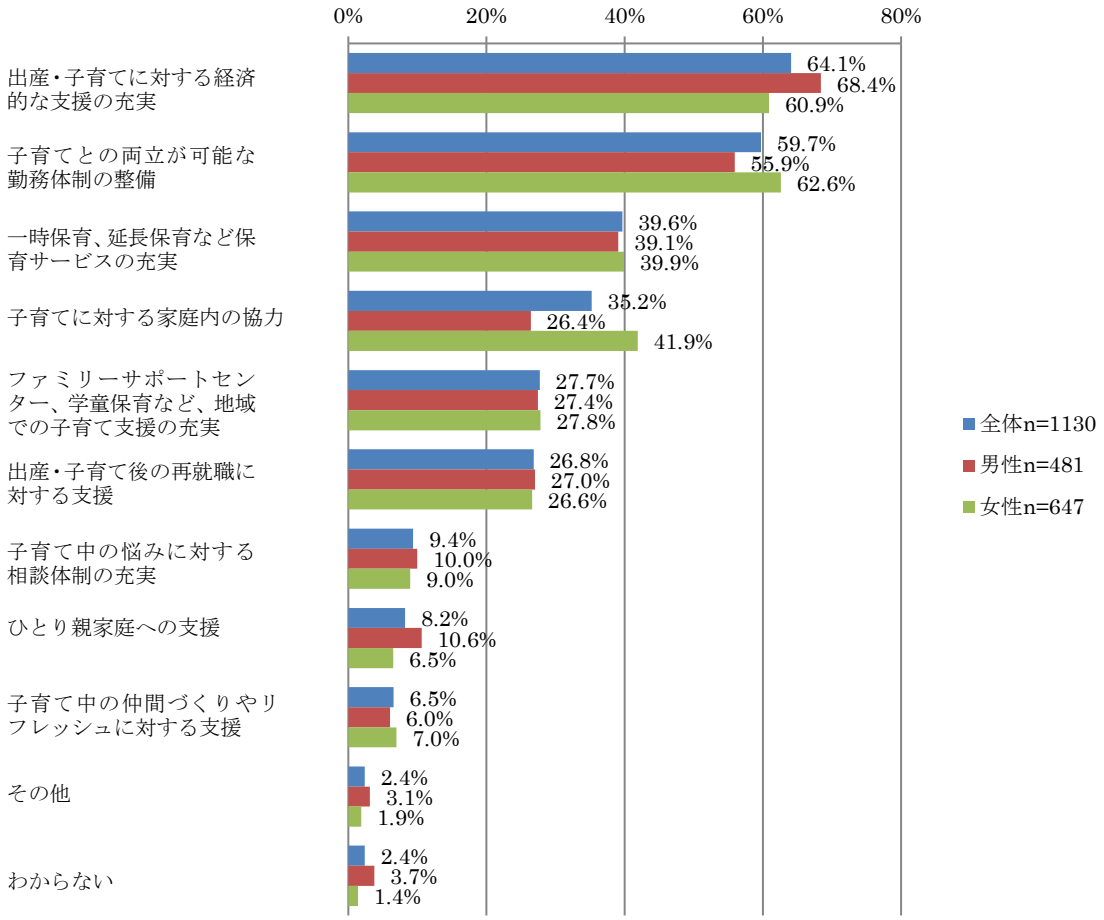
「出産・子育てに対する経済的な支援の充実」が 64.1%と最も高く、次いで「子育てとの両立が可能な勤務体制の整備」(59.7%)、「一時保育、延長保育など保育サービスの充実」(39.6%)の順となっている。

【性　別】

男性は「出産・子育てに対する経済的な支援の充実」、女性は「子育てとの両立が可能な勤務体制の整備」「子育てに対する家庭内の協力」が、異性と比べて特に高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べると、全体で「出産・子育て後の再就職に関する支援」が 5.7 ポイント減少し、「ファミリーサポートセンター、学童保育など、地域での子育て支援の充実」と順位が逆転している。



Ⅲ　男女の職業生活に対する考え方について

問１４　就業状況

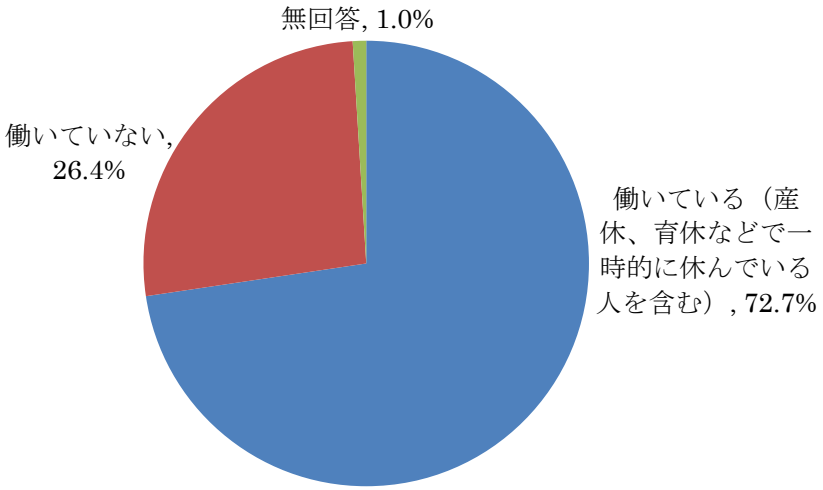
あなたは現在働いていますか。１つ選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

現在の就業状態について、「働いている（産休、育休などで一時的に休んでいる人を含む)」が 72.7%、「働いていない」が 26.4%となっている。

【性　別】

「働いている（産休、育休などで一時的に休んでいる人を含む)」では、男性の方が女性より 10.4 ポイント高くなっている。



問１５　職場の待遇

〔 問 14 で「1. 働いている」と答えた方にお聞きします〕
あなたは職場において、次の項目で男女差別を感じることがありますか。①～⑧のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から１つずつ選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

職場の待遇について、「感じる」で見ると、「昇進・昇格」が 36.5%と最も高く、次いで「賃金・手当」、「育児休業、介護休暇の取得」（35.3%）の順となっている。

「感じない」で最も高いのは「定年」で 66.3%となっている。

【性　別】

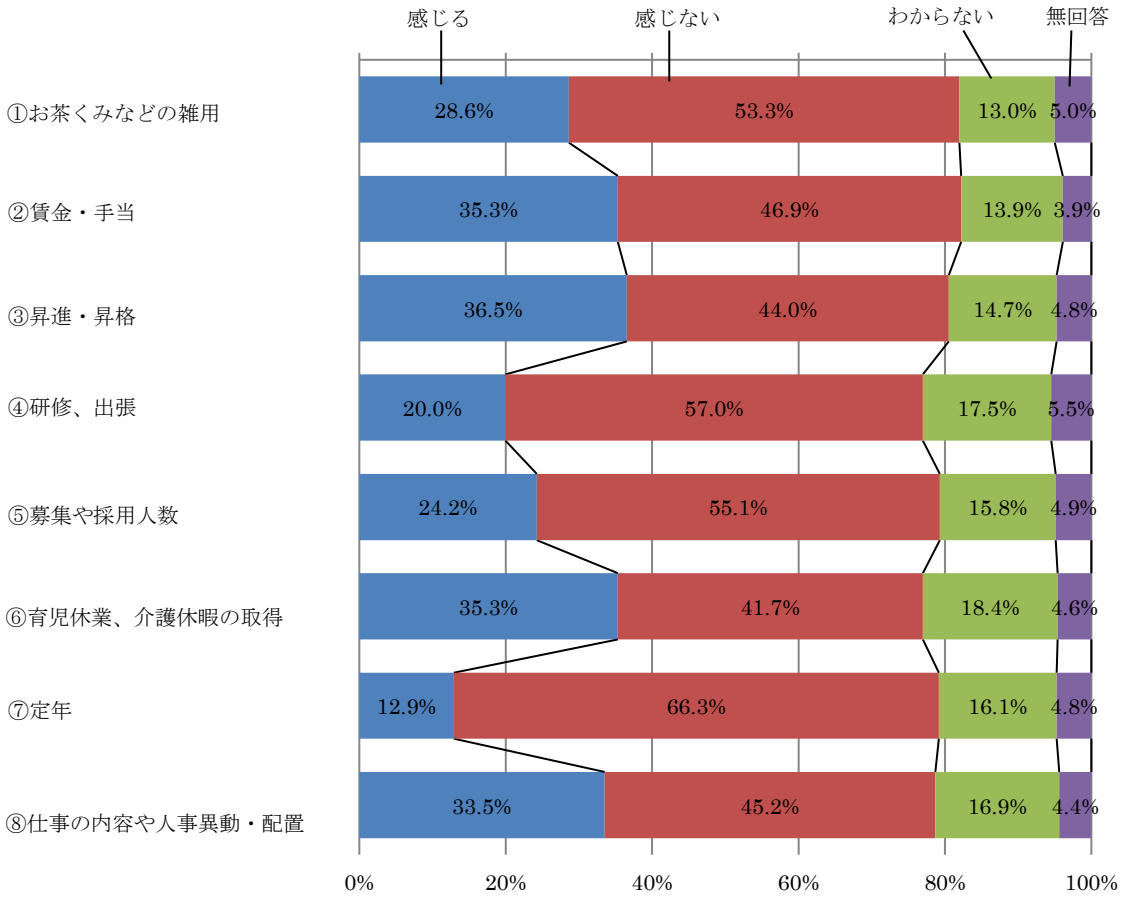
「感じる」と答えた割合について、「お茶くみなどの雑用」「賃金・手当」「昇進・昇格」では女性の方が、それ以外の項目では男性の方が高くなっている。

【年齢別】

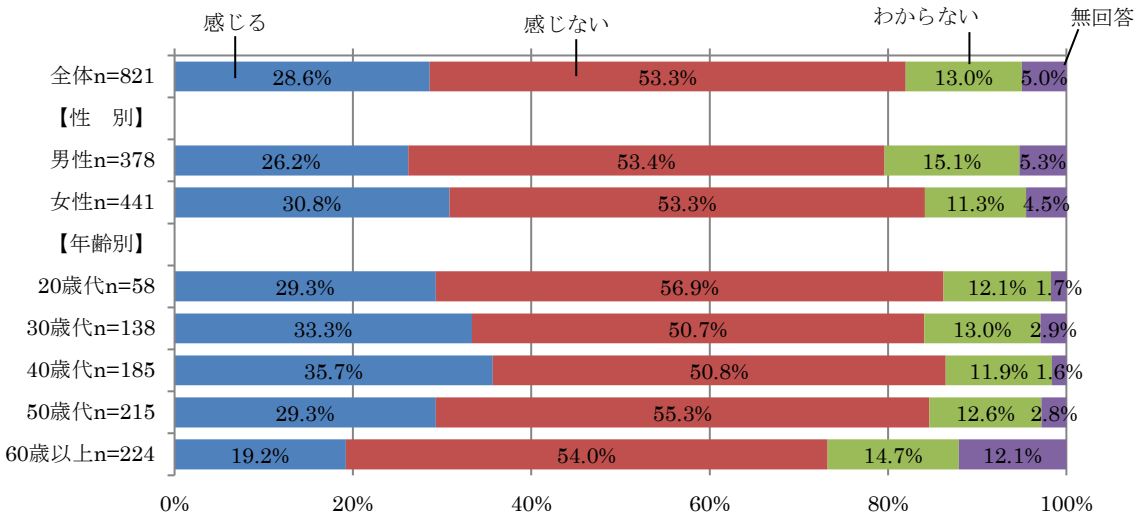
年齢が低くなるに従って、全項目で「感じない」とする割合が高くなる傾向があるが、項目によってばらつきがある。

【前回調査との比較】

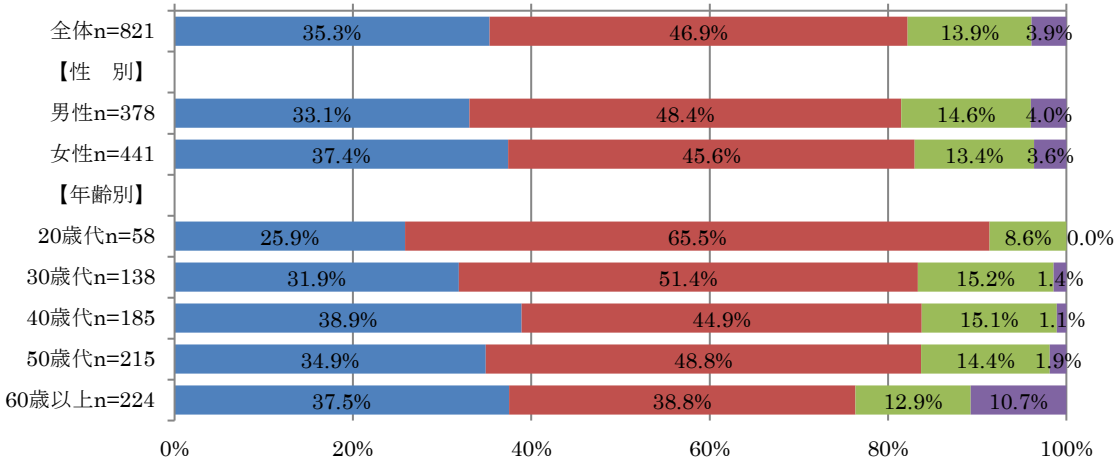
前回調査と比べて、全体での全項目において「感じる」の割合が低くなっている。



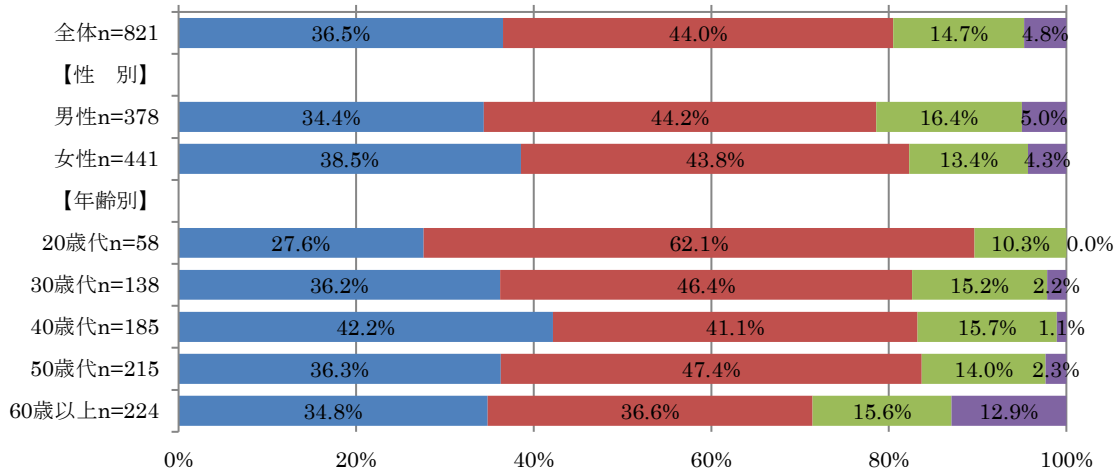
①お茶くみなどの雑用



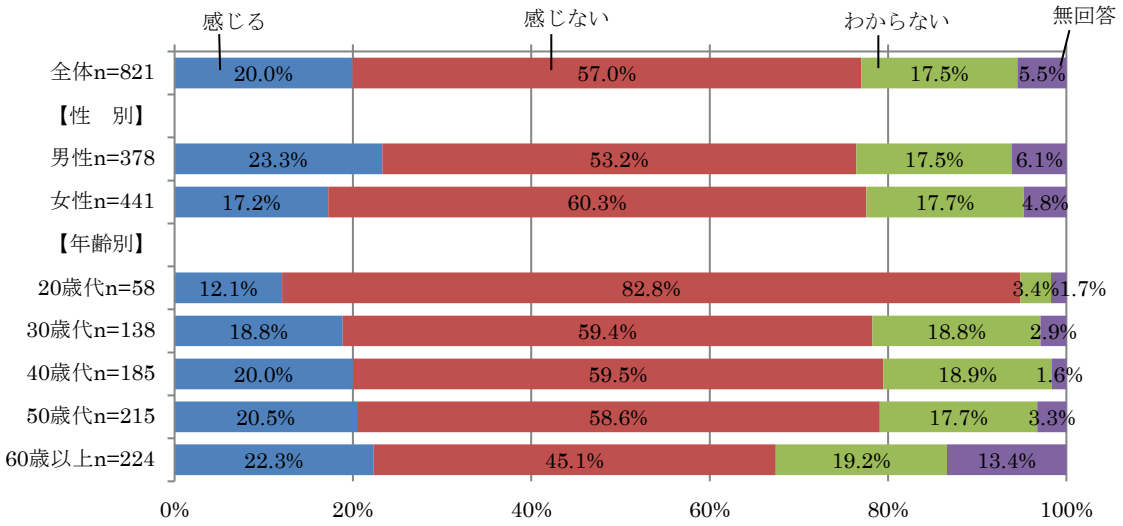
②賃金・手当



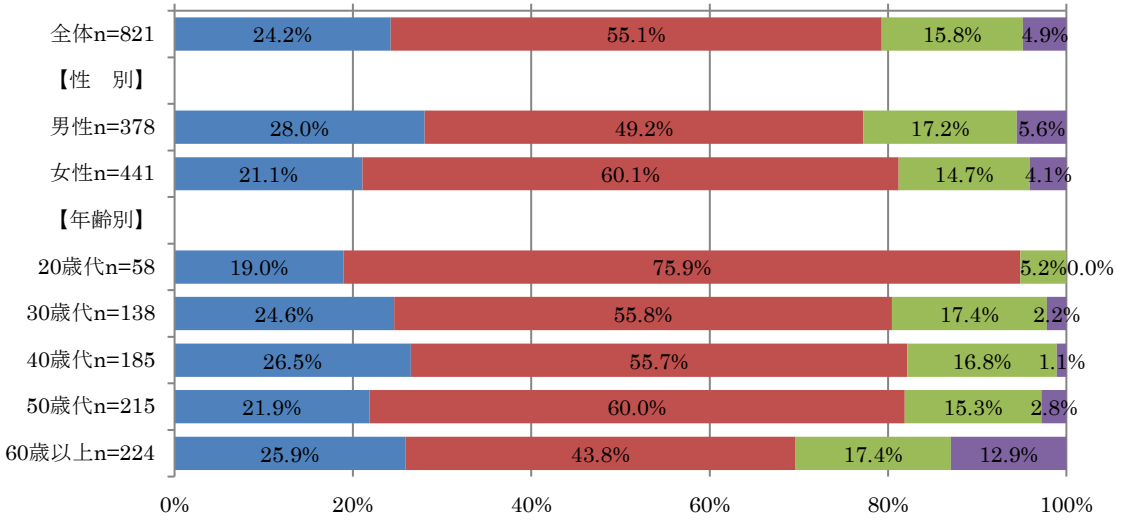
③昇進・昇格



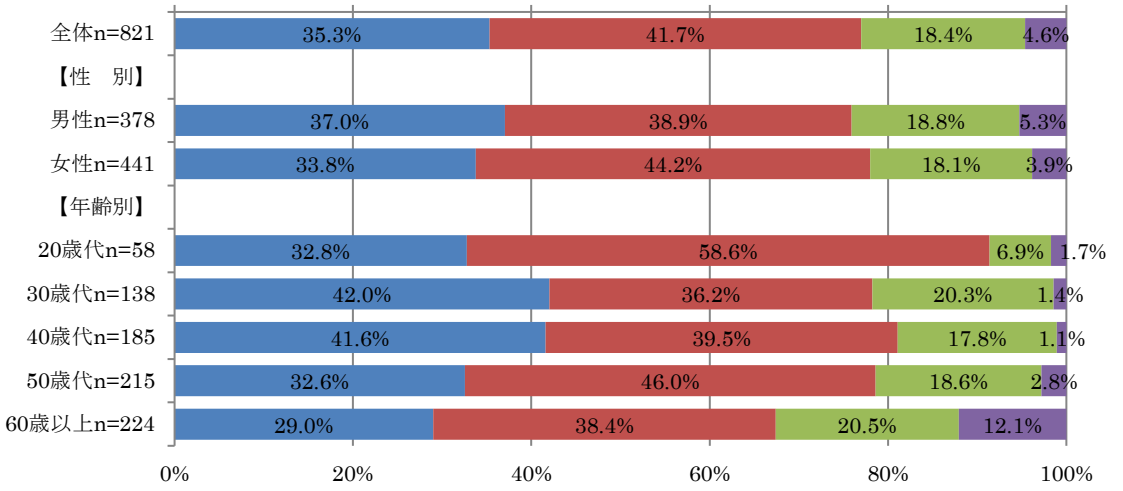
④研修、出張



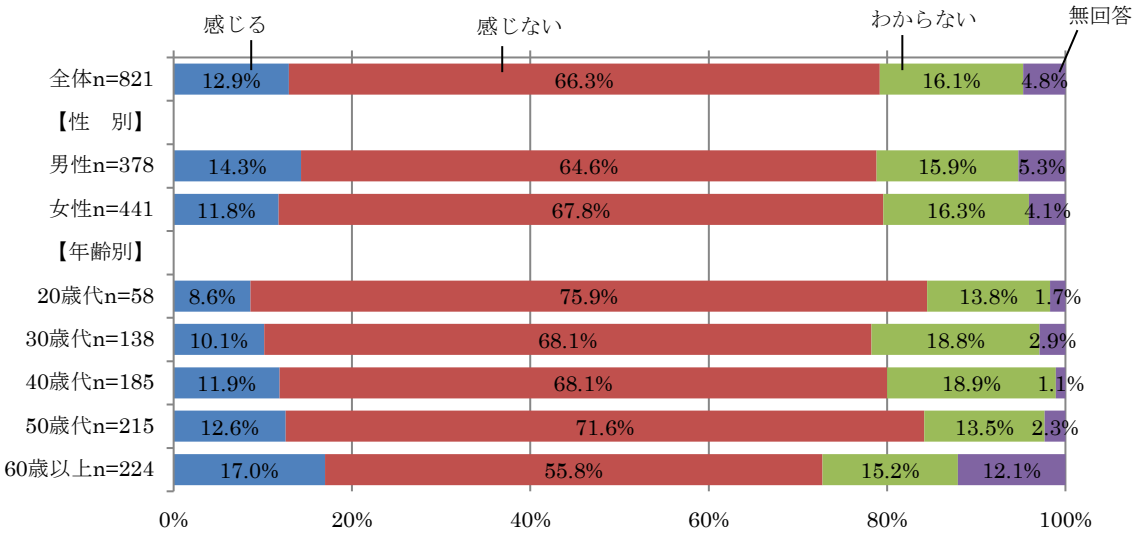
⑤募集や採用人数



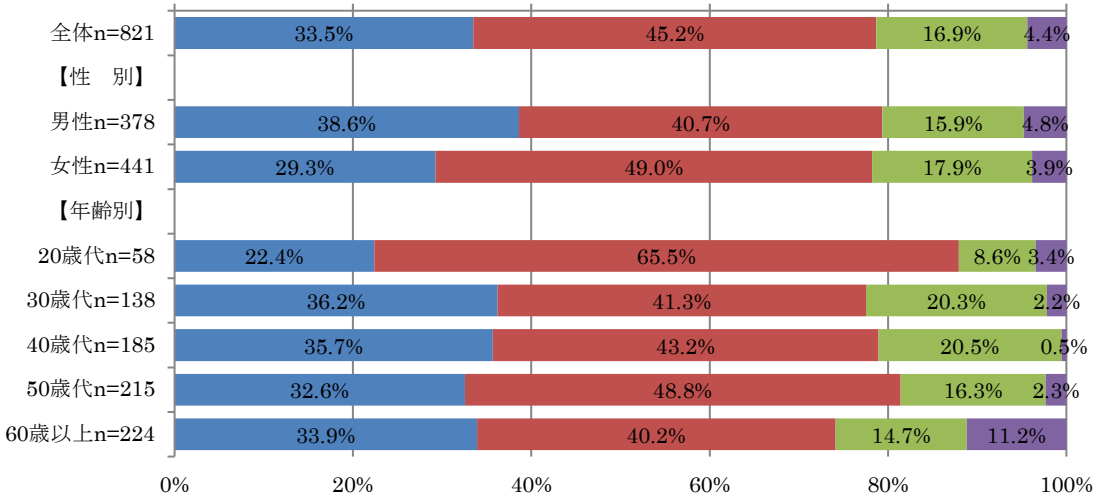
⑥育児休業、介護休暇の取得



⑦定年



⑧仕事の内容や人事異動・配置



問１６　就労経験

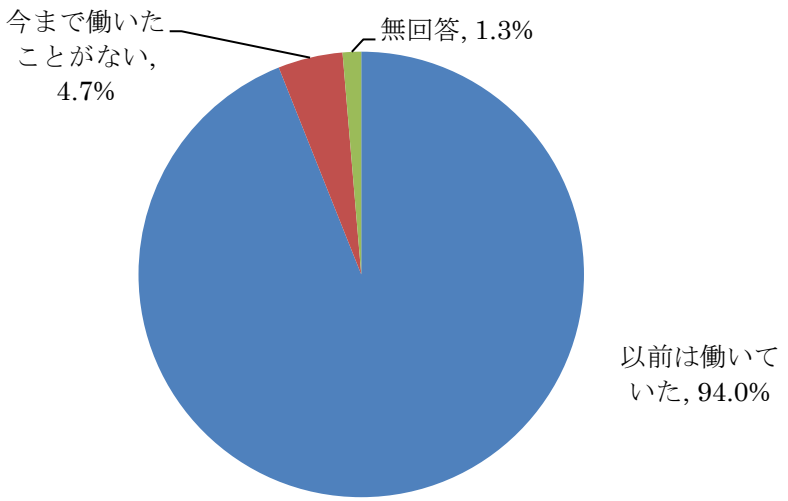
〔 問 14 で「2. 働いていない」と答えた方にお聞きします〕
あなたは、以前働いたこと（パート、内職等を含む）がありますか。１つ選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

就労経験について、「以前は働いていた」が 94.0%、「今まで働いたことがない」が 4.7%となっている。

【性　別】

男性、女性ともに「以前は働いていた」の割合が 9 割を超えている。



問１７　退職理由

〔 問 16 で「1. 以前は働いていた」と答えた方にお聞きします〕
あなたが仕事をやめた理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

退職理由について、「定年」が 39.6%と最も高く、次いで「健康上の理由」(18.6%)、「家族の看護や介護」(14.6%)の順となっている。

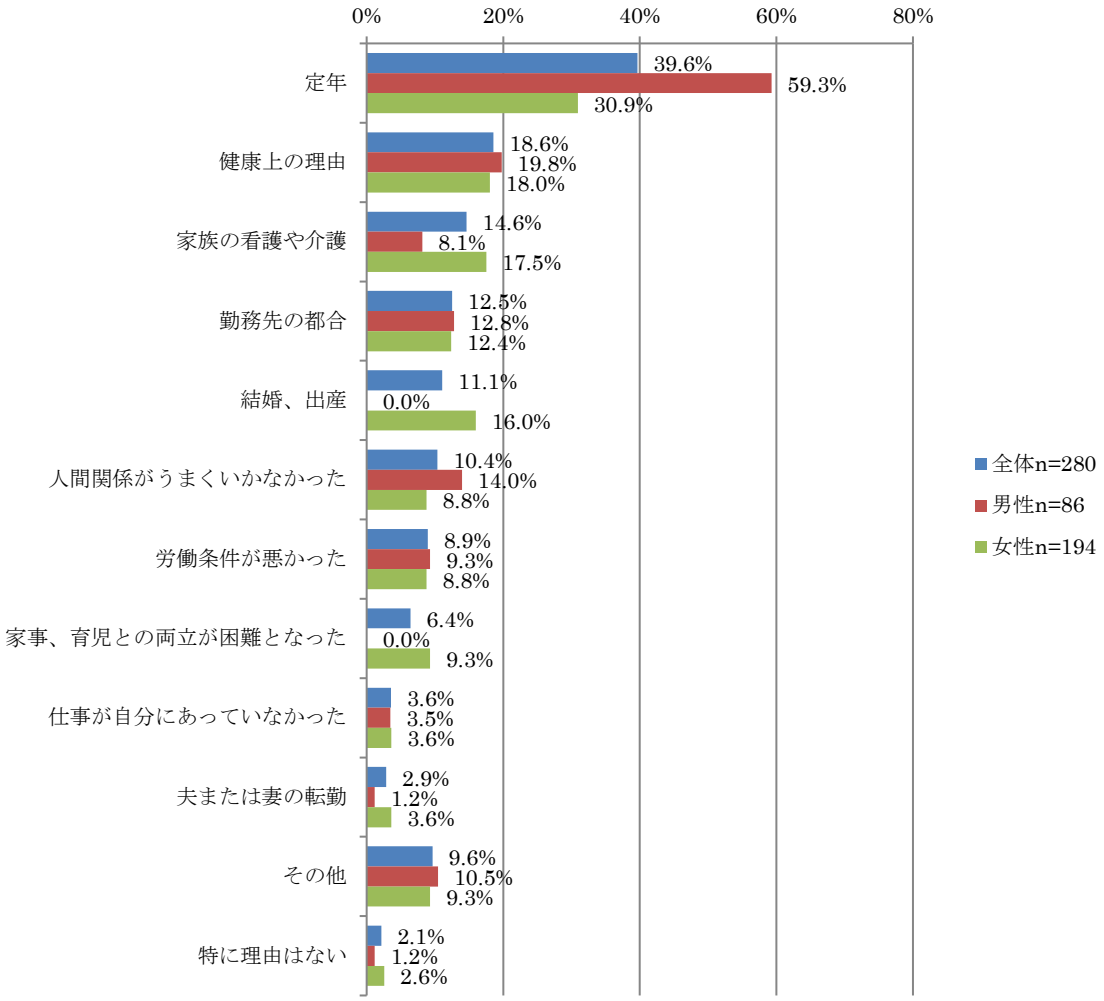
【性　別】

男性で最も多いのは「定年」(59.3%)、次いで「健康上の理由」(19.6%)、「人間関係がうまくいかなかった」(14.0%) となっている。

女性で最も多いのは「定年」(30.9%)、次いで「健康上の理由」(18.0%)、「家族の看護や介護」(17.5%) となっている。

【前回調査との比較】

前回、全体で５番目に多かった「家族の看護や介護」が３番目になっている。



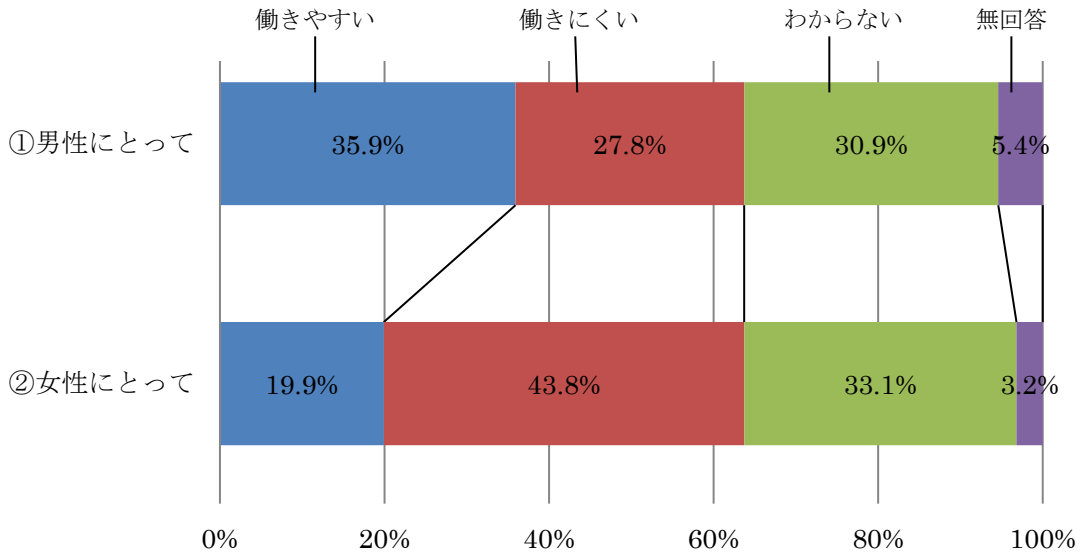
問１８　現代社会の労働環境

現在の社会は、男性と女性にとって働きやすい環境にあると思いますか。①②のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から１つずつ選んで番号に○をつけてください

【全　体】

現代社会の労働環境について、男性にとっては「働きやすい」の割合が高くなっており、「働きにくい」との差は 8.1 ポイントである。

女性にとっては「働きにくい」の割合が高くなっており、「働きやすい」との差は 23.9 ポイントである。



問１８　現代社会の労働環境

①　男性にとって

【全　体】

「働きやすい」が 35.9%で最も高く、次いで「わからない」(30.9%)、「働きにくい」(27.8%) となっている。

【性　別】

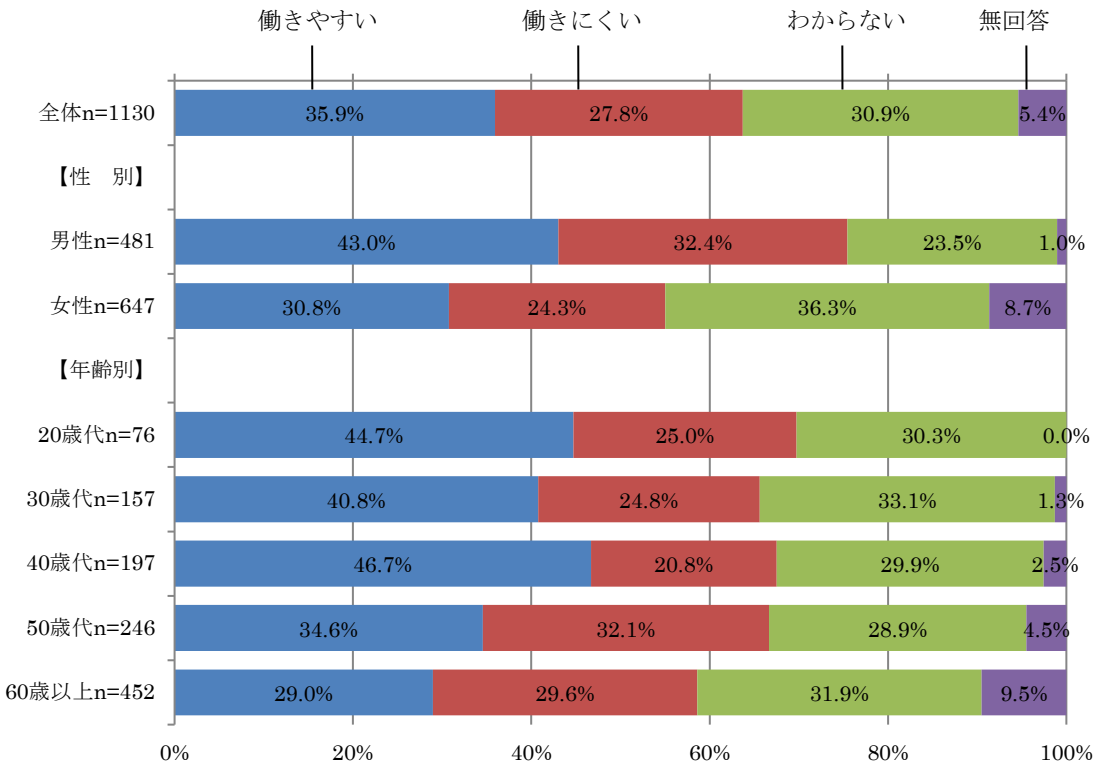
男性、女性ともに「働きやすい」の割合が高くなっており、男性は「働きやすい」が女性より 12.2 ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢が高くなるに従って「働きやすい」の割合が低くなる傾向があり、最も高い 40 歳代（46.7%）と最も低い 60 歳以上（29.0%）では 17.7 ポイントの差がある。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「働きやすい」が 3.3 ポイント増加、「働きにくい」が 5.0 ポイント減少している。



問１８　現代社会の労働環境

②　女性にとって

【全　体】

「働きにくい」が 43.8%で最も高く、次いで「わからない」(33.1%)、「働きやすい」(19.9%) となっている。

【性　別】

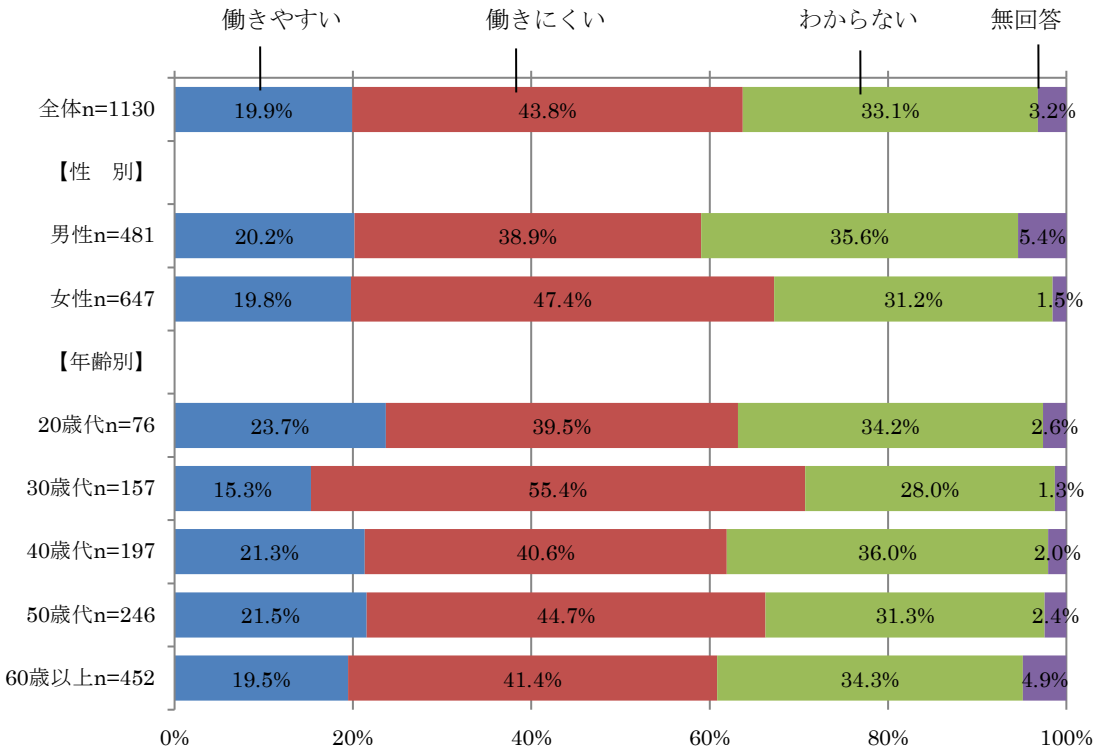
男性、女性ともに「働きにくい」の割合が高くなっており、女性は「働きにくい」が男性より 8.5 ポイント高くなっている。

【年齢別】

30 代で「働きにくい」と答えた割合が特に高くなっており、５割を超えている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「働きやすい」が 6.8 ポイント増加、「働きにくい」が 5.8 ポイント減少している。



問１９　男性にとっての働きやすい環境づくり

あなたは男性にとって、働きやすい環境づくりには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

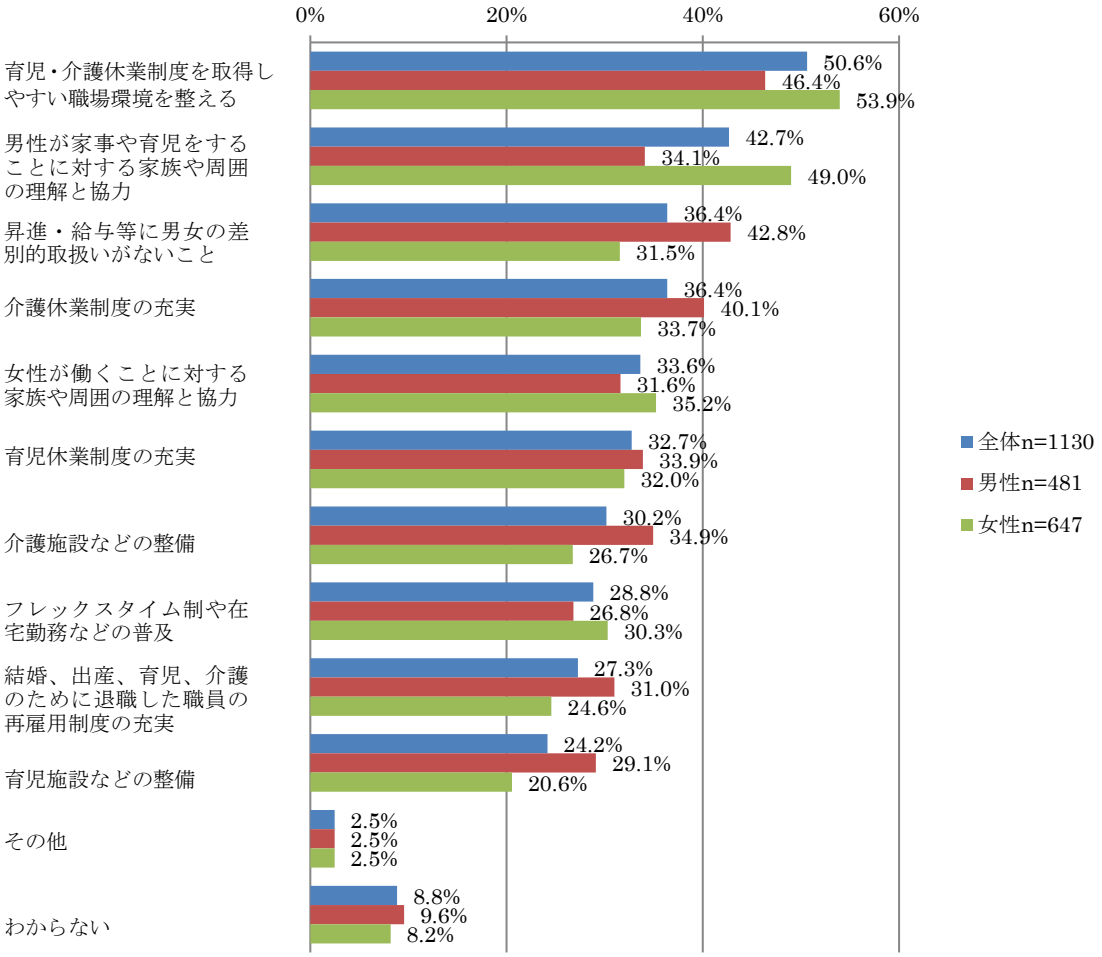
【全　体】

男性にとっての働きやすい環境づくりについて、「育児・介護休業制度を取得しやすい職場環境を整える」が 50.6%と最も高く、次いで「男性が家事や育児をすることに対する家族や周囲の理解と協力」(42.7%)、「昇進・昇給等に男女の差別的取扱いがないこと」「介護休業制度の充実」(36.4%)の順となっている。

【性　別】

男性は「育児・介護休業制度を取得しやすい職場環境を整える」が 46.4%と最も高く、次いで「昇進・給与等に男女の差別的取扱いがないこと」(42.8%)、「介護休業制度の充実」(40.1%) となっている。

女性は「育児・介護休業制度を取得しやすい職場環境を整える」が 53.9%と最も高く、次いで「男性が家事や育児をすることに対する家族や周囲の理解と協力」(49.0%)、「女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力」(35.2%) となっている。



問２０　女性にとっての働きやすい環境づくり

あなたは女性にとって、働きやすい環境づくりには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

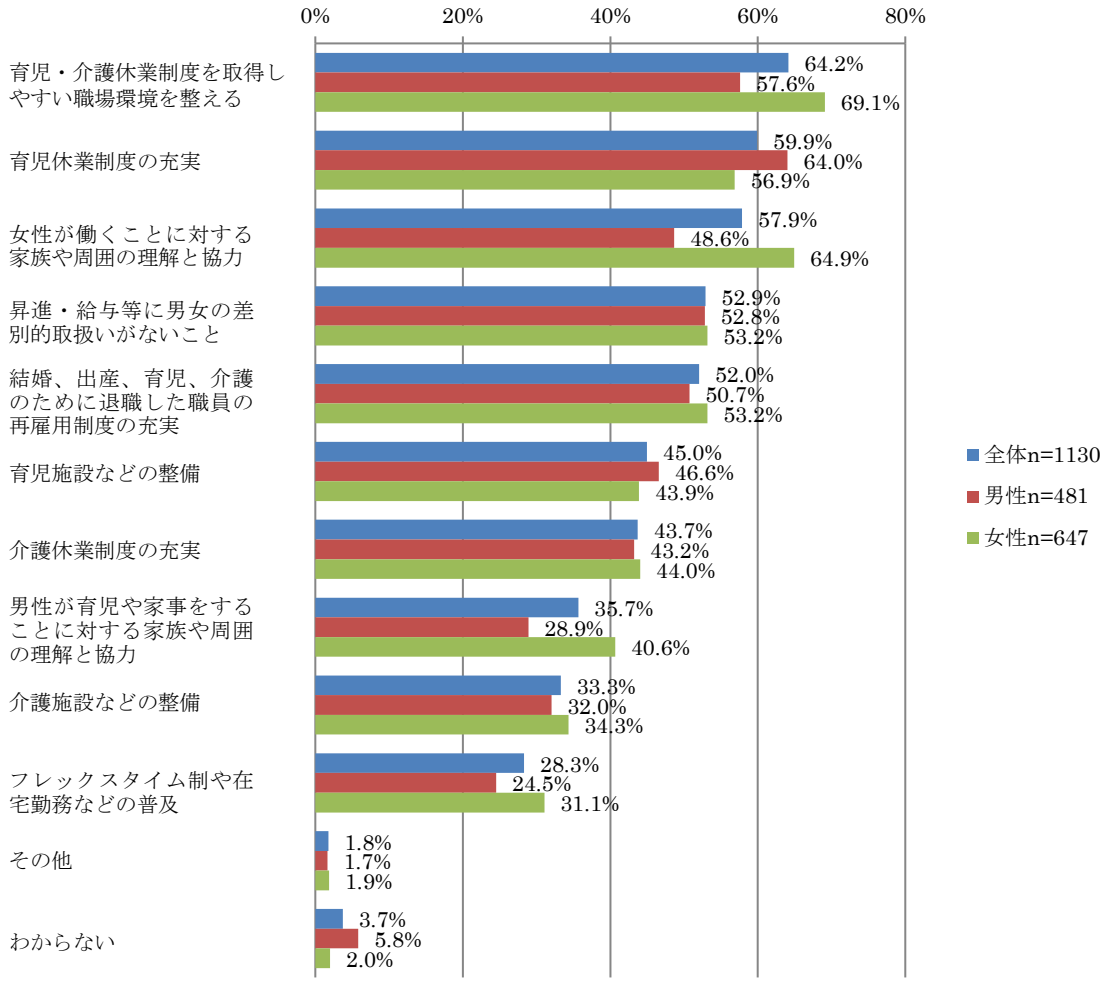
【全　体】

女性にとっての働きやすい環境づくりについて、「育児・介護休業制度を取得しやすい職場環境を整える」が 64.2%と最も高く、次いで「育児休業制度の充実」(59.9%)、「女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力」(57.9%)の順となっている。

【性　別】

男性は「育児休業制度の充実」が 64.0%と最も高く、次いで「育児・介護休業制度を取得しやすい職場環境を整える」（57.6%)、「昇進、給与等に男女の差別的取扱いがないこと」(52.8%）となっている。

女性は「育児・介護休業制度を取得しやすい職場環境を整える」が 69.1%と最も高く、次いで「女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力」(64.9%)、「育児休業制度の充実」(59.6%）となっている。



Ⅳ　男女の人権について

問２１　セクシャルハラスメントの被害経験

あなたは、セクシャルハラスメント（＝セクハラ、性的嫌がらせ）を受けたことがありますか。１つ選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

セクシャルハラスメント（以下「セクハラ」と記す）を受けた経験について、「ある」が 16.3%、「ない」が 75.0%となっている。

【性　別】

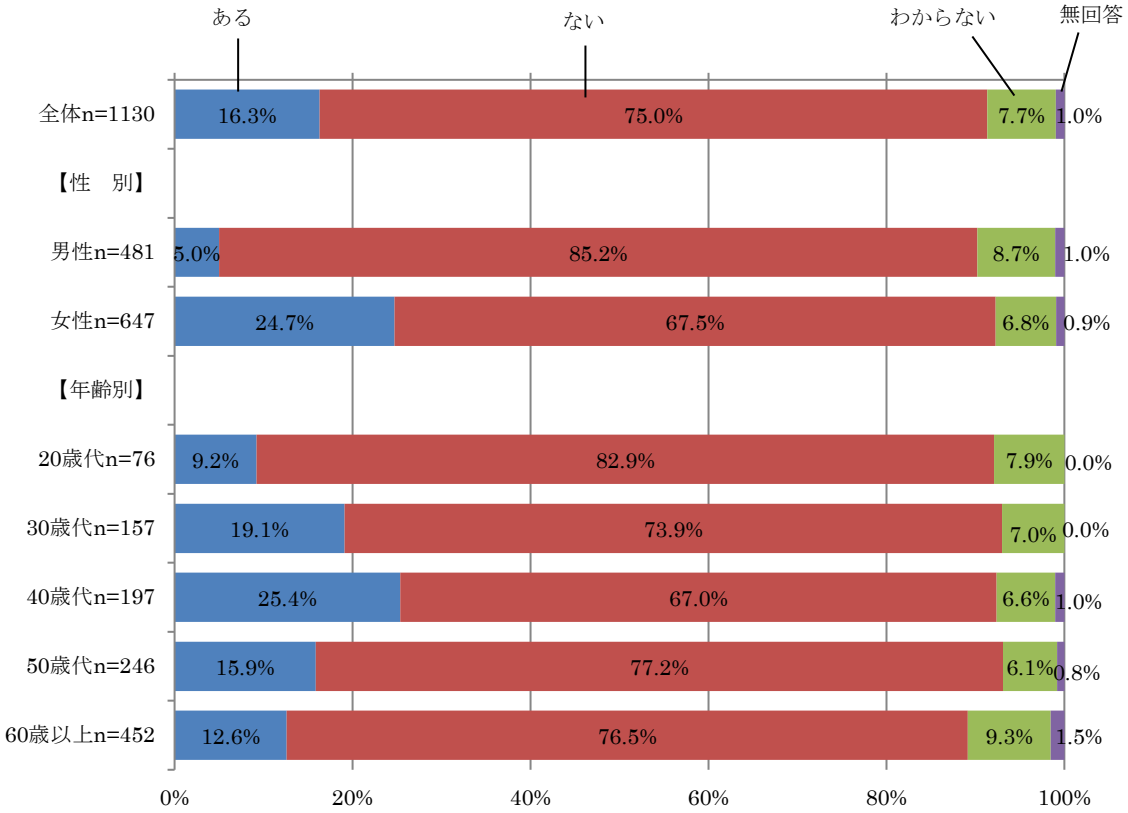
セクハラを受けた経験は、女性の方が男性より 19.7 ポイント高くなっている。

【年齢別】

「ある」は 40 歳代で 25.4%と最も高く、次いで 30 歳代（19.1%）となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「ある」が 4.0 ポイント増加している。



問２２　ドメスティック・バイオレンスの被害経験

あなたは、ドメスティック・バイオレンス（＝ＤＶ、配偶者やパートナーなどからの精神的・身体的暴力）を受けたことがありますか。１つ選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

配偶者等からの暴力いわゆるドメスティック・バイオレンス（以下「ＤＶ」と記す）を受けた経験について、「ある」が 12.7%、「ない」が 80.8%となっている。

【性　別】

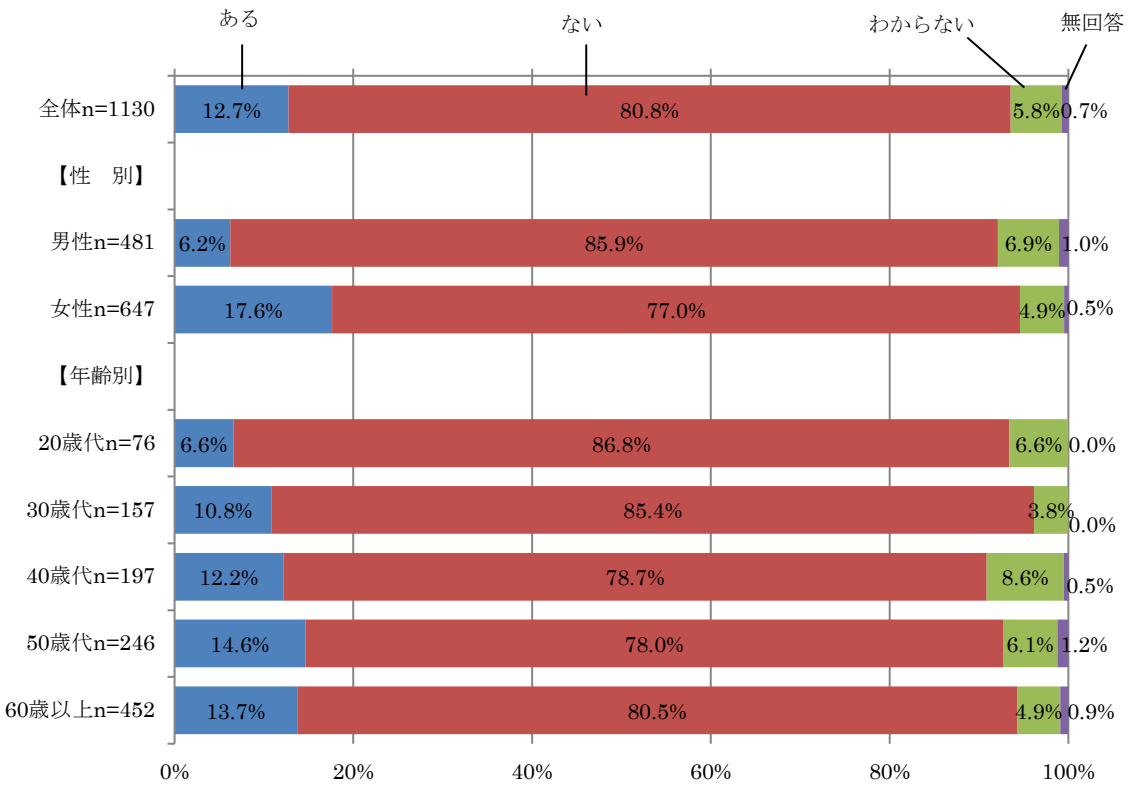
「ある」は、女性の方が男性より 11.4 ポイント高くなっている。

【年齢別】

「ある」は 50 歳代で 14.6%と最も高く、次いで 60 歳以上（13.7%）となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「ある」が 2.8 ポイント増加している。



問２３　セクシャルハラスメント、ドメスティック・バイオレンスの相談状況

〔 問 21 または問 22 で「1. ある」と答えた方にお聞きします〕
あなたはこのような行為を受けたこと（受けていること）を誰かに相談しましたか。１つ選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

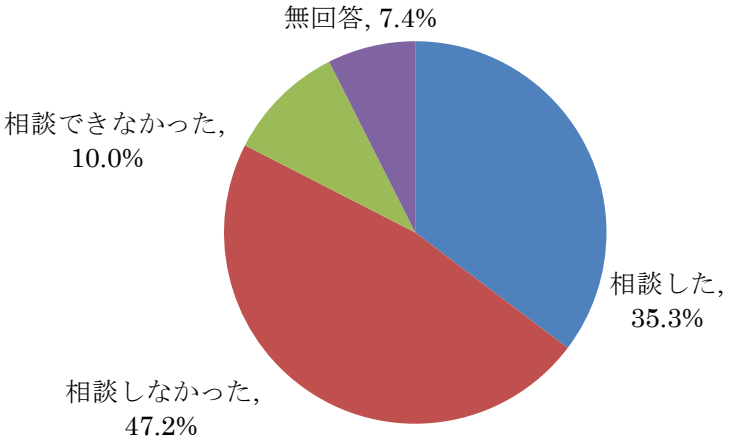
相談状況について、「相談しなかった」が 47.2%と最も高く、「相談した」(35.3%)、「相談できなかった」(10.0%)となっている。

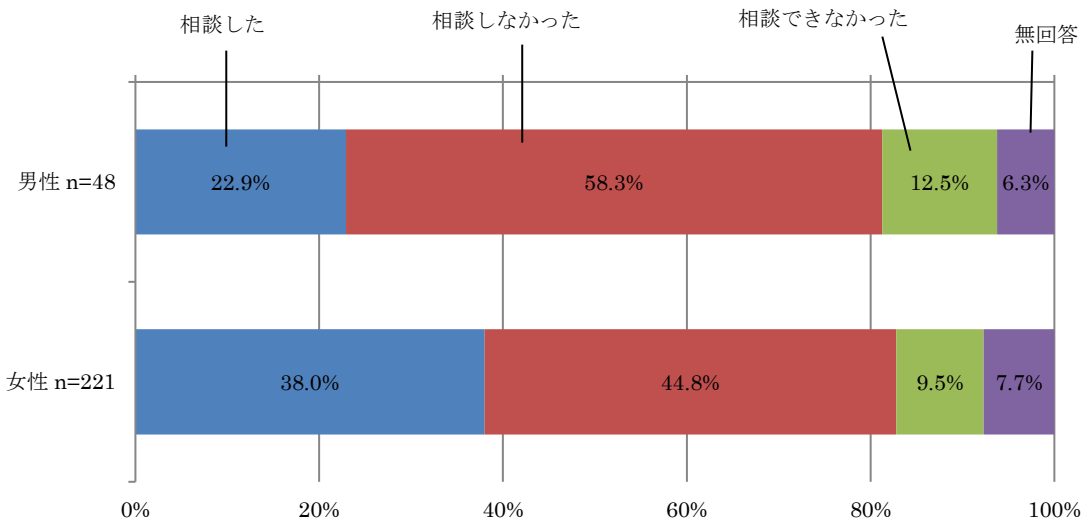
【性　別】

「相談しなかった」と答えた男性の割合が女性よりも 13.5 ポイント高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「相談できなかった」が 6.2 ポイント増加している。





問２４　セクシャルハラスメント、ドメスティック・バイオレンスの相談先

〔 問 23 で「1. 相談した」と答えた方にお聞きします〕
誰に（どこに）相談しましたか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

相談先について、「友人・知人」が 58.9%と最も高く、次いで「家族」「職場の上司、同僚など」(42.1%)の順となっている。

【性　別】

男性では「職場の上司、同僚など」が 72.7%と最も高く、次いで「家族」が 54.5%となっている。

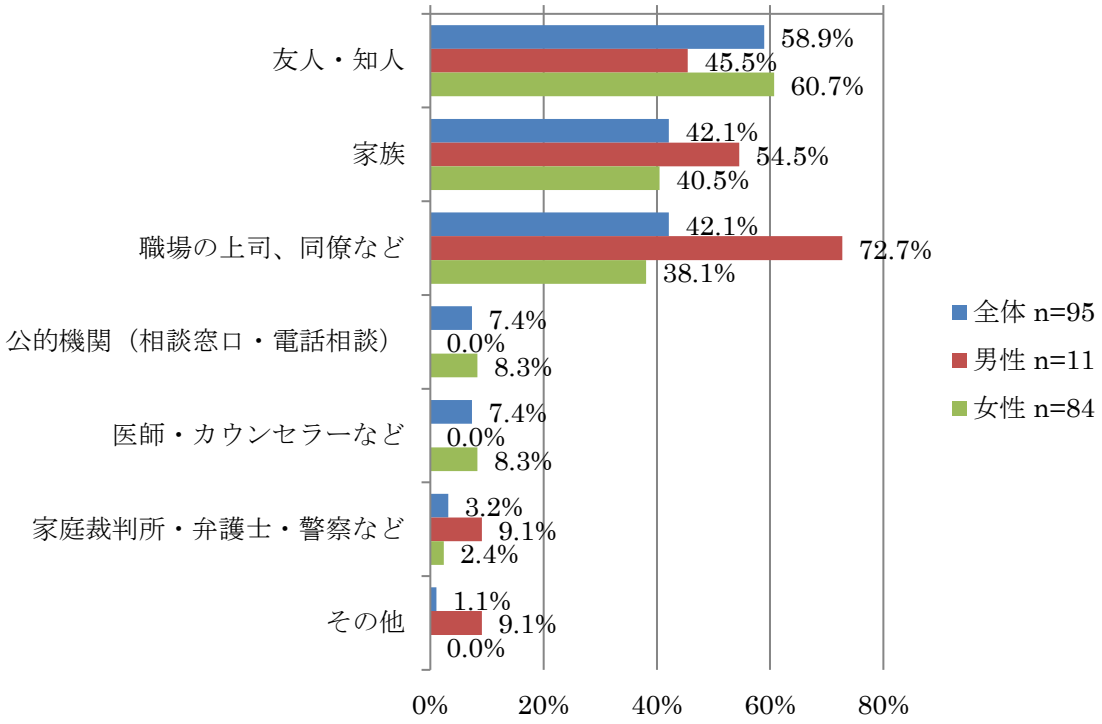
女性では、「友人・知人」が 60.7%と最も高く、次いで「家族」が 40.5%となっている。

男性で「公的機関（相談窓口・電話相談)」に相談した人はいないが、「家庭裁判所・弁護士・警察など」は男性の方が高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、「職場の上司、同僚など」に相談した男性は 45.4 ポイントと大幅に上昇していた。

前回調査同様、「公的機関（相談窓口・電話相談)」「家庭裁判所・弁護士・警察など」は低い割合にとどまっている。



問２５　セクシャルハラスメント、ドメスティック・バイオレンスを相談しなかった、できなかった理由

〔 問 23 で「2. 相談しなかった」「3. 相談できなかった」と答えた方にお聞きします〕
相談しなかった、相談できなかったのはなぜですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

「自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思ったから」が 43.5%と最も高く、次いで「相談しても無駄だと思ったから」(42.9%)、「相談するほどのことでもないと思ったから」(39.6%)の順となっている。

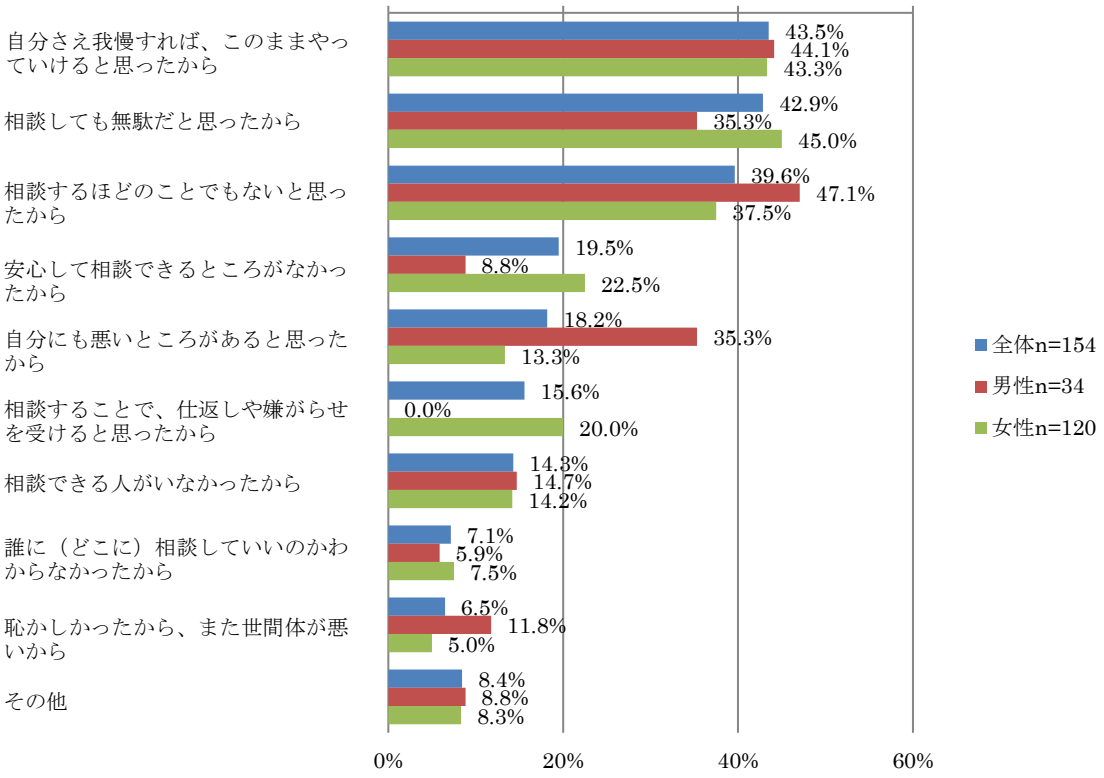
【性　別】

男性では「相談するほどのことでもないと思ったから」が 47.1%と最も高く、次いで「自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思ったから」が 44.1%となっている。

女性では「相談しても無駄だと思ったから」が 45.0%と最も高く、次いで「自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思ったから」が 43.3%となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「安心して相談できるところがなかったから」が 9.3 ポイント減少し、「誰に（どこに）相談していいかわからなかったから」が 5.6 ポイント減少している。



Ⅴ　男女共同参画社会に関する法制度等について

問２６　男女共同参画社会に関する法制度等の認知度

あなたは次の用語や法律などをご存知ですか。①～⑪のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から１つずつ選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

男女共同参画社会に関する法制度等の認知度について、「内容まで知っている」「聞いたことがある」の計が、「ドメスティック・バイオレンス」で 92.3%と最も高く、次いで「育児・介護休業法」(84.2%)、「男女雇用機会均等法」(82.1%) の順となっている。

また、「内容まで知っている」では、「ドメスティック・バイオレンス」が 55.0%と最も高く、次いで「男女雇用機会均等法」「育児・介護休業法」(26.8%) の順となっている。

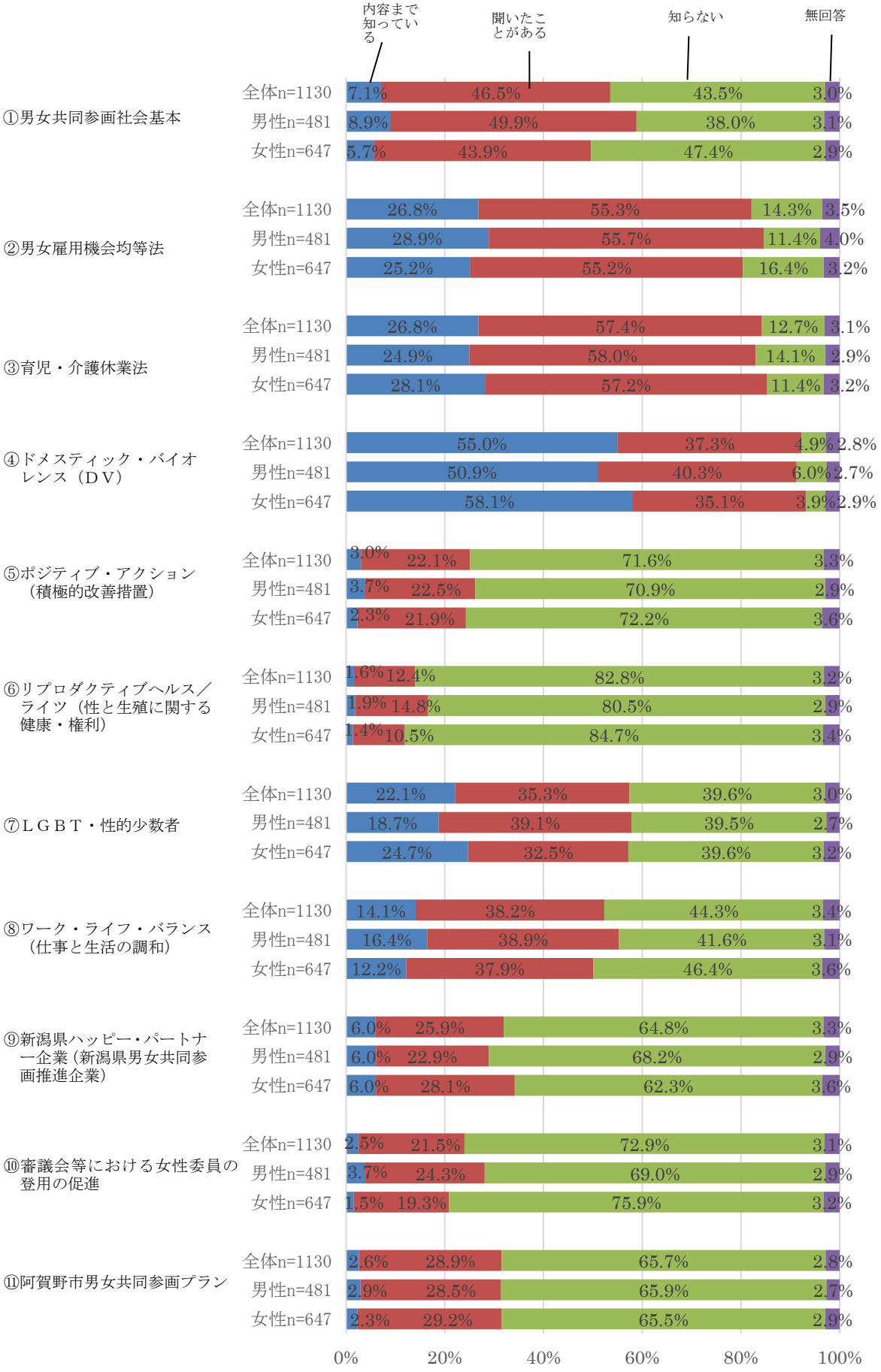
一方、「知らない」では、「リプロダクティブヘルス／ライツ」が 82.8%と最も高く、次いで「審議会等における女性委員の登用の促進」(72.9%)、「ポジティブ・アクション」(71.6%) の順となっている。

【性　別】

「内容まで知っている」と答えた割合が、「ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ)」で 7.2 ポイント、「ＬＧＢＴ・性的少数者」で 6.0 ポイント、女性の方が高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和)」を「内容まで知っている」と答えた割合が 7.8 ポイント増加している。


内容まで知っている
聞いたことがある
知らない
無回答
①男女共同参画社会基本
全体n=1130 7.1% 46.5% 43.5% 3.0%
男性n=481 8.9% 49.9% 38.0% 3.1%
女性n=647 5.7% 43.9% 47.4% 2.9%
②男女雇用機会均等法
全体n=1130 26.8% 55.3% 14.3% 3.5%
男性n=481 28.9% 55.7% 11.4% 4.0%
女性n=647 25.2% 55.2% 16.4% 3.2%
③育児・介護休業法
全体n=1130 26.8% 57.4% 12.7% 3.1%
男性n=481 24.9% 58.0% 14.1% 2.9%
女性n=647 28.1% 57.2% 11.4% 3.2%
④ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）
全体n=1130 55.0% 37.3% 4.9% 2.8%
男性n=481 50.9% 40.3% 6.0% 2.7%
女性n=647 58.1% 35.1% 3.9% 2.9%
⑤ポジティブ・アクション（積極的改善措置）
全体n=1130 3.0% 22.1% 71.6% 3.3%
男性n=481 3.7% 22.5% 70.9% 2.9%
女性n=647 2.3% 21.9% 72.2% 3.6%
⑥リプロダクティブヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康・権利）
全体n=1130 1.6% 12.4% 82.8% 3.2%
男性n=481 1.9% 14.8% 80.5% 2.9%
女性n=647 1.4% 10.5% 84.7% 3.4%
⑦ＬＧＢＴ・性的少数者
全体n=1130 22.1% 35.3% 39.6% 3.0%
男性n=481 18.7% 39.1% 39.5% 2.7%
女性n=647 24.7% 32.5% 39.6% 3.2%
⑧ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
全体n=1130 14.1% 38.2% 44.3% 3.4%
男性n=481 16.4% 38.9% 41.6% 3.1%
女性n=647 12.2% 37.9% 46.4% 3.6%
⑨新潟県ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）
全体n=1130 6.0% 25.9% 64.8% 3.3%
男性n=481 6.0% 22.9% 68.2% 2.9%
女性n=647 6.0% 28.1% 62.3% 3.6%
⑩審議会等における女性委員の登用の促進
全体n=1130 2.5% 21.5% 72.9% 3.1%
男性n=481 3.7% 24.3% 69.0% 2.9%
女性n=647 1.5% 19.3% 75.9% 3.2%
⑪阿賀野市男女共同参画プラン
全体n=1130 2.6% 28.9% 65.7% 2.8%
男性n=481 2.9% 28.5% 65.9% 2.7%
女性n=647 2.3% 29.2% 65.5% 2.9%
0%
20%
40%
60%
80%
100%

Ⅵ　阿賀野市での男女共同参画の推進について

問２７　男女共同参画の推進で市に期待すること

当市で男女共同参画を推進していくために、行政はこれからどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。３つまで選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

男女共同参画の推進で阿賀野市に期待することは、「女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける」が 50.8%と最も高く、次いで「保育、介護サービスの充実を図る」(49.7%)、「教育の場において男女共同参画社会に対する学習機会の充実を図る」(36.0%)の順となっている。

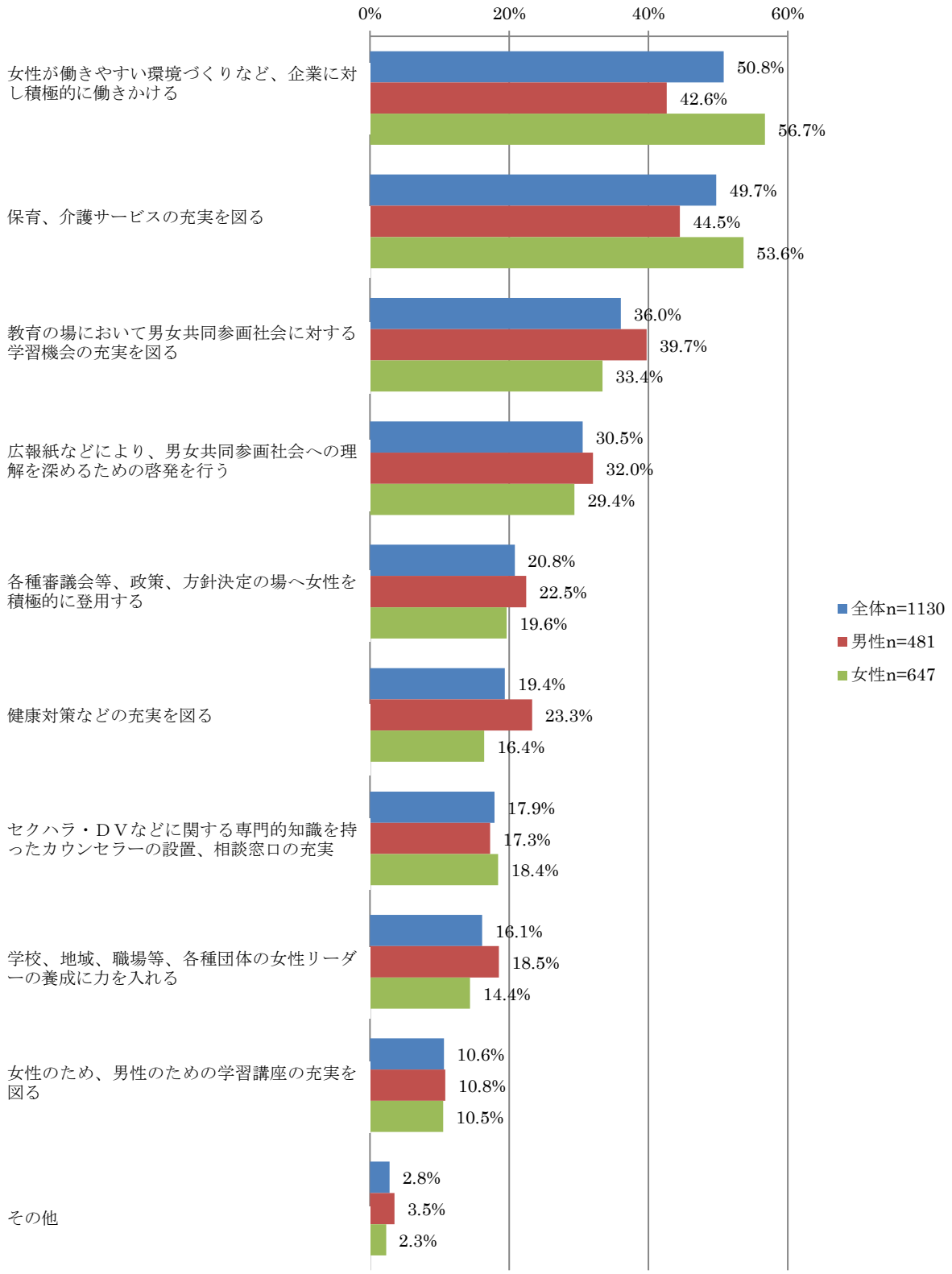
【性　別】

男性では「保育、介護サービスの充実を図る」が 44.5%と最も高く、次いで「女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける」が 42.6%となっている。

女性では「女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける」が 56.7%と最も高く、次いで「保育、介護サービスの充実を図る」が 53.6%となっている。

【前回調査との比較】

前回調査の３位「広報誌などにより、男女共同参画社会への理解を深めるための啓発を行う」と、４位の「教育の場において男女共同参画社会に対する学習機会の充実を図る」が逆転している。


0%
20%
40%
60%
女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける
50.8%
42.6%
56.7%
保育、介護サービスの充実を図る
49.7%
44.5%
53.6%
教育の場において男女共同参画社会に対する学習機会の充実を図る
36.0%
39.7%
33.4%
広報紙などにより、男女共同参画社会への理解を深めるための啓発を行う
30.5%
32.0%
29.4%
各種審議会等、政策、方針決定の場へ女性を積極的に登用する
20.8%
22.5%
19.6%
健康対策などの充実を図る
19.4%
23.3%
16.4%
セクハラ・ＤＶなどに関する専門的知識を持ったカウンセラーの設置、相談窓口の充実
17.9%
17.3%
18.4%
学校、地域、職場等、各種団体の女性リーダーの養成に力を入れる
16.1%
18.5%
14.4%
女性のため、男性のための学習講座の充実を図る
10.6%
10.8%
10.5%
その他
2.8%
3.5%
2.3%
全体n=1130
男性n=481
女性n=647

☆自由意見

性別	年齢	ご意見・ご要望
男性	20 歳代	女性の場合、出産・育児と仕事の両立が難しい方が多数だと思うので、育児に対するサポート(家庭や行政の）がもっと必要なのではないかと感じます。⇒特に共働きの家庭では育児サービスの面
男性	30 歳代	要望　中島町のミヤパーマ屋さんの丁字路にミラーを設置してほしい。左右が見えづらく、何度か危ない目にあっています。
男性	30 歳代	阿賀野市は農家が多く、地域においてのリーダーは男性が中心の社会。男女は平等であるべきですが、同時に公平でなければ、女性をもてはやすだけの社会になるのでは？子どもたちにとって、父・母の役割はとても大切です。やさしさ、きびしさなどそれぞれに一長一短があるので、その時にあわせて接する必要があるように感じます。何よりも子ども達にとって住みやすい市であってほしいです。市の職員さん、がんばってください。応援しています。
男性	30 歳代	アンケートの前に道路を修理することを考えた方が良いと思う。
男性	30 歳代	古い体質をなくし、阿賀野市発展に力を入れて欲しい
男性	30 歳代	男女平等の弊害もあると思うので、そこも考慮すべき
男性	30 歳代	問 11 に関して「家庭生活」と「地域活動」を同列に記載すべきでない。「仕事」より「家庭」を優先することはあっても「仕事」より「地域活動」を優先することはない。男女共同参画に関して女性のリーダーや女性の登用を促すのは間違っていると思われる、結局女性を特別視している事になる為、男女差別に変りない、男でも女でもなく同じ課題を与え、よりよい結果を出せる人を選ぶべき。
男性	30 歳代	仕事における男女共同参画では育児への支援が重要ではないかと思います。友人の話でも『育児が大変で社会復帰が難しい』と聞いたことがあります。また、高齢化社会のため、介護の支援も重要だと感じます。育児や介護を支援できる制度等の充実、また、その中で働きやすい企業があると良いと思います。
男性	30 歳代	アンケートを取ることは良いがアンケートが何にどの様に影響し、変化・改善されているかが全く不明。対象者、市民に対し結果をフィードバックすべき。結果不明ではやる意味がない！
男性	30 歳代	全体的に女性主義というか、フェミニズム思考の問が多く、恣意的に感じました。
男性	30 歳代	男性・女性問わず,『人間が人間らしく』生き、そして死んで行けるような市政を希望します。
男性	40 歳代	市長選や市議選でこの男女共同参画を推進する方を応援したいです。後、市でこうゆう男女共同参画なる物事体があるとゆうのが分からなかったので、広報誌などで民に理解あるようにしてほしいです。

性別	年齢	ご意見・ご要望
男性	40 歳代	子育てが素晴らしいものだという社会になるよう希望します。とにかく少子化の問題が先！！人がいなくなっては、参画を外国人に求めなければならない世の中に(阿賀野市に）なるのでは？
男性	40 歳代	イクメンという言葉が死語になるような位、男性の育児があたり前になるような働き方、周囲の考え、法体制などの環境になればよいと願います。
男性	40 歳代	男性と女性の違いを認め、平等ではあるが、同一ではないことを認識することが必要であると思います。みんな同じではありません。女性の社会進出はどんどん進めるべきで、希望者は管理職もどんどん増えていくと思います。
男性	40 歳代	男は男、女は女、なんでも平等なんてありえない。
男性	40 歳代	男だから、女だからという差別的な見方は変える必要があると思います。ただし男性の方がまたは女性の方が能力を発揮できる場面は、性差によってあっても良いと考えます。性差による特性の評価と差別が混同されない啓発が進むと良いと思います。
男性	40 歳代	聞いてもらえたから言えたから今後もさまざまな話を聞いてもらえたらうれしい。これからもよろしくお願いします。
男性	40 歳代	男女均等な世の中とは女性の地位向上だけではなく、働く人すべてを見据えた政策をお願いしたいです。
男性	40 歳代	阿賀野市が男女共同参画計画推進をもっと推し進め市民全体に共有し、具体的に進めてモデルケースを創るべき。阿賀野市が、全国のモデルケースになればよい。参加しやすい啓発活動をするべき。
男性	40 歳代	子育てのことですが、京ヶ瀬に住んでいると子どもの受験で経済的に妥協して『阿賀野高校』を受けさせてしまうが『阿賀野高校』を卒業してもその先の進路が限られてしまいます。阿賀野市から新潟市新発田市への交通の便が少し悪いと思います。交通の便、もう少し良くした方が良いと思います。
男性	40 歳代	少子化問題、子どもを産み育てるにあたって、金銭的にも環境にも不安があります。出産できる年代は限られています。その世代がやりがいを感じながら出産・育児に臨める制度を整えてほしいです。産休育休、子どもの体調不良による早退や欠勤などのフォローしあえる職場環境も、スタッフの意識改革も行われたらと思います。また、市主催の講座で子連れを原因に断られたという事例を耳にしました。子ども連れに対してもっと柔軟に対応していただきたいです。
男性	50 歳代	女性が不得意なことを男性がやり、男性が不得意なことは女性がやる。そのことをともに尊重しあえれば、差別ではなく、区別だと思う。これは人間に限らず、動物として当たり前のことだと思います。男女共同参画も、子育ても、介護も、セクハラやDVをなくすことも、すべてにおいて尊厳を守ることが大切だと思います。
男性	50 歳代	参考になるかどうか。大した考えもなく、すみませんでした。

性別	年齢	ご意見・ご要望
男性	50 歳代	男性女性がそれぞれ適した分野は積極的にその役割を果たすことが大切であると思う。一方で苦手とする分野もあることから、お互い理解、協力することが大切であると思う。男女平等、共同と言っても何でも一律に同比率とするのはいかがなものかと思う。
男性	50 歳代	このアンケートが有効に使われることを期待しております。
男性	50 歳代	私は、県外へ登山、マラソン大会に参加しています。県外のみなさまに色々親切に対応していただいております。例えば、どちらからお越しですか。または遠いところご苦労さまですなど。本当に男女問わずうれしくありがたい事です。県外にまた行きたいと気持ちになります。
男性	50 歳代	この意識調査で少しでも生活が変わることを期待します。簡単にはいかないと思うので、大変なことだと思いますが、担当のみなさまに頑張っていただきたいと思います。
男性	50 歳代	日本国昭和生まれは我慢が美徳と思っている。立場を勘違いしている人が多い。今も男性のほうが上だと思っている方が多い様に思う。ＤＶとかパワハラは当人が自覚がない方が多い。平和が毎日続くと良いです。笑顔がたくさんあると良いです。
男性	50 歳代	仕事がなければ人は集まらないので雇用対策し、人が集まれば結婚、出産になると思います。積極的な人は今まで通り、消極的な人の対策と対応を考えていければ良いと思います。
男性	50 歳代	他の自治体ではもっとさかんに活動していますが、この市では何を活動しているかわからない。
男性	50 歳代	未だに男女共同参画に理解を示せない高齢者世代が多くいることが妨げている要因である。社会に居て特に地域では男女共同参画は一定の理解は示しているものの圧倒的には中小企業が多く余裕が無いため進まない。政治において旧態依然とした考えの国会議員や政府与党の重鎮が全く理解を示していない。地方自治まで波及するすべもない。少子高齢化のうち、少子化は女性の育児環境が最悪である。働きたくても子どもを預けられないし、若者も結婚できないほど非正規就労者が多い。根本課題は、社会全体においてゆとりある世代が全体で支援できる仕組みづくりが急務である。国民ひとりひとりの責務でもある。『国敗れて山河有』でもよいが税収は福祉に使うべきでそのための増税はいとわない。国防や経済政策を減らしていくことが重要である。
男性	50 歳代	少子化が進む中、結婚の早期化子育ての安心化を進めるため、出産育児へのサポート、幼保育へのサポート、仕事への再雇用の促進など、進めていき子どもの増加を図り、１年２年ではなく 10 年 20 年 30 年後の阿賀野市のビジョンを推進してほしい。
男性	50 歳代	賃金水準の低い会社、低所得者の多い自治体では、男女共同参画まで頭が回らない、手が回らない状況です。男女参画に積極的に取り組んでいる会社に思い切って育児休業分の賃金を市から補助する等の施策でもうたないと、笛吹けど踊らずで、何も前進できないと思います。

性別	年齢	ご意見・ご要望
男性	60 歳以上	あまり市民に知られていないと思います。より具体的な行動をとった方がよいと思われます。
男性	60 歳以上	行政も企業もパートタイマーの雇用で経費を節減している。⇒優秀な人は、低賃金の為転職するか or100%力を出さない。⇒パートタイマーでも、例えば、月当りの総額を基に、正社員と同率のボーナスを支給する。⇒義務化すべき
男性	60 歳以上	全てではないけれど、一部に理解を示さない人がいる事が問題で、上に居る人の感覚の問題も多く作用するのではないかと思う。 現在、行政で取上げている問題で最上位にいる人間の自覚の無さ、私利私欲、悪い事を悪いと素直に謝れる人間になる事が大事であると思う。
男性	60 歳以上	昔の考えを捨てて、新しい感覚で未来指向に向かっていける様に、男女平等の社会を推進することが望ましい。
男性	60 歳以上	いろんな場面で啓蒙活動が大切と思います。
男性	60 歳以上	女性が元気で明るい社会は、間違いなく良い社会と思います。
男性	60 歳以上	まだ男女共同など、ことばだけで、推進などといっているだけで保守的な考えがあると思う。これからやらなければ。やるためになにか行動を起こすことが出来たらよいと思う。
男性	60 歳以上	アンケートを活用し、実際に行政に反映させられるのか、今までのアンケートはどうだったのか。阿賀野市がどういった行政をしていきたいのか具体的に具体的に市民に問うことでアンケートをしてみてはどうか。もっと市長を始め、議員、職員もおもてに出て、PR していかなければ、関心を持つ市民は、増えないと思う。
男性	60 歳以上	最近なぜこの様質問アンケートをするのか？
男性	60 歳以上	改めて意識調査をやらなければならないことそのものが残念。あたりまえのことがあたりまえでなくなっているのか。権利ばかり主張し責任を果たそうとしない人たちが大勢いる。　私自身も長年小学校でボランティア活動をしてきたが非常に充実していた（残念ながら廃校）子どもたちの賑やかな声が聞こえない地区は寂しい。
男性	60 歳以上	女性に対し、自覚と責任を持って欲しい。
男性	60 歳以上	市や各種団体の職員採用について、性別、年齢のワクを撤廃する動きをまず阿賀野市が率先して行う。　市議員、市課長以上の職の一定数を女性に割り振る。ワクを設けて女性進出、登用の足がかりにする。
男性	60 歳以上	今春、数年ぶりに東京へ、山手線の電車の中、通学の時間帯か、すべての乗客がスマホかタブレットに集中し、話し声もない。これが都会の現実である。昔は人間、人の間、現在はスマホや IC、失礼、止めます。私の年代では、理解できないことが多い、しかし子ども達の将来が、原発や異常気象、災害で不安がいっぱい。でも愛する家族、友人がいます！行政の皆様へ　道路や建物、施設も大事ですが本当は人作り、若者が活動、活躍できる場を作ってください！　私もスポーツをやりたい子ども達を応援しています。

性別	年齢	ご意見・ご要望
男性	60 歳以上	鶏･卵と同じで、保育施設、介護施設の充実が先決と思います。
男性	60 歳以上	自治会役員の女性参加
男性	60 歳以上	地域全体で思うことは、全体に意識改革が必要と思います。社会・家庭において、自己啓発を促す必要があります。男女平等を唱える前に自己の改革が必要と思います。
男性	60 歳以上	健康であれば参加したい
男性	60 歳以上	少子化を最優先に、考えてほしいと願っています。
男性	60 歳以上	男女共同参画自体が抽象的なイメージしかなく行政やお役所だけがひとり歩きしているようなきがしますが
男性	60 歳以上	1 日 8 時間・週 40 時間労働が徹底していれば、働き方改革などという国会審議などムダ時間でしかないが、日本では「建前と本音」が有り、制度は作るが、選挙が常に頭にあり、強制できないでいる。米トランプ大統領だって、中間選挙を意識してパフォーマンスに走るが、皆に読まれている。任期のある人との交渉では、無期限のキム委員長が非核化などするはずもなく、いいとこどりで終わるだろう。人口減は確定しており、財政面は厳しくなる。危機が切迫すると騒ぎだすが、そうなっては遅い。善良で支持が万全で、強固なハートの指導者がほしい。
男性	60 歳以上	祖父母、夫婦、子ども世帯が理想。子どもの問題、夫婦の問題、半減できると思います。
男性	60 歳以上	男女共同参画はゆっくりと。
男性	60 歳以上	男女共同参画については、男女の能力重視で、採用すること。国策の男女共同参画であるが、ゆえにただ女性を多用することの無きように願いたい。
男性	60 歳以上	共同参画も大事だが、もっと企業が阿賀野市に多くあってほしい。若い男女が都会にいかない市を希望します。
男性	60 歳以上	充実を図るとかが多々あるがどのように図るかをもっと具体的に記載してください。
男性	60 歳以上	公務員等国や県、地方自治体から積極的に広める強さと早さが強力的に重要である。
男性	60 歳以上	少子高齢化が急速に進むなか、子どもを安心して産み育てられる環境づくりが急務であり、その大きな柱の一つが男女共同参画推進だと思います。阿賀野市としても具体的な取り組みを市民に示し、目標達成に向けたロードマップ策定と実行が必要ではないでしょうか。
男性	60 歳以上	問 18 について　職種職場によって違う
男性	60 歳以上	核家族の生活が進み若い人たちは仕事上外で都市に住み田舎(実家)はさびれて自治大の活力も世帯が減りここを食い止めないと何も始まらない。こういう自治体に若い人たちがどうしたらとどまるのか。また県外を出るのかに繋がって行くのでは。人口減少に
男性	60 歳以上	アンケート結果をどの様に利用するのか、又、どの様に報告するのですか？市広報誌以外での市民へのアプローチは。

性別	年齢	ご意見・ご要望
男性	60 歳以上	体の仕組みなどでなかなか男女平等にはなりにくいと思います。なるべくお互いに助け合っていくのがベストではないでしょうか。
男性	60 歳以上	小さなころから男女共同参画の持つ意味を教えていく広報活動が大切かと思います。
男性	60 歳以上	夢と幸せをはぐくむまちづくりの実現に進んでいくには誰かが何かをしてくれるという期待して待つのではなく自分たちで何が出来るか何が嬉しいか個々が甘えではなく十分考えて取り組む事が大事だと思います。
男性	60 歳以上	男女の差別でなく、家庭でも企業でも適材適所を理解すべき！地本の人口減少の中、やはり企業誘致を図り活性化！２年も経っているのに（半分）、基礎資料のための意識調査ですか・・・？
女性	20 歳代	男・女共に平等で生活のしやすい市を目指すとともに、もっともっと阿賀野市を発展させる事に力を入れて欲しい。
女性	20 歳代	日本の男と女の役割意識がまだ根強い限りは、男女共同参画の推進は難しいと思います。（力仕事は、男性に頼りがちになってしまうのは申し訳ないが。）今日も、阿賀野市職の方達の中で、女性が男性の分の片付けを担っているのを見ました。もう当然のような空気がとても不快でした。（その女性達がどう感じているかは分かりませんが）まずは、この調査を行っている市の方々の意識が少しでも変わると良いと思います。
女性	20 歳代	阿賀野市で男女共同参画を重要視している感じがしていなかったので、もう少しアピールした方がいいかなと思いました。
女性	20 歳代	このような参画があることを今まで知らなかったので少し考えました。これからは、このことを頭の片隅におきながら生活していこうと思います。
女性	20 歳代	質問の正確さに欠ける。当てはまったり、当てはまらなかったりする場合に回答しづらい。働いているかどうかについて、学生でのアルバイト等、区別が明確でない。行ったからには有効な取り組みにして下さい。
女性	20 歳代	問 14～17 でアルバイトは含まれるか不明でした。問 17 の内容から正規職のみだと判断しました。労働面では、労働率が上がっていると聞くので、逆差別として女性優遇にならないようにバランスが大切だと思います。男女共に育児と仕事を両立できる環境づくりが少子化対策で最も重要だと思います。
女性	20 歳代	問 10②の質問について疑問があります。この文言では女性は家事育児をするべきもの、仕事をする必要はないが、する選択をしていると誤解しかねないと感じました。また「女性は仕事より家事育児を優先すべき」と「男性より女性が家事育児をすべき」といった２つの意味合いにとれるよう感じましたので、設問の作成の仕方としては不適切ではないかと思います。
女性	20 歳代	意識調査等は郵送よりインターネット等のほうがすぐ回答できてよいのでは。提出が遅くなり申し訳ありませんでした。
女性	30 歳代	権利が公平なのはいいことだけど、男女はどうしても違うものなので過度に一緒なのもやりづらさを感じる。

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	30 歳代	子育て世代に手厚い世の中を希望。 仕事復帰、育休、働きやすい社会、児童手当の増額、市税の減免。
女性	30 歳代	以前にくらべて保育園の利用がきびしくなったように感じる。 以前は、タイムカード？はなく、もう少し時間に余裕が持てたが、最近は預ける時間は〇時～〇時の間でそれを過ぎると 30 分につき 100 円となり、仕事が終わった後、バタバタすぎてイライラする事も多い。8 時間預かりと決めれらているのは仕方がないと思うが、通勤時間や距離もあるので、預ける時間を自分で希望できればもう少し時間にも心にもゆとりもてる気がします。
女性	30 歳代	子育てしやすい環境にしてほしいです。保育料無料や医療費無料。女性も(男性も同様)もう少し働きやすいと思います。 育休なども法律ではとって良いとありますが、あまりイイ顔はしてくれませんし、時短も断られました。そんな会社がまだまだあるので、会社側にちゃんと説明もしてほしいです(介護の仕事)。
女性	30 歳代	このような調査でのフィードバックがあるのか？　どのように見れるのか？　どのように知らせてるのか？
女性	30 歳代	主人だけの稼ぎではやっていけず、復職したいが保育園に入れず。生活が苦しい。毎日泣きわめく子どもと２人きりで金銭的余裕がない為家に引きこもる毎日。男の人は仕事へ行けば外に出れるし、人ともしゃべれる。女は家で話の出来ない子どもと誰と話すこともなく、子守と家事だけで毎日が過ぎていく。男の人は「子どもとずっと一緒にいられるから女はいい」と言う。少子化だから２人目、３人目を言われるが妊娠中も、出産時も、産んでからも女が犠牲になるしかないのか。「阿賀野市は子育てに優しい町」と期待していたが、保育園に入れず、復職できず、生活が苦しい。孤独。子育てに優しい町とは思えない。早く出て行きたい。
女性	30 歳代	男女それぞれが、「女って‥」「男って‥」と相手をさげすんだり、うらやんだりすること無く、お互いに尊敬しあえる人たちが増えいってほしいなと思います。
女性	30 歳代	出産、子育ての経済的負担がなくなれば、もう１人くらい子どもが欲しかった
女性	30 歳代	保育・介護サービスの充実を図るのはとても良いことなのですが、そこで働く人の負担も増えては意味がなくなってしまいます。保育施設・介護施設の人員も得られてから、サービスの充実を願います。
女性	30 歳代	とりあえず、保育料が安くなってほしい。
女性	30 歳代	第３次プランと知り、正直知らなかったので驚いた。偶然私も第３次アンケートに関わることが出来たので男女共同参画が世間に広まってくれると良いと思います。私の家は古い考えの方が多いので息子は産まれたときから『男なのだから家を守れ。墓を守れ』と言われ続けています。母親（私）には女が働くのなら家庭。家事を完璧にしろ、男を立てろ。女は話に入るなとまったく男女がともに参画していません。子どもたちが私の年齢になったときには阿賀野市が夢と幸せを育むまちになっていることを願っています。

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	30 歳代	男女の差が完全にフラットになる事は仕事においても家庭においても無いと思います。体や脳の作りが違うので、男性が得意な事、女性が得意な事はそれぞれです。男性が得意とする分野は男性が、女性が得意とする分野は女性が活躍する事は良い事です。ただ、男性だから、女性だからと性別を理由に活躍するチャンスをつぶすような事は良い事だとは思えません。男女で適切に活躍できる場はあると思いますが、個として活躍できない理由にしてはいけないと思います。子どもができても、奥さんも働かなければ食べていけない時代です。その場合は女性が子育て、家事もして仕事もするのでしょうか？男性だって子育ても家事もできます。男性が育休をあたり前のように取れる事になれば、子育ても楽になり、２人目、３人目もほしいと思うようになると思います。「男性が」「女性が」ではなく、みんなが自分にできる事を性別関係なくできる時代になると良いですね。
女性	30 歳代	女性と男性は別の生き物なので、それぞれの役割がちがって、あたり前のように思います。男性のようにバリバリキャリアを積みたい方がいる一方、子どもをゆっくり育てたいという思いをもつ者もいることを忘れないでいただきたいです。ただ、経済的な問題でそうできないことが多いと思います。子育て家庭に経済的な助けがあるともっと生めます。
女性	30 歳代	仕事の内容は正社員の男性と同等のことをするのに給料は男性のほうがまだ多いと感じる。女性もそれなりの仕事をしている人にはそれなりの評価をしていくべきだと思います。パートなど働く時間が短くても、それなりの仕事をしている人には少しでも賃金をあげるべきだと思います。
女性	30 歳代	女性の働きやすい環境づくり、求人等の広告など積極的に行ってほしいです。（仕事の数自体も増えていくにはどうしたら良いのか、行動していってほしい。）
女性	30 歳代	子どもが１歳になり、私自身も働こうと思った時、ハローワークでは子どもの預け先がなければ求人登録は出来ないと言われ、市役所からは求職登録をしていないと保育園の申し込み不可といわれました。身内でみてくれる人がいれば最初からお金のかかる保育園に入れようとは思いません。見てくれる人がいないから申し込みたいのに、この矛盾、主婦は働くな！と言われているように感じました。どうにかしてください。幸い、私のところは実家(片道 30 分以上)の両親が仕事午前のみだったため、両親に預け可能として求職登録できましたが、それもムリな人はどうしたら良いのですか??働きたくても働けない、預けたくても預けられない人は山ほどいると思います。
女性	30 歳代	子育て中の母親は、やはり子どもの行事を優先にしたい気持ちが大きいのに、休みづらい（休めるけど有給が少なく、結局稼ぎに支障が出る…）のが現状です。帰宅後の食事作り、子どもの世話、早朝からの家事…母親は当然のようにやっていますが、その労働への賃金はゼロです。子育て世帯にもっと手厚い処遇がほしいです。毎日忙しすぎて、いっそ仕事を辞めたいといつも思っています。でも辞めたら生活はできません。生活保護をもらっている家庭が裕福な暮らしをしている気がするのですが…。(←これは関係ないと思いますが)

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	30 歳代	すべて、偏見のせいだとおもいます
女性	30 歳代	「女だから、男だから」という意識は、今の若い人はそんなに考えてないと思う。年配の人が、昔的な考えだから、社会は結局変わらないと思う。子育ても、家事も地域のかかわりも、女性のほうが負担してるのに、仕事もしないとダメなんて。「男女共同参画」とかよく知らないけど、『こういうことしてます！』って言いたいだけなんじゃないでしょうか。そんな事より、京ヶ瀬地区の保育園入れないのでどうにかしてほしい。
女性	30 歳代	繰り返しになってしまいますが、女性が働きやすい等ではなく、働くすべての人が休みやすく等なって欲しいと思います。子育て中のフォローをする独身女性や男性に負担がかたよってしまうので。二児の母とし保育制度の充実よりも学校行事・部活の大会・病気の時等休みやすい社会になって欲しい。預けたいんじゃなくて、自分で見たいんです。病気のときは病時保育（そばにいてあげられない）、小学校になったら時短勤務が出来ない（成長がみれない）等寂しい制度と思います。
女性	30 歳代	育休後の復帰で、正社員からパートになるケースが多い。夜勤が出来ないなどの理由で。パートなのに業務責任が増えていく、（勤続年数が多いため）正社員の新人～中堅は収入あるのに仕事量･責任が少ない。割りにあわないと感じる。働きにくい、時間内に帰れることが少ない。
女性	30 歳代	知り合いの夫婦で育児のために奥さんの方が正社員からパートになった。やっぱり女性のほうがそうしないと駄目なんだなーと思った。
女性	40 歳代	阿賀野市は他の市町村に比べ、住みやすい所だと思います。しかし、職場や地域では当たり前のように男女差別の言葉が飛び交っているのも現実です。軽口で話している事でも、実際はショックを受ける人もいることを知ってほしいです。市役所の方は受け答えなど男女差別なくステキだと思います。他の企業も見習ってほしいですね。
女性	40 歳代	法整備や啓発活動等は進んできていると感じますが、職場・家庭・社会の中で実践していく上では、まだ充分とは言えない状況であると思います。 日々のお仕事、ご苦労さまです。そして、ありがとうございます。 今後も市民のため、ご尽力くださいますよう、お願いします。
女性	40 歳代	パワハラの相談窓口も阿賀野市内に設けて欲しい。
女性	40 歳代	以前、教育委員会へ相談（地域が少子のため、通学に不安を持ち、バス通学にしてもらえないかと相談したことがある。）（１学年に１人しかいないため）に行ったところ、男性職員２名の対応だった為、女性目線での不安や心配を理解してもらえなかった。阿賀野市で男女共同参画プランの策定を考えているなら市職員への相談もいろいろな目線で見れる女性もいた方がよい。世の中が変わっていく中で（無差別な殺人などが多くなった）不安も大きくなる子を持つ親の意見、心配も理解してもらいたい。

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	40 歳代	女性管理職、女性リーダー、女性委員など、”女性だから”という理由で選ぶべきではないと思います。男性であろうと女性であろうとその立場にふさわしい人を選ぶべきだと思います。阿賀野市は、おそらく 3 世代同居率が高い方だと思います。働く女性にとって同居しているといろいろ助かりますが、核家族で生活しているところと比べて、男親の育児･家事参加の意識が低すぎます。（実母が居るからやらなくてもいいと思っている）是非父親が学ぶ機会をたくさん作ってください。
女性	40 歳代	男女共同参画を推進する意図がよく分からない。社会に出ることだけを称賛することで心を痛める主婦がいることにも気づいて欲しい。社会にとっての財産となる子どもが健やかに育つことに貢献していることは素晴らしいということも是非行政からも広めて欲しい。
女性	40 歳代	意識調査も、こうやってアンケートするのも良いですが、阿賀野市は税金(市民税)が高すぎます。もう少し倹約してやれないものか?と思います。これから若い人が少なくなってきているのに、若い人の負担が、かわいそうです。もっと市民の税金を大切にしてほしいです。なんでも税金の使いすぎだと思います。だから阿賀野市の人口が増えないのです。
女性	40 歳代	私の職場や家庭では、男女の地位の差を感じることがあまり無いです。支店長は女性です。その下で多くの男性スタッフが働いています。女の下で働くのは嫌だと言う人もいません。家庭では男だから女だからというよりも、出来る人がやるという感じで、家事や子どもの学校、習い事等の協力をしています。親の世代では、男女の役割がはっきり区別されていましたが、若い人ほど男女差別の意識は薄いと思われます。教育や政策のおかげだと思います。
女性	40 歳代	問 27.①は、いいですね。若い子達の意識が変わってくるとよくなるでしょう。40 代後半の私は、男女差があって当たり前で疑問なく育っていますので。個人的には、このような内容でなく（参加）子どもを持った女性が必死に働かなくても、幸せにゆとりをもって生活していけるのが希望です。となると、男性が社会的に強くなることが必然ですが!?困ったものです･･･
女性	40 歳代	表向きは何をいいことをいっても男は仕事さえしてればいいと思っている男の多いこと。女が職場で任される事が増えても家庭での負担は減らない。まだまだ全体に浸透するには何十年もかかるだろうと思っている。幸せだと思うことの方が少ない。
女性	40 歳代	その人その人の会社や、育児などの考え方が違うため、一概に、このようなアンケートでは、結果は言えません。保育園に預けられれば、働くお父さん、お母さんは助かると思う。大きくなるにつれて、子どもにかかるお金は増える、子ども 1 人育てるための保障を国全体で、考えてほしいです。
女性	40 歳代	この安田地区は自営業(特に土木関係)が多いせいもあって、昔から男性優位が特に強く感じる。悪いことではないが、少子高齢も進んでいることもあるので、介護の面では男性に手伝ってほしいと思う。

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	40 歳代	何かを働きかけたところでどうなるものでもないと思います。”女性ももっと外へ出て”はいいのですが、その分女性の負担だけが増えていくばかりとしか思えません。どうすれば平等なんて実現できるのでしょうね。
女性	40 歳代	子ども達のいじめをなくす支援など、もっと安心できる様にしてほしい。
女性	40 歳代	仕事と生活の調和を図るための環境整備として、まずは、中小企業が社員、パートに有給を与えているかを徹底的に調査してほしいです。私の勤務先は有給は病欠、冠婚葬祭時のみ可という、いつの時代の話？という環境です。育休、介護休どころじゃありません。まずは、有給について、役所・商工会？労働基準監督署？と連携して調査、現状把握、改善してほしいです。よろしくお願いします。
女性	40 歳代	賃金が違うのがもう差別。事務仕事と外仕事・力仕事とは賃金が違いすぎる。力仕事してるから疲れる…事務仕事は楽だろう…との家庭での差別…えらいの？昔の男性社会世界がある限りムリ。
女性	40 歳代	子育ても大事だが、虐待にも取り組んだほうが良い。
女性	40 歳代	何事も子どもの頃からの「あたりまえ」を変えていかなければ社会は変わっていかないと思う。
女性	40 歳代	子育て支援は十分だと思うので(子どもの教育は充実させて欲しい) 介護支援をもっと充実させてほしい。介護のために仕事を辞める人が多く、生活できないで困っている人が多い。住民税を払っているのは同じなので何とかしてほしい。子どもや女性だけでなくお年寄りにもやさしい阿賀野市になってほしい。意識調査をすることはとても良いと思う。今後も行ってほしい。
女性	50 歳代	調査について　阿賀野市のみの実施なので、問３「どの地区に住まいか」の具体的な地区名を示す必要はあまりないと思う。（健康調査などは、地区別の傾向を知るために必要な場合もあると思うが、今回の調査には必要を感じない。問４・５について「職業の有無や既婚・未婚の有無」についても、男女共同参画のイメージアップからするとあまり必要でないと思う。その他　男女は体の性差もあることと、特性が違うと思うので、全部無理に共同・平等にしなくてもよいと思う。
女性	50 歳代	若い人と、その親や祖父母との考え方が違う。地域など、近所は特に、人の家の事を詮索しすぎる。田舎的である事が支障であると思う。お嫁さんが来ても、他へ出ていってしまう。若い人達が、まず、この阿賀野市に住みたいと思える事、そして、周囲が若い人達の考え方を認め、とり入れる心を持つ事。若い人達は、ちゃんと家事、仕事、教育において、共同参画的考えも持っている！！
女性	50 歳代	男女は平等であればよいとは思わないので、共同というスタイルで男性は男性の得意なことを、女性は女性の得意なことをやりやすく生活できれば、ありがたい。家事は女性がやった方が上手くいくと思うし、仕事は男性向きだと思う。お互いを尊重しあえば、いいだけのような気もしますが・・・。尊重しあえるような社会ができるといいですね。

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	50 歳代	現在、娘、孫と暮らしているが、孫が発熱して体調が悪いと、保育園を休まねばならず、その度に、会社を早退や休む事になり、有休が足りないこともあります。おひさまもありますが、医師の指示書、事前の申し込み等の手続きがあり、使いにくいのが現状です。もっと何かの時に見てくれる施設があると、休まなくてすむのではと思います。
女性	50 歳代	男女ともに働きやすく、住みやすい阿賀野市を作っていって欲しいです。今の若い子達、子ども達がこの町で住み続け、働き続けていけるようになって欲しいです。特によく聞くにが保育園の意味、働く人達の役に立っているのか？休日に預かってもらえなくなったと、共働きの若い夫婦が悩んでいました。保育園が時間や働く人たちのことを考えず、園の利益や都合だけで振り回すのは、いかがなものかと‥‥
女性	50 歳代	このようなアンケートはとても良いと思います。
女性	50 歳代	男女参画に限らず、市政に関心の無い方や、広報等に細かく目を通さない方も多い。その点、意識調査は良いことだと思います。又、市のいたるところに、市の目標を大きく目につきやすいように提示しておけばなお良いと思われます。例えば信号機の脇など。
女性	50 歳代	阿賀野市がより良くなるよう期待していますので頑張ってください。
女性	50 歳代	阿賀野市の工業団地に（今朝テレビで見たのですが）千葉県印西市のようなショッピング街が出来たらいいなと思いました。（その場ですべて生活用品の用事が足りる。）電柱がなく、電線は地下に埋めてあり、歩道の幅が広く、子ども達をつれて歩いても安心して歩けるとのことでした。
女性	50 歳代	日本人の国民性調査のように、「生まれ変われるとしたら、男がいいか、女がいいか」という設問もあったら、興味、関心が湧くのでは‥。
女性	50 歳代	男女共同参画について、今までも多くのアンケートを実施しているのではないですか？データ収集のためだけのデータは必要ですか？担当係が考えていることと、市民が考えていることに大きな違いは無いと思います。自信を持って施策を推進してください。
女性	50 歳代	今結婚しない人が多くなっていて、心のケアなど無駄に税金をかけず、介護などの心配なく仕事が出来れば良いと思います。
女性	50 歳代	男女の人権について、セクハラ、ＤＶに加えてパワハラも入れてもらえないものか
女性	50 歳代	阿賀野市に住んでいてこのような活動に取り組んでいることを初めて知りました。住みよい環境になることを願います。
女性	50 歳代	アンケートだけとってそれで終わりでなく、必ず実現する。させる。光であってほしい。結局は、男女平等と掲げてはいるが、男性のみの募集が目立つ。面接後の結果連絡でわかる。市内で働きやすい職場なんてあるのか。わからない。
女性	50 歳代	結婚して、阿賀野市に住むようになりました。地域や家庭では、まだまだ男性のほうが上･･･という考えが強くあると感じます。

女性	50 歳代	行政の施策等でどんなに働きかけても、現状は難しいと思う。個人主義になりすぎている今の社会は、男女の平等という課題より全く違うことに向かっている様な気がする。思い切って阿賀野市がすべてのモデルケースとなるような大胆なことをやってみるとか思い切ったことに期待したい。がんばれ!阿賀野市！！すべては早いうちに対応が必要。教育が大事。子どものうちから意識づけしていかないととんでもない日本になってしまわないか心配です。
女性	50 歳代	少しでも住みよい市となるようによろしくお願いします。ずっとこの市へ住み続けたいと思えるよう、長く働くことができるよう進んで行けますように願います。
女性	50 歳代	今回のアンケートに直接関係ありませんが、京ヶ瀬地区の保育園(こども園の)問題を早く解決していただきたい！お嫁さんが今年の 10 月育休明けで働きますが、孫の預け先がまだ決まりません！！
女性	50 歳代	男らしさ、女らしさという固定的なイメージにとらわれずというテーマが、いまひとつわかりにくいです。具体的にどのような状態をさすのでしょうか？家族の中において、女性が家事をするという割合が大半を占めています。いわゆるこれ事態が固定的だと思います。社会・仕事において、女性が能力があればドンドン出世するべきです。
女性	50 歳代	初めてでわからない所がありますが一応書きましたのでよろしくお願いします。今年始めてでしょうか？今までありませんでしたよね？ありがとうございました。
女性	50 歳代	この企画のトップを女性にしてほしい。
女性	50 歳代	現在生活してゆくうえで様々な問題があり老後のことが非常に不安である。男女共同参画の推進によりみんなで助け合い、阿賀野市内で認知症患者を減少させること、年金の不安を解消するための手段の構築、健康増進のための活動などを積極的に行って行くと良いと思います。
女性	50 歳代	セクハラについて、被害を受けた本人の申立てがない限り対応の手立てがないこと。周りにそれを認識している人がいても本人の申立てがないと何もできない状況にもどかしさを感じる。本人からはなかなか積極的に働きかけができない問題であることを行政が理解し、周囲からの事実確認により対応できるよう国へ働きかけて欲しい。
女性	50 歳代	何年か前にも同様のアンケートに答えた気がします。記入だけさせて、その結果がどうであったか？参考になっているのか？を発表してほしい。（この封筒に結果を同封するなどして）アンケートが少しでも役に立っているのか知りたいです。
女性	50 歳代	私は女ですが男女共同参加、共同参加といって女性を持ち上げるのではなく、能力があれば参画に採用すべきだと思う。
女性	50 歳代	男性の女性も差がなく働いていると思います。差があるというのを感じる場面にあまりあいません。
女性	50 歳代	子どもを医者につれていったり、看病するための充分な有給休暇を充実させてほしい

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	50 歳代	セクハラよりパワハラのほうが問題、体調不良、冠婚葬祭、嫌な顔をされ休みが取れない。育児休暇が取りやすいようにして下さい。何かにつけ査定の対象になると脅かす。民間企業以下のレベル、表だけでなく企業の裏の顔を良く見てください。働きにくいのは子育て世代だけではありません。嫌なら辞めても良いというやり方です。今時ひどすぎる。働きにくいのは企業に問題があるのでは？ハッピーパートナー企業に参加して終わりでは意味がない。
女性	50 歳代	若い 20～30 才はバリバリ働き始め 40～50 才は経済的にも心にも余裕がある。50 才～55 才はまだ安定しているが 56 才～60 才は将来定年を迎える不安と収入の見込み更年期の不定愁訴と配偶者への不満の爆発で予期不安に陥ることで楽しめない。せめてお年寄りや年金受給者はなんだかんだでサービスがあるが 60 才までの女性にもサプライズがほしいです。自分の家庭からではなくてタオルの 1 本でもうれしいかも。男女平等には絶対無理がある。平等ではなく女性優遇が大切だと思う。何とか手当てで還元してくれたりとか。女性が住みたい街阿賀野市とかになるといいですね。
女性	50 歳代	言葉遣いがキツイとへこみます。悪気が無い人が多いので人が傷ついているとは本人は思っていない男が多い。性格がいいのに言葉使いは大切だと思う。
女性	50 歳代	家庭の事情、経済的事情など、いろいろあるでしょうが、子育ては何よりも難しくとても重要なことだと思う。育児休暇は年くらいで何もわからない赤ちゃんを他人に預ける。もう少し長くママのもとに居させてあげたい。最近若い人が誰でもよかったと殺人を犯す、ひきこもる、仕事しても続かない、逆ギレする。幼児教育（心のケア）を大事にしてほしい。女性が仕事することは賛成である。
女性	50 歳代	今回のテーマとは違うかもしれませんが、ハッピーパートナー企業に市職員の方が民間企業に研修として 1 年でも働いてみると何かわかると思います。(アンケートの職業のところにも勤め人と書いてありますが、少し違うと思います)
女性	60 歳以上	男女共に尊重しあい、明るく、住みよい阿賀野市であります様、願っています。
女性	60 歳以上	生活しやすい社会になってほしいです。
女性	60 歳以上	誰もが楽しく仕事が出来る環境づくりが大切である。 若い人の考え方をとり入れた職場であってほしい。
女性	60 歳以上	企業の大小によっては、有給休暇が無かったり、ボーナス無しなど具体的には、出産後→有給休暇後→復帰しても未満児の保育料が高い、小児の病気で休むことで現場に迷惑がかかり正社員からパートへとならざるをえない事など差の大きさを感じます。
女性	60 歳以上	”男女共同参画”言葉だけが歩いている感じです。地域、家庭内においてほど遠い感じです。啓蒙運動をお願いしたいと同時に男女各々意識をしっかり持って男女参画の社会の到来を期待したいです。農村部は、まだまだ封建的です。
女性	60 歳以上	少子化は、本当に大変な社会問題だと思います。女性が働きやすく、家族が協力し合える社会、そして経済支援がとても大切かと思います。

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	60 歳以上	仕事をしながら子育てをした経験からは、子育ての期間はアッという間。職場でも家庭においても男女平等に近い考え方の環境にあり恵まれていた方だと思いますが、欲を言えば、もう少し子どもとの遊ぶ時間を持ちたかったと思い返しています。働く親もサービス業等、いろいろな職種によっては、夜間土日勤務があったり、親の子も無病息災とは、１年中行かないのが常で、そんなときの一時預かり、ファミリーサポート事業、学童保育や、病児保育などの時間を延長するなどさらなる充実を希望します。転勤や他県からの嫁入りなどや、シングルマザー、ファザーさんの家事サポートが得られない家庭も心配に思います。
女性	60 歳以上	少子化が進んでいることの一つは結婚できない人が多いこと、男女の会える機会がだんだん減っていること、収入が少ないこと。結婚しても収入がないと子どもを作らない人が多い。消費税は、本当に家庭に響く、廃止してほしい、我が家も買い物をしないようにしている。子どもがいるともっと大変だと思う。国の借金なんかチャラにすれば消費税もなくなると思っています。国民が一番喜ぶと思う。
女性	60 歳以上	住みよい阿賀野市になったら、笑顔が増えると思う。そうなって欲しい！！
女性	60 歳以上	男女共同参画の推進。大変良いことだと思います。しかし、セクハラなど一人一人の感じ方やクヨクヨ考える人などとても難しい問題だと思っています。（問 10）で答えたように、ともに働くことは良し考えますが、子どもを３歳までは、女性（母）がそばにいて愛情豊かに育むのがベストかと思います。その子どもと女性を大らかな愛情で、両手を広げ、包み守ることで男性は自信を持ち仕事に打ち込める社会になるのではないでしょうか。
女性	60 歳以上	そもそも男と女は最初から役割が違うのに、男女ともに働きやすい環境は難しい、特に中小企業では、ぎりぎりの人数で経営しているのに子育て中の女性では対応は難しい。
女性	60 歳以上	仕事によって、男女平等は違いはあると思います。以前勤めていた郷病院では、仕事柄、夜の当番など男女平等でした。その時々に応じて、お互いに思いやり、協力し合っていれば、男だから女だからといった差別はなくなると思います。仕事の出来る人は男でも女でも役職につければ、その組織にとって良い方向にいくのではないかと思います。まず男性の「女は下」という考え方を変えるのが先だと思います。女でも男より優秀な人は、いっぱいいます。
女性	60 歳以上	大人世界もいじめや嫌がらせがあると聞きます。本当に心から楽しく信頼しあえる社会が出来れば良いと思います。
女性	60 歳以上	現職ではないので自分なりの体験です。また、知人、親戚等の様子から思うところを記入しました。高齢社会 60 代になったら更に男女一緒が良いと考えます。様々な講演会参加する。楽しめること企画したらと

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	60 歳以上	各世代間で男女共同参画に対して意識の開きは相当大きいと思います。時代の変容と共に社会，文化の意識、人の意識は、時代，時代によって変化してきました。今この時代最も求められるのは、男女の意識の平等化であろうと思われます。男女の性差をはっきりと決定し、その上での男女共同参画運動であれば実り多い結果がでると思います。男女の性差をはっきりさせ、そこを出発点としなければならないと思います。
女性	60 歳以上	男女共同参画の推進等について、何もしないよりは良いかもしれませんが、H28 年から今日までに、どこか、何か変化はあったのでしょうか
女性	60 歳以上	どれ１つを頑張って取り組めば良くなるものではなく、全方面の多くの問題を頑張って行く必要があると思います。
女性	60 歳以上	大変勉強になりました。これからも阿賀野市の発展に期待してます。ありがとうございました
女性	60 歳以上	若い方たちの意見を参考に地域の声をまとめとりあえず何かひとつでも行政が行動してくれないと何も変わらないと思います。60 過ぎた私でも、協力が出来るならなんでもして住みよい地域にしたいと思います。
女性	60 歳以上	この問題は、人の内にある女性蔑視があるのではないか
女性	60 歳以上	少し質問が多くて最後まで息が続きませんでした。アンケートも必要かもしれませんが実行あるのみです。
女性	60 歳以上	問 10 の⑤、１は１歳ぐらいまではそう思う。60 歳以上になりおだやかに過ごしたい反面、健康面、金銭的な面で不安はいっぱいいあります。今のところ元気で働ける事に感謝します。
女性	60 歳以上	私が思っていたよりも「ハッピーパートナー企業」に登録している企業が少ない。登録が少ないのは、経営者の教育に力を入れる機会が少ないのではと思う。阿賀野市は零細企業が多く、働きやすい環境づくりへの取り組みにいたるまでの余裕がない企業も多い市ではないでしょうか。
女性	60 歳以上	北欧スタイルをＴＶなどで見ると、24H保育、子育て中は男性でも 4 時に退社して子ども送迎後、買い物、夕食作りなど･･･家族が一緒に食事出来る事が基本だと思うが、シフト勤務など社会情勢が変化している状況の中で、時間給の取り方、長期休暇の取り方など、難しいのが現状。せめて子どもが中学生位迄は、きちんと向き合って暮らしていける環境になってほしい。子育て日本一を提げている阿賀野市、もっともっと世界に目を向けて、小さな町だから取り組める仕組を模索してもらいたい。
女性	60 歳以上	家族が病気になった時に仕事と家族の両立のむずかしさはどうですか？
女性	60 歳以上	子どもは日本の宝です！子育てに関わる支援の充実（児童手当・子どもの扶養手当の増額など）市職員の給与の減額（財政難なのに市職の職員の給与は安定している！）下水清掃は、町内別で行うのではなく、市が一括して行う。(高齢化しており、体力的にも下水清掃は負担が大きすぎる)

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	60 歳以上	教育の現場において、頭のやわらかい若い学生達に、こうした学習の機会を与えることも大切ではないかと考えております。
女性	60 歳以上	このような調査は初めてなのでしょうか？少しでもかなうと良いのですが、ありがとうございました。※仕事の給料のことですが、男女共に仕事の出来栄えで判断してほしいところです。
女性	60 歳以上	最近は女性にも働きやすい環境になってきたと思う。男性(若い）も家庭の仕事をしている。女性の方が強くなりこれからは同等になっていくことと思う。親の介護も男性も自分の親は嫁に頼らず行われなければならない時代。一昔みたいに嫁のつとめという時代は終わったように思う。
女性	60 歳以上	若人の元気さが見えません、期待したいです。
女性	60 歳以上	女性が子育てしながらでも、社会や職場に最っと参加できるような環境作りに努力していってもらいたいです。
女性	60 歳以上	昔より随分変わったと思っています。しかし、自分の子どもたちの今の社会(働いている職場・家庭）は子どもたちの意識に社会がおいついていない。世間の常識はずい分かわっているのに組織(会社、団体)がおくれていると思う。学校教育はずい分かわってきたので一人一人の意識は高いのに現実社会は遅れている。なぜでしょう？リーダー的な存在、50 才～70 才ぐらいの人たちが昔の考えからまだ変われていないのではないでしょうか
女性	60 歳以上	男女平等を常に考え、古い保守的な考えをなくす努力を、国も自治体もすべき。住民も意識することだと思う。
女性	60 歳以上	私は 70 歳近く、この文書の内容にあまり良く答えることが出来ず、申し訳ないと思います。働き盛りの人の意見を聞いたほうが良いと思います。多分無差別に選んでいると思いますが一言。
女性	60 歳以上	未来の子どもたちのために、すみやかな施策が必要。
女性	60 歳以上	男女お互いに出来ること、出来ないこともあると思うが、尊敬出来たらいいと思います。
女性	60 歳以上	共同参画の推進と離れますが、せっかく運動器具が市内の各所にあるのだから毎日指導者を立てて 1 年を通じて最低週 1 回は定期的に運動するようにすると医療費も少なくなると思います。（新発田市で週一で取り組んでいる）自治体とライザップが合体、合同で市民の健康に取り組んでいる情報もあります。短期の運動はあまり為になりません、長期計画で！全国的に各地で災害が発生しています。体育館にベターと避難していますがスフイア基準を取り入れて避難者の保護をしてほしい。修学旅行で東京のキッザニアで職業体験させることもよいのでは！今後は大人の体験も出来るようになるかもしれないらしいです。今の子どもは何も体験しないまま、ゲームや勉強をさせられている
女性	60 歳以上	少しずつ良い事を取り入れて変わって行くことを願っています

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	60 歳以上	まずは女性が安心して働ける場所がなければ人口も増えないし、この市に衰退と思えないと・・・。この市に住みたいとづーと孫、子が続いていけるには、どうしていったらいいか原点が大切ではないかと思います。
女性	60 歳以上	様々な面で豊かな阿賀野市であることを願っています。
女性	60 歳以上	男女共同参画の推進と云う名のもとで税金をしぼり取ろうと云う事？出産した母親には十分子育てしてもらい、お父さんには給料をたっぷり払える世の中にする事が先決である。無駄使いしないで!!税金は収入の低い人にはもっと下げる事消費税も反対。庶民の楽しみ公園の整備し、いつでも誰でも老いも若きもほっとできる癒しの場とかドックランも必要であろう。税金の掛ける所が間違ってると思う。考えてほしい！
女性	60 歳以上	男性と女性が完全に平等になるわけないです。全部平等じゃなくていいと思うし、それなりに違いがあってもいいと思います。ここ（それなり）を決めるのが、行政で政治では。
女性	60 歳以上	男女共同参画？よく理解できません。教育費がかかるので共働きしているのに介護が必要になった親を施設に入れ年金で不足分を払ってると生活が厳しいとの声がきかれます。介護問題に力を入れて欲しいです。
女性	60 歳以上	男女共同参画についてよく知らない事ばかりですが、とても良いことではあると思います。　私のところに同じ封筒（アンケート用紙）が２通届きました。

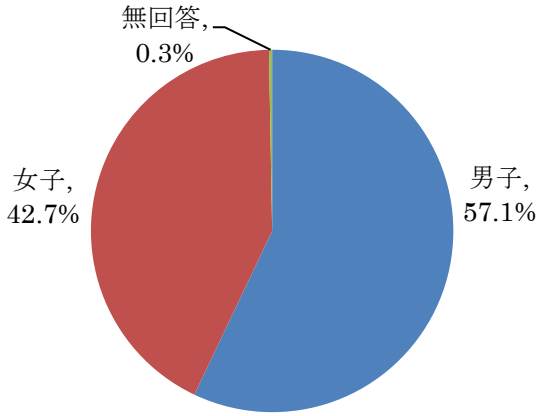
第３章　児童・生徒意識調査

Ⅰ　回答者の属性

（１）性別

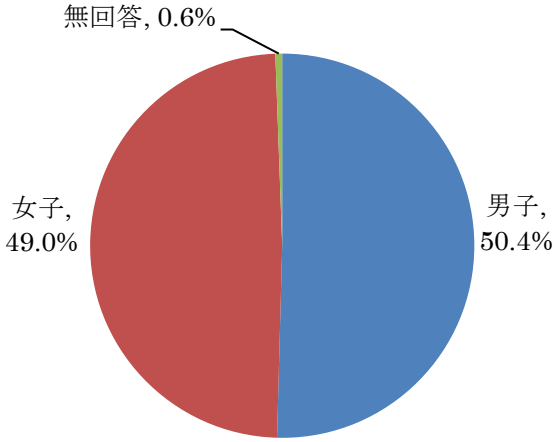
【小学生】

	人数	割合
男子	202 人	57.1%
女子	151 人	42.7%
無回答	1 人	0.3%
全体	354 人	100.0%



【中学生】

	人数	割合
男子	176 人	50.4%
女子	171 人	49.0%
無回答	2 人	0.6%
全体	349 人	100.0%



Ⅱ　性別役割意識に対する大人の影響について

問２　「男だから、女だから」と言われた経験

あなたは今までに、「男なんだから〇〇しなさい」「女なんだから〇〇しちゃだめ」と言われたことがありますか。１つ選んで番号に〇をつけてください。

【小学生◆全体】

「よく言われる」と「時々言われる」を合わせた割合(以下「言われる(計)」と記す)が37.3%、「言われたことがない」が43.5%となっている。

【小学生◆男女別】

「言われる(計)」という男子が36.7%、女子が38.4%であり、女子の方が男子より1.7ポイント高くなっている。

【中学生◇全体】

「言われる(計)」が58.7%、「言われたことがない」が24.1%となっている。

【中学生◇男女別】

「言われる(計)」という男子が44.3%、女子が74.3%であり、女子の方が男子より30ポイント高くなっている。

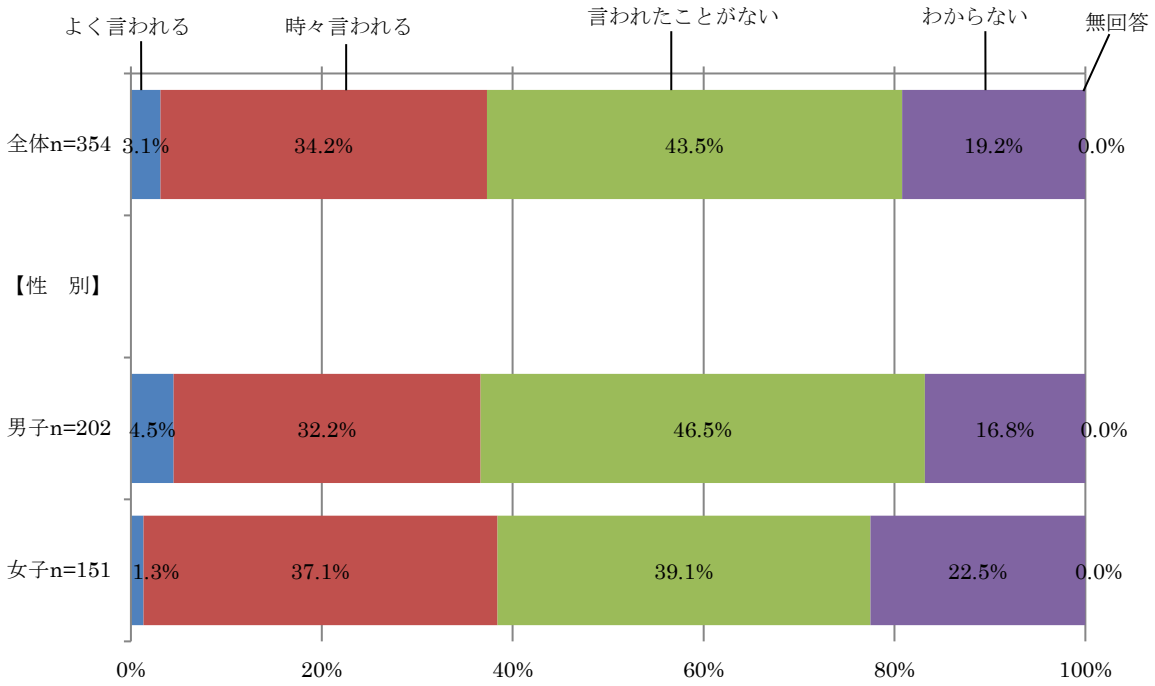
【小学生・中学生の比較】

「言われる(計)」は、中学生の方が小学生より21.4ポイント高くなっている。

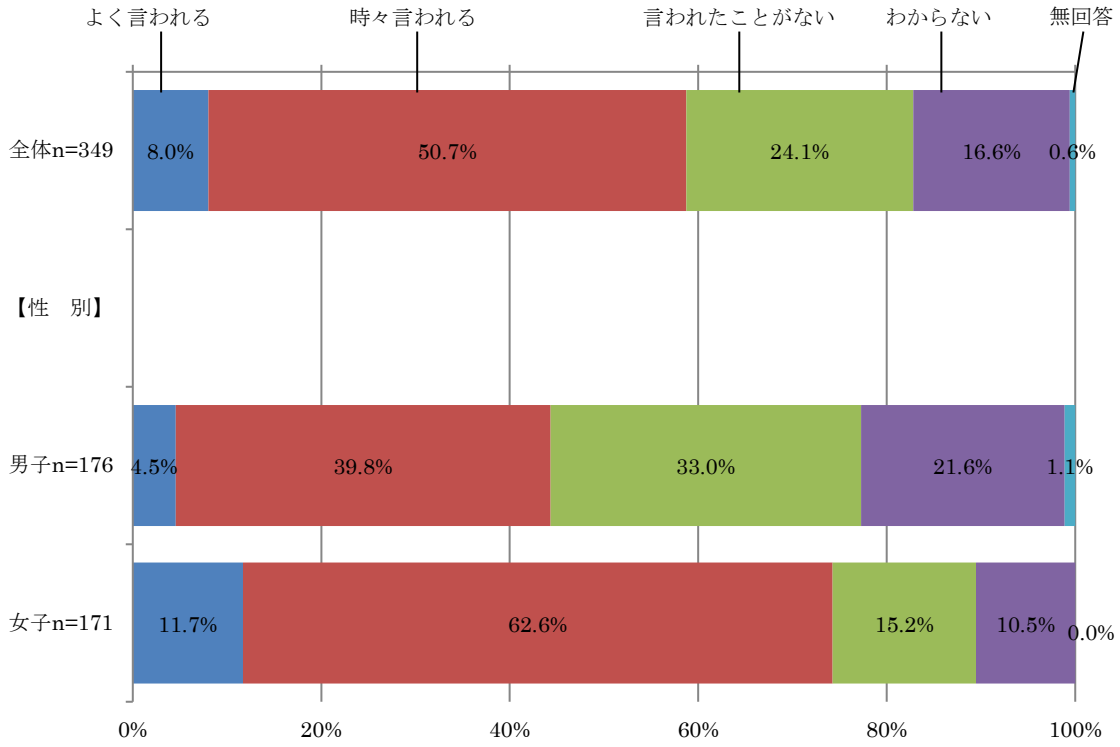
【前回調査との比較】

前回調査と比べて、小学生は「言われる(計)」が5.5ポイント減少し、中学生は3.7ポイント増加している。

【小学生】


よく言われる
時々言われる
言われたことがない
わからない
無回答
全体n=354
3.1%
34.2%
43.5%
19.2%
0.0%
【性　別】
男子n=202
4.5%
32.2%
46.5%
16.8%
0.0%
女子n=151
1.3%
37.1%
39.1%
22.5%
0.0%
0%
20%
40%
60%
80%
100%

【中学生】


よく言われる
時々言われる
言われたことがない
わからない
無回答
全体n=349
8.0%
50.7%
24.1%
16.6%
0.6%
【性　別】
男子n=176
4.5%
39.8%
33.0%
21.6%
1.1%
女子n=171
11.7%
62.6%
15.2%
10.5%
0.0%
0%
20%
40%
60%
80%
100%

問３　「男だから、女だから」と言われる内容

〔 問２で「①よく言われる、②時々言われる」と答えた方にお聞きします〕
それはどんな時に言われましたか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

【小学生◆全体】

「泣いたとき」が 26.5％と最も高く、次に「ことばづかい」(25.8％)、「お手伝い」(19.7％)の順となっている。

【小学生◆男女別】

男子では「泣いたとき」が 44.6％と最も高く、次に「お手伝い」(18.9％)、「ことばづかい」(13.5％)の順となっている。

女子では「ことばづかい」が 41.4％と最も高く、次に「すわり方」(32.8％)、「服装、身だしなみ」(22.4％)の順となっている。

「その他」の記述の中で、男子では「ケンカ」「遊び」「先生に何かを言うとき」などという回答があり、女子では「遊び」「お行儀が悪いとき」などという回答があった。

【中学生◇全体】

「ことばづかい」が 42.9％と最も高く、次に「すわり方」(41.5％)、「身だしなみ」(35.1％)の順となっている。

【中学生◇男女別】

男子では「お手伝い」が 32.1％と最も高く、次に「服装、身だしなみ」(25.6％)、「泣いたとき」(21.8％)の順となっている。

女子では「すわり方」が 60.6％と最も高く、次に「ことばづかい」(58.3％)、「服装、身だしなみ」(40.9％)の順となっている。

「その他」の記述の中で、男子では「レディファーストと言われる」「運び物」「掃除のとき」「勉強」などという回答があり、女子では「食事」「目つき」「身長」「着替える場所」「笑い方」「貧乏ゆすり」などという回答があった。

【小学生・中学生の比較】

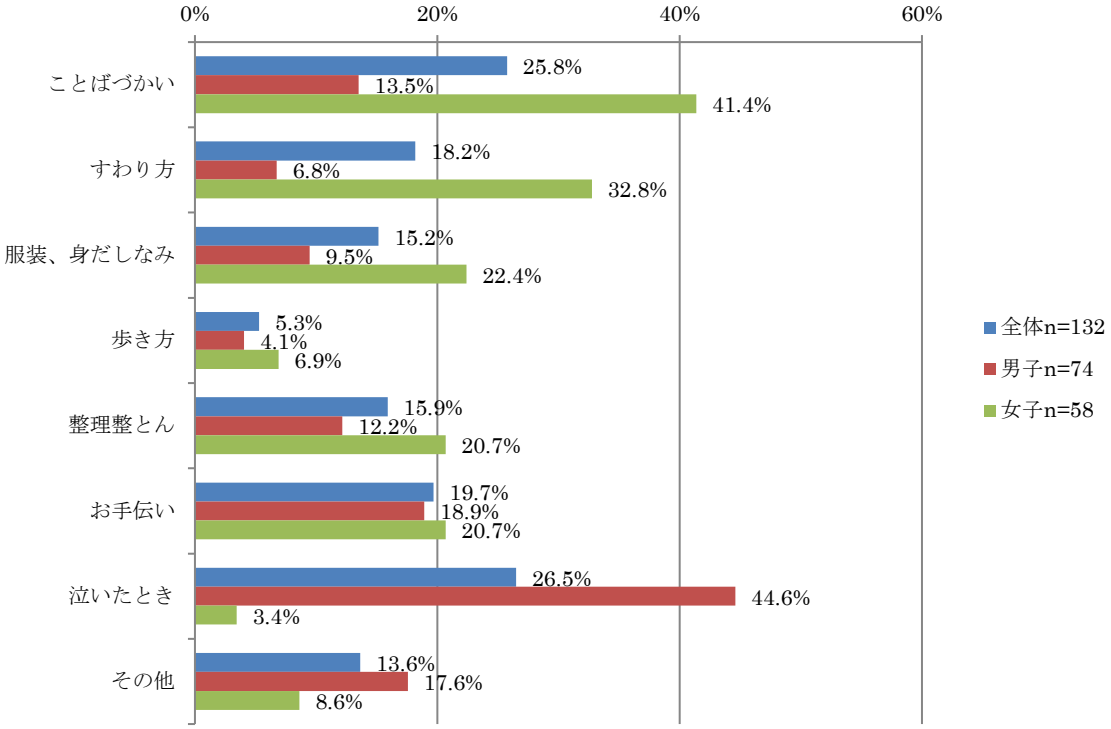
女子では小学生、中学生ともに１位から３位までに同じ項目が入っており、中学生になると「すわり方」の割合が急増する。

男子では「泣いたとき」「お手伝い」が、小学生、中学生ともに３位以内に入っている。

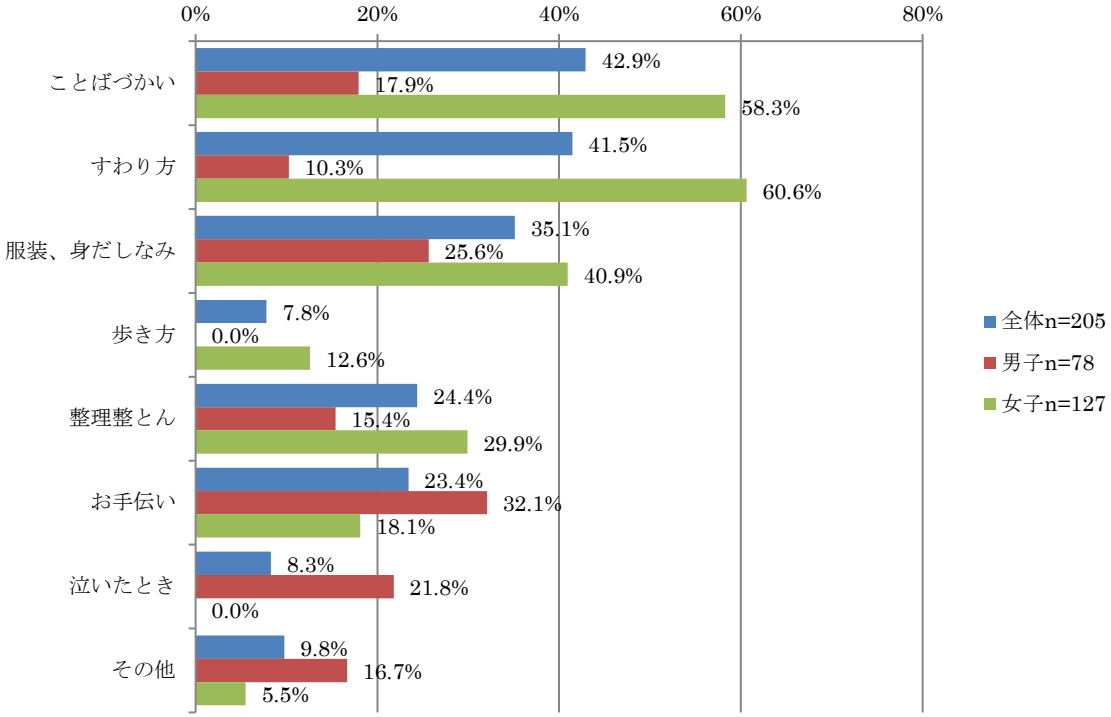
【前回調査との比較】

前回、中学生男子で１位だった『泣いたとき』が、今回は３位となっている。

【小学生】


0%
20%
40%
60%
ことばづかい
25.8%
13.5%
41.4%
すわり方
18.2%
6.8%
32.8%
服装、身だしなみ
15.2%
9.5%
22.4%
歩き方
5.3%
4.1%
6.9%
整理整とん
15.9%
12.2%
20.7%
お手伝い
19.7%
18.9%
20.7%
泣いたとき
26.5%
44.6%
3.4%
その他
13.6%
17.6%
8.6%
全体n=132
男子n=74
女子n=58

【中学生】


0%
20%
40%
60%
80%
ことばづかい
42.9%
17.9%
58.3%
すわり方
41.5%
10.3%
60.6%
服装、身だしなみ
35.1%
25.6%
40.9%
歩き方
7.8%
0.0%
12.6%
整理整とん
24.4%
15.4%
29.9%
お手伝い
23.4%
32.1%
18.1%
泣いたとき
8.3%
21.8%
0.0%
その他
9.8%
16.7%
5.5%
全体n=205
男子n=78
女子n=127

問４　「男だから、女だから」と言われる相手

〔 問２で「①よく言われる、②時々言われる」と答えた方にお聞きします〕
あなたは、誰からそう言われましたか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

【小学生◆全体】

「母」が 63.6％と最も高く、次に「父」(22.0％)、「祖母」(19.7％)の順となっている。

「その他」の記述の中で、「親戚」「上級生」「習い事の先生」などという回答があった。

【小学生◆男女別】

男子では「母」(59.5％)「父」(28.4％)「友達」(20.3％) の順となっている。

女子では「母」(69.0％)「祖母」(29.3％)「父」(13.8％) の順となっている。

【中学生◇全体】

「母」が 66.8％と最も高く、次に「父」(30.7％)、「祖母」(26.8％)の順となっている。

「その他」の記述の中で、「叔母さん」「他の人の保護者」「スポーツクラブのコーチ」「習い事の先生」などという回答があった。

【中学生◇男女別】

男子では「母」(60.3％)、「父」(34.6％)、「友達」(21.8％) の順となっている。

女子では「母」(70.9％)、「祖母」(34.6％)、「父」(28.3％) の順となっている。

【小学生・中学生の比較】

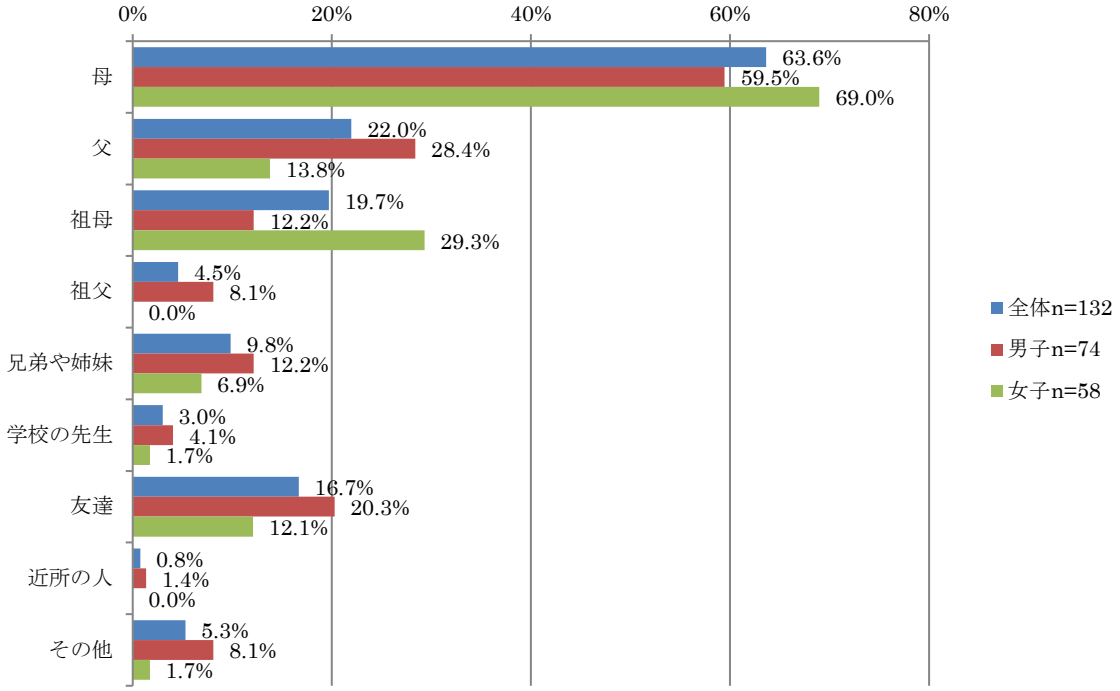
男子、女子ともに、小学生、中学生の１位から３位までが一致している。

【前回調査との比較】

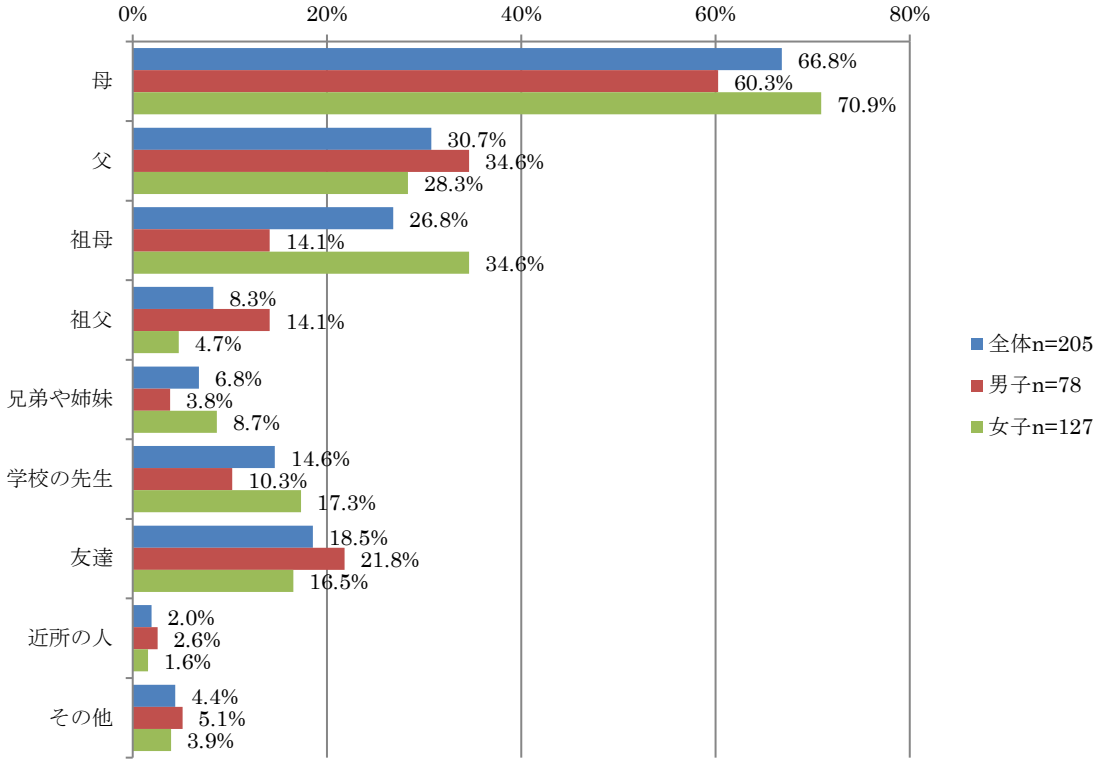
前回調査において、小学生男子は「母」「祖母」「父」、中学生男子は「母」「父」「祖母」の順であったが、今回調査では小学生、中学生ともに「友達」が占める割合が増え、３位に入っている。

女子は小学生、中学生ともに１位から３位まで前回と同じである。

【小学生】


0%
20%
40%
60%
80%
母
63.6%
59.5%
69.0%
父
22.0%
28.4%
13.8%
祖母
19.7%
12.2%
29.3%
祖父
4.5%
8.1%
0.0%
兄弟や姉妹
9.8%
12.2%
6.9%
学校の先生
3.0%
4.1%
1.7%
友達
16.7%
20.3%
12.1%
近所の人
0.8%
1.4%
0.0%
その他
5.3%
8.1%
1.7%
全体n=132
男子n=74
女子n=58

【中学生】


0%
20%
40%
60%
80%
母
66.8%
60.3%
70.9%
父
30.7%
34.6%
28.3%
祖母
26.8%
14.1%
34.6%
祖父
8.3%
14.1%
4.7%
兄弟や姉妹
6.8%
3.8%
8.7%
学校の先生
14.6%
10.3%
17.3%
友達
18.5%
21.8%
16.5%
近所の人
2.0%
2.6%
1.6%
その他
4.4%
5.1%
3.9%
全体n=205
男子n=78
女子n=127

問５　「男だから、女だから」と言われた影響

〔 問２で「①よく言われる、②時々言われる」と答えた方にお聞きします〕
あなたは、その時どんな気持ちがしましたか。次の中からその時の気持ちを１つ選んで番号に○をつけてください。

【小学生◆全体】

「そのとおりだと思った」が 44.7%と最も高く、次に「何とも思わなかった」(32.6%)、「いなや気持ちがした」(15.9%)の順となっている。

「その他」の記述の中で、男子では「腹が立つ気持ち」「なんで？と思った」「イライラした」などという回答があった。女子では「むかついた」「めんどくさい」「あっ。そうだった」などという回答があった。

【小学生◆男女別】

男子では、「何とも思わなかった」が 36.5%と最も高く、次に「その通りだと思った」(32.4%)「いやな気持がした」(23.0%) となっている。

女子では、「そのとおりだと思った」が 60.3%と最も高く、次に「何とも思わなかった」(27.6%)「いやな気持ちがした」(6.9%) となっている。

「いやな気持ちがした」では、男子の方が女子よりも 16.1 ポイント高く、「そのとおりだと思った」では、女子の方が男子よりも 27.9 ポイント高かった。

【中学生◇全体】

「何とも思わなかった」が 42.9%と最も高く、次に「そのとおりだと思った」(29.3%)、「いなや気持ちがした」(19.5%)の順となっている。

「その他」の記述の中で、男子では「男だと泣いたらいけないのかと思った」「そういうこと言うやつ嫌い」「めんどくさいと思った」「いやだけどその通りだと思った」「人生 1 回だけだぞ楽しんだもんがちだ」「ウザイ」などという回答があり、女子では「①（いやな気持がした）と②（そのとおりだと思った）どちらも思った」「家だったら別にいいんじゃ？」「別にいいでしょ」「女とか男とか関係ない」「うざいと思った」「男だから、女だからは、違うと思った」「時と場合による」などという回答があった。

【中学生◇男女別】

男子、女子ともに「何とも思わなかった」「そのとおりだと思った」「いなや気持ちがした」の順となっている。「何とも思わなかった」と答えた女子は男子より 9.3 ポイント高かった。

【小学生・中学生の比較】

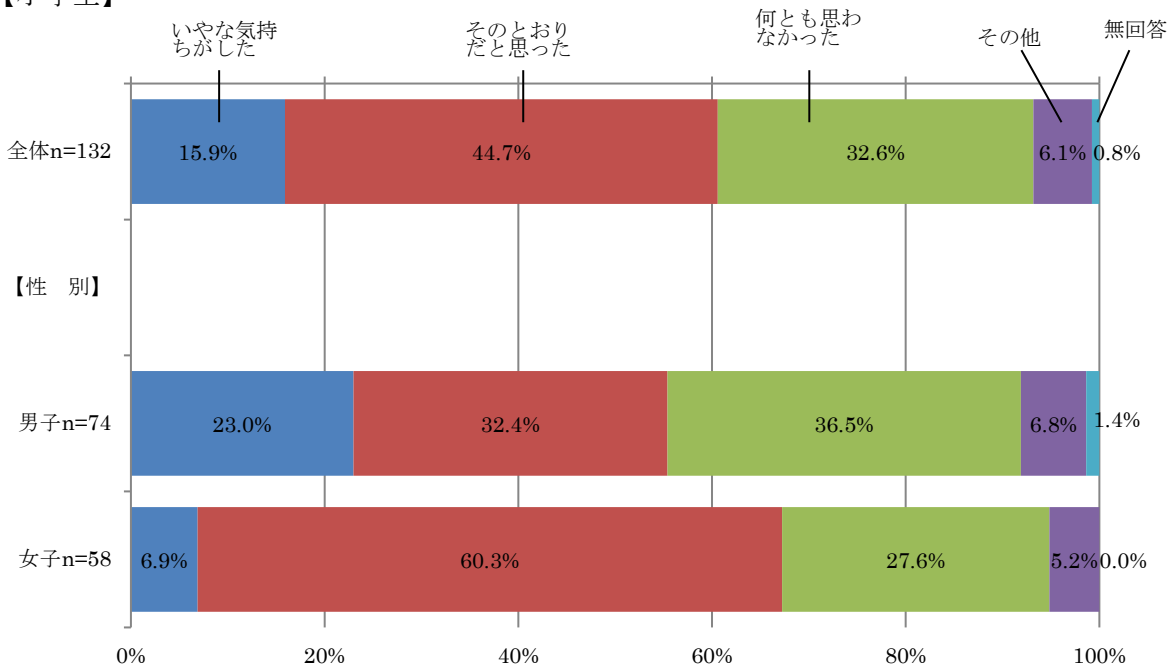
女子では、「そのとおりだと思った」「何とも思わなかった」の割合の大きさが小学生と中学生で逆転している。男子は小学生・中学生ともに「何とも思わなかった」の割合が最も大

きい。

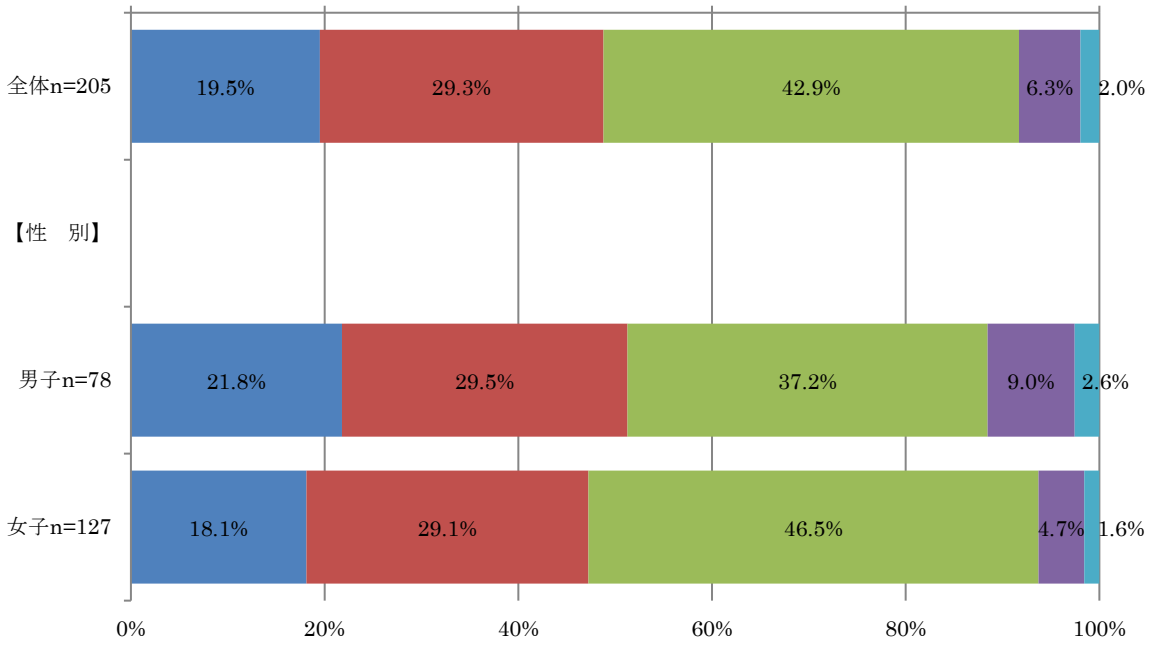
【前回調査との比較】

前回調査と比較して、全体で小学生の「何とも思わなかった」が 3.6 ポイント増加した。

【小学生】



【中学生】



Ⅲ　家庭における男女の役割分担について

問６　家庭における男女の役割分担

あなたは、次のような身の回りのことを誰がした方がいいと思いますか。①～⑧のそれぞれについて（ア）～（エ）の中から１つずつ選んで番号に○をつけてください。

【小学生◆全体】

「食事のしたくや後かたづけ」「そうじ」は「男の人と女の人が協力してした方がいい」の割合が高くなっている。

「洗たく」「食事の買い物」は「女の人がした方がいい」と「男の人と女の人が協力してした方がいい」で二分されている。

「風呂そうじ」「ごみ出し」は「男の人がした方がいい」と「男の人と女の人が協力してした方がいい」で二分されている。

「電球や蛍光灯の交換」「大工仕事」は「男の人がした方がいい」の割合が高くなっている。

【小学生◆男女別】

全体的に女子の方が「男の人と女の人が協力してした方がいい」と答えている割合が高い。

【中学生◇全体】

「食事のしたくや後かたづけ」「そうじ」「洗たく」「風呂そうじ」「食事の買い物」「ごみ出し」は「男の人と女の人が協力してした方がいい」の割合が高くなっている。「電球や蛍光灯の交換」「大工仕事」は「男の人がした方がいい」の割合が高くなっている。

【中学生◇男女別】

全体的に女子の方が「男の人と女の人が協力してした方がいい」と答えている割合が高いが、「電球や蛍光灯の交換」「大工仕事」は「男の人がした方がいい」については、「男の人と女の人が協力してした方がいい」と答えている割合は女子の方が低い。

【小学生・中学生の比較】

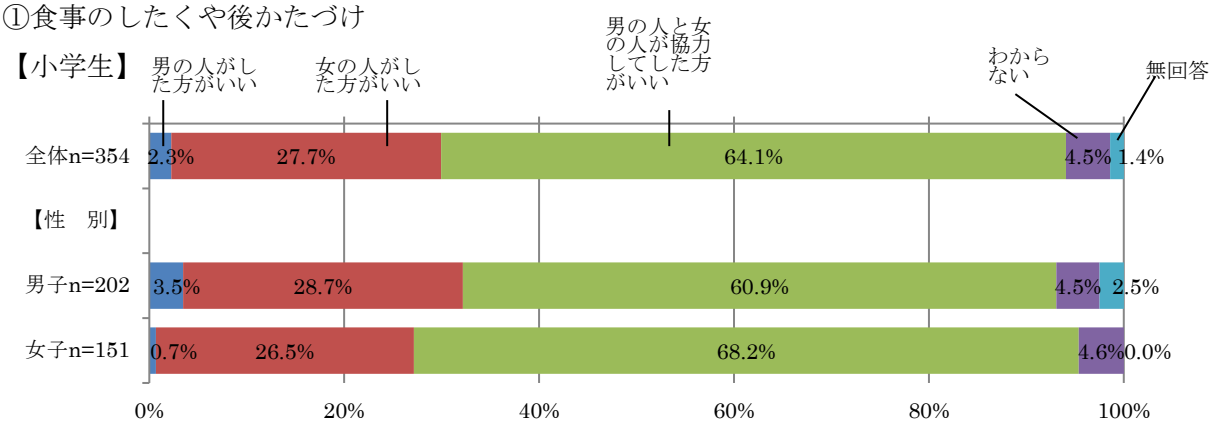
小学生、中学生ともに「電球や蛍光灯の交換」「大工仕事」の項目では、「男の人がした方がいい」の割合が高い。また、小学生よりも中学生の方が「男の人と女の人が協力してした方がいい」と答えている割合が高い。

【前回調査との比較】

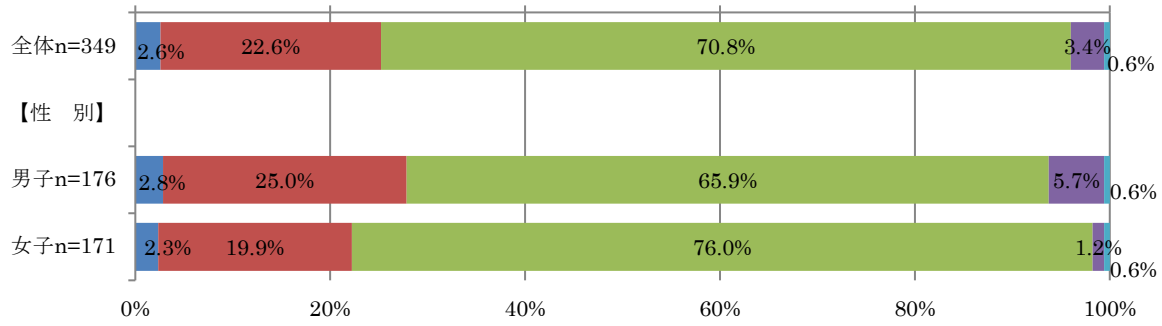
小中学生の男子、女子ともに、全項目において「男の人と女の人が協力してした方がいい」の割合が前回より増加している。

①食事のしたくや後かたづけ

【小学生】

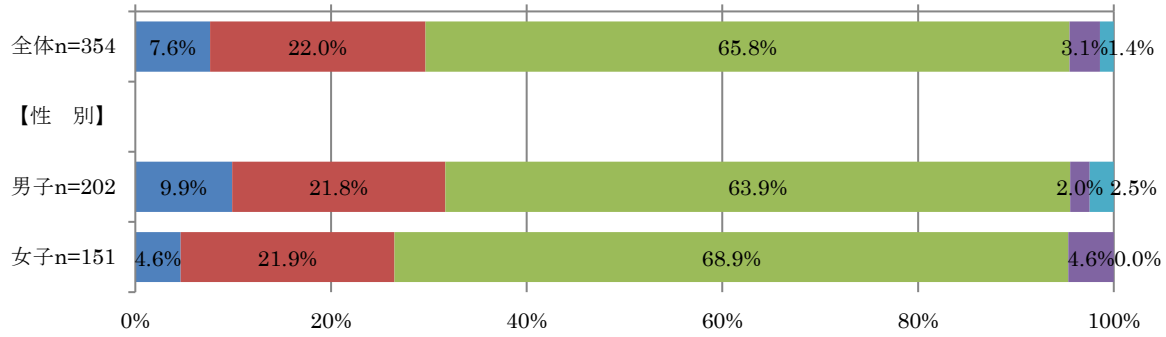


【中学生】

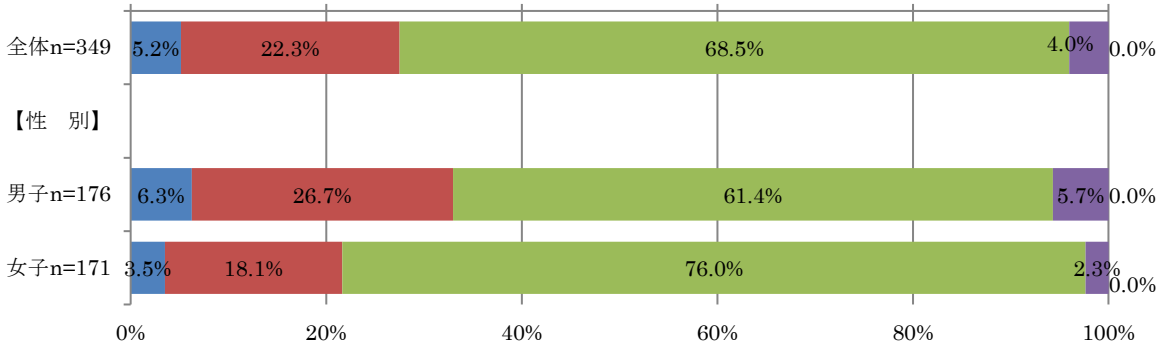


②そうじ

【小学生】

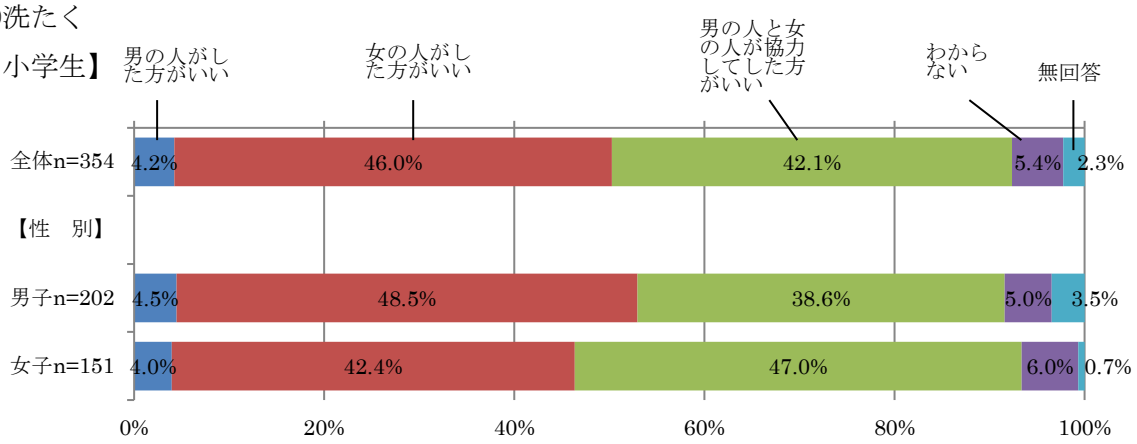


【中学生】

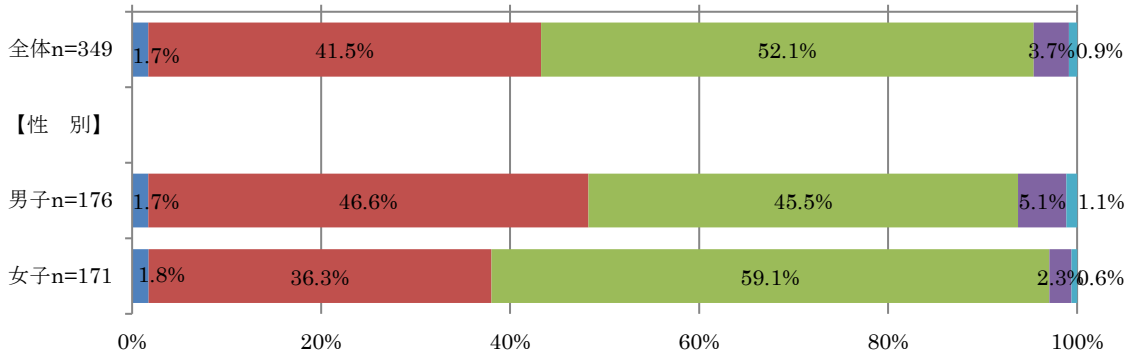


③洗たく

【小学生】

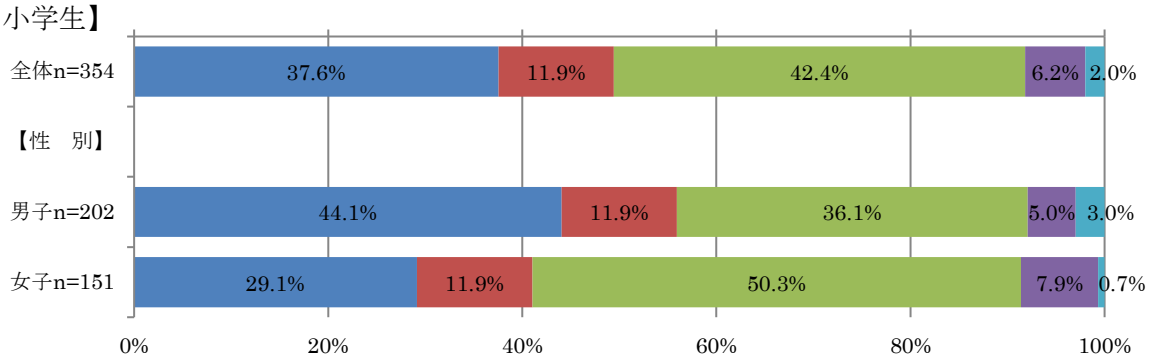


【中学生】

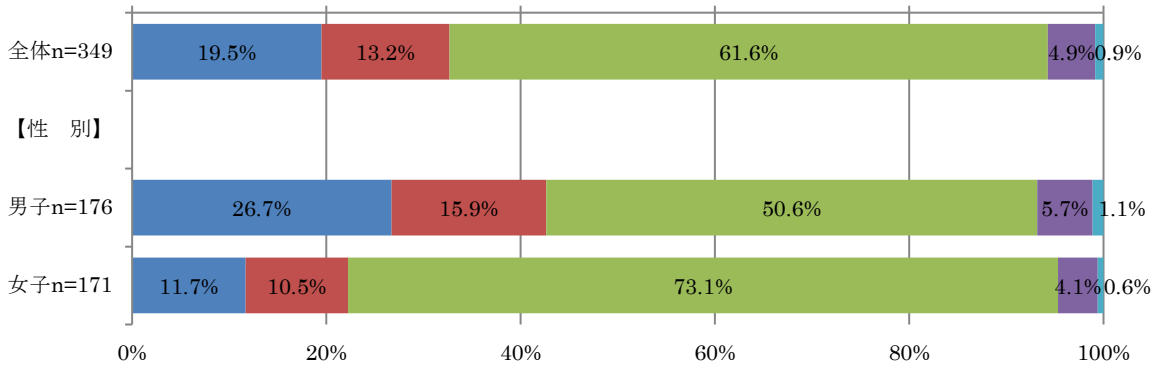


④風呂そうじ

【小学生】

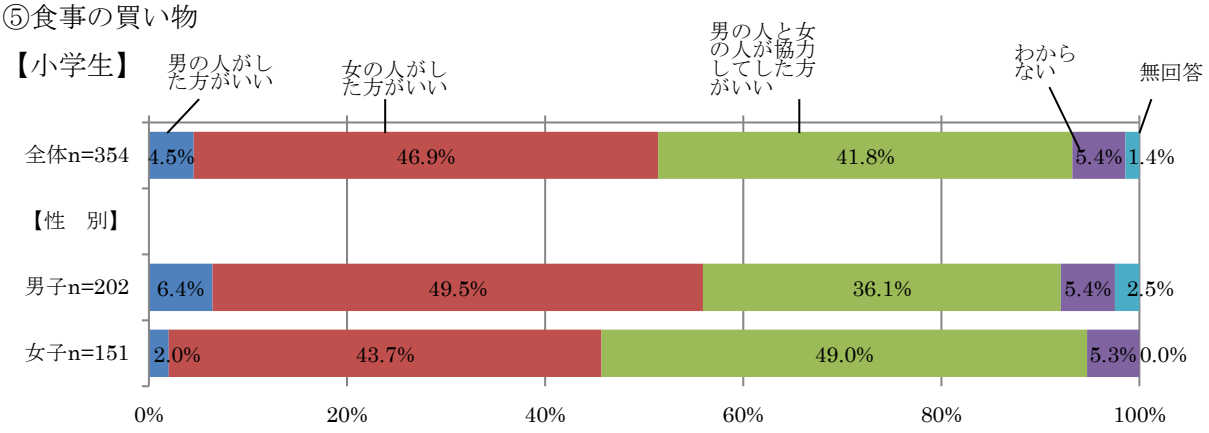


【中学生】

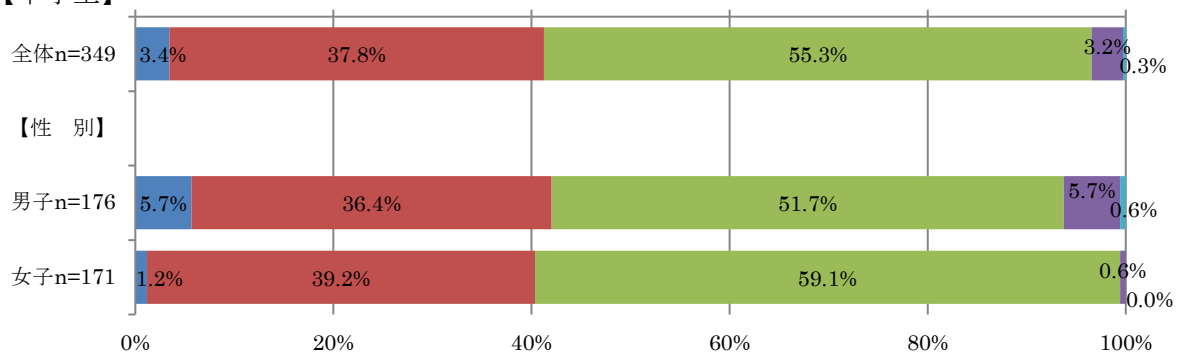


⑤食事の買い物

【小学生】

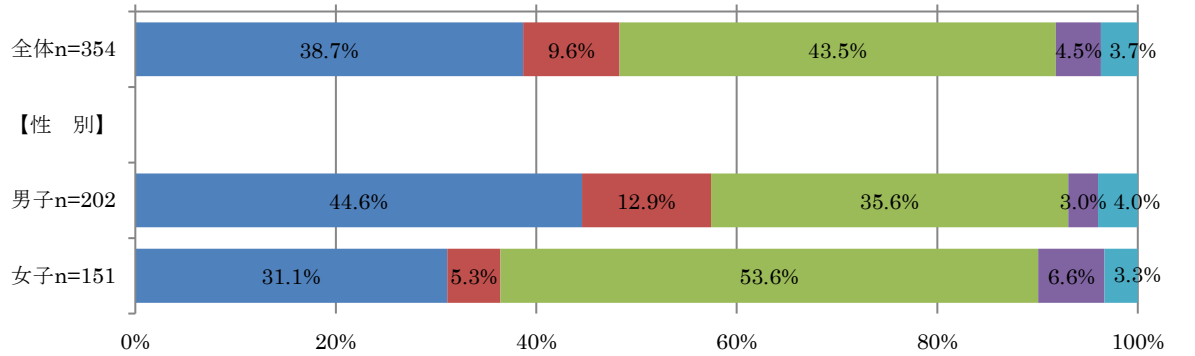


【中学生】

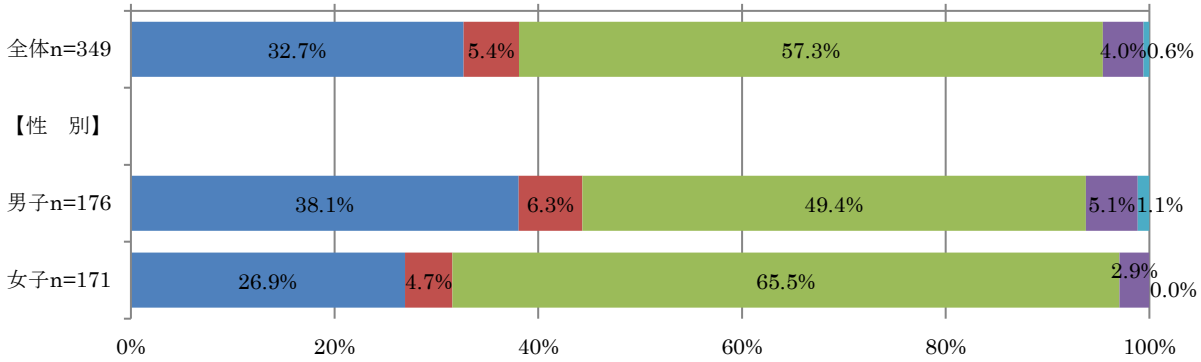


⑥ごみ出し

【小学生】

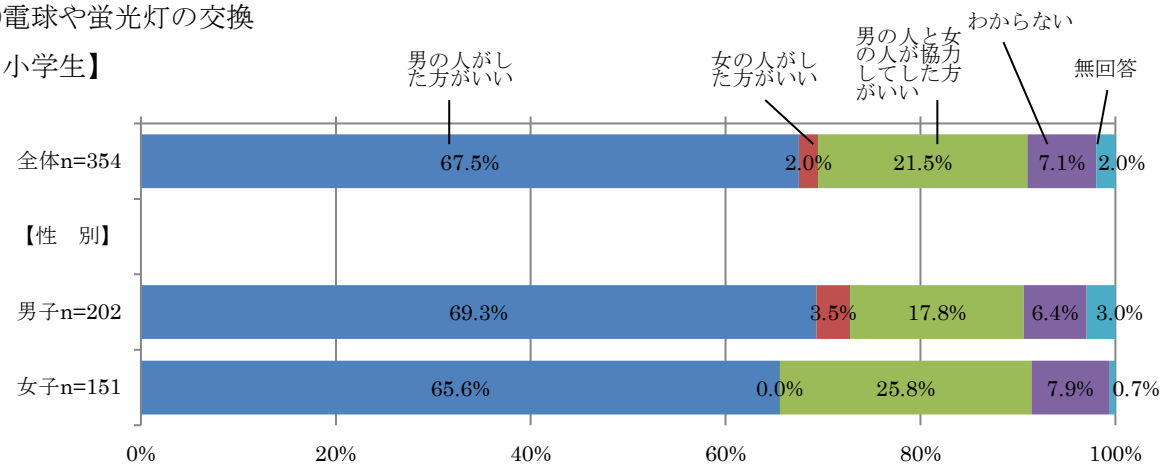


【中学生】

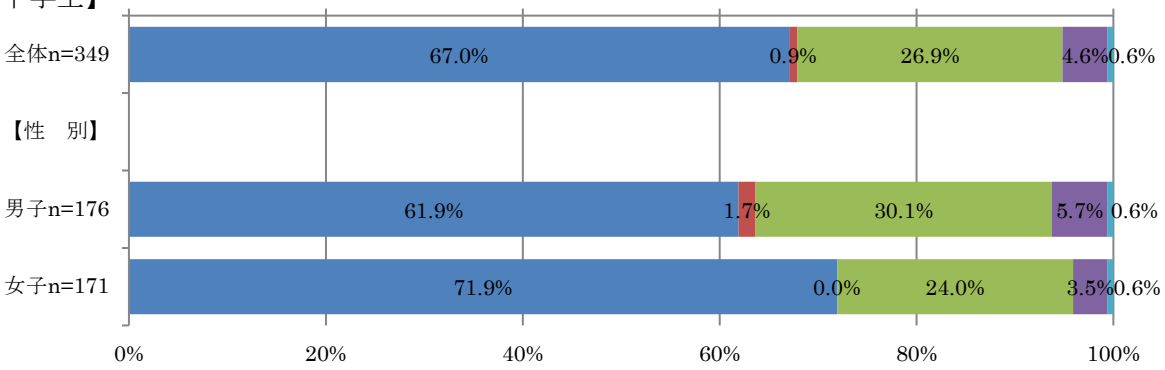


⑦電球や蛍光灯の交換

【小学生】

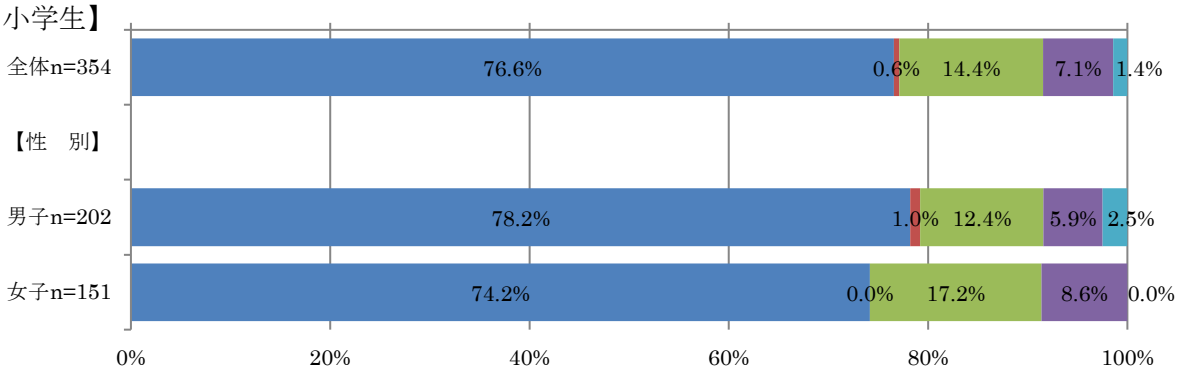


【中学生】

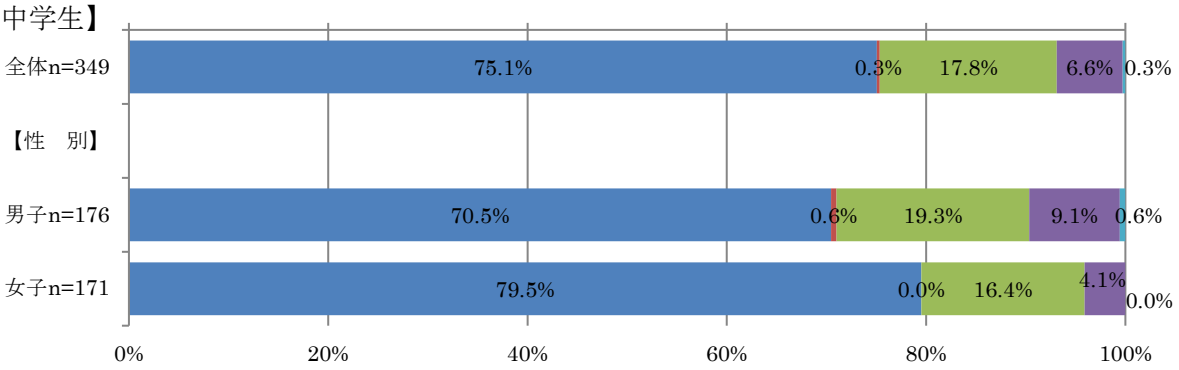


⑧大工仕事

【小学生】



【中学生】



Ⅳ　男女の平等感について

問７　男性に生まれたことについて

〔 男の子にお聞きします〕
　あなたは毎日の生活の中で、「女子の方がいいなあ」と思うことはありますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを１つ選んで番号に○をつけてください。

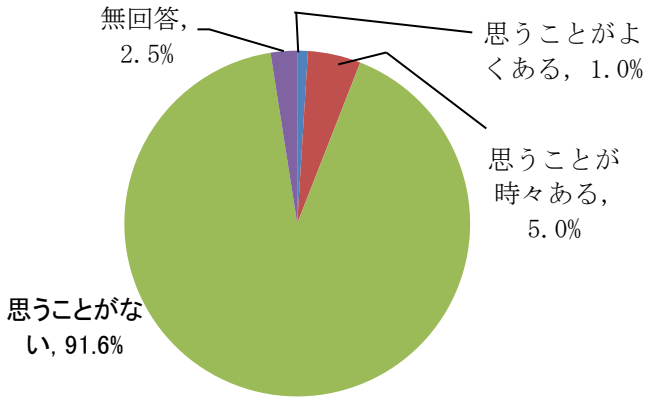
【小学生・中学生の男子】

「思うことがない」という回答につき、小学生は９割を超えているが、中学生は８割強にとどまっている。

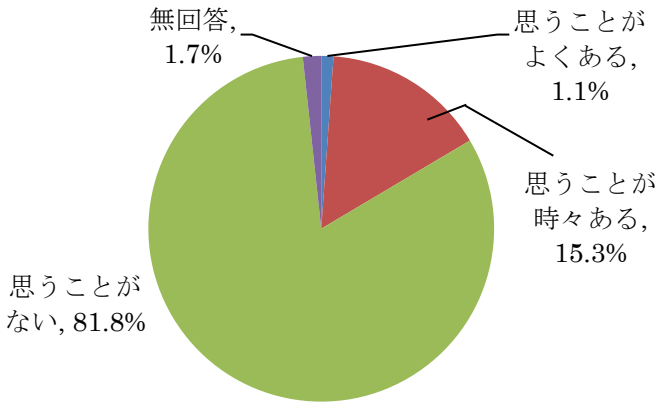
【前回調査との比較】

前回調査と比べて、小学生は数値の大きな変化は見られないが、中学生は「思うことがよくある」「思うことが時々ある」の合計が 8.1 ポイント増加しており、「思うことがない」が 8.4 ポイント減少している。

【小学生】



【中学生】



【「思うことがある」「思うことが時々ある」理由】

「どんな時にそう思いますか？」という問いへの記述

○小学生

男は泣くなと言われた時、女子の方がやさしくされている時、女子トイレは個室だが男子トイレは仕切りがないから、女子の方が友達がたくさんいるから、洋服などがたくさん売っているから、など

○中学生

女子の方がやさしくされている時・優先されている時、高い声やかわいい声を出せるから、力仕事などする時、制服、女子に暴力を振るうと最低だといわれるから、読みたい少女漫画がある時、先生や大人からの扱い、女子は泣いたら何でも出来るから、映画のレディースデイ、周りの男子がバカだなぁと思うことがあるから、女子が友達と仲良くしているとき、生理現象、など

問８　女性に生まれたことについて

〔 女の子にお聞きします〕
　あなたは毎日の生活の中で、「男子の方がいいなあ」と思うことはありますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【小学生・中学生の女子】

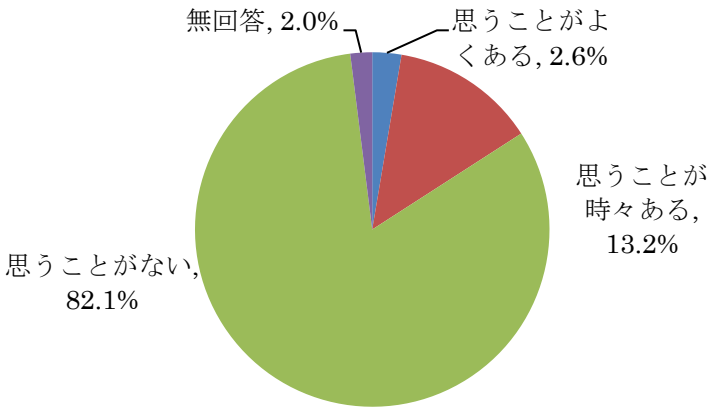
　小学生、中学生ともに「思うことがない」の割合が最も高く、次に「思うことが時々ある」の順となっている。

　「思うことがよくある」「思うことが時々ある」の合計は中学生の方が小学生より 32.7 ポイント高くなっている。年齢が上がることにより、性差を意識し、自らの性別を否定的にとらえる傾向がうかがえる。

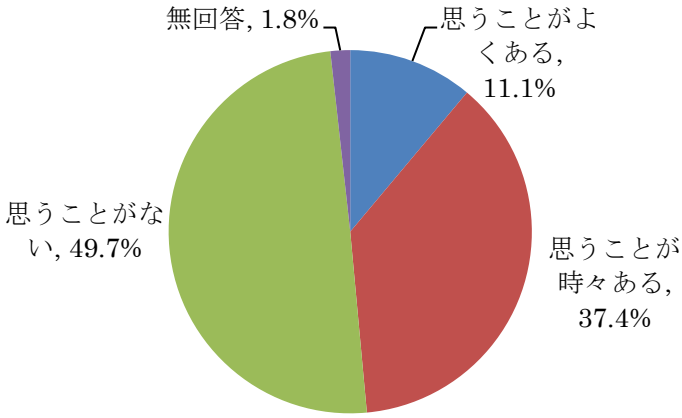
【前回調査との比較】

　前回調査と比べて、小学生、中学生ともに「思うことがない」のポイントが増加している。

【小学生】



【中学生】



【「思うことがある」「思うことが時々ある」理由】

「どんな時にそう思いますか？」という問いへの記述

○小学生

人間関係（男子の方が気軽、など）、遊ぶ時、トイレや洗髪（風呂）の時、運動をする時、服装、授業の時、着替えの時、（女性は）家事が大変だから、男子の方が力がある・自由・頭が良い・悪口を言わないから、みんなをまとめるとき、女子より背が高いから　など

○中学生

人間関係（女子同士は面倒、男子の方が気軽、など）、身だしなみやトイレが楽そうだから、女の子なんだから～しなさいと言われたとき、腕力、体力、体格、服装、制服、生理がないから、大声・ふざけるなどしても注意されにくいから、すわり方や言葉遣い・身だしなみ等を指摘されないから、男子の方が毎日元気で楽しそう・自由・自信が持てる・目立てるから、男の人の方が給料が高いから、子どもを産みたくないから、女子は手先が器用などと言われるから、など

Ⅴ　将来について

問９　将来の職業

次の中から、将来やってみたい職業を１つ選んで番号に〇をつけてください。

【小学生】

順位	男子		順位	女子	
1	スポーツ選手	28.7%	1	保育園、幼稚園の先生	11.3%
2	建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	6.4%	1	美容師、理容師	11.3%
3	学者、研究者	4.0%	3	看護師	9.3%
4	警察官	3.0%	4	食べ物屋さん	7.9%
4	自動車、電車の運転手	3.0%	5	薬剤師	6.6%
6	食べ物屋さん	2.5%	6	画家、デザイナーなどの芸術家	4.6%
6	消防士、救急隊、レスキュー隊	2.5%	7	スポーツ選手	4.0%
6	調理師、コックなど料理を作る人	2.5%	8	医師	3.3%
6	自動車、機械などのエンジニア	2.5%	8	獣医	3.3%
6	建築士、設計士	2.5%	10	調理師、コックなど料理を作る人	2.6%
11	会社員	2.0%	11	お店をもつ	2.0%
11	医師	2.0%	11	公務員	2.0%
11	歌手、タレントなどの芸能人	2.0%	13	学校の先生	1.3%
11	コンピュータ関係の仕事	2.0%	13	歌手、タレントなどの芸能人	1.3%
15	お店をもつ	1.5%	13	弁護士、警察官、裁判官など	1.3%
15	自衛官	1.5%	13	農業、林業、漁業をする人	1.3%
15	獣医	1.5%	13	コンピュータ関係の仕事	1.3%
15	保育園、幼稚園の先生	1.5%	18	会社員	0.7%
15	農業、林業、漁業をする人	1.5%	18	警察官	0.7%
20	学校の先生	1.0%	18	アナウンサー	0.7%
20	画家、デザイナーなどの芸術家	1.0%	21	自衛官	0.0%
22	公務員	0.5%	21	銀行員・金融関係	0.0%
22	アナウンサー	0.5%	21	消防士、救急隊、レスキュー隊	0.0%
22	新聞・雑誌・テレビ記者	0.5%	21	自動車、電車の運転手	0.0%
22	弁護士、警察官、裁判官など	0.5%	21	新聞・雑誌・テレビ記者	0.0%
22	パイロット	0.5%	21	政治家	0.0%
22	通訳、翻訳家	0.5%	21	福祉施設で働く人	0.0%
22	評論家	0.5%	21	自動車、機械などのエンジニア	0.0%

29	看護師	0.0%	21	建築士、設計士	0.0%
29	薬剤師	0.0%	21	建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	0.0%
29	銀行員・金融関係	0.0%	21	学者、研究者	0.0%
29	政治家	0.0%	21	パイロット	0.0%
29	福祉施設で働く人	0.0%	21	キャビンアテンダント	0.0%
29	美容師、理容師	0.0%	21	通訳、翻訳家	0.0%
29	キャビンアテンダント	0.0%	21	評論家	0.0%
＊	その他	11.9%	＊	その他	15.9%
＊	なりたい仕事がない	2.5%	＊	なりたい仕事がない	2.0%
＊	わからない	5.9%	＊	わからない	3.3%
＊	無回答	1.5%	＊	無回答	2.0%

【その他】

○男子

野球選手、声優、ゲームクリエイター、宇宙飛行士、大工、漫画家、発明家、すし屋、ディズニーのキャスト、社長、家業を継ぐ、亀田製菓で菓子作り、機械製作、恐竜博士、歴史研究家、YouTuber、動物病院、猫カフェ店員、化石発掘

○女子

漫画家、ペットシッター、ディズニーのキャスト、NBA バレエ団、ピアノの先生、お花屋さん、助産師、トリマー、服デザイナー、作家、ディズニーのキャスト、イルカの飼育員、服屋さん、医師・歯科衛生士、イマジニア、猫カフェの店員、スポーツトレーナー、ピアニスト、ペットショップ

【中学生】

順位	男子		順位	女子	
1	スポーツ選手	10.8%	1	保育園、幼稚園の先生	11.1%
2	コンピュータ関係の仕事	8.0%	2	美容師、理容師	9.4%
3	会社員	5.1%	3	画家、デザイナーなどの芸術家	4.7%
3	公務員	5.1%	4	看護師	4.1%
3	建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	5.1%	4	公務員	4.1%
6	お店をもつ	3.4%	6	お店をもつ	2.9%
6	建築士、設計士	3.4%	6	医師	2.9%

8	薬剤師	2.3%	6	福祉施設で働く人	2.9%
9	学校の先生	1.7%	9	会社員	2.3%
9	歌手、タレントなどの芸能人	1.7%	9	薬剤師	2.3%
9	調理師、コックなど料理を作る人	1.7%	9	食べ物屋さん	2.3%
9	学者、研究者	1.7%	9	学校の先生	2.3%
13	警察官	1.1%	9	歌手、タレントなどの芸能人	2.3%
13	獣医	1.1%	14	獣医	1.8%
13	食べ物屋さん	1.1%	15	警察官	1.2%
13	消防士、救急隊、レスキュー隊	1.1%	15	スポーツ選手	1.2%
13	画家、デザイナーなどの芸術家	1.1%	15	アナウンサー	1.2%
13	福祉施設で働く人	1.1%	15	調理師、コックなど料理を作る人	1.2%
13	自動車、機械などのエンジニア	1.1%	15	キャビンアテンダント	1.2%
20	自衛官	0.6%	15	コンピュータ関係の仕事	1.2%
20	医師	0.6%	21	銀行員・金融関係	0.6%
20	銀行員・金融関係	0.6%	21	弁護士、警察官、裁判官など	0.6%
20	保育園、幼稚園の先生	0.6%	21	建築士、設計士	0.6%
20	政治家	0.6%	21	学者、研究者	0.6%
20	弁護士、警察官、裁判官など	0.6%	21	通訳、翻訳家	0.6%
20	美容師、理容師	0.6%	26	自衛官	0.0%
20	農業、林業、漁業をする人	0.6%	26	消防士、救急隊、レスキュー隊	0.0%
20	パイロット	0.6%	26	自動車、電車の運転手	0.0%
29	看護師	0.0%	26	新聞・雑誌・テレビ記者	0.0%
29	自動車、電車の運転手	0.0%	26	政治家	0.0%
29	アナウンサー	0.0%	26	自動車、機械などのエンジニア	0.0%
29	新聞・雑誌・テレビ記者	0.0%	26	農業、林業、漁業をする人	0.0%
29	キャビンアテンダント	0.0%	26	建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	0.0%
29	通訳、翻訳家	0.0%	26	パイロット	0.0%
29	評論家	0.0%	26	評論家	0.0%
＊	その他	7.4%	＊	その他	15.8%
＊	なりたい仕事がない	8.0%	＊	なりたい仕事がない	6.4%
＊	わからない	13.1%	＊	わからない	8.8%
＊	無回答	8.5%	＊	無回答	3.5%

【その他】

○男子

小説家、テーマパークのスタッフ、何でもいい、ラノベ作家、科学者、発明家

○女子

K-POP のスタッフ、漫画家、ホテルスタッフ、けっこうあって困る、心理系の仕事、助産師、イラストレーター、養護教諭、ペット関係、整体師、ファッションデザイナー

【小学生・中学生の比較】

男子は１位、女子は１位・２位が同じであった。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、小・中学生の男子、女子ともに、１位となる項目は同じであった。

問１０　将来の人物像

次の中から、「将来こんな人になりたい」と思うものを１つ選んで番号に〇をつけてください。

【小学生】

順位	男子		順位	女子	
1	優しく思いやりのある人	17.8%	1	優しく思いやりのある人	24.5%
2	いろんなことにチャレンジする人	11.4%	2	家族や友達を大切にする人	21.2%
3	家族や友達を大切にする人	9.9%	3	いろんなことにチャレンジする人	7.3%
4	尊敬される人	9.4%	4	尊敬される人	5.3%
5	リーダー的な人	7.4%	4	自分の頭で考え、判断し、行動できる人	5.3%
5	夢、目標を持っている人	7.4%	4	信頼される人	5.3%
7	信頼される人	5.4%	7	リーダー的な人	4.6%
8	自分の頭で考え、判断し、行動できる人	4.0%	8	ユニークで想像性が豊かな人	4.0%
8	人をサポートできる人	4.0%	8	夢、目標を持っている人	4.0%
10	自ら進んで行動を起こせる人	3.0%	10	自分の意見をきちんと言える人	2.6%
10	ユニークで想像性が豊かな人	3.0%	10	自ら進んで行動を起こせる人	2.6%
10	相手の立場に立って考えられる人	3.0%	10	相手の立場に立って考えられる人	2.6%
13	自分の意見をきちんと言える人	2.5%	13	人をサポートできる人	2.0%
＊	その他	2.5%	＊	その他	0.0%
＊	わからない	4.0%	＊	わからない	4.0%
＊	無回答	5.4%	＊	無回答	4.6%

【その他】

〇男子

勉強ができてカッコよくてスポーツができる人、今の 10 倍以上の力を持ちたい、平和のために自分を犠牲にしても頑張る人、自分の子どもや赤ちゃんを大切にする人、あきらめない

〇女子

特に記述なし

【中学生】

順位	男子		順位	女子	
1	優しく思いやりのある人	18.2%	1	優しく思いやりのある人	28.7%
2	信頼される人	10.8%	2	信頼される人	11.7%
3	家族や友達を大切にする人	8.5%	3	自分の頭で考え、判断し、行動できる人	8.8%
4	自分の頭で考え、判断し、行動できる人	8.0%	4	家族や友達を大切にする人	7.6%
5	夢、目標を持っている人	6.8%	5	相手の立場に立って考えられる人	6.4%
6	いろんなことにチャレンジする人	5.7%	6	自分の意見をきちんと言える人	5.3%
7	尊敬される人	5.1%	7	いろんなことにチャレンジする人	4.7%
7	ユニークで想像性が豊かな人	5.1%	8	夢、目標を持っている人	4.1%
9	人をサポートできる人	4.0%	9	自ら進んで行動を起こせる人	3.5%
10	自分の意見をきちんと言える人	2.8%	10	ユニークで想像性が豊かな人	2.9%
11	自ら進んで行動を起こせる人	2.3%	11	人をサポートできる人	2.3%
11	相手の立場に立って考えられる人	2.3%	12	尊敬される人	1.8%
13	リーダー的な人	0.6%	13	リーダー的な人	0.0%
＊	その他	4.0%	＊	その他	1.8%
＊	わからない	6.8%	＊	わからない	4.1%
＊	無回答	9.1%	＊	無回答	6.4%

【その他】

○男子

正義のヒーロー、車を速く走らせられる人、①～⑬全て、生きてられる人、いかつい人

○女子

どうでもいい、絵が上手な人、1～13 すべてが詰まった人

【小学生・中学生の比較】

小学生、中学生ともに「優しく思いやりのある人」が 1 位となっている。また、中学生は男女ともに「信頼される人」が２位となっている。

【前回調査との比較】

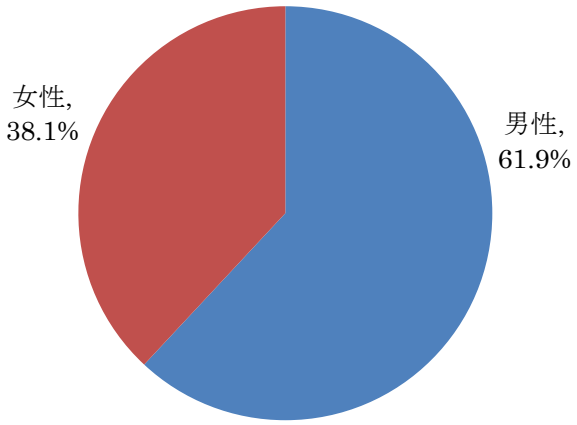
前回の小学生男子１位は「家族や友達を大切にする人」であった。

第４章　職員意識調査

Ⅰ　回答者の属性

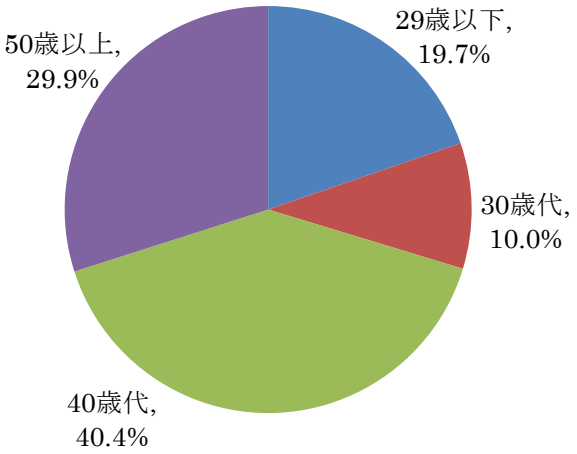
（１）性別

	人数	割合
男性	267 人	61.9%
女性	164 人	38.1%
全体	431 人	100.0%



（２）年齢別

	人数	割合
29 歳以下	85 人	19.7%
30 歳代	43 人	10.0%
40 歳代	174 人	40.4%
50 歳以上	129 人	29.9%
全体	431 人	100.0%



Ⅱ　男女の職業生活に対する考え方について

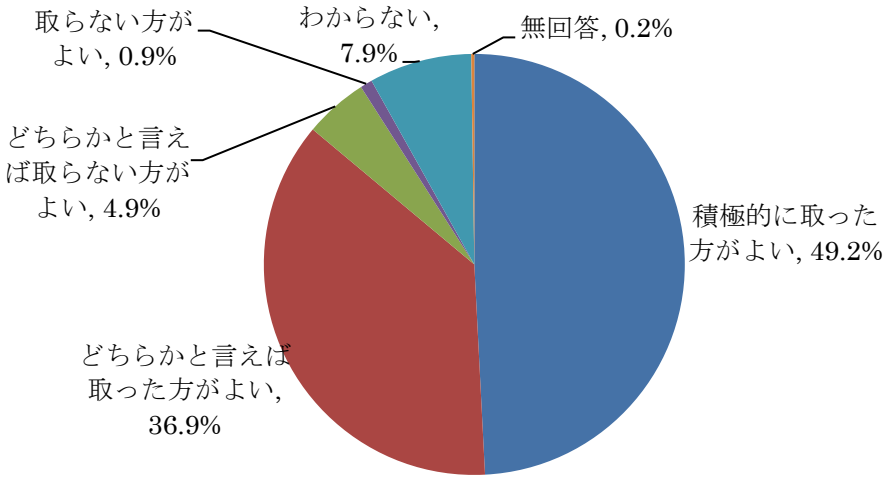
問３　男性の育児休業・介護休暇の取得について

あなたは、男性が育児休業や介護休暇を取ることについてどう思いますか。①②のそれぞれについて、（ア）～（オ）の中からあなたの気持ちに最も近いものを１つずつ選んで番号に○をつけてください。

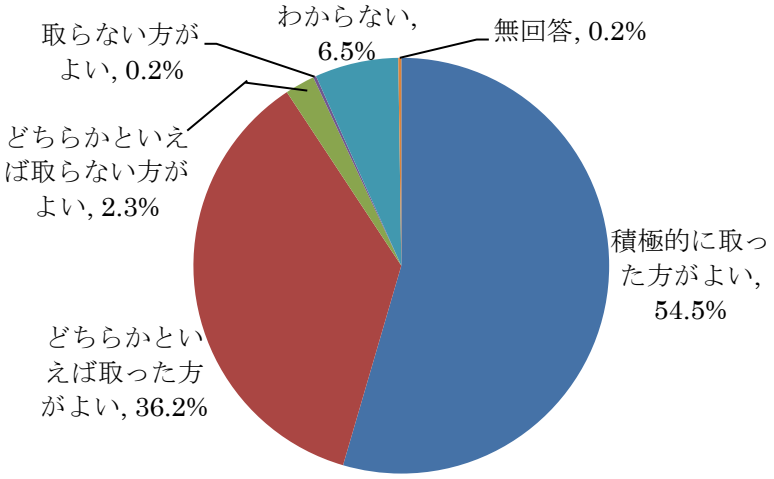
【全　体】

男性の育児休業、介護休暇の取得について、「積極的に取った方がよい」「どちらかといえば取った方がよい」の割合が高かった。

育児休業制度



介護休暇制度



問３　男性の育児休業・介護休暇の取得について

①　育児休業制度

【全　体】

「積極的に取った方がよい」が 49.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば取った方がよい」(36.9%)となっている。

【性　別】

男性では「積極的に取った方がよい」と「どちらかといえば取った方がよい」が同じ 41.6%となっている。

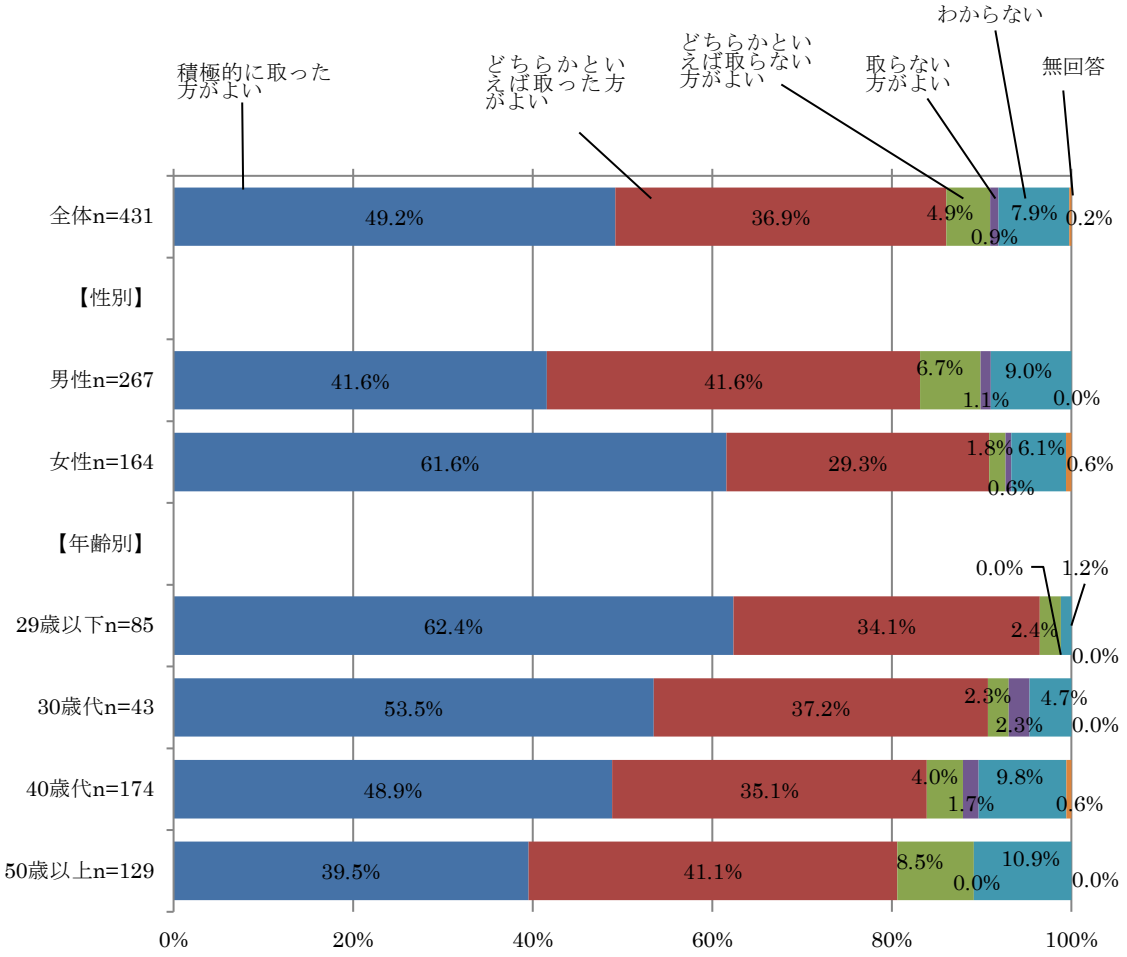
女性では「積極的に取った方がよい」が 61.6%と最も高く、次いで、「どちらかといえば取った方がよい」(29.3%) となっている。

【年齢別】

50 歳以上を除く年代で「積極的に取った方がよい」が最も高くなっており、29 歳以下（62.4%）と 50 歳以上（39.5%）では 22.9 ポイントの差がある。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「積極的に取った方がよい」が 10.1 ポイント増加している。



問３　男性の育児休業・介護休暇の取得について

②　介護休暇制度

【全　体】

「積極的に取った方がよい」が 54.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば取った方がよい」(36.2%)となっている。

【性　別】

男性では「積極的に取った方がよい」が 48.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば取った方がよい」(38.6%) となっている。

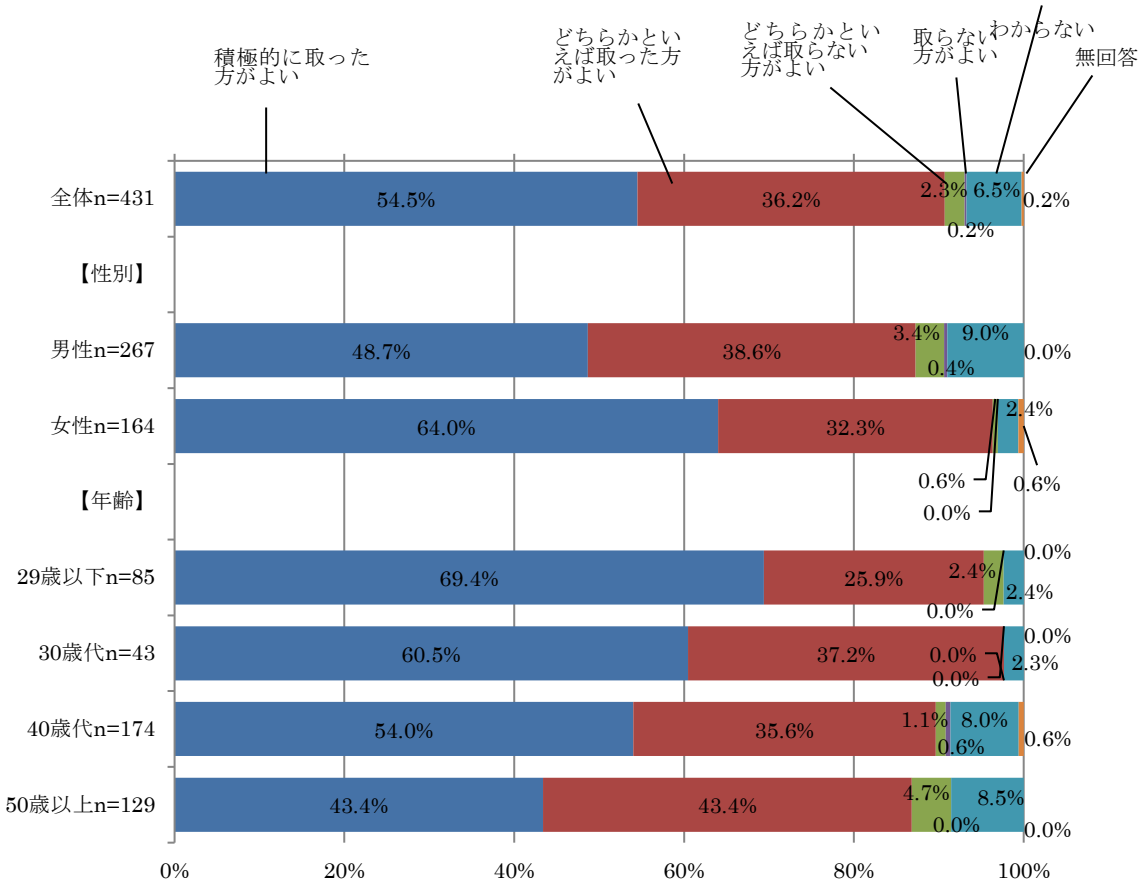
女性では「積極的に取った方がよい」が 64.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば取った方がよい」(32.3%) となっている。

【年齢別】

年代を問わず「積極的に取った方がよい」の割合が高くなっている。50 歳以上は「積極的に取った方がよい」と「どちらかといえば取った方がよい」が同率である。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「積極的に取った方がよい」が 7.9 ポイント増加している。



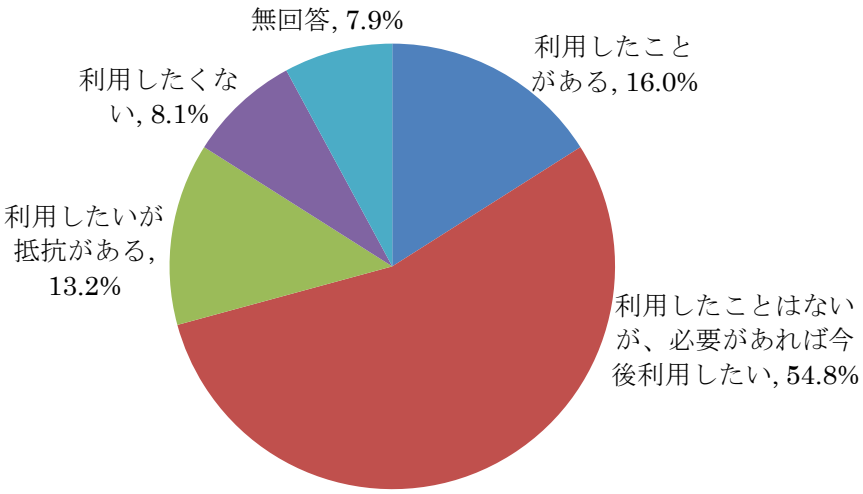
問４　育児休業・介護休暇制度の利用状況・利用意向

あなたは、育児や介護を行うために、これまでに育児休業・介護休暇制度を利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。①②のそれぞれについて（ア）～（エ）の中から１つずつ選んで番号に○をつけてください。

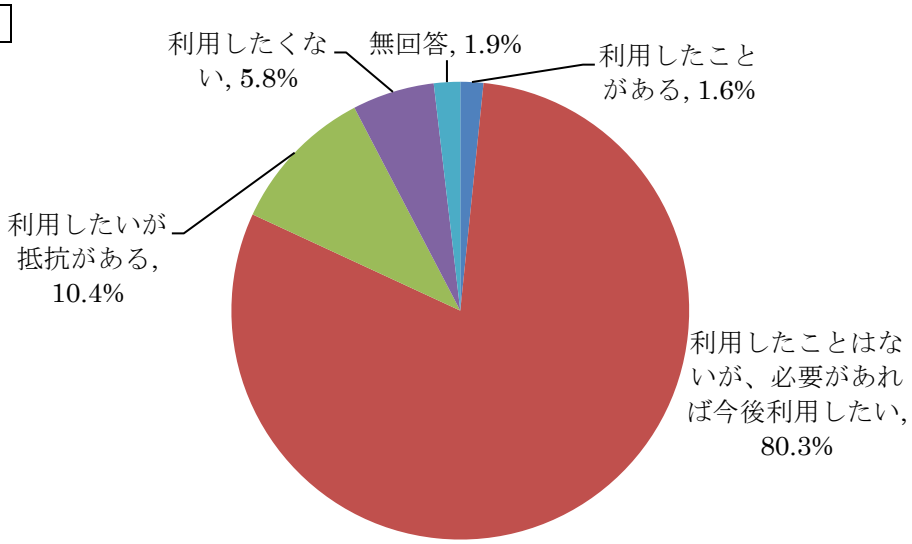
【全　体】

育児休業・介護休暇制度の利用について、「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」とした回答割合が高かった。

育児休業制度



介護休暇制度



問４　育児休業・介護休暇制度の利用状況・利用意向

①　育児休業制度

【全　体】

「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」が 54.8%と最も高く、次いで「利用したことがある」(16.0%)となっている。

【性　別】

男性では「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」が 60.3%と最も高く、次いで「利用したいが抵抗がある」(19.9%) となっている。

女性では「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」が 45.7%と最も高く、次いで、「利用したことがある」(40.9%) となっている。

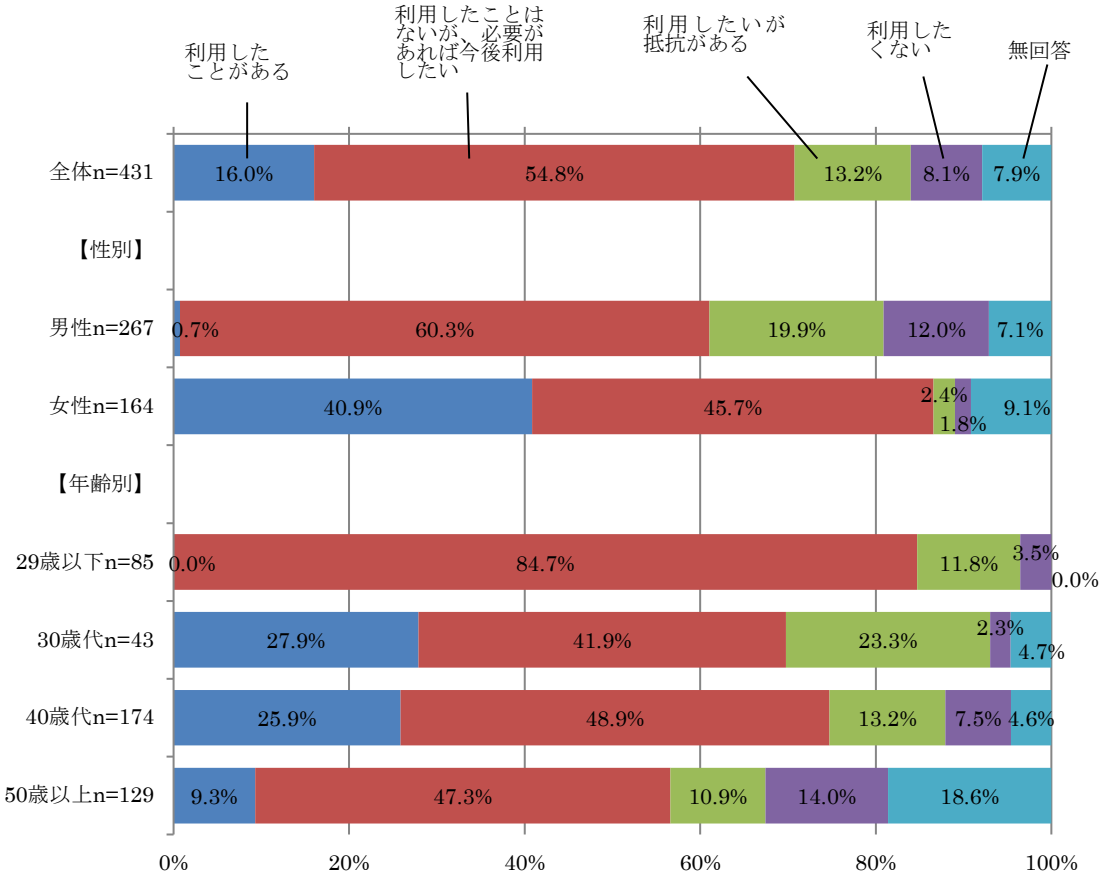
「利用したことがある」では、女性の方が男性より 40.2 ポイント高くなっている。

【年齢別】

年代を問わず「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」の割合が高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」が 8.4 ポイント増加している。



問４　育児休業・介護休暇制度の利用状況・利用意向

②　介護休暇制度

【全　体】

「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」が 80.3%と最も高く、次いで「利用したいが抵抗がある」(10.4%)となっている。

【性　別】

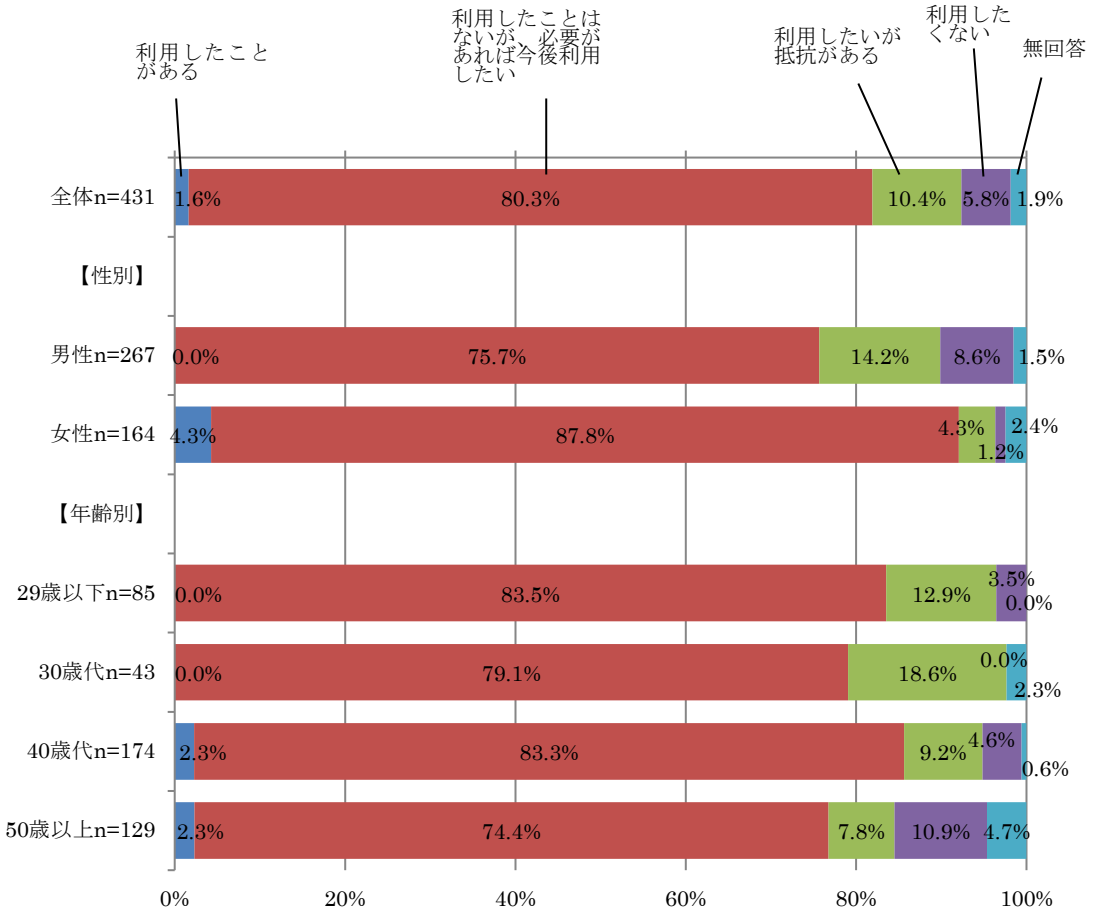
「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」が、男性は７割、女性は８割を超えている。

【年齢別】

年代を問わず「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」が７割を超えている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「利用したことはないが、必要があれば今後利用したい」が 3.0 ポイント増加している。



問５　育児休業・介護休暇制度を利用する上で支障となること

あなたが、育児休業・介護休暇制度を利用する上で、支障となることはどのようなことだと思いますか。３つまで選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

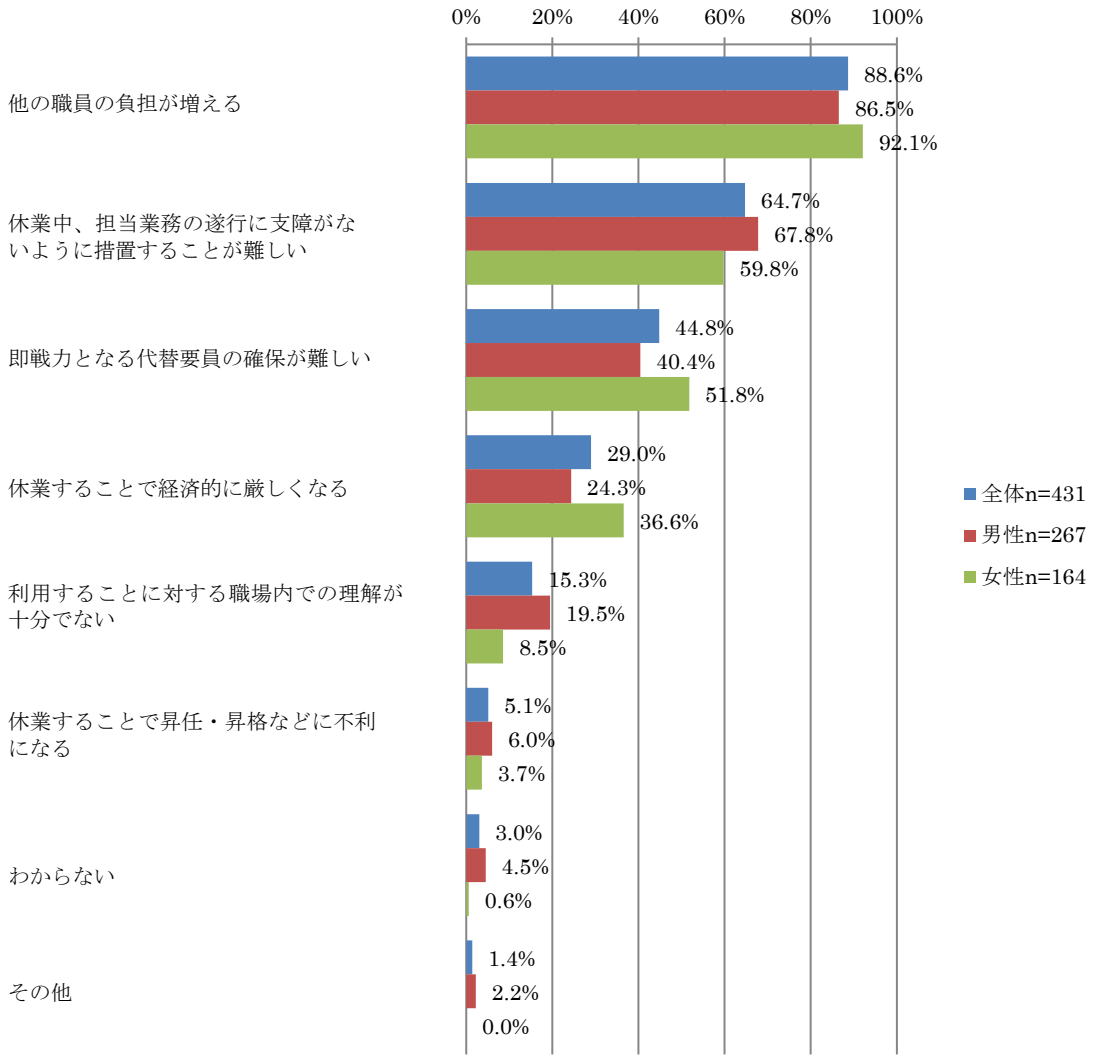
「他の職員の負担が増える」が 88.6%と最も高く、次いで「休業中、担当業務の遂行に支障がないように措置することが難しい」(64.7%)、「即戦力となる代替要員の確保が難しい」(44.8%)の順となっている。

【性　別】

「他の職員の負担が増える」につき、男性は８割、女性は９割を超えている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「休業することで経済的に厳しくなる」が 11.9 ポイント減少し、「即戦力となる代替要員の確保が難しい」と順位が逆転した。



問６　職場の待遇

あなたは、職場で仕事をする上で、性別による差別を感じますか。１つ選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

「特に感じない」が 60.8%と最も高く、続いて「時々感じる」(29.0%)、「よく感じる」(9.0%)となっている。

【性　別】

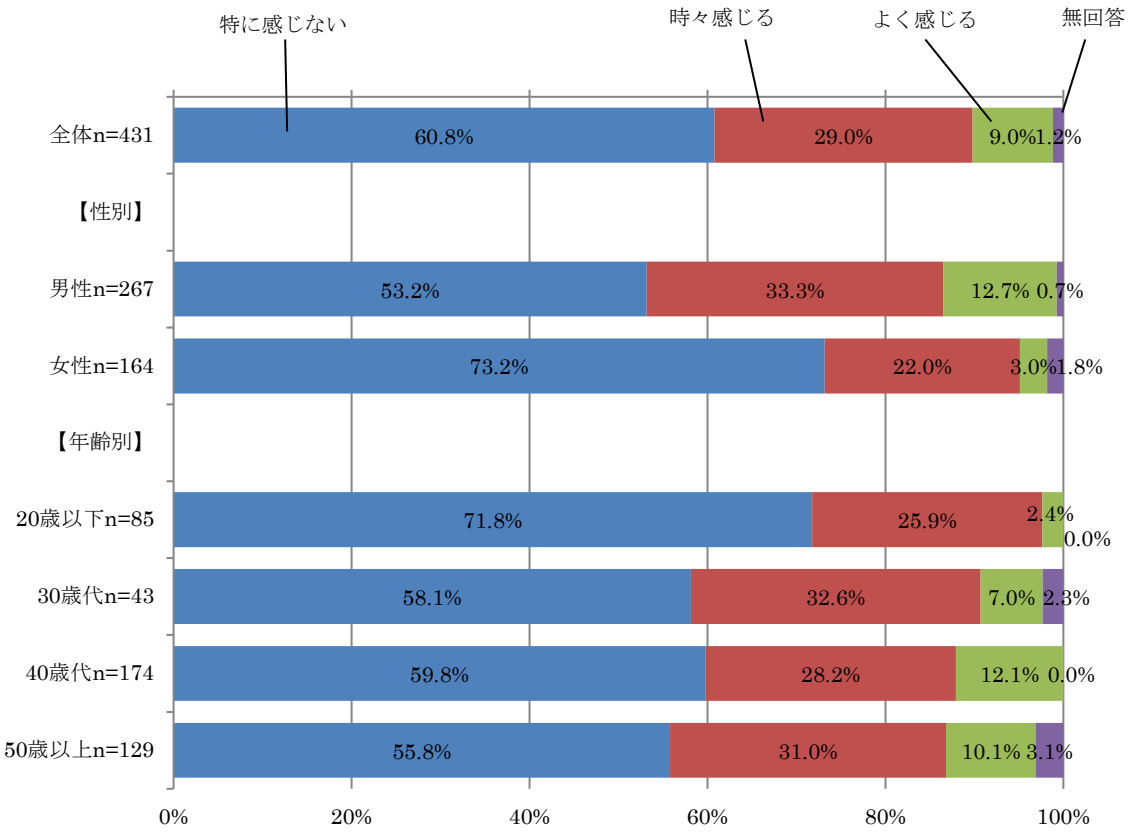
男性、女性ともに「特に感じない」の割合が最も高くなっているが、男性（53.2%）と女性（73.2%）の間に 20.0 ポイントの差がある。

【年齢別】

年代を問わず「特に感じない」の割合が高くなっているが、最も高い 20 歳以下(71.8%)と最も低い 50 歳以上（55.8%）では 16.0 ポイントの差がある。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「特に感じない」が 6.0 ポイント増加し、「時々感じる」「よく感じる」の合計が 4.5 ポイント減少している。



問７　職場の待遇で実感すること

〔 問６で「②時々感じる、③よく感じる」 と答えた方にお聞きします〕

あなたはどのようなことについてそう感じますか。次の中から一番実感するものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

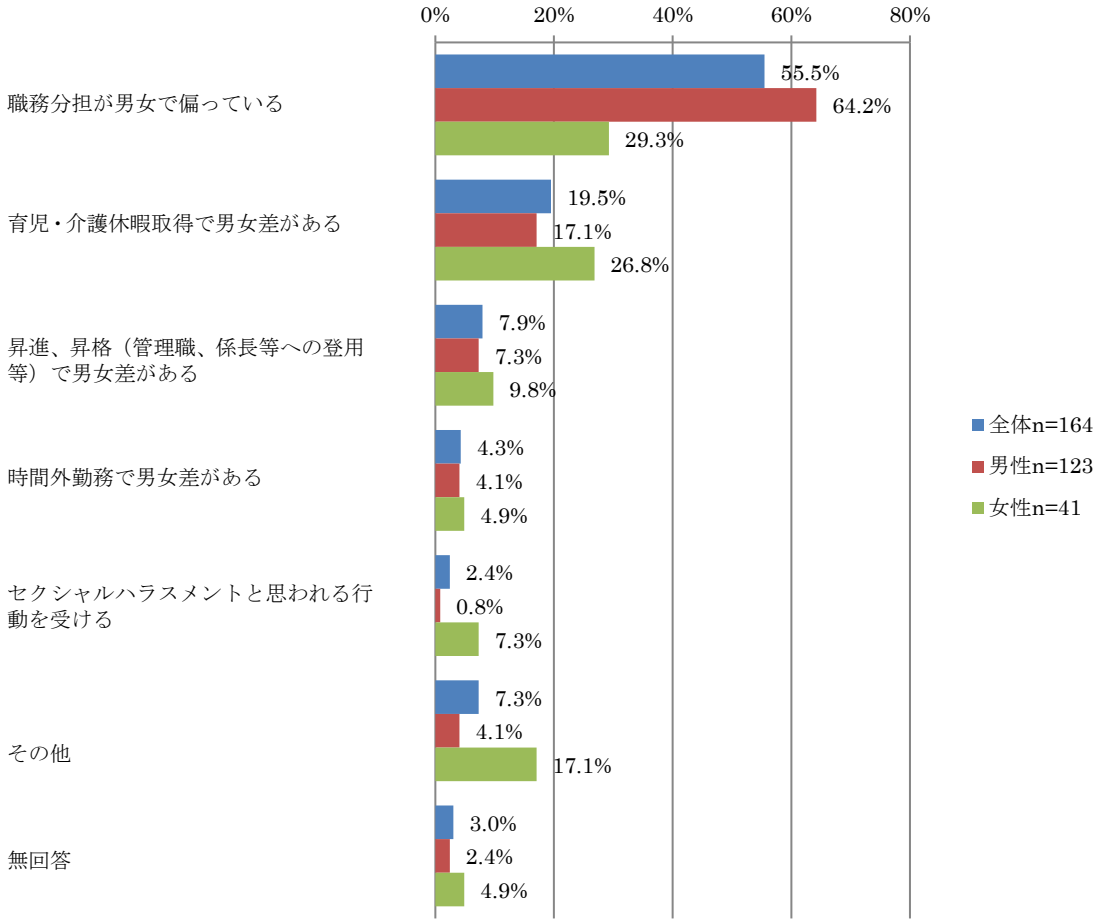
「職務分担が男女で偏っている」が 55.5%と最も高く、次いで「育児・介護休暇取得で男女差がある」(19.5%)、「昇進、昇格で男女差がある」(7.9%)の順となっている。

【性　別】

男性は「職務分担が男女で偏っている」が特に高く、女性は「職務分担が男女で偏っている」「育児・介護休暇取得で男女差がある」の割合が同程度である。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で「育児・介護休暇取得で男女差がある」が 8.8 ポイント増加している。「昇進、昇格（管理職、係長等への登用等）で男女差がある」は全体で 2.3 ポイント、女性では 10.6 ポイント減少している。



問８　職場の男女共同参画推進への取り組み

あなたが、職場で男女平等を推進していくためは、どのようなことが必要だと思いますか。あなたが今、一番取り組みが必要と思われるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

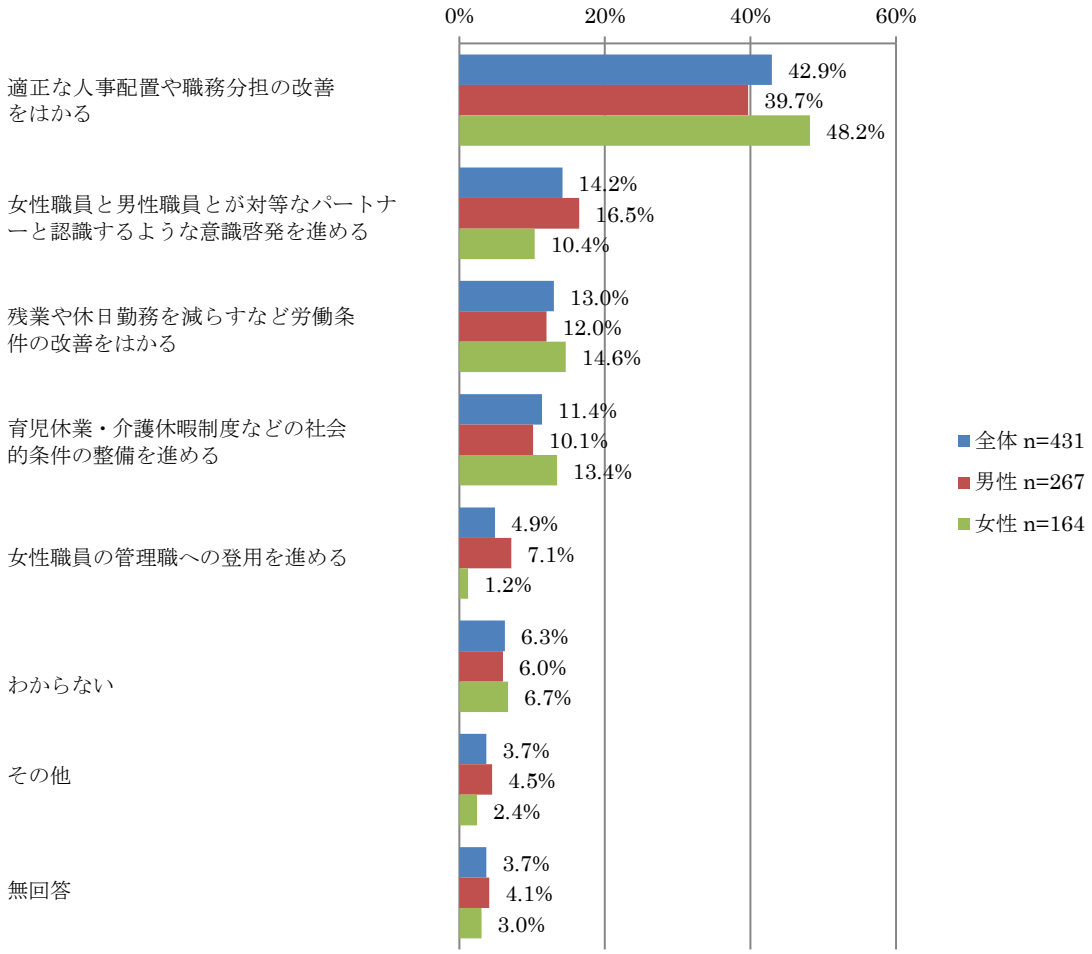
「適正な人事配置や職務分担の改善をはかる」が 42.9%と最も高く、次いで「女性職員と男性職員とが対等なパートナーと認識するような意識啓発を進める」(14.2%)、「残業や休日勤務を減らすなど労働条件の改善をはかる」(13.0%)の順となっている。

【性　別】

男性、女性ともに「適正な人事配置や職務分担の改善をはかる」の割合が高いが、女性は男性より 8.5 ポイント高くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて「適正な人事配置や職務分担の改善をはかる」と答えた女性が 9.5 ポイント増加している。「残業や休日勤務を減らすなど労働条件の改善をはかる」は全体で 5.0 ポイント増加している。



Ⅲ　男女共同参画社会に関する法制度等について

問９　男女共同参画社会に関する法制度等の認知度

あなたは、次の用語や法律などをご存知ですか。①～⑪のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から１つずつ選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

男女共同参画社会に関する法制度等の認知度について、「内容まで知っている」「聞いたことがある」と回答の計は、「男女雇用機会均等法」と「ドメスティック・バイオレンス」が同率で最も多かった（95.6%）。次いで「育児・介護休業法」（90.3%）、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」（84.5%）の順となっている。

また、「内容まで知っている」では、「ドメスティック・バイオレンス」が 59.9%と最も高く、次いで「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」（34.6%）、「LGBT・性的少数者」（26.5%）の順となっている。

一方、「知らない」では、「リプロダクティブヘルス／ライツ」が 71.9%と最も高く、次いで「ポジティブ・アクション」（65.4%）、「審議会等における女性委員の登用の促進」（39.4%）の順となっている。

【性　別】

「内容まで知っている」「聞いたことがある」の合計の割合は、全体的に男性より女性の方が高い。また、「内容まで知っている」と回答した割合につき、「②育児・介護休業法」では男性より女性の方が 24.4%高く、「⑥リプロダクティブヘルス・ライツ（性と生殖に関する健康、権利）」「⑦ＬＧＢＴ・性的少数者」「⑧ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」では、それぞれ女性の方が 10%以上高かった。

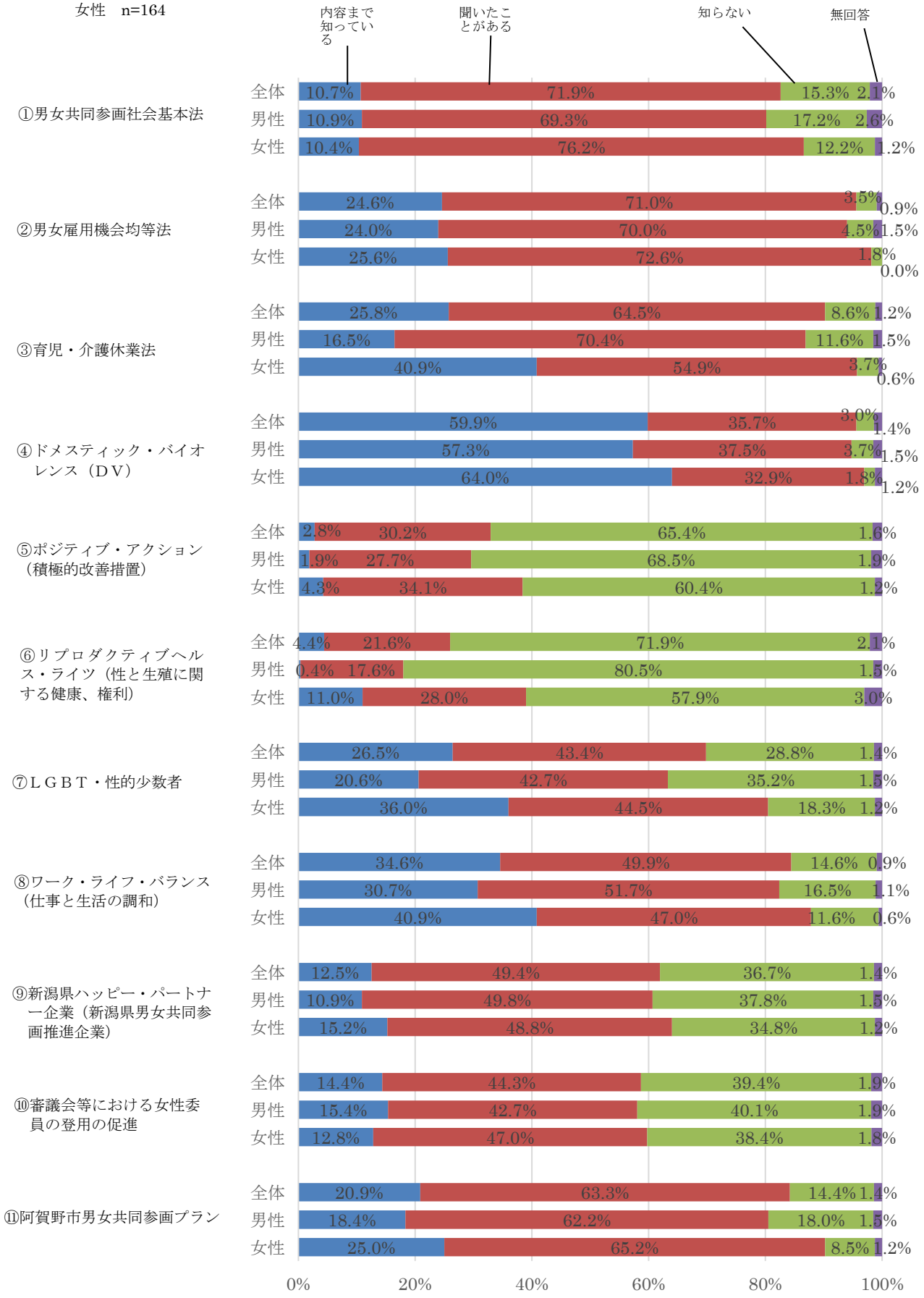
【前回調査との比較】

前回調査と比べて、「⑧ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」を「知っている」と答えた割合が全体で 17.8 ポイント増加している。

全体　n=431

男性　n=267

女性　n=164



問１０　新潟県ハッピー・パートナー企業登録の周知度

あなたは、阿賀野市役所が「新潟県ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）」に登録していたことをご存知ですか。１つ選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

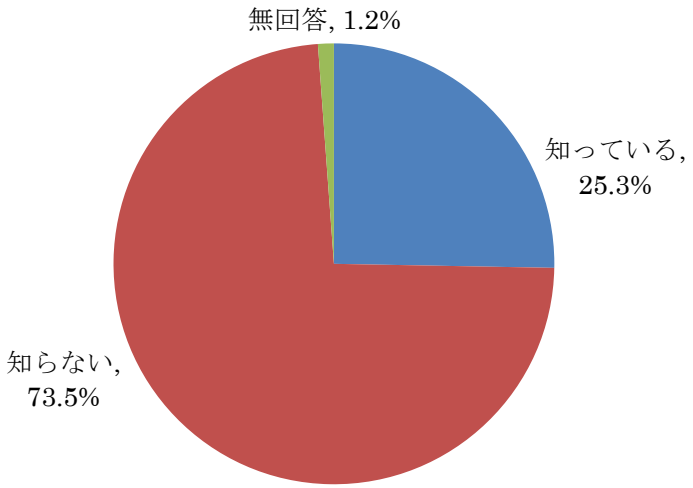
阿賀野市役所が新潟県ハッピー・パートナー企業登録していたことについて、「知らない」が 73.5%、「知っている」が 25.3%となっている。

【性　別】

男性、女性ともに「知らない」の割合が７割を超えている。

【前回調査との比較】

前回調査とほぼ同様の数値である。



Ⅳ　阿賀野市での男女共同参画の推進について

問１１　男女共同参画の推進で市に期待すること

当市で男女共同参画を推進していくために、行政はこれからどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。３つまで選んで番号に○をつけてください。

【全　体】

男女共同参画の推進で阿賀野市に期待することは、「保育、介護サービスの充実をはかる」が 44.5%と最も高く、次いで「教育の場において男女共同参画社会に対する学習機会の充実を図る」(42.7%)「女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける」(41.5%) の順となっている。

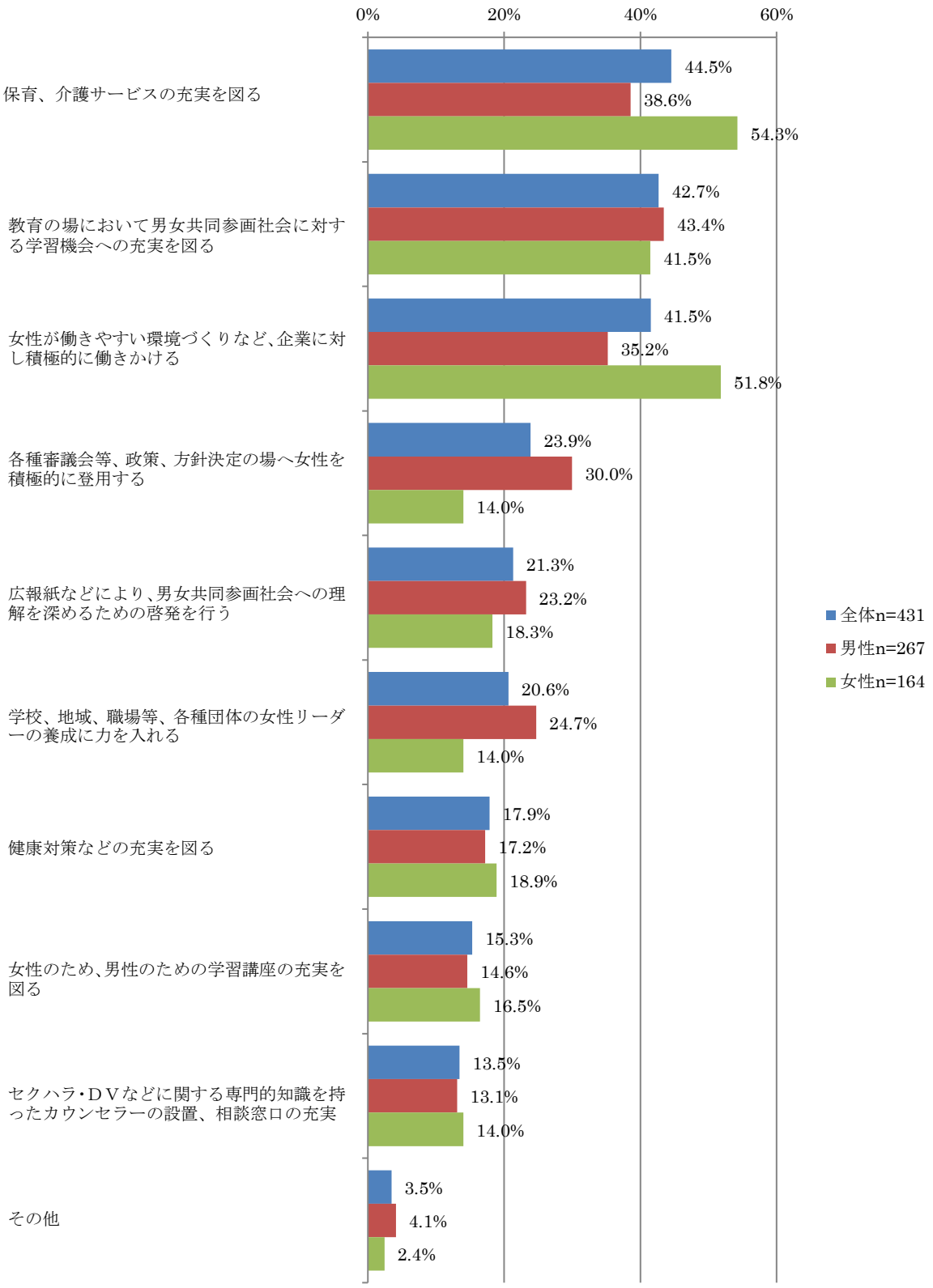
【性　別】

男性では「教育の場において男女共同参画社会に対する学習機会の充実を図る」が 43.4%と最も高く、次いで「女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける」(35.6%)となっている。

女性では「女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける」が 51.8%と最も高く、次いで「保育、介護サービスの充実を図る」(54.3%)となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比べて、全体で上位３位までに入る項目に変化はなかった。


0%
20%
40%
60%
保育、介護サービスの充実を図る
44.5%
38.6%
54.3%
教育の場において男女共同参画社会に対する学習機会への充実を図る
42.7%
43.4%
41.5%
女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける
41.5%
35.2%
51.8%
各種審議会等、政策、方針決定の場へ女性を積極的に登用する
23.9%
30.0%
14.0%
広報紙などにより、男女共同参画社会への理解を深めるための啓発を行う
21.3%
23.2%
18.3%
学校、地域、職場等、各種団体の女性リーダーの養成に力を入れる
20.6%
24.7%
14.0%
健康対策などの充実を図る
17.9%
17.2%
18.9%
女性のため、男性のための学習講座の充実を図る
15.3%
14.6%
16.5%
セクハラ・ＤＶなどに関する専門的知識を持ったカウンセラーの設置、相談窓口の充実
13.5%
13.1%
14.0%
その他
3.5%
4.1%
2.4%
全体n=431
男性n=267
女性n=164

☆自由意見

性別	年齢	ご意見・ご要望
男性	29 歳以下	男性が優先で当たらなければならない、または配置されている業務が多いと感じる。逆に不平等ではないか。
男性	29 歳以下	我々世代では男女の不平等を感じたことはない。一部の人が理解していないだけであり、女性が意見を言いにくい、という環境でもないと思う。このため、女性を積極的に管理職に登用するのは目的もわからないし手段としてもどうか…とは感じる。育休・介護休・出世、男女関係なく「当然」という意識は広がっているため、問題意識はほとんどない。
男性	29 歳以下	「男のくせに」「女のくせに」という固定観念を払拭することは一筋縄ではいかないと思います。長年しみついた固定観念は取れないと思うので、若い世代が中心となって進めていくことが必要だと思います。
男性	30 歳代	この手のアンケートの設問で「女性が～」となっていること自体に疑問を感じます。市の主催するイベントで男性と女性の参加料が異なるものを見かけましたが、その差も男女共同参画で合理的な考えなのでしょうか。
男性	40 歳代	難しい課題だと思いますが、ひとつひとつ解決していければいいと思いました。
男性	40 歳代	労働力人口の減少への対応の観点からの女性も働きやすい（働かせやすい）環境づくりに向けた取組みと、労働者としての権利行使の側面からのいわゆる男女平等推進との取組みが渾然一体となっている感があり、施策としての狙いが分かりづらい面がある。
男性	40 歳代	女性リーダーを作るためのアンケート？
男性	40 歳代	家庭環境においては男女平等が当たり前となってきているので、あと数十年後には、施策として行わなくても平等社会になっていると思います。
男性	40 歳代	県知事選の開票作業が男性職員ばかりだった。職務分担の男女平等がまだされていないと感じる出来事だった。
男性	50 歳以上	この調査が調査で終わらないことを願う。
男性	50 歳以上	男女共同参画社会と言うとなんとなく固い感じがして隔たりが増すようです。男女の特性を認め、その利点を生かすような方向付けが必要かと思います。
男性	50 歳以上	生活にゆとりがないところでは、なかなか進まない。阿賀野市が活気のある（経済的に）市になれば、おのずと男女共同参画は進みます。
男性	50 歳以上	男女の違いが現実的にあること、お互いの理解が欠かせないと思います、
男性	50 歳以上	男女共同参画をうたいながら、毎回設問が女性目線にすぎる！男女共同参画即中止
男性	50 歳以上	やる気のある女性を積極的に登用することは良いと思うが、体のちがいにより、女性が守られる（負担をかけない）ことも必要であるということを忘れてはいけないと思う。

性別	年齢	ご意見・ご要望
女性	29 歳以下	同じ女性でも、基本的に元気な人もいるかもしれないが、女性ホルモンの変動等で不調を感じながら日々働いている人もいると思う。そういう人は、そのままでは男性並みに働くのは難しいのではないだろうか。そういう人でも（そうでない人でも）無理せず働ける環境を作ったり、女性ホルモンの変動による不調で気軽に婦人科に行って適切な医療を受けられるような環境を作っていくことが必要かもしれない（ヨーロッパでは多くの働く女性が女性ホルモンの変動を抑え、不調を改善する薬を飲んでいるそうです。）
女性	30 歳代	男女平等にはならないと思う。不平等でいいがお互いの役割を理解しあえればそれでいいと思う。体力面で男性に勝つことはできないので…。
女性	30 歳代	問 11③⑥のように女性を登用して比率で平等…というような考えであれば根本的にずれていると思います。男女問わず有能（管理能力有無等）であるかどうかが重要ではないかと思います。”女性が～しやすい環境”に着目するだけでなく、男性も育児や介護、家族のために休暇を取得しやすい環境整備も必要と思います。
女性	40 歳代	どんなことをしても家庭における役割が男女平等でなければ、職場で男女平等に仕事をあてられても負担が増えるばかりです。古い世代ほど女性に家庭での役割を求めがちで、それが改善されるのを待つしかないと思います。ただ、社会として男女共同参画を推進することが、人々の考え方を変える有効な方法とも思いますので、行政には頑張って欲しいです。
女性	40 歳代	計画などの中身が対女性のものが多すぎると感じる（ex.女性の登用、女性が働きやすい環境 etc.）男女共同と言っても女性のためだけの政策のような感じがして逆効果では？
女性	40 歳代	男とか女とかではなく、得意な人が得意なことをするのがよいと思います。家のことをやって、仕事でも活躍するなんてツラいです。バリバリ昇格したい人と、そうでもなく地味に頑張りたい人のコース分けなんて無理でしょうか…？
女性	40 歳代	男女が共同して社会に参画するには、育児や介護のサポートが不可欠です。市役所の職員は災害が起これば、自分の家族の面倒が見れなくなります。その辺をサポートするシステムも必要不可欠だと思います。女性は充分にいろんな分野に進出していますが、家庭のことはいまだにウェイトが大きいので、育児や介護のサポートや家事のことなど考慮に入れてもらえる環境が必要に感じます。男性はシングルタスクなので、女性のように器用に家事をこなせない人が多いです。女性の中にもシングルタスクな特性の人もいますし、男性の中にも器用にこなせる特性の人もいますが。
女性	40 歳代	育児休暇の取得についての認知度が高いように見受けられるが、介護休暇や介護サービスについての認知度も広めてほしいと思う。特に認知症については、身体は丈夫であっても徘徊があると 1 日中つきっきりで面倒みなければならず、日常生活も苦しくなる。仕事と両立するには苦労する。
女性	40 歳代	何でも女性を登用すれば良いというものではない。人の上に立つ器か否か、男女ともに考慮すべき

第５章　単純集計表

１．市民意識調査

Ⅱ　男女の地域・家庭に対する考え方について

問９　あなたは次のような項目で男女の地位が平等になっていると思いますか。①～⑦のそれぞれについて（ア）～（カ）の中から１つずつ選んで番号に○をつけてください。

①家庭において

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
男性優遇	12.4%	5.4%	17.6%	14.6%	-2.2%
どちらかといえば男性優遇	40.9%	36.8%	43.9%	39.4%	1.5%
男女平等	31.9%	38.7%	26.9%	31.2%	0.7%
どちらかといえば女性優遇	5.9%	7.9%	4.5%	6.0%	0.0%
女性優遇	2.6%	3.3%	2.0%	2.1%	0.4%
わからない	5.8%	7.3%	4.5%	4.1%	1.7%
無回答	0.6%	0.6%	0.6%	2.7%	-2.0%

②職場において

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
男性優遇	13.9%	9.8%	17.0%	16.8%	-2.9%
どちらかといえば男性優遇	33.0%	35.8%	31.1%	35.4%	-2.4%
男女平等	31.2%	31.6%	30.9%	25.7%	5.6%
どちらかといえば女性優遇	4.8%	5.8%	4.0%	4.5%	0.2%
女性優遇	2.0%	2.1%	2.0%	1.3%	0.7%
わからない	9.7%	10.8%	8.8%	9.4%	0.3%
無回答	5.3%	4.2%	6.2%	6.8%	-1.5%

③地域において

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
男性優遇	13.4%	9.6%	16.2%	14.6%	-1.2%
どちらかといえば男性優遇	39.2%	35.8%	41.9%	41.4%	-2.2%
男女平等	26.0%	34.3%	19.8%	22.4%	3.6%
どちらかといえば女性優遇	2.0%	2.9%	1.4%	2.7%	-0.6%
女性優遇	0.6%	0.8%	0.5%	0.6%	0.0%
わからない	16.1%	15.0%	16.8%	14.0%	2.1%
無回答	2.7%	1.7%	3.4%	4.4%	-1.7%

④政治経済活動の場において

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
男性優遇	26.1%	17.0%	32.9%	22.6%	3.5%
どちらかといえば男性優遇	40.4%	39.1%	41.4%	40.0%	0.5%
男女平等	16.7%	26.2%	9.7%	17.8%	-1.0%
どちらかといえば女性優遇	1.1%	1.7%	0.6%	1.0%	0.1%
女性優遇	0.4%	0.8%	0.2%	0.4%	0.1%
わからない	13.2%	13.5%	12.8%	13.8%	-0.6%
無回答	2.0%	1.7%	2.3%	4.5%	-2.5%

⑤学校教育の場において

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
男性優遇	4.1%	2.1%	5.6%	4.1%	0.0%
どちらかといえば男性優遇	16.5%	13.7%	18.7%	15.0%	1.5%
男女平等	50.8%	53.4%	48.8%	53.2%	-2.4%
どちらかといえば女性優遇	3.6%	3.7%	3.6%	5.4%	-1.8%
女性優遇	1.0%	1.7%	0.5%	1.3%	-0.4%
わからない	21.4%	22.7%	20.4%	16.7%	4.7%
無回答	2.6%	2.7%	2.5%	4.3%	-1.7%

⑥法律や制度の面において

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
男性優遇	10.6%	6.0%	14.1%	10.0%	0.6%
どちらかといえば男性優遇	31.0%	26.4%	34.5%	32.1%	-1.2%
男女平等	32.0%	41.6%	24.9%	31.9%	0.2%
どちらかといえば女性優遇	5.1%	6.7%	4.0%	5.8%	-0.6%
女性優遇	1.1%	2.1%	0.3%	0.7%	0.4%
わからない	18.1%	15.2%	20.1%	15.5%	2.5%
無回答	2.1%	2.1%	2.2%	3.9%	-1.8%

⑦社会習慣（しきたり）の面において

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
男性優遇	25.1%	17.9%	30.6%	25.4%	-0.3%
どちらかといえば男性優遇	47.3%	50.3%	45.1%	46.5%	0.8%
男女平等	14.3%	18.9%	11.0%	12.9%	1.5%
どちらかといえば女性優遇	1.7%	1.9%	1.5%	2.3%	-0.6%
女性優遇	0.6%	1.2%	0.2%	0.6%	0.0%
わからない	9.5%	8.9%	9.7%	9.0%	0.5%
無回答	1.4%	0.8%	1.9%	3.3%	-1.9%

問１０　あなたは次の項目についてどのように考えますか。①～⑥のそれぞれについて（ア）～（オ）の中からあなたの考えに一番近いものを１つずつ選んで番号に○をつけてください。

①男は仕事、女は家庭を中心とするほうがよい

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
そう思う	6.1%	7.1%	5.4%	7.7%	-1.6%
どちらかといえばそう思う	28.9%	33.9%	25.3%	36.7%	-7.7%
どちらかといえばそう思わない	19.0%	17.5%	20.1%	16.6%	2.4%
そう思わない	41.8%	38.0%	44.5%	33.9%	7.8%
わからない	3.4%	2.9%	3.7%	2.6%	0.8%
無回答	0.8%	0.6%	0.9%	2.5%	-1.7%

②女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児はきちんとするべきである

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
そう思う	15.0%	16.6%	13.6%	18.9%	-4.0%
どちらかといえばそう思う	36.2%	37.6%	35.2%	42.1%	-5.9%
どちらかといえばそう思わない	18.8%	17.5%	19.9%	15.6%	3.2%
そう思わない	25.4%	23.3%	26.9%	18.0%	7.4%
わからない	3.2%	3.5%	2.9%	2.3%	0.9%
無回答	1.4%	1.5%	1.4%	3.0%	-1.6%

③男性も女性と平等に家事・育児をするべきである

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
そう思う	39.3%	28.5%	47.4%	34.7%	4.6%
どちらかといえばそう思う	40.1%	45.7%	35.9%	40.7%	-0.6%
どちらかといえばそう思わない	11.9%	15.4%	9.4%	14.1%	-2.2%
そう思わない	4.2%	5.2%	3.2%	5.5%	-1.3%
わからない	3.1%	4.2%	2.3%	2.7%	0.4%
無回答	1.4%	1.0%	1.7%	2.3%	-0.9%

④家事・育児も外で仕事をするのと同じ評価をするべきである

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
そう思う	51.4%	43.5%	57.5%	46.9%	4.5%
どちらかといえばそう思う	33.0%	38.3%	29.2%	33.0%	0.0%
どちらかといえばそう思わない	6.0%	6.7%	5.6%	8.1%	-2.1%
そう思わない	3.5%	4.4%	2.8%	5.0%	-1.4%
わからない	4.8%	6.0%	3.7%	4.5%	0.2%
無回答	1.2%	1.2%	1.2%	2.5%	-1.2%

⑤女性は子どもが小さいうちは子育てに専念するほうがよい

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
そう思う	23.5%	24.9%	22.4%	30.1%	-6.6%
どちらかといえばそう思う	43.8%	46.8%	41.7%	41.5%	2.3%
どちらかといえばそう思わない	13.5%	11.2%	15.1%	12.6%	0.8%
そう思わない	14.0%	12.5%	15.0%	9.6%	4.4%
わからない	4.1%	3.5%	4.5%	3.1%	1.0%
無回答	1.2%	1.0%	1.2%	3.1%	-2.0%

⑥男の子は男らしく、女の子は女らしくしたほうがよい

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
そう思う	18.1%	26.8%	11.7%	27.8%	-9.7%
どちらかといえばそう思う	29.9%	34.5%	26.4%	34.1%	-4.2%
どちらかといえばそう思わない	17.7%	12.1%	21.9%	13.6%	4.1%
そう思わない	26.6%	18.3%	32.8%	17.9%	8.8%
わからない	6.5%	7.1%	6.0%	4.4%	2.1%
無回答	1.2%	1.2%	1.1%	2.3%	-1.2%

問１１　あなたは、仕事と家庭生活・地域活動の関係をどのように位置づけることが望ましいと思いますか。①②のそれぞれについて、次の中から１つずつ選んで（　）内に番号を記入してください。

①男性の仕事と家庭生活・地域活動のかかわり方

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
家庭生活・地域活動よりも仕事に専念する	4.5%	6.2%	3.2%	4.8%	-0.3%
家庭生活・地域活動にもたずさわるが、あくまで仕事を優先させる	52.9%	52.4%	53.2%	53.6%	-0.6%
家庭生活・地域活動と仕事を同じように両立させる	31.7%	32.8%	30.9%	29.8%	1.9%
仕事にもたずさわるが、家庭生活・地域活動を優先させる	4.5%	3.7%	5.1%	4.4%	0.1%
仕事よりも、家庭生活・地域活動に専念する	0.4%	0.6%	0.2%	0.5%	-0.2%
わからない	3.6%	2.5%	4.5%	2.7%	1.0%
無回答	2.4%	1.7%	2.9%	4.3%	-1.9%

②女性の仕事と家庭生活・地域活動のかかわり方

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
家庭生活・地域活動よりも仕事に専念する	1.0%	1.0%	0.8%	0.4%	0.5%
家庭生活・地域活動にもたずさわるが、あくまで仕事を優先させる	18.9%	18.3%	19.5%	16.4%	2.5%
家庭生活・地域活動と仕事を同じように両立させる	33.8%	33.3%	34.3%	34.0%	-0.2%
仕事にもたずさわるが、家庭生活・地域活動を優先させる	29.1%	27.7%	30.1%	30.5%	-1.3%
仕事よりも、家庭生活・地域活動に専念する	5.6%	7.1%	4.5%	6.6%	-1.0%
わからない	7.7%	7.1%	8.2%	7.4%	0.3%
無回答	3.9%	5.6%	2.6%	4.7%	-0.8%

問１２　近年、少子化が進んでいますが、その原因はどんなことだと思いますか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
子育てにかかる経済的負担が大きいから	67.6%	68.4%	66.9%	66.3%	1.4%
子育てにかかる精神的・肉体的負担が大きいから	27.8%	23.3%	31.2%	22.4%	5.4%
仕事を重視する女性が増えるなど、女性の社会進出が進んできたから	28.8%	26.2%	30.9%	32.3%	-3.5%
仕事と子育てを両立できる環境が整っていないから	59.6%	58.4%	60.4%	56.9%	2.6%
子どもを産み育てていく生活環境に不安があるから	36.5%	38.5%	35.1%	37.7%	-1.2%
晩婚化が進んでいるから	44.0%	41.4%	46.1%	44.4%	-0.4%
その他	7.3%	7.7%	7.1%	6.4%	1.0%
わからない	2.6%	3.3%	1.9%	2.0%	0.6%

問１３　安心して子どもを生み育てるためには、どんなことが必要だと思いますか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
出産・子育てに対する経済的な支援の充実	64.1%	68.4%	60.9%	65.3%	-1.2%
一時保育、延長保育など保育サービスの充実	39.6%	39.1%	39.9%	38.7%	0.9%
ファミリーサポートセンター、学童保育など、地域での子育て支援の充実	27.7%	27.4%	27.8%	25.1%	2.6%
子育てとの両立が可能な勤務体制の整備	59.7%	55.9%	62.6%	58.3%	1.5%
出産・子育て後の再就職に対する支援	26.8%	27.0%	26.6%	32.5%	-5.7%
子育てに対する家庭内の協力	35.2%	26.4%	41.9%	34.3%	0.9%
子育て中の仲間づくりやリフレッシュに対する支援	6.5%	6.0%	7.0%	6.6%	0.0%
子育て中の悩みに対する相談体制の充実	9.4%	10.0%	9.0%	9.6%	-0.2%
ひとり親家庭への支援	8.2%	10.6%	6.5%	8.7%	-0.5%
その他	2.4%	3.1%	1.9%	2.6%	-0.2%
わからない	2.4%	3.7%	1.4%	1.0%	1.4%

Ⅲ　男女の職業生活に対する考え方について

問１４　あなたは現在働いていますか。１つ選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
働いている（産休、育休などで一時的に休んでいる人を含む）	72.7%	78.6%	68.2%	69.5%	3.1%
働いていない	26.4%	19.8%	31.4%	29.5%	-3.1%
無回答	1.0%	1.7%	0.5%	1.0%	0.0%

問１５　問１４で「1. 働いている」と答えた方にお聞きします。あなたは職場において、次の項目で男女差別を感じることがありますか。①～⑧のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から１つずつ選んで番号に○をつけてください。

①お茶くみなどの雑用

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=821	男性 n=378	女性 n=441	全体 n=783	
感じる	28.6%	26.2%	30.8%	30.9%	-2.3%
感じない	53.3%	53.4%	53.3%	50.1%	3.3%
わからない	13.0%	15.1%	11.3%	13.4%	-0.4%
無回答	5.0%	5.3%	4.5%	5.6%	-0.6%

②賃金・手当

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=821	男性 n=378	女性 n=441	全体 n=783	
感じる	35.3%	33.1%	37.4%	44.8%	-9.5%
感じない	46.9%	48.4%	45.6%	38.7%	8.2%
わからない	13.9%	14.6%	13.4%	11.9%	2.0%
無回答	3.9%	4.0%	3.6%	4.6%	-0.7%

③昇進・昇格

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=821	男性 n=378	女性 n=441	全体 n=783	
感じる	36.5%	34.4%	38.5%	43.7%	-7.1%
感じない	44.0%	44.2%	43.8%	39.2%	4.8%
わからない	14.7%	16.4%	13.4%	12.3%	2.5%
無回答	4.8%	5.0%	4.3%	4.9%	-0.1%

④研修、出張

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=821	男性 n=378	女性 n=441	全体 n=783	
感じる	20.0%	23.3%	17.2%	27.3%	-7.4%
感じない	57.0%	53.2%	60.3%	48.7%	8.3%
わからない	17.5%	17.5%	17.7%	18.5%	-1.0%
無回答	5.5%	6.1%	4.8%	5.5%	0.0%

⑤募集や採用人数

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=821	男性 n=378	女性 n=441	全体 n=783	
感じる	24.2%	28.0%	21.1%	31.0%	-6.8%
感じない	55.1%	49.2%	60.1%	47.9%	7.2%
わからない	15.8%	17.2%	14.7%	15.6%	0.3%
無回答	4.9%	5.6%	4.1%	5.5%	-0.6%

⑥育児休業、介護休暇の取得

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=821	男性 n=378	女性 n=441	全体 n=783	
感じる	35.3%	37.0%	33.8%	36.5%	-1.2%
感じない	41.7%	38.9%	44.2%	39.3%	2.3%
わからない	18.4%	18.8%	18.1%	18.4%	0.0%
無回答	4.6%	5.3%	3.9%	5.7%	-1.1%

⑦定年

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=821	男性 n=378	女性 n=441	全体 n=783	
感じる	12.9%	14.3%	11.8%	14.2%	-1.3%
感じない	66.3%	64.6%	67.8%	65.5%	0.7%
わからない	16.1%	15.9%	16.3%	14.9%	1.1%
無回答	4.8%	5.3%	4.1%	5.4%	-0.6%

⑧仕事の内容や人事異動・配置

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=821	男性 n=378	女性 n=441	全体 n=783	
感じる	33.5%	38.6%	29.3%	42.9%	-9.4%
感じない	45.2%	40.7%	49.0%	39.0%	6.2%
わからない	16.9%	15.9%	17.9%	13.3%	3.6%
無回答	4.4%	4.8%	3.9%	4.9%	-0.5%

問１６　問１４で「2. 働いていない」と答えた方にお聞きします。あなたは、以前働いたこと（パート、内職等を含む）がありますか。１つ選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=298	男性 n=95	女性 n=203	全体 n=332	
以前は働いていた	94.0%	90.5%	95.6%	95.2%	-1.2%
今まで働いたことがない	4.7%	7.4%	3.4%	4.2%	0.5%
無回答	1.3%	2.1%	1.0%	0.6%	0.7%

問１７　問１６で「1. 以前は働いていた」と答えた方にお聞きします。あなたが仕事をやめた理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=280	男性 n=86	女性 n=194	全体 n=316	
仕事が自分にあっていなかった	3.6%	3.5%	3.6%	4.1%	-0.5%
人間関係がうまくいかなかった	10.4%	14.0%	8.8%	9.2%	1.2%
勤務先の都合	12.5%	12.8%	12.4%	13.3%	-0.8%
労働条件が悪かった	8.9%	9.3%	8.8%	8.2%	0.7%
健康上の理由	18.6%	19.8%	18.0%	19.0%	-0.4%
定年	39.6%	59.3%	30.9%	34.2%	5.5%
夫または妻の転勤	2.9%	1.2%	3.6%	4.1%	-1.3%
家族の看護や介護	14.6%	8.1%	17.5%	12.3%	2.3%
結婚、出産	11.1%	0.0%	16.0%	16.8%	-5.7%
家事、育児と仕事の両立が困難となった	6.4%	0.0%	9.3%	10.4%	-4.0%
その他	9.6%	10.5%	9.3%	12.3%	-2.7%
特に理由はない	2.1%	1.2%	2.6%	2.8%	-0.7%

問１８　現在の社会は、男性と女性にとって働きやすい環境にあると思いますか。①②のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から１つずつ選んで番号に○をつけてください。

①男性にとって

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
働きやすい	35.9%	43.0%	30.8%	32.6%	3.3%
働きにくい	27.8%	32.4%	24.3%	32.8%	-5.0%
わからない	30.9%	23.5%	36.3%	28.4%	2.5%
無回答	5.4%	1.0%	8.7%	6.2%	-0.8%

②女性にとって

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
働きやすい	19.9%	20.2%	19.8%	13.1%	6.8%
働きにくい	43.8%	38.9%	47.4%	49.6%	-5.8%
わからない	33.1%	35.6%	31.2%	30.5%	2.6%
無回答	3.2%	5.4%	1.5%	6.8%	-3.7%

問１９　あなたは男性にとって、働きやすい環境づくりには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
昇進・給与等に男女の差別的取扱いがないこと	36.4%	42.8%	31.5%	34.5%	1.9%
育児休業制度の充実	32.7%	33.9%	32.0%	32.9%	-0.2%
介護休業制度の充実	36.4%	40.1%	33.7%	35.7%	0.7%
育児・介護休業制度を取得しやすい職場環境を整える	50.6%	46.4%	53.9%	—	—
結婚、出産、育児、介護のために退職した職員の再雇用制度の充実	27.3%	31.0%	24.6%	28.6%	-1.3%
フレックスタイム制や在宅勤務などの普及	28.8%	26.8%	30.3%	21.6%	7.2%
育児施設などの整備	24.2%	29.1%	20.6%	28.2%	-4.0%
介護施設などの整備	30.2%	34.9%	26.7%	33.6%	-3.4%
女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力	33.6%	31.6%	35.2%	30.0%	3.6%
男性が家事や育児をすることに対する家族や周囲の理解と協力	42.7%	34.1%	49.0%	36.4%	6.3%
その他	2.5%	2.5%	2.5%	2.2%	0.3%
わからない	8.8%	9.6%	8.2%	8.3%	0.5%

問２０　あなたは女性にとって、働きやすい環境づくりには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
昇進・給与等に男女の差別的取扱いがないこと	52.9%	52.8%	53.2%	49.3%	3.6%
育児休業制度の充実	59.9%	64.0%	56.9%	64.7%	-4.8%
介護休業制度の充実	43.7%	43.2%	44.0%	45.6%	-1.8%
育児・介護休業制度を取得しやすい職場環境を整える	64.2%	57.6%	69.1%	—	—
結婚、出産、育児、介護のために退職した職員の再雇用制度の充実	52.0%	50.7%	53.2%	57.5%	-5.5%
フレックスタイム制や在宅勤務などの普及	28.3%	24.5%	31.1%	24.1%	4.2%
育児施設などの整備	45.0%	46.6%	43.9%	51.2%	-6.2%
介護施設などの整備	33.3%	32.0%	34.3%	38.0%	-4.7%
女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力	57.9%	48.6%	64.9%	58.7%	-0.8%
男性が家事や育児をすることに対する家族や周囲の理解と協力	35.7%	28.9%	40.6%	30.6%	5.1%
その他	1.8%	1.7%	1.9%	1.3%	0.4%
わからない	3.7%	5.8%	2.0%	2.8%	0.9%

Ⅳ　男女の人権について

問２１　あなたは、セクシャルハラスメント（＝セクハラ、性的嫌がらせ）を受けたことがありますか。１つ選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
ある	16.3%	5.0%	24.7%	12.3%	4.0%
ない	75.0%	85.2%	67.5%	79.9%	-4.9%
わからない	7.7%	8.7%	6.8%	6.4%	1.3%
無回答	1.0%	1.0%	0.9%	1.4%	-0.4%

問２２　あなたは、ドメスティック・バイオレンス（＝ＤＶ、配偶者やパートナーなどからの精神的・身体的暴力）を受けたことがありますか。１つ選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
ある	12.7%	6.2%	17.6%	9.9%	2.8%
ない	80.8%	85.9%	77.0%	83.6%	-2.8%
わからない	5.8%	6.9%	4.9%	5.1%	0.7%
無回答	0.7%	1.0%	0.5%	1.4%	-0.7%

問２３　問２１または問２２で「1. ある」と答えた方にお聞きします。あなたはこのような行為を受けたこと（受けていること）を誰かに相談しましたか。１つ選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=269	男性 n=48	女性 n=221	全体 n=210	
相談した	35.3%	22.9%	38.0%	37.1%	-1.8%
相談しなかった	47.2%	58.3%	44.8%	41.0%	6.3%
相談できなかった	10.0%	12.5%	9.5%	15.2%	-5.2%
無回答	7.4%	6.3%	7.7%	6.7%	0.8%

問２４　問２３で「1. 相談した」と答えた方にお聞きします。誰に（どこに）相談しましたか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=95	男性 n=11	女性 n=84	全体 n=78	
家族	42.1%	54.5%	40.5%	46.2%	-4.0%
友人・知人	58.9%	45.5%	60.7%	56.4%	2.5%
職場の上司、同僚など	42.1%	72.7%	38.1%	42.3%	-0.2%
家庭裁判所・弁護士・警察など	3.2%	9.1%	2.4%	5.1%	-2.0%
公的機関（相談窓口・電話相談）	7.4%	0.0%	8.3%	7.7%	-0.3%
医師・カウンセラーなど	7.4%	0.0%	8.3%	6.4%	1.0%
その他	1.1%	9.1%	0.0%	0.0%	1.1%

問２５　問２３で「2. 相談しなかった」「3. 相談できなかった」と答えた方にお聞きします。相談しなかった、相談できなかったのはなぜですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=154	男性 n=34	女性 n=120	全体 n=118	
相談するほどのことでもないと思ったから	39.6%	47.1%	37.5%	36.4%	3.2%
自分にも悪いところがあると思ったから	18.2%	35.3%	13.3%	14.4%	3.8%
自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思ったから	43.5%	44.1%	43.3%	34.7%	8.8%
相談しても無駄だと思ったから	42.9%	35.3%	45.0%	37.3%	5.6%
恥かしかったから、また世間体が悪いから	6.5%	11.8%	5.0%	11.0%	-4.5%
誰に（どこに）相談していいのかわからなかったから	7.1%	5.9%	7.5%	12.7%	-5.6%
相談することで、仕返しや嫌がらせを受けると思ったから	15.6%	0.0%	20.0%	18.6%	-3.1%
安心して相談できるところがなかったから	19.5%	8.8%	22.5%	28.8%	-9.3%
相談できる人がいなかったから	14.3%	14.7%	14.2%	18.6%	-4.4%
その他	8.4%	8.8%	8.3%	4.2%	4.2%

Ⅴ　男女共同参画社会に関する法制度等について

問２６　あなたは、次の用語や法律などをご存知ですか。①～⑪のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から１つずつ選んで番号に○をつけてください。

①　男女共同参画社会基本法

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
内容まで知っている	7.1%	8.9%	5.7%	5.7%	1.4%
聞いたことがある	46.5%	49.9%	43.9%	44.0%	2.4%
知らない	43.5%	38.0%	47.4%	45.8%	-2.4%
無回答	3.0%	3.1%	2.9%	4.4%	-1.4%

②　男女雇用機会均等法

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
内容まで知っている	26.8%	28.9%	25.2%	25.3%	1.5%
聞いたことがある	55.3%	55.7%	55.2%	55.0%	0.3%
知らない	14.3%	11.4%	16.4%	15.7%	-1.4%
無回答	3.5%	4.0%	3.2%	4.0%	-0.5%

③　育児・介護休業法

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
内容まで知っている	26.8%	24.9%	28.1%	22.9%	3.9%
聞いたことがある	57.4%	58.0%	57.2%	59.7%	-2.2%
知らない	12.7%	14.1%	11.4%	12.8%	-0.1%
無回答	3.1%	2.9%	3.2%	4.6%	-1.5%

④　ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
内容まで知っている	55.0%	50.9%	58.1%	53.6%	1.3%
聞いたことがある	37.3%	40.3%	35.1%	36.4%	0.9%
知らない	4.9%	6.0%	3.9%	6.3%	-1.4%
無回答	2.8%	2.7%	2.9%	3.6%	-0.8%

⑤　ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
内容まで知っている	3.0%	3.7%	2.3%	2.0%	1.1%
聞いたことがある	22.1%	22.5%	21.9%	21.9%	0.2%
知らない	71.6%	70.9%	72.2%	71.7%	-0.1%
無回答	3.3%	2.9%	3.6%	4.4%	-1.2%

⑥　リプロダクティブヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康・権利）

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
内容まで知っている	1.6%	1.9%	1.4%	1.6%	0.0%
聞いたことがある	12.4%	14.8%	10.5%	8.4%	4.0%
知らない	82.8%	80.5%	84.7%	85.8%	-3.0%
無回答	3.2%	2.9%	3.4%	4.2%	-1.0%

⑦　ＬＧＢＴ・性的少数者

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	（未調査）	
内容まで知っている	22.1%	18.7%	24.7%	—	—
聞いたことがある	35.3%	39.1%	32.5%	—	—
知らない	39.6%	39.5%	39.6%	—	—
無回答	3.0%	2.7%	3.2%	—	—

⑧　ワーク･ライフ･バランス（仕事と生活の調和）

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
内容まで知っている	14.1%	16.4%	12.2%	6.3%	7.8%
聞いたことがある	38.2%	38.9%	37.9%	34.5%	3.7%
知らない	44.3%	41.6%	46.4%	54.9%	-10.5%
無回答	3.4%	3.1%	3.6%	4.3%	-0.9%

⑨　新潟県ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
内容まで知っている	6.0%	6.0%	6.0%	3.9%	2.1%
聞いたことがある	25.9%	22.9%	28.1%	25.2%	0.7%
知らない	64.8%	68.2%	62.3%	67.2%	-2.5%
無回答	3.3%	2.9%	3.6%	3.6%	-0.4%

⑩　審議会等における女性委員の登用の促進

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
内容まで知っている	2.5%	3.7%	1.5%	2.1%	0.3%
聞いたことがある	21.5%	24.3%	19.3%	21.3%	0.2%
知らない	72.9%	69.0%	75.9%	72.5%	0.5%
無回答	3.1%	2.9%	3.2%	4.1%	-1.0%

⑪　阿賀野市男女共同参画プラン

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
内容まで知っている	2.6%	2.9%	2.3%	3.1%	-0.5%
聞いたことがある	28.9%	28.5%	29.2%	30.6%	-1.6%
知らない	65.7%	65.9%	65.5%	63.0%	2.7%
無回答	2.8%	2.7%	2.9%	3.4%	-0.5%

Ⅵ　阿賀野市での男女共同参画の推進について

問２７　当市で男女共同参画を推進していくために、行政はこれからどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。
３つまで選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=1130	男性 n=481	女性 n=647	全体 n=1126	
教育の場において男女共同参画社会に対する学習機会の充実を図る	36.0%	39.7%	33.4%	30.9%	5.1%
広報紙などにより、男女共同参画社会への理解を深めるための啓発を行う	30.5%	32.0%	29.4%	33.3%	-2.8%
各種審議会等、政策、方針決定の場へ女性を積極的に登用する	20.8%	22.5%	19.6%	21.5%	-0.7%
女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける	50.8%	42.6%	56.7%	53.3%	-2.5%
セクハラ・ＤＶなどに関する専門的知識を持ったカウンセラーの設置、相談窓口の充実	17.9%	17.3%	18.4%	14.0%	3.8%
学校、地域、職場等、各種団体の女性リーダーの養成に力を入れる	16.1%	18.5%	14.4%	17.1%	-0.9%
保育、介護サービスの充実を図る	49.7%	44.5%	53.6%	52.2%	-2.5%
女性のため、男性のための学習講座の充実を図る	10.6%	10.8%	10.5%	11.5%	-0.8%
健康対策などの充実を図る	19.4%	23.3%	16.4%	20.6%	-1.2%
その他	2.8%	3.5%	2.3%	1.6%	1.2%

２．児童・生徒意識調査

問２　あなたは今までに、「男なんだから○○しなさい」「女なんだから○○しちゃだめ」と言われたことがありますか。
１つ選んで番号に○をつけてください。

【 小 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=354	男子 n=202	女子 n=151	全体 n=378	
よく言われる	3.1%	4.5%	1.3%	7.1%	-4.0%
時々言われる	34.2%	32.2%	37.1%	35.7%	-1.5%
言われたことがない	43.5%	46.5%	39.1%	37.8%	5.7%
わからない	19.2%	16.8%	22.5%	18.3%	1.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	-1.1%

【 中 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=349	男子 n=176	女子 n=171	全体 n=393	
よく言われる	8.0%	4.5%	11.7%	6.9%	1.2%
時々言われる	50.7%	39.8%	62.6%	48.1%	2.6%
言われたことがない	24.1%	33.0%	15.2%	17.8%	6.3%
わからない	16.6%	21.6%	10.5%	26.7%	-10.1%
無回答	0.6%	1.1%	0.0%	0.5%	0.1%

問３　問２で「①よく言われる、②時々言われる」と答えた方にお聞きします。それはどんな時に言われましたか。
あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

【 小 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=132	男子 n=74	女子 n=58	全体 n=162	
ことばづかい	25.8%	13.5%	41.4%	22.8%	2.9%
すわり方	18.2%	6.8%	32.8%	29.0%	-10.8%
服装、身だしなみ	15.2%	9.5%	22.4%	19.1%	-4.0%
歩き方	5.3%	4.1%	6.9%	2.5%	2.8%
整理整とん	15.9%	12.2%	20.7%	24.1%	-8.2%
お手伝い	19.7%	18.9%	20.7%	22.2%	-2.5%
泣いたとき	26.5%	44.6%	3.4%	21.6%	4.9%
その他	13.6%	17.6%	8.6%	13.0%	0.7%

【 中 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=205	男子 n=78	女子 n=127	全体 n=216	
ことばづかい	42.9%	17.9%	58.3%	35.6%	7.3%
すわり方	41.5%	10.3%	60.6%	27.8%	13.7%
服装、身だしなみ	35.1%	25.6%	40.9%	21.3%	13.8%
歩き方	7.8%	0.0%	12.6%	6.9%	0.9%
整理整とん	24.4%	15.4%	29.9%	24.5%	-0.1%
お手伝い	23.4%	32.1%	18.1%	23.6%	-0.2%
泣いたとき	8.3%	21.8%	0.0%	10.2%	-1.9%
その他	9.8%	16.7%	5.5%	15.7%	-6.0%

問４　問２で「①よく言われる、②時々言われる」と答えた方にお聞きします。あなたは、誰からそう言われましたか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

【 小 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=132	男子 n=74	女子 n=58	全体 n=162	
母	63.6%	59.5%	69.0%	70.4%	-6.7%
父	22.0%	28.4%	13.8%	24.7%	-2.7%
祖母	19.7%	12.2%	29.3%	29.6%	-9.9%
祖父	4.5%	8.1%	0.0%	11.7%	-7.2%
兄弟や姉妹	9.8%	12.2%	6.9%	14.2%	-4.3%
学校の先生	3.0%	4.1%	1.7%	4.3%	-1.3%
友達	16.7%	20.3%	12.1%	11.1%	5.6%
近所の人	0.8%	1.4%	0.0%	1.2%	-0.5%
その他	5.3%	8.1%	1.7%	4.3%	1.0%

【 中 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=205	男子 n=78	女子 n=127	全体 n=216	
母	66.8%	60.3%	70.9%	78.2%	-11.4%
父	30.7%	34.6%	28.3%	30.6%	0.2%
祖母	26.8%	14.1%	34.6%	19.9%	6.9%
祖父	8.3%	14.1%	4.7%	6.9%	1.3%
兄弟や姉妹	6.8%	3.8%	8.7%	8.8%	-2.0%
学校の先生	14.6%	10.3%	17.3%	6.0%	8.6%
友達	18.5%	21.8%	16.5%	13.0%	5.6%
近所の人	2.0%	2.6%	1.6%	0.5%	1.5%
その他	4.4%	5.1%	3.9%	2.8%	1.6%

問５　問２で「①よく言われる、②時々言われる」と答えた方にお聞きします。あなたは、その時どんな気持ちがしましたか。次の中からその時の気持ちを１つ選んで番号に○をつけてください。

【 小 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=132	男子 n=74	女子 n=58	全体 n=162	
いやな気持ちがした	15.9%	23.0%	6.9%	17.9%	-2.0%
そのとおりだと思った	44.7%	32.4%	60.3%	46.3%	-1.6%
何とも思わなかった	32.6%	36.5%	27.6%	29.0%	3.6%
その他	6.1%	6.8%	5.2%	4.3%	1.7%
無回答	0.8%	1.4%	0.0%	2.5%	-1.7%

【 中 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=205	男子 n=78	女子 n=127	全体 n=216	
いやな気持ちがした	19.5%	21.8%	18.1%	20.8%	-1.3%
そのとおりだと思った	29.3%	29.5%	29.1%	29.2%	0.1%
何とも思わなかった	42.9%	37.2%	46.5%	41.2%	1.7%
その他	6.3%	9.0%	4.7%	7.9%	-1.5%
無回答	2.0%	2.6%	1.6%	0.9%	1.0%

Ⅲ　家庭における男女の役割分担について

問６　あなたは次のような身の回りのことを誰がした方がいいと思いますか。①～⑧のそれぞれについて（ア）～（エ）の中から１つずつ選んで番号に○をつけてください。

①食事のしたくや後かたづけ

【 小 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=354	男子 n=202	女子 n=151	全体 n=378	
男の人がした方がいい	2.3%	3.5%	0.7%	1.1%	1.2%
女の人がした方がいい	27.7%	28.7%	26.5%	30.7%	-3.0%
男の人と女の人が協力してした方がいい	64.1%	60.9%	68.2%	62.7%	1.4%
わからない	4.5%	4.5%	4.6%	4.8%	-0.2%
無回答	1.4%	2.5%	0.0%	0.8%	0.6%

【 中 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=349	男子 n=176	女子 n=171	全体 n=393	
男の人がした方がいい	2.6%	2.8%	2.3%	1.5%	1.1%
女の人がした方がいい	22.6%	25.0%	19.9%	28.0%	-5.4%
男の人と女の人が協力してした方がいい	70.8%	65.9%	76.0%	63.1%	7.7%
わからない	3.4%	5.7%	1.2%	6.4%	-2.9%
無回答	0.6%	0.6%	0.6%	1.0%	-0.4%

②そうじ

【 小 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=354	男子 n=202	女子 n=151	全体 n=378	
男の人がした方がいい	7.6%	9.9%	4.6%	5.3%	2.3%
女の人がした方がいい	22.0%	21.8%	21.9%	28.8%	-6.8%
男の人と女の人が協力してした方がいい	65.8%	63.9%	68.9%	61.9%	3.9%
わからない	3.1%	2.0%	4.6%	2.6%	0.5%
無回答	1.4%	2.5%	0.0%	1.3%	0.1%

【 中 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=349	男子 n=176	女子 n=171	全体 n=393	
男の人がした方がいい	5.2%	6.3%	3.5%	3.6%	1.6%
女の人がした方がいい	22.3%	26.7%	18.1%	28.0%	-5.6%
男の人と女の人が協力してした方がいい	68.5%	61.4%	76.0%	61.6%	6.9%
わからない	4.0%	5.7%	2.3%	6.4%	-2.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	-0.5%

③洗たく

【 小 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=354	男子 n=202	女子 n=151	全体 n=378	
男の人がした方がいい	4.2%	4.5%	4.0%	1.6%	2.6%
女の人がした方がいい	46.0%	48.5%	42.4%	62.4%	-16.4%
男の人と女の人が協力してした方がいい	42.1%	38.6%	47.0%	31.2%	10.9%
わからない	5.4%	5.0%	6.0%	3.7%	1.7%
無回答	2.3%	3.5%	0.7%	1.1%	1.2%

【 中 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=349	男子 n=176	女子 n=171	全体 n=393	
男の人がした方がいい	1.7%	1.7%	1.8%	1.3%	0.4%
女の人がした方がいい	41.5%	46.6%	36.3%	53.4%	-11.9%
男の人と女の人が協力してした方がいい	52.1%	45.5%	59.1%	39.2%	13.0%
わからない	3.7%	5.1%	2.3%	5.6%	-1.9%
無回答	0.9%	1.1%	0.6%	0.5%	0.4%

④風呂そうじ

【 小 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=354	男子 n=202	女子 n=151	全体 n=378	
男の人がした方がいい	37.6%	44.1%	29.1%	29.6%	8.0%
女の人がした方がいい	11.9%	11.9%	11.9%	26.2%	-14.3%
男の人と女の人が協力してした方がいい	42.4%	36.1%	50.3%	38.1%	4.3%
わからない	6.2%	5.0%	7.9%	5.0%	1.2%
無回答	2.0%	3.0%	0.7%	1.1%	0.9%

【 中 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=349	男子 n=176	女子 n=171	全体 n=393	
男の人がした方がいい	19.5%	26.7%	11.7%	18.1%	1.4%
女の人がした方がいい	13.2%	15.9%	10.5%	20.4%	-7.2%
男の人と女の人が協力してした方がいい	61.6%	50.6%	73.1%	52.2%	9.4%
わからない	4.9%	5.7%	4.1%	8.1%	-3.2%
無回答	0.9%	1.1%	0.6%	1.3%	-0.4%

⑤食事の買い物

【 小 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=354	男子 n=202	女子 n=151	全体 n=378	
男の人がした方がいい	4.5%	6.4%	2.0%	1.9%	2.7%
女の人がした方がいい	46.9%	49.5%	43.7%	58.2%	-11.3%
男の人と女の人が協力してした方がいい	41.8%	36.1%	49.0%	35.4%	6.4%
わからない	5.4%	5.4%	5.3%	3.2%	2.2%
無回答	1.4%	2.5%	0.0%	1.3%	0.1%

【 中 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=349	男子 n=176	女子 n=171	全体 n=393	
男の人がした方がいい	3.4%	5.7%	1.2%	2.0%	1.4%
女の人がした方がいい	37.8%	36.4%	39.2%	43.0%	-5.2%
男の人と女の人が協力してした方がいい	55.3%	51.7%	59.1%	48.3%	7.0%
わからない	3.2%	5.7%	0.6%	6.1%	-3.0%
無回答	0.3%	0.6%	0.0%	0.5%	-0.2%

⑥ごみ出し

【 小 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=354	男子 n=202	女子 n=151	全体 n=378	
男の人がした方がいい	38.7%	44.6%	31.1%	42.3%	-3.6%
女の人がした方がいい	9.6%	12.9%	5.3%	11.1%	-1.5%
男の人と女の人が協力してした方がいい	43.5%	35.6%	53.6%	38.9%	4.6%
わからない	4.5%	3.0%	6.6%	5.3%	-0.8%
無回答	3.7%	4.0%	3.3%	2.4%	1.3%

【 中 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=349	男子 n=176	女子 n=171	全体 n=393	
男の人がした方がいい	32.7%	38.1%	26.9%	30.8%	1.9%
女の人がした方がいい	5.4%	6.3%	4.7%	7.9%	-2.4%
男の人と女の人が協力してした方がいい	57.3%	49.4%	65.5%	52.4%	4.9%
わからない	4.0%	5.1%	2.9%	8.1%	-4.1%
無回答	0.6%	1.1%	0.0%	0.8%	-0.2%

⑦電球や蛍光灯の交換

【 小 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=354	男子 n=202	女子 n=151	全体 n=378	
男の人がした方がいい	67.5%	69.3%	65.6%	79.9%	-12.4%
女の人がした方がいい	2.0%	3.5%	0.0%	3.2%	-1.2%
男の人と女の人が協力してした方がいい	21.5%	17.8%	25.8%	10.8%	10.6%
わからない	7.1%	6.4%	7.9%	4.2%	2.8%
無回答	2.0%	3.0%	0.7%	1.9%	0.1%

【 中 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=349	男子 n=176	女子 n=171	全体 n=393	
男の人がした方がいい	67.0%	61.9%	71.9%	77.4%	-10.3%
女の人がした方がいい	0.9%	1.7%	0.0%	1.8%	-0.9%
男の人と女の人が協力してした方がいい	26.9%	30.1%	24.0%	15.8%	11.2%
わからない	4.6%	5.7%	3.5%	4.3%	0.3%
無回答	0.6%	0.6%	0.6%	0.8%	-0.2%

⑧大工仕事

【 小 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=354	男子 n=202	女子 n=151	全体 n=378	
男の人がした方がいい	76.6%	78.2%	74.2%	86.8%	-10.2%
女の人がした方がいい	0.6%	1.0%	0.0%	1.6%	-1.0%
男の人と女の人が協力してした方がいい	14.4%	12.4%	17.2%	6.3%	8.1%
わからない	7.1%	5.9%	8.6%	4.5%	2.6%
無回答	1.4%	2.5%	0.0%	0.8%	0.6%

【 中 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=349	男子 n=176	女子 n=171	全体 n=393	
男の人がした方がいい	75.1%	70.5%	79.5%	83.5%	-8.4%
女の人がした方がいい	0.3%	0.6%	0.0%	1.0%	-0.7%
男の人と女の人が協力してした方がいい	17.8%	19.3%	16.4%	10.4%	7.3%
わからない	6.6%	9.1%	4.1%	4.6%	2.0%
無回答	0.3%	0.6%	0.0%	0.5%	-0.2%

Ⅳ　男女の平等感について

問７　男の子にお聞きします。あなたは毎日の生活の中で、「女子の方がいいなあ」と思うことはありますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【 小 学 生 】	平成30年度 男子 n=202	平成25年度 男子 n=195	対 比
「女子の方がいいなあ」と思うことがよくある	1.0%	1.5%	-0.5%
「女子の方がいいなあ」と思うことが時々ある	5.0%	5.1%	-0.2%
「女子の方がいいなあ」と思うことがない	91.6%	92.3%	-0.7%
無回答	2.5%	1.0%	1.4%

【 中 学 生 】	平成30年度 男子 n=176	平成25年度 男子 n=205	対 比
「女子の方がいいなあ」と思うことがよくある	1.1%	0.5%	0.6%
「女子の方がいいなあ」と思うことが時々ある	15.3%	7.8%	7.5%
「女子の方がいいなあ」と思うことがない	81.8%	90.2%	-8.4%
無回答	1.7%	1.5%	0.2%

問８　女の子にお聞きします。あなたは毎日の生活の中で、「男子の方がいいなあ」と思うことはありますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【 小 学 生 】	平成30年度 女子 n=151	平成25年度 女子 n=181	対 比
「男子の方がいいなあ」と思うことがよくある	2.6%	3.9%	-1.2%
「男子の方がいいなあ」と思うことが時々ある	13.2%	24.9%	-11.6%
「男子の方がいいなあ」と思うことがない	82.1%	69.6%	12.5%
無回答	2.0%	1.7%	0.3%

【 中 学 生 】	平成30年度 女子 n=171	平成25年度 女子 n=186	対 比
「男子の方がいいなあ」と思うことがよくある	11.1%	12.4%	-1.3%
「男子の方がいいなあ」と思うことが時々ある	37.4%	40.3%	-2.9%
「男子の方がいいなあ」と思うことがない	49.7%	45.2%	4.5%
無回答	1.8%	2.2%	-0.4%

Ⅴ　将来について

問９　次の中から、将来やってみたい職業を１つ選んで番号に○をつけてください。

【 小 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=354	男子 n=202	女子 n=151	全体 n=378	
お店をもつ	1.7%	1.5%	2.0%	4.0%	-2.3%
会社員	1.4%	2.0%	0.7%	1.1%	0.4%
警察官	2.0%	3.0%	0.7%	1.9%	0.1%
自衛官	0.8%	1.5%	0.0%	1.9%	-1.0%
看護師	4.0%	0.0%	9.3%	2.1%	1.8%
薬剤師	2.8%	0.0%	6.6%	1.6%	1.2%
医師	2.5%	2.0%	3.3%	2.4%	0.2%
獣医	2.3%	1.5%	3.3%	3.4%	-1.2%
銀行員・金融関係	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	-0.3%
保育園、幼稚園の先生	5.6%	1.5%	11.3%	5.3%	0.4%
食べ物屋さん（ケーキ屋さん、パン屋さんなど）	4.8%	2.5%	7.9%	5.6%	-0.8%
学校の先生	1.1%	1.0%	1.3%	1.1%	0.1%
公務員（国や県・市の役所ではたらく）	1.1%	0.5%	2.0%	0.5%	0.6%
スポーツ選手	18.1%	28.7%	4.0%	18.5%	-0.4%
歌手、タレントなどの芸能人	1.7%	2.0%	1.3%	2.6%	-1.0%
消防士、救急隊、レスキュー隊	1.4%	2.5%	0.0%	1.1%	0.4%
自動車、電車の運転手	1.7%	3.0%	0.0%	0.8%	0.9%
アナウンサー	0.6%	0.5%	0.7%	0.5%	0.0%
画家、デザイナーなどの芸術家	2.5%	1.0%	4.6%	4.5%	-2.0%
新聞・雑誌・テレビ記者	0.3%	0.5%	0.0%	0.3%	0.0%
政治家	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	-0.3%
弁護士、検察官、裁判官など	0.8%	0.5%	1.3%	0.0%	0.8%
福祉施設で働く人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
美容師、理容師	4.8%	0.0%	11.3%	3.2%	1.6%
調理師、コックなど料理を作る人	2.5%	2.5%	2.6%	4.8%	-2.2%
自動車、機械などのエンジニア	1.4%	2.5%	0.0%	1.1%	0.4%
建築士、設計士	1.4%	2.5%	0.0%	0.8%	0.6%
農業、林業、漁業をする人（前回調査：農業のみ）	1.4%	1.5%	1.3%	3.2%	-1.8%
建設業、大工など建物、道路、橋などをつくる人	3.7%	6.4%	0.0%	1.3%	2.3%
学者、研究者（前回調査：博士）	2.3%	4.0%	0.0%	1.1%	1.2%
パイロット	0.3%	0.5%	0.0%	1.6%	-1.3%
キャビンアテンダント（客室乗務員）	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	-0.5%
通訳、翻訳家	0.3%	0.5%	0.0%	0.0%	0.3%
評論家	0.3%	0.5%	0.0%	0.0%	0.3%
コンピュータ関係の仕事	1.7%	2.0%	1.3%	1.9%	-0.2%
その他	13.8%	11.9%	15.9%	14.6%	-0.7%
なりたい仕事がない	2.3%	2.5%	2.0%	1.1%	1.2%
わからない	4.8%	5.9%	3.3%	3.4%	1.4%
無回答	1.7%	1.5%	2.0%	2.1%	-0.4%

【 中 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=349	男子 n=176	女子 n=171	全体 n=393	
お店をもつ	3.2%	3.4%	2.9%	2.5%	0.6%
会社員	3.7%	5.1%	2.3%	0.8%	3.0%
警察官	1.1%	1.1%	1.2%	1.8%	-0.6%
自衛官	0.3%	0.6%	0.0%	1.3%	-1.0%
看護師	2.0%	0.0%	4.1%	3.1%	-1.0%
薬剤師	2.3%	2.3%	2.3%	3.3%	-1.0%
医師	1.7%	0.6%	2.9%	2.0%	-0.3%
獣医	1.4%	1.1%	1.8%	0.8%	0.7%
銀行員・金融関係	0.6%	0.6%	0.6%	0.0%	0.6%
保育園、幼稚園の先生	5.7%	0.6%	11.1%	7.6%	-1.9%
食べ物屋さん（ケーキ屋さん、パン屋さんなど）	1.7%	1.1%	2.3%	3.6%	-1.8%
学校の先生	2.0%	1.7%	2.3%	1.8%	0.2%
公務員（国や県・市の役所ではたらく）	4.6%	5.1%	4.1%	4.8%	-0.3%
スポーツ選手	6.0%	10.8%	1.2%	5.6%	0.4%
歌手、タレントなどの芸能人	2.0%	1.7%	2.3%	2.3%	-0.3%
消防士、救急隊、レスキュー隊	0.6%	1.1%	0.0%	1.0%	-0.4%
自動車、電車の運転手	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	-0.5%
アナウンサー	0.6%	0.0%	1.2%	0.0%	0.6%
画家、デザイナーなどの芸術家	2.9%	1.1%	4.7%	2.3%	0.6%
新聞・雑誌・テレビ記者	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	-0.3%
政治家	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.3%
弁護士、検察官、裁判官など	0.6%	0.6%	0.6%	1.0%	-0.4%
福祉施設で働く人	2.0%	1.1%	2.9%	2.3%	-0.3%
美容師、理容師	4.9%	0.6%	9.4%	3.8%	1.1%
調理師、コックなど料理を作る人	1.4%	1.7%	1.2%	2.0%	-0.6%
自動車、機械などのエンジニア	0.6%	1.1%	0.0%	1.0%	-0.4%
建築士、設計士	2.0%	3.4%	0.6%	1.0%	1.0%
農業、林業、漁業をする人（前回調査：農業のみ）	0.3%	0.6%	0.0%	2.3%	-2.0%
建設業、大工など建物、道路、橋などをつくる人	2.6%	5.1%	0.0%	2.5%	0.0%
学者、研究者（前回調査：博士）	1.1%	1.7%	0.6%	1.3%	-0.1%
パイロット	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.3%
キャビンアテンダント（客室乗務員）	0.6%	0.0%	1.2%	0.5%	0.1%
通訳、翻訳家	0.3%	0.0%	0.6%	0.5%	-0.2%
評論家	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
コンピュータ関係の仕事	4.6%	8.0%	1.2%	3.3%	1.3%
その他	11.5%	7.4%	15.8%	9.7%	1.8%
なりたい仕事がない	7.2%	8.0%	6.4%	3.1%	4.1%
わからない	10.9%	13.1%	8.8%	16.0%	-5.1%
無回答	6.6%	8.5%	3.5%	4.3%	2.3%

【割合の高い順　小学生】

男　子				女　子			
平成30年度	割合	平成25年度	割合	平成30年度	割合	平成25年度	割合
スポーツ選手	28.7%	スポーツ選手	28.7%	保育園、幼稚園の先生	11.3%	保育園、幼稚園の先生	10.5%
建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	6.4%	調理師、コックなど料理を作る人	6.2%	美容師、理容師	11.3%	食べ物屋さん	9.4%
学者、研究者	4.0%	農業をする	4.6%	看護師	9.3%	スポーツ選手	7.2%
警察官	3.0%	お店をもつ	3.6%	食べ物屋さん	7.9%	画家、デザイナーなどの芸術家	7.2%
自動車、電車の運転手	3.0%	自衛官	3.6%	薬剤師	6.6%	美容師、理容師	6.6%
食べ物屋さん	2.5%	コンピューター関係の仕事	3.1%	画家、デザイナーなどの芸術家	4.6%	獣医	6.1%
消防士、救急隊、レスキュー隊	2.5%	警察官	2.6%	スポーツ選手	4.0%	お店をもつ	4.4%
調理師、コックなど料理を作る人	2.5%	建設業、大工など建物、道路、橋などをつくる人	2.6%	医師	3.3%	看護士	4.4%
自動車、機械などのエンジニア	2.5%	パイロット	2.6%	獣医	3.3%	医師	4.4%
建築士、設計士	2.5%	食べ物屋さん	2.1%	調理師、コックなど料理を作る人	2.6%	歌手、タレントなどの芸能人	3.3%
会社員	2.0%	歌手、タレントなどの芸能人	2.1%	お店をもつ	2.0%	薬剤師	2.8%
医師	2.0%	消防士、救急隊、レスキュー隊	2.1%	公務員	2.0%	調理師、コックなど料理を作る人	2.8%
歌手、タレントなどの芸能人	2.0%	画家、デザイナーなどの芸術家	2.1%	学校の先生	1.3%	学校の先生	2.2%
コンピューター関係の仕事	2.0%	自動車、機械などのエンジニア	2.1%	歌手、タレントなどの芸能人	1.3%	農業をする	1.7%
お店をもつ	1.5%	学者、博士	2.1%	弁護士、警察官、裁判官など	1.3%	警察官	1.1%
自衛官	1.5%	会社員	1.5%	農業、林業、漁業をする人	1.3%	キャビンアテンダント	1.1%
獣医	1.5%	自動車、電車の運転手	1.5%	コンピューター関係の仕事	1.3%	会社員	0.6%
保育園、幼稚園の先生	1.5%	獣医	1.0%	会社員	0.7%	公務員	0.6%
農業、林業、漁業をする人	1.5%	建築士、設計士	1.0%	警察官	0.7%	アナウンサー	0.6%
学校の先生	1.0%	薬剤師	0.5%	アナウンサー	0.7%	政治家	0.6%
画家、デザイナーなどの芸術家	1.0%	医師	0.5%	自衛官	0.0%	建築士、設計士	0.6%
公務員	0.5%	銀行員・金融関係	0.5%	銀行員・金融関係	0.0%	パイロット	0.6%
アナウンサー	0.5%	保育園、幼稚園の先生	0.5%	消防士、救急隊、レスキュー隊	0.0%	コンピューター関係の仕事	0.6%
新聞・雑誌・テレビ記者	0.5%	公務員	0.5%	自動車、電車の運転手	0.0%	自衛官	0.0%
弁護士、警察官、裁判官など	0.5%	アナウンサー	0.5%	新聞・雑誌・テレビ記者	0.0%	銀行員・金融関係	0.0%
パイロット	0.5%	新聞・雑誌・テレビ記者	0.5%	政治家	0.0%	消防士、救急隊、レスキュー隊	0.0%
通訳、翻訳家	0.5%	看護士	0.0%	福祉施設で働く人	0.0%	自動車、電車の運転手	0.0%
評論家	0.5%	学校の先生	0.0%	自動車、機械などのエンジニア	0.0%	新聞・雑誌・テレビ記者	0.0%
看護師	0.0%	政治家	0.0%	建築士、設計士	0.0%	弁護士、検察官、裁判官など	0.0%
薬剤師	0.0%	弁護士、検察官、裁判官など	0.0%	建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	0.0%	福祉施設で働く人	0.0%
銀行員・金融関係	0.0%	福祉施設で働く人	0.0%	学者、研究者	0.0%	自動車、機械などのエンジニア	0.0%
政治家	0.0%	美容師、理容師	0.0%	パイロット	0.0%	建設業、大工など建物、道路、橋などをつくる人	0.0%
福祉施設で働く人	0.0%	キャビンアテンダント	0.0%	キャビンアテンダント	0.0%	学者、博士	0.0%
美容師、理容師	0.0%	通訳、翻訳家	0.0%	通訳、翻訳家	0.0%	通訳、翻訳家	0.0%
キャビンアテンダント	0.0%	評論家	0.0%	評論家	0.0%	評論家	0.0%

【割合の高い順　中学生】

男　子				女　子			
平成30年度	割合	平成25年度	割合	平成30年度	割合	平成25年度	割合
スポーツ選手	10.8%	スポーツ選手	9.8%	保育園、幼稚園の先生	11.1%	保育園、幼稚園の先生	14.5%
コンピュータ関係の仕事	8.0%	公務員	6.8%	美容師、理容師	9.4%	美容師、理容師	7.5%
会社員	5.1%	コンピューター関係の仕事	5.4%	画家、デザイナーなどの芸術家	4.7%	薬剤師	5.9%
公務員	5.1%	建設業、大工など建物、道路、橋などをつくる人	4.9%	看護師	4.1%	看護士	5.4%
建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	5.1%	農業をする	3.9%	公務員	4.1%	画家、デザイナーなどの芸術家	4.3%
お店をもつ	3.4%	食べ物屋さん	3.4%	お店をもつ	2.9%	福祉施設で働く人	4.3%
建築士、設計士	3.4%	医師	2.9%	医師	2.9%	食べ物屋さん	3.8%
薬剤師	2.3%	お店をもつ	2.4%	福祉施設で働く人	2.9%	歌手、タレントなどの芸能人	3.8%
学校の先生	1.7%	自衛官	2.4%	会社員	2.3%	お店をもつ	2.7%
歌手、タレントなどの芸能人	1.7%	学校の先生	2.4%	薬剤師	2.3%	公務員	2.7%
調理師、コックなど料理を作る人	1.7%	学者、博士	2.4%	食べ物屋さん	2.3%	警察官	2.2%
学者、研究者	1.7%	消防士、救急隊、レスキュー隊	2.0%	学校の先生	2.3%	調理師、コックなど料理を作る人	2.2%
警察官	1.1%	調理師、コックなど料理を作る人	2.0%	歌手、タレントなどの芸能人	2.3%	医師	1.1%
獣医	1.1%	自動車、機械などのエンジニア	2.0%	獣医	1.8%	学校の先生	1.1%
食べ物屋さん	1.1%	建築士、設計士	2.0%	警察官	1.2%	スポーツ選手	1.1%
消防士、救急隊、レスキュー隊	1.1%	警察官	1.5%	スポーツ選手	1.2%	弁護士、検察官、裁判官など	1.1%
画家、デザイナーなどの芸術家	1.1%	保育園、幼稚園の先生	1.5%	アナウンサー	1.2%	通訳、翻訳家	1.1%
福祉施設で働く人	1.1%	会社員	1.0%	調理師、コックなど料理を作る人	1.2%	コンピューター関係の仕事	1.1%
自動車、機械などのエンジニア	1.1%	看護士	1.0%	キャビンアテンダント	1.2%	会社員	0.5%
自衛官	0.6%	薬剤師	1.0%	コンピューター関係の仕事	1.2%	獣医	0.5%
医師	0.6%	獣医	1.0%	銀行員・金融関係	0.6%	新聞・雑誌・テレビ記者	0.5%
銀行員・金融関係	0.6%	自動車、電車の運転手	1.0%	弁護士、警察官、裁判官など	0.6%	農業をする	0.5%
保育園、幼稚園の先生	0.6%	弁護士、検察官、裁判官など	1.0%	建築士、設計士	0.6%	キャビンアテンダント	0.5%
政治家	0.6%	歌手、タレントなどの芸能人	0.5%	学者、研究者	0.6%	自衛官	0.0%
弁護士、警察官、裁判官など	0.6%	画家、デザイナーなどの芸術家	0.5%	通訳、翻訳家	0.6%	銀行員・金融関係	0.0%
美容師、理容師	0.6%	福祉施設で働く人	0.5%	自衛官	0.0%	消防士、救急隊、レスキュー隊	0.0%
農業、林業、漁業をする人	0.6%	美容師、理容師	0.5%	消防士、救急隊、レスキュー隊	0.0%	自動車、電車の運転手	0.0%
パイロット	0.6%	キャビンアテンダント	0.5%	自動車、電車の運転手	0.0%	アナウンサー	0.0%
看護師	0.0%	銀行員・金融関係	0.0%	新聞・雑誌・テレビ記者	0.0%	政治家	0.0%
自動車、電車の運転手	0.0%	アナウンサー	0.0%	政治家	0.0%	自動車、機械などのエンジニア	0.0%
アナウンサー	0.0%	新聞・雑誌・テレビ記者	0.0%	自動車、機械などのエンジニア	0.0%	建築士、設計士	0.0%
新聞・雑誌・テレビ記者	0.0%	政治家	0.0%	農業、林業、漁業をする人	0.0%	建設業、大工など建物、道路、橋などをつくる人	0.0%
キャビンアテンダント	0.0%	パイロット	0.0%	建設業、大工など建物、道路、橋をつくる人	0.0%	学者、博士	0.0%
通訳、翻訳家	0.0%	通訳、翻訳家	0.0%	パイロット	0.0%	パイロット	0.0%
評論家	0.0%	評論家	0.0%	評論家	0.0%	評論家	0.0%

問１０　次の中から、「将来こんな人になりたい」と思うものを１つ選んで番号に〇をつけてください。

【 小 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=354	男子 n=202	女子 n=151	全体 n=378	
リーダー的な人	6.2%	7.4%	4.6%	1.9%	4.4%
尊敬される人	7.6%	9.4%	5.3%	5.0%	2.6%
自分の意見をきちんと言える人	2.5%	2.5%	2.6%	2.9%	-0.4%
いろんなことにチャレンジする人	9.6%	11.4%	7.3%	7.4%	2.2%
優しく思いやりのある人	20.6%	17.8%	24.5%	20.9%	-0.3%
家族や友達を大切にする人	14.7%	9.9%	21.2%	18.8%	-4.1%
自ら進んで行動を起こせる人	2.8%	3.0%	2.6%	1.3%	1.5%
ユニークで想像性が豊かな人	3.4%	3.0%	4.0%	4.5%	-1.1%
夢、目標を持っている人	5.9%	7.4%	4.0%	8.7%	-2.8%
自分の頭で考え、判断し、行動できる人	4.5%	4.0%	5.3%	6.6%	-2.1%
人をサポートできる人	3.4%	4.0%	2.0%	3.4%	0.0%
相手の立場に立って考えられる人	2.8%	3.0%	2.6%	2.9%	-0.1%
信頼される人	5.4%	5.4%	5.3%	6.1%	-0.7%
その他	1.4%	2.5%	0.0%	2.4%	-1.0%
わからない	4.0%	4.0%	4.0%	3.4%	0.5%
無回答	5.1%	5.4%	4.6%	3.7%	1.4%

【 中 学 生 】	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=349	男子 n=176	女子 n=171	全体 n=393	
リーダー的な人	0.3%	0.6%	0.0%	0.8%	-0.5%
尊敬される人	3.4%	5.1%	1.8%	7.1%	-3.7%
自分の意見をきちんと言える人	4.0%	2.8%	5.3%	2.8%	1.2%
いろんなことにチャレンジする人	5.2%	5.7%	4.7%	2.8%	2.4%
優しく思いやりのある人	23.5%	18.2%	28.7%	21.1%	2.4%
家族や友達を大切にする人	8.0%	8.5%	7.6%	8.1%	-0.1%
自ら進んで行動を起こせる人	2.9%	2.3%	3.5%	2.5%	0.3%
ユニークで想像性が豊かな人	4.0%	5.1%	2.9%	5.1%	-1.1%
夢、目標を持っている人	5.4%	6.8%	4.1%	4.6%	0.9%
自分の頭で考え、判断し、行動できる人	8.3%	8.0%	8.8%	6.4%	1.9%
人をサポートできる人	3.2%	4.0%	2.3%	2.0%	1.1%
相手の立場に立って考えられる人	4.3%	2.3%	6.4%	2.3%	2.0%
信頼される人	11.2%	10.8%	11.7%	13.7%	-2.6%
その他	2.9%	4.0%	1.8%	2.5%	0.3%
わからない	5.4%	6.8%	4.1%	7.4%	-1.9%
無回答	8.0%	9.1%	6.4%	10.7%	-2.7%

【割合の高い順　小学生】

男　子				女　子			
平成30年度	割合	平成25年度	割合	平成30年度	割合	平成25年度	割合
優しく思いやりのある人	17.8%	家族や友達を大切にする人	17.4%	優しく思いやりのある人	24.5%	優しく思いやりのある人	26.5%
いろんなことにチャレンジする人	11.4%	優しく思いやりのある人	15.9%	家族や友達を大切にする人	21.2%	家族や友達を大切にする人	19.9%
家族や友達を大切にする人	9.9%	いろんなことにチャレンジする人	11.3%	いろんなことにチャレンジする人	7.3%	夢、目標を持っている人	7.2%
尊敬される人	9.4%	夢、目標を持っている人	10.3%	尊敬される人	5.3%	信頼される人	7.2%
リーダー的な人	7.4%	自分の頭で考え、判断し、行動できる人	7.7%	自分の頭で考え、判断し、行動できる人	5.3%	ユニークで想像性が豊かな人	5.5%
夢、目標を持っている人	7.4%	尊敬される人	6.7%	信頼される人	5.3%	自分の頭で考え、判断し、行動できる人	5.5%
信頼される人	5.4%	信頼される人	5.1%	リーダー的な人	4.6%	相手の立場に立って考えられる人	3.9%
自分の頭で考え、判断し、行動できる人	4.0%	ユニークで想像性が豊かな人	3.6%	ユニークで想像性が豊かな人	4.0%	尊敬される人	3.3%
人をサポートできる人	4.0%	人をサポートできる人	3.6%	夢、目標を持っている人	4.0%	いろんなことにチャレンジする人	3.3%
自ら進んで行動を起こせる人	3.0%	自分の意見をきちんと言える人	3.1%	自分の意見をきちんと言える人	2.6%	人をサポートできる人	3.3%
ユニークで想像性が豊かな人	3.0%	リーダー的な人	2.6%	自ら進んで行動を起こせる人	2.6%	自分の意見をきちんと言える人	2.8%
相手の立場に立って考えられる人	3.0%	相手の立場に立って考えられる人	2.1%	相手の立場に立って考えられる人	2.6%	自ら進んで行動を起こせる人	1.7%
自分の意見をきちんと言える人	2.5%	自ら進んで行動を起こせる人	1.0%	人をサポートできる人	2.0%	リーダー的な人	0.6%

【割合の高い順　中学生】

男　子				女　子			
平成30年度	割合	平成25年度	割合	平成30年度	割合	平成25年度	割合
優しく思いやりのある人	18.2%	優しく思いやりのある人	17.6%	優しく思いやりのある人	28.7%	優しく思いやりのある人	25.3%
信頼される人	10.8%	信頼される人	9.8%	信頼される人	11.7%	信頼される人	18.3%
家族や友達を大切にする人	8.5%	家族や友達を大切にする人	7.8%	自分の頭で考え、判断し、行動できる人	8.8%	家族や友達を大切にする人	8.6%
自分の頭で考え、判断し、行動できる人	8.0%	ユニークで想像性が豊かな人	7.3%	家族や友達を大切にする人	7.6%	尊敬される人	6.5%
夢、目標を持っている人	6.8%	尊敬される人	6.8%	相手の立場に立って考えられる人	6.4%	自分の頭で考え、判断し、行動できる人	5.9%
いろんなことにチャレンジする人	5.7%	自分の頭で考え、判断し、行動できる人	6.8%	自分の意見をきちんと言える人	5.3%	夢、目標を持っている人	4.8%
尊敬される人	5.1%	夢、目標を持っている人	4.4%	いろんなことにチャレンジする人	4.7%	自分の意見をきちんと言える人	3.2%
ユニークで想像性が豊かな人	5.1%	いろんなことにチャレンジする人	3.9%	夢、目標を持っている人	4.1%	相手の立場に立って考えられる人	3.2%
人をサポートできる人	4.0%	自ら進んで行動を起こせる人	2.9%	自ら進んで行動を起こせる人	3.5%	ユニークで想像性が豊かな人	2.7%
自分の意見をきちんと言える人	2.8%	自分の意見をきちんと言える人	2.4%	ユニークで想像性が豊かな人	2.9%	自ら進んで行動を起こせる人	2.2%
自ら進んで行動を起こせる人	2.3%	人をサポートできる人	2.0%	人をサポートできる人	2.3%	人をサポートできる人	2.2%
相手の立場に立って考えられる人	2.3%	リーダー的な人	1.5%	尊敬される人	1.8%	いろんなことにチャレンジする人	1.6%
リーダー的な人	0.6%	相手の立場に立って考えられる人	1.5%	リーダー的な人	0.0%	リーダー的な人	0.0%

３．職員意識調査

Ⅱ　男女の職業生活に対する考え方について

問３　あなたは、男性が育児休業や介護休暇を取ることについてどう思いますか。①②のそれぞれについて、（ア）～（オ）の中からあなたの気持ちに最も近いものを１つずつ選んで番号に○をつけてください。

①育児休業制度

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
積極的に取った方がよい	49.2%	41.6%	61.6%	39.1%	10.1%
どちらかといえば取った方がよい	36.9%	41.6%	29.3%	36.1%	0.8%
どちらかといえば取らない方がよい	4.9%	6.7%	1.8%	9.3%	-4.4%
取らない方がよい	0.9%	1.1%	0.6%	2.0%	-1.1%
わからない	7.9%	9.0%	6.1%	10.5%	-2.6%
無回答	0.2%	0.0%	0.6%	3.0%	-2.7%

②介護休暇制度

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
積極的に取った方がよい	54.5%	48.7%	64.0%	46.6%	7.9%
どちらかといえば取った方がよい	36.2%	38.6%	32.3%	39.8%	-3.6%
どちらかといえば取らない方がよい	2.3%	3.4%	0.6%	3.9%	-1.5%
取らない方がよい	0.2%	0.4%	0.0%	1.1%	-0.9%
わからない	6.5%	9.0%	2.4%	5.9%	0.6%
無回答	0.2%	0.0%	0.6%	2.7%	-2.5%

問４　あなたは、育児や介護を行うために、これまでに育児休業・介護休暇制度を利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。①②のそれぞれについて（ア）～（エ）の中から１つずつ選んで番号に○をつけてください。

①育児休業制度

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
利用したことがある	16.0%	0.7%	40.9%	15.0%	1.0%
利用したことはないが、必要があれば今後利用したい	54.8%	60.3%	45.7%	46.4%	8.4%
利用したいが抵抗がある	13.2%	19.9%	2.4%	14.3%	-1.1%
利用したくない	8.1%	12.0%	1.8%	12.7%	-4.6%
無回答	7.9%	7.1%	9.1%	11.6%	-3.7%

②介護休暇制度

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
利用したことがある	1.6%	0.0%	4.3%	1.6%	0.0%
利用したことはないが、必要があれば今後利用したい	80.3%	75.7%	87.8%	77.3%	3.0%
利用したいが抵抗がある	10.4%	14.2%	4.3%	12.7%	-2.3%
利用したくない	5.8%	8.6%	1.2%	5.7%	0.1%
無回答	1.9%	1.5%	2.4%	2.7%	-0.9%

問５　あなたが、育児休業・介護休暇制度を利用する上で、支障となることはどのようなことだと思いますか。３つまで選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
休業中、担当業務の遂行に支障がないように措置することが難しい	64.7%	67.8%	59.8%	58.9%	5.9%
即戦力となる代替要員の確保が難しい	44.8%	40.4%	51.8%	36.1%	8.6%
他の職員の負担が増える	88.6%	86.5%	92.1%	80.5%	8.2%
休業することで昇任・昇格などに不利になる	5.1%	6.0%	3.7%	8.0%	-2.9%
利用することに対する職場内での理解が十分でない	15.3%	19.5%	8.5%	15.0%	0.3%
休業することで経済的に厳しくなる	29.0%	24.3%	36.6%	40.9%	-11.9%
わからない	3.0%	4.5%	0.6%	2.7%	0.3%
その他	1.4%	2.2%	0.0%	2.5%	-1.1%

問６　あなたは、職場で仕事をする上で、性別による差別を感じますか。１つ選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
特に感じない	60.8%	53.2%	73.2%	54.8%	6.0%
時々感じる	29.0%	33.3%	22.0%	31.6%	-2.6%
よく感じる	9.0%	12.7%	3.0%	10.9%	-1.9%
無回答	1.2%	0.7%	1.8%	2.7%	-1.6%

問７　問６で「②時々感じる、③よく感じる」と答えた方にお聞きします。あなたはどのようなことについてそう感じますか。次の中から一番実感するものを１つ選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=164	男性 n=123	女性 n=41	全体 n=187	
職務分担が男女で偏っている	55.5%	64.2%	29.3%	52.4%	3.1%
昇進、昇格（管理職、係長等への登用等）で男女差がある	7.9%	7.3%	9.8%	10.2%	-2.2%
セクシャルハラスメントと思われる行動を受ける	2.4%	0.8%	7.3%	2.7%	-0.2%
時間外勤務で男女差がある	4.3%	4.1%	4.9%	3.2%	1.1%
育児・介護休暇取得で男女差がある	19.5%	17.1%	26.8%	10.7%	8.8%
その他	7.3%	4.1%	17.1%	9.6%	-2.3%
無回答	3.0%	2.4%	4.9%	11.2%	-8.2%

問８　あなたが、職場で男女平等を推進していくためは、どのようなことが必要だと思いますか。あなたが今、一番取り組みが必要と思われるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
適正な人事配置や職務分担の改善をはかる	42.9%	39.7%	48.2%	39.8%	3.2%
女性職員の管理職への登用を進める	4.9%	7.1%	1.2%	3.9%	1.0%
女性職員と男性職員とが対等なパートナーと認識するような意識啓発を進める	14.2%	16.5%	10.4%	17.0%	-2.9%
残業や休日勤務を減らすなど労働条件の改善をはかる	13.0%	12.0%	14.6%	8.0%	5.0%
育児休業・介護休暇制度などの社会的条件の整備を進める	11.4%	10.1%	13.4%	13.0%	-1.6%
わからない	6.3%	6.0%	6.7%	8.9%	-2.6%
その他	3.7%	4.5%	2.4%	4.8%	-1.1%
無回答	3.7%	4.1%	3.0%	4.8%	-1.1%

Ⅲ　男女共同参画社会に関する法制度等について

問９　あなたは、次の用語や法律などをご存知ですか。①～⑪のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から１つずつ選んで番号に○をつけてください。

①　男女共同参画社会基本法

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
内容まで知っている	10.7%	10.9%	10.4%	8.4%	2.3%
聞いたことがある	71.9%	69.3%	76.2%	67.3%	4.7%
知らない	15.3%	17.2%	12.2%	20.7%	-5.4%
無回答	2.1%	2.6%	1.2%	3.6%	-1.5%

②　男女雇用機会均等法

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
内容まで知っている	24.6%	24.0%	25.6%	23.0%	1.6%
聞いたことがある	71.0%	70.0%	72.6%	70.5%	0.5%
知らない	3.5%	4.5%	1.8%	3.2%	0.3%
無回答	0.9%	1.5%	0.0%	3.4%	-2.5%

③　育児・介護休業法

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
内容まで知っている	25.8%	16.5%	40.9%	24.1%	1.7%
聞いたことがある	64.5%	70.4%	54.9%	63.9%	0.6%
知らない	8.6%	11.6%	3.7%	8.6%	-0.1%
無回答	1.2%	1.5%	0.6%	3.4%	-2.2%

④　ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
内容まで知っている	59.9%	57.3%	64.0%	60.5%	-0.6%
聞いたことがある	35.7%	37.5%	32.9%	35.0%	0.7%
知らない	3.0%	3.7%	1.8%	1.8%	1.2%
無回答	1.4%	1.5%	1.2%	2.7%	-1.3%

⑤　ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
内容まで知っている	2.8%	1.9%	4.3%	2.7%	0.1%
聞いたことがある	30.2%	27.7%	34.1%	33.6%	-3.5%
知らない	65.4%	68.5%	60.4%	59.5%	5.9%
無回答	1.6%	1.9%	1.2%	4.1%	-2.5%

⑥　リプロダクティブヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康・権利）

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
内容まで知っている	4.4%	0.4%	11.0%	3.6%	0.8%
聞いたことがある	21.6%	17.6%	28.0%	18.4%	3.2%
知らない	71.9%	80.5%	57.9%	74.3%	-2.4%
無回答	2.1%	1.5%	3.0%	3.6%	-1.5%

⑦　ＬＧＢＴ・性的少数者

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	（未調査）	
内容まで知っている	26.5%	20.6%	36.0%	—	—
聞いたことがある	43.4%	42.7%	44.5%	—	—
知らない	28.8%	35.2%	18.3%	—	—
無回答	1.4%	1.5%	1.2%	—	—

⑧　ワーク･ライフ･バランス（仕事と生活の調和）

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
内容まで知っている	34.6%	30.7%	40.9%	16.8%	17.8%
聞いたことがある	49.9%	51.7%	47.0%	44.5%	5.3%
知らない	14.6%	16.5%	11.6%	35.2%	-20.6%
無回答	0.9%	1.1%	0.6%	3.4%	-2.5%

⑨　新潟県ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
内容まで知っている	12.5%	10.9%	15.2%	13.2%	-0.7%
聞いたことがある	49.4%	49.8%	48.8%	44.1%	5.3%
知らない	36.7%	37.8%	34.8%	39.1%	-2.4%
無回答	1.4%	1.5%	1.2%	3.6%	-2.2%

⑩　審議会等における女性委員の登用の促進

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
内容まで知っている	14.4%	15.4%	12.8%	22.3%	-7.9%
聞いたことがある	44.3%	42.7%	47.0%	41.6%	2.7%
知らない	39.4%	40.1%	38.4%	33.0%	6.5%
無回答	1.9%	1.9%	1.8%	3.2%	-1.3%

⑪　阿賀野市男女共同参画プラン

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
内容まで知っている	20.9%	18.4%	25.0%	21.6%	-0.7%
聞いたことがある	63.3%	62.2%	65.2%	65.9%	-2.6%
知らない	14.4%	18.0%	8.5%	9.8%	4.6%
無回答	1.4%	1.5%	1.2%	2.7%	-1.3%

問１０　あなたは、阿賀野市役所が「新潟県ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）」に登録していることをご存知ですか。１つ選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
知っている	25.3%	24.0%	27.4%	25.0%	0.3%
知らない	73.5%	74.2%	72.6%	73.0%	0.6%
無回答	1.2%	1.9%	0.0%	2.0%	-0.9%

Ⅳ　阿賀野市での男女共同参画の推進について

問１１　当市で男女共同参画を推進していくために、行政はこれからどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。３つまで選んで番号に○をつけてください。

	平成30年度			平成25年度	対 比
	全体 n=431	男性 n=267	女性 n=164	全体 n=440	
教育の場において男女共同参画社会に対する学習機会の充実を図る	42.7%	43.4%	41.5%	41.1%	1.6%
広報紙などにより、男女共同参画社会への理解を深めるための啓発を行う	21.3%	23.2%	18.3%	20.5%	0.9%
各種審議会等、政策、方針決定の場へ女性を積極的に登用する	23.9%	30.0%	14.0%	26.1%	-2.2%
女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける	41.5%	35.2%	51.8%	42.7%	-1.2%
セクハラ・ＤＶなどに関する専門的知識を持ったカウンセラーの設置、相談窓口の充実	13.5%	13.1%	14.0%	10.5%	3.0%
学校、地域、職場等、各種団体の女性リーダーの養成に力を入れる	20.6%	24.7%	14.0%	22.0%	-1.4%
保育、介護サービスの充実を図る	44.5%	38.6%	54.3%	41.4%	3.2%
女性のため、男性のための学習講座の充実を図る	15.3%	14.6%	16.5%	14.3%	1.0%
健康対策などの充実を図る	17.9%	17.2%	18.9%	13.4%	4.5%
その他	3.5%	4.1%	2.4%	5.5%	-2.0%

第６章　使用した調査票

男女共同参画に関する市民意識調査

～ ご協力のお願い ～

市民の皆さまには、日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

阿賀野市では、**「男女がともに家庭や地域に参画し、夢と幸せをはぐくむまちづくり」の実現**のため、平成２８年３月に『第３次阿賀野市男女共同参画プラン（平成２８年度～平成３２年度）』を策定し、様々な取り組みを市民の皆さまと協力し合いながら行っています。

このたび、次期男女共同参画プランの策定と、今後の男女共同参画推進の取り組みについての基礎資料とすることを目的に「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施することとしました。

この調査票は、無作為抽出で選ばれた２０歳以上の男女 3,000 人の市民の皆さまに送付しています。

なお、ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、個人の回答内容が公表されることはありません。また、この意識調査結果は、「広報あがの」、「阿賀野市ホームページ」で公表します。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成３０年７月

阿賀野市長　田 中 清 善

ご記入にあたってのお願い

① 回答につきましては、問のあとのあてはまるところに○をつけてください。
② 「その他」に○をしたときは、（　　）の中に自分で考えた答えを書いてください。
③ 質問によっては、ご回答いただく方が限られているものがあります。
④ この調査は、無記名でありますので、率直な意見をご記入ください。
⑤ ご記入いただいた調査票は、**同封の返信用封筒に入れ、７月３１日（火）までに、**お近くのポストに投函してください。**（切手は不要です）**

【お問い合わせ先】
阿賀野市役所　総務部　市長政策・市民協働課　市民協働係
〒９５９－２０９２　阿賀野市岡山町１０番１５号
電話：０２５０－６２－２５１０（内線２２１３）　ＦＡＸ：０２５０－６２－０２８１
メール：shiminkyodo@city.agano.niigata.jp

Ⅰ　あなた自身について

問1　【 全員にお聞きします 】

あなたの性別を教えてください。**１つ選んで番号に**○をつけてください。

１．男性	２．女性

問2　【 全員にお聞きします 】

あなたの年齢を教えてください。**１つ選んで番号に**○をつけてください。

１．２０歳代	２．３０歳代	３．４０歳代	４．５０歳代	５．６０歳以上

問3　【 全員にお聞きします 】

あなたのお住まいの地域を教えてください。**１つ選んで番号に**○をつけてください。

１．安田地区	２．京ヶ瀬地区	３．水原地区	４．笹神地区

問4　【 全員にお聞きします 】

あなたの職業を教えてください。**１つ選んで番号に**○をつけてください。

１．農林水産業	２．自営業	３．勤め人	４．自由業（開業医、弁護士など）
５．学生	６．家事専業	７．無職	８．その他（　　）

問5　【 全員にお聞きします 】

あなたは結婚していらっしゃいますか。**１つ選んで番号に**○をつけてください。

１．結婚している（同棲、事実婚含む）	２．結婚していたが離別、死別した	３．結婚していない

問6　【 問５で 「1．結婚している」 と答えた方にお聞きします 】

あなたは共働きですか、それとも夫婦どちらか一方が働いていますか。**１つ選んで番号に**○をつけてください。

１．共働きをしている（パートタイムなどを含む）
２．夫のみが働いている
３．妻のみが働いている
４．夫婦とも働いていない（退職した場合を含む）
５．その他（　　）

問7　【 全員にお聞きします 】

あなたにはお子さんが何人いらっしゃいますか。**１つ選んで番号に**○をつけてください。

１．いない	２．１人	３．２人	４．３人	５．４人	６．５人以上

問8　【 全員にお聞きします 】

あなたの家族構成を教えてください。**１つ選んで番号に**○をつけてください。

１．単身世帯	２．夫婦のみ	３．親と子（２世代）	４．祖父母と親と子（３世代）
５．その他（　　）			

Ⅱ　男女の地域・家庭に対する考え方について

問9　【 全員にお聞きします 】

あなたは次のような項目で男女の地位が平等になっていると思いますか。①～⑦のそれぞれについて(ア)～（カ）の中から**１つずつ選んで番号に**○をつけてください。

	（ア）男性優遇	（イ）どちらかといえば男性優遇	（ウ）男女平等	（エ）どちらかといえば女性優遇	（オ）女性優遇	（カ）わからない
① 家庭において	1	2	3	4	5	6
② 職場において	1	2	3	4	5	6
③ 地域において	1	2	3	4	5	6
④ 政治経済活動の場において	1	2	3	4	5	6
⑤ 学校教育の場において	1	2	3	4	5	6
⑥ 法律や制度の面において	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会習慣（しきたり）の面において	1	2	3	4	5	6

問10　【 全員にお聞きします 】

あなたは次の項目についてどのように考えますか。①～⑥のそれぞれについて（ア）～（オ）の中からあなたの考えに一番近いものを**１つずつ選んで番号に**○をつけてください。

	（ア）そう思う	（イ）どちらかといえばそう思う	（ウ）どちらかといえばそう思わない	（エ）そう思わない	（オ）わからない
① 男は仕事、女は家庭を中心とするほうがよい	1	2	3	4	5
② 女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児はきちんとするべきである	1	2	3	4	5
③ 男性も女性と平等に家事・育児をするべきである	1	2	3	4	5
④ 家事・育児も外で仕事をするのと同じ評価をするべきである	1	2	3	4	5
⑤ 女性は子どもが小さいうちは子育てに専念するほうがよい	1	2	3	4	5
⑥ 男の子は男らしく、女の子は女らしくしたほうがよい	1	2	3	4	5

問11　【 全員にお聞きします 】

あなたは、仕事と家庭生活・地域活動の関係をどのように位置づけることが望ましいと思いますか。①②のそれぞれについて、次の中から**１つずつ選んで（　）内に番号を記入**してください。

① 男性の仕事と家庭生活・地域活動のかかわり方・・・　（　　）**（番号を１つ記入）**

② 女性の仕事と家庭生活・地域活動のかかわり方・・・　（　　）**（番号を１つ記入）**

1．家庭生活・地域活動よりも仕事に専念する
2．家庭生活・地域活動にもたずさわるが、あくまで仕事を優先させる
3．家庭生活・地域活動と仕事を同じように両立させる
4．仕事にもたずさわるが、家庭生活・地域活動を優先させる
5．仕事よりも、家庭生活・地域活動に専念する
6．わからない

問12　【 全員にお聞きします 】

近年、少子化が進んでいますが、その原因はどんなことだと思いますか。次の中から**３つまで選んで番号に**○をつけてください。

1．子育てにかかる経済的負担が大きいから
2．子育てにかかる精神的・肉体的負担が大きいから
3．仕事を重視する女性が増えるなど、女性の社会進出が進んできたから
4．仕事と子育てを両立できる環境が整っていないから
5．子どもを産み育てていく生活環境に不安があるから
6．晩婚化が進んでいるから
7．その他（具体的に：　　）
8．わからない

問13　【 全員にお聞きします 】

安心して子どもを生み育てるためには、どんなことが必要だと思いますか。次の中から**3つまで選んで番号に**○をつけてください。

1．出産・子育てに対する経済的な支援の充実
2．一時保育、延長保育など保育サービスの充実
3．ファミリーサポートセンター、学童保育など、地域での子育て支援の充実
4．子育てとの両立が可能な勤務体制の整備
5．出産・子育て後の再就職に対する支援
6．子育てに対する家庭内の協力
7．子育て中の仲間づくりやリフレッシュに対する支援
8．子育て中の悩みに対する相談体制の充実
9．ひとり親家庭への支援
10．その他（具体的に：　　）
11．わからない

Ⅲ　男女の職業生活に対する考え方について

問14　【 全員にお聞きします 】

あなたは現在働いていますか。**1つ選んで番号に**○をつけてください。

1．働いている（産休、育休などで一時的に休んでいる人を含む）　　2．働いていない

問15　【 問14で「1．働いている」と答えた方にお聞きします 】

あなたは職場において、次の項目で男女差別を感じることがありますか。①～⑧のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から**1つずつ選んで番号に**○をつけてください。

	（ア）感じる	（イ）感じない	（ウ）わからない
①　お茶くみなどの雑用	1	2	3
②　賃金・手当	1	2	3
③　昇進・昇格	1	2	3
④　研修、出張	1	2	3
⑤　募集や採用人数	1	2	3
⑥　育児休業、介護休暇の取得	1	2	3
⑦　定年	1	2	3
⑧　仕事の内容や人事異動・配置	1	2	3

問16　【 問14で 「2．働いていない」 と答えた方にお聞きします 】

あなたは、以前働いたこと（パート、内職等を含む）がありますか。**１つ選んで番号に**○をつけてください。

１．以前は働いていた	２．今まで働いたことがない

問17　【 問16で 「1．以前は働いていた」 と答えた方にお聞きします 】

あなたが仕事をやめた理由は何ですか。あてはまるものを**すべて選んで番号に**○をつけてください。

１．仕事が自分にあっていなかった	２．人間関係がうまくいかなかった
３．勤務先の都合	４．労働条件が悪かった
５．健康上の理由	６．定年
７．夫または妻の転勤	８．家族の看護や介護
９．結婚、出産	10．家事、育児と仕事の両立が困難となった
11．その他（　　）	12．特に理由はない

問18　【 全員にお聞きします 】

現在の社会は、男性と女性にとって働きやすい環境にあると思いますか。①②のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から**１つずつ選んで番号に**○をつけてください。

	（ア） 働きやすい	（イ） 働きにくい	（ウ） わからない
①　男性にとって	1	2	3
②　女性にとって	1	2	3

問19　【 全員にお聞きします 】

あなたは男性にとって、働きやすい環境づくりには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを**すべて選んで番号に**○をつけてください。

１．昇進・給与等に男女の差別的取扱いがないこと
２．育児休業制度の充実
３．介護休業制度の充実
４．育児・介護休業制度を取得しやすい職場環境を整える
５．結婚、出産、育児、介護のために退職した職員の再雇用制度の充実
６．フレックスタイム制や在宅勤務などの普及
７．育児施設などの整備
８．介護施設などの整備
９．女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力
10．男性が家事や育児をすることに対する家族や周囲の理解と協力
11．その他（具体的に：　　）
12．わからない

問20　【 全員にお聞きします 】

あなたは女性にとって、働きやすい環境づくりには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを**すべて選んで番号に**○をつけてください。

1．昇進・給与等に男女の差別的取扱いがないこと
2．育児休業制度の充実
3．介護休業制度の充実
4．育児・介護休業制度を取得しやすい職場環境を整える
5．結婚、出産、育児、介護のために退職した職員の再雇用制度の充実
6．フレックスタイム制や在宅勤務などの普及
7．育児施設などの整備
8．介護施設などの整備
9．女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力
10．男性が家事や育児をすることに対する家族や周囲の理解と協力
11．その他（具体的に：　　）
12．わからない

Ⅳ　男女の人権について

問21　【 全員にお聞きします 】

あなたは、セクシャルハラスメント（＝セクハラ、性的嫌がらせ）を受けたことがありますか。**１つ選んで番号に**○をつけてください。

1．ある　　2．ない　　3．わからない

問22　【 全員にお聞きします 】

あなたは、ドメスティック・バイオレンス（＝ＤＶ、配偶者やパートナーなどからの精神的・身体的暴力）を受けたことがありますか。**１つ選んで番号に**○をつけてください。

1．ある　　2．ない　　3．わからない

問23　【問21または問22で 「1．ある」と答えた方にお聞きします 】

あなたはこのような行為を受けたこと（受けていること）を誰かに相談しましたか。**１つ選んで番号に**○をつけてください。

1．相談した　　2．相談しなかった　　3．相談できなかった

問24　【 問23で 「1．相談した」 と答えた方にお聞きします 】

誰に（どこに）相談しましたか。あてはまるものを**すべて選んで番号に**○をつけてください。

1．家族
2．友人・知人
3．職場の上司、同僚など
4．家庭裁判所・弁護士・警察など
5．公的機関（相談窓口・電話相談）
6．医師・カウンセラーなど
7．その他（具体的に：　　）

問25　【 問23で「2．相談しなかった」「3．相談できなかった」と答えた方にお聞きします 】

相談しなかった、相談できなかったのはなぜですか。あてはまるものを**すべて選んで番号に**○をつけてください。

1．相談するほどのことでもないと思ったから
2．自分にも悪いところがあると思ったから
3．自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思ったから
4．相談しても無駄だと思ったから
5．恥かしかったから、また世間体が悪いから
6．誰に（どこに）相談していいのかわからなかったから
7．相談することで、仕返しや嫌がらせを受けると思ったから
8．安心して相談できるところがなかったから
9．相談できる人がいなかったから
10．その他（具体的に：　　）

Ⅴ　男女共同参画社会に関する法制度等について

問26　【 全員にお聞きします 】

あなたは次の用語や法律などをご存知ですか。①～⑪のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から**1つずつ選んで番号に**○をつけてください。

	（ア）内容まで知っている	（イ）聞いたことがある	（ウ）知らない
①　男女共同参画社会基本法	1	2	3
②　男女雇用機会均等法	1	2	3
③　育児・介護休業法	1	2	3
④　ドメスティック・バイオレンス（DV）	1	2	3
⑤　ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	1	2	3
⑥　リプロダクティブヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康・権利）	1	2	3
⑦　ＬＧＢＴ※1　・　性的少数者	1	2	3
⑧　ワーク･ライフ･バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3
⑨　新潟県ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）	1	2	3
⑩　審議会等における女性委員の登用の促進	1	2	3
⑪　阿賀野市男女共同参画プラン	1	2	3

※1　ＬＧＢＴ
レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（出生時に診断された性と、自認する性が一致しない人）の人々を意味する頭字語。

Ⅵ　阿賀野市での男女共同参画の推進について

問27　【 全員にお聞きします 】

当市で男女共同参画を推進していくために、行政はこれからどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。**３つまで選んで番号に**○をつけてください。

１．教育の場において男女共同参画社会に対する学習機会の充実を図る
２．広報紙などにより、男女共同参画社会への理解を深めるための啓発を行う
３．各種審議会等、政策、方針決定の場へ女性を積極的に登用する
４．女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける
５．セクハラ・ＤＶなどに関する専門的知識を持ったカウンセラーの設置、相談窓口の充実
６．学校、地域、職場等、各種団体の女性リーダーの養成に力を入れる
７．保育、介護サービスの充実を図る
８．女性のため、男性のための学習講座の充実を図る
９．健康対策などの充実を図る
10．その他（具体的に：　　）

☆ご意見・ご要望等☆

最後に、この意識調査についての意見、感想、また男女共同参画の推進等についての意見などございましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

男女共同参画に関する児童・生徒意識調査

小学５年生のみなさんへ

中学２年生のみなさんへ　※中学生にはルビなし

阿賀野市では、誰でも性別に関係なく、いきいきと暮らしていける社会にするため、「第３次阿賀野市男女共同参画プラン」に基づいて、様々な取り組みを市民の皆さんと協力し合いながら行っています。

この調査は、阿賀野市の小学生・中学生のみなさんが、男女平等をどのように考えているか、どう感じているのかを確認するために行うものです。

【　お願い　】

これはテストではありません。

名前を書くところがないので、先生や他の人には誰が答えたものかわかりません。

あなたがふだん思っていることを答えてください。

【　答え方　】

① 問のあとのあてはまる番号に○をつけてください。

②「その他」に○をしたときは、（　　）の中に自分で考えた答えを書いてください。

【担当している所】

阿賀野市役所　総務部　市長政策・市民協働課　市民協働係

〒９５９－２０９２　阿賀野市岡山町１０番１５号

電話：０２５０－６２－２５１０（内線２２１３）　FAX：０２５０－６２－０２８１

問1【 全員にお聞きします 】

あなたの性別を教えてください。**1つ選んで番号に**○をつけてください。

① 男	② 女

問2【 全員にお聞きします 】

あなたは今までに、「男なんだから○○しなさい」「女なんだから○○しちゃだめ」と言われたことがありますか。**1つ選んで番号に**○をつけてください。

① よく言われる	② 時々言われる	③ 言われたことがない	④ わからない

問3【 問2で「①よく言われる、②時々言われる」と答えた方にお聞きします 】

それはどんな時に言われましたか。あてはまるものを**すべて選んで番号に**○をつけてください。

① ことばづかい	② すわり方	③ 服装、身だしなみ	④ 歩き方
⑤ 整理整とん	⑥ お手伝い	⑦ 泣いたとき	⑧ その他（　　）

問4【 問2で「①よく言われる、②時々言われる」と答えた方にお聞きします 】

あなたは、誰からそう言われましたか。あてはまるものを**すべて選んで番号に**○をつけてください。

① 母	② 父	③ 祖母	④ 祖父	⑤ 兄弟や姉妹	⑥ 学校の先生
⑦ 友達	⑧ 近所の人	⑨ その他（　　）			

問5【 問2で「①よく言われる、②時々言われる」と答えた方にお聞きします 】

あなたは、その時どんな気持ちがしましたか。次の中からその時の気持ちを**1つ選んで番号に**○をつけてください。

① いやな気持ちがした　② そのとおりだと思った　③ 何とも思わなかった

④ その他（　　）

問6【 全員にお聞きします 】

あなたは次のような身の回りのことを誰がした方がいいと思いますか。①～⑧のそれぞれについて（ア）～（エ）の中から**1つずつ選んで番号に**○をつけてください。

	（ア）男の人がした方がいい	（イ）女の人がした方がいい	（ウ）男の人と女の人が協力してした方がいい	（エ）わからない
① 食事のしたくや後かたづけ	1	2	3	4
② そうじ	1	2	3	4
③ 洗たく	1	2	3	4
④ 風呂そうじ	1	2	3	4
⑤ 食事の買い物	1	2	3	4
⑥ ごみ出し	1	2	3	4
⑦ 電球や蛍光灯の交換	1	2	3	4
⑧ 大工仕事	1	2	3	4

問7【 男の子にお聞きします 】

あなたは毎日の生活の中で、「女子の方がいいなあ」と思うことはありますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを**1つ選んで番号に**○をつけてください。

① 「女子の方がいいなあ」と思うことがよくある

② 「女子の方がいいなあ」と思うことが時々ある

①または②を選んだ人は、どんな時にそう思いますか？

③ 「女子の方がいいなあ」と思うことがない

問8【 女の子にお聞きします 】

あなたは毎日の生活の中で、「男子の方がいいなあ」と思うことはありますか。あなたの気持ちにもっとも近いものを**1つ選んで番号に**○をつけてください。

① 「男子の方がいいなあ」と思うことがよくある

② 「男子の方がいいなあ」と思うことが時々ある

①または②を選んだ人は、どんな時にそう思いますか？

③ 「男子の方がいいなあ」と思うことがない

問9【 全員にお聞きします 】

次の中から、将来やってみたい職業を**1つ選んで番号に**○をつけてください。

1. お店をもつ
2. 会社員
3. 警察官
4. 自衛官
5. 看護師
6. 薬剤師
7. 医師
8. 獣医（動物の医者）
9. 銀行員・金融関係
10. 保育園、幼稚園の先生
11. 食べ物屋さん（ケーキ屋さん、パン屋さんなど）
12. 学校の先生
13. 公務員（国や県・市の役所ではたらく）
14. スポーツ選手
15. 歌手、タレントなどの芸能人
16. 消防士、救急隊、レスキュー隊
17. 自動車、電車の運転手
18. アナウンサー
19. 画家、デザイナーなどの芸術家
20. 新聞･雑誌･テレビ記者
21. 政治家
22. 弁護士、検察官、裁判官など
23. 福祉施設で働く人
24. 美容師、理容師
25. 調理師、コックなど料理を作る人
26. 自動車、機械などのエンジニア
27. 建築士、設計士
28. 農業、林業、漁業をする人
29. 建設業、大工など建物、道路、橋などをつくる人
30. 学者、研究者
31. パイロット
32. キャビンアテンダント（客室乗務員）
33. 通訳、翻訳家
34. 評論家
35. コンピューター関係の仕事
36. その他（　　）
37. なりたい仕事がない
38. わからない

問10【 全員にお聞きします 】

次の中から、「将来こんな人になりたい」と思うものを**1つ選んで番号に**○をつけてください。

① リーダー的な人	② 尊敬される人	③ 自分の意見をきちんと言える人
④ いろんなことにチャレンジする人	⑤ 優しく思いやりのある人	
⑥ 家族や友達を大切にする人	⑦ 自ら進んで行動を起こせる人	
⑧ ユニークで想像性が豊かな人	⑨ 夢、目標を持っている人	
⑩ 自分の頭で考え、判断し、行動できる人	⑪ 人をサポートできる人	
⑫ 相手の立場に立って考えられる人	⑬ 信頼される人	
⑭ その他（　　）	⑮ わからない	

ご協力ありがとうございました。

男女共同参画に関する職員意識調査

【 お　願　い 】

この調査は、市役所職員の男女共同参画への意識やニーズを的確に把握し、男女共同参画庁内環境づくりの施策展開及び次期男女共同参画プラン策定の基礎資料とすることを目的に、全職員を対象に行うものです。

お忙しい中お手数をお掛けしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いします。

※提出期限　　６月 28 日（木）
※提出先　　市長政策・市民協働課の文書棚
※記入いただいた調査票は、各課で取りまとめのうえ、封筒に入れて提出してく　ださい。
課（局・支所）名、氏名等の記入は不要です。

総務部
市長政策・市民協働課　市民協働係（内線 2213）

Ⅰ　あなた自身について

問1【 全員にお聞きします 】

あなたの性別を教えてください。**１つ選んで番号に**○をつけてください。

①　男性	②　女性

問2【 全員にお聞きします 】

あなたの年齢を教えてください。**１つ選んで番号に**○をつけてください。

①　２９歳以下	②　３０歳代	③　４０歳代	④　５０歳以上

Ⅱ　男女の職業生活に対する考え方について

問3【 全員にお聞きします 】

あなたは、男性が育児休業や介護休暇を取ることについてどう思いますか。①②のそれぞれについて、（ア）～（オ）の中からあなたの気持ちに最も近いものを**１つずつ選んで番号に**○をつけてください。

	（ア）積極的に取った方がよい	（イ）どちらかといえば取った方がよい	（ウ）どちらかといえば取らない方がよい	（エ）取らない方がよい	（オ）わからない
①　育児休業制度	1	2	3	4	5
②　介護休暇制度	1	2	3	4	5

問4【 全員にお聞きします 】

あなたは、育児や介護を行うために、これまでに育児休業・介護休暇制度を利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。①②のそれぞれについて（ア）～（エ）の中から**1つずつ選んで番号に**○をつけてください。

	（ア） 利用したことがある	（イ） 利用したことはないが、必要があれば今後利用したい	（ウ） 利用したいが抵抗がある	（エ） 利用したくない
① 育児休業制度	1	2	3	4
② 介護休暇制度	1	2	3	4

問5【 全員にお聞きします 】

あなたが、育児休業・介護休暇制度を利用する上で、支障となることはどのようなことだと思いますか。**3つまで選んで番号に**○をつけてください。

① 休業中、担当業務の遂行に支障がないように措置することが難しい
② 即戦力となる代替要員の確保が難しい
③ 他の職員の負担が増える
④ 休業することで昇任・昇格などに不利になる
⑤ 利用することに対する職場内での理解が十分でない
⑥ 休業することで経済的に厳しくなる
⑦ わからない
⑧ その他（具体的に：　　）

問6【 全員にお聞きします 】

あなたは、職場で仕事をする上で、性別による差別を感じますか。**1つ選んで番号に**○をつけてください。

① 特に感じない　② 時々感じる　③ よく感じる

問7【 問6で「②時々感じる、③よく感じる」と答えた方にお聞きします 】

あなたはどのようなことについてそう感じますか。次の中から一番実感するものを**1つ選んで番号に**○をつけてください。

① 職務分担が男女で偏っている
② 昇進、昇格（管理職、係長等への登用等）で男女差がある
③ セクシャルハラスメントと思われる言動を受ける
④ 時間外勤務で男女差がある
⑤ 育児・介護休暇取得で男女差がある
⑥ その他（具体的に：　　）

問8【 全員にお聞きします 】

あなたが、職場で男女平等を推進していくためは、どのようなことが必要だと思いますか。あなたが今、一番取り組みが必要と思われるものを**１つ選んで番号に**○をつけてください。

① 適正な人事配置や職務分担の改善をはかる
② 女性職員の管理職への登用を進める
③ 女性職員と男性職員とが対等なパートナーと認識するような意識啓発を進める
④ 残業や休日勤務を減らすなど労働条件の改善をはかる
⑤ 育児休業・介護休暇制度などの社会的条件の整備を進める
⑥ わからない
⑦ その他（具体的に：　　）

Ⅲ　男女共同参画社会に関する法制度等について

問9【 全員にお聞きします 】

あなたは、次の用語や法律などをご存知ですか。①～⑪のそれぞれについて（ア）～（ウ）の中から**１つずつ選んで番号に**○をつけてください。

	（ア）内容まで知っている	（イ）聞いたことがある	（ウ）知らない
① 男女共同参画社会基本法	1	2	3
② 男女雇用機会均等法	1	2	3
③ 育児・介護休業法	1	2	3
④ ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）	1	2	3
⑤ ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	1	2	3
⑥ リプロダクティブヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康・権利）	1	2	3
⑦ ＬＧＢＴ※1 ・ 性的少数者	1	2	3
⑧ ワーク･ライフ･バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3
⑨ 新潟県ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）	1	2	3
⑩ 審議会等における女性委員の登用の促進	1	2	3
⑪ 阿賀野市男女共同参画プラン	1	2	3

※1 ＬＧＢＴ
レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（出生時に診断された性と、自認する性が一致しない人）の人々を意味する頭字語。

問10【 全員にお聞きします 】

あなたは、阿賀野市役所が「新潟県ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）」に登録していることをご存知ですか。**１つ選んで番号に**○をつけてください。

① 知っている　　② 知らない

Ⅳ　阿賀野市での男女共同参画の推進について

問11【　全員にお聞きします　】

当市で男女共同参画を推進していくために、行政はこれからどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。**３つまで選んで番号に**○をつけてください。

① 教育の場において男女共同参画社会に対する学習機会の充実を図る
② 広報紙などにより、男女共同参画社会への理解を深めるための啓発を行う
③ 各種審議会等、政策、方針決定の場へ女性を積極的に登用する
④ 女性が働きやすい環境づくりなど、企業に対し積極的に働きかける
⑤ セクハラ・ＤＶなどに関する専門的知識を持ったカウンセラーの設置、相談窓口の充実
⑥ 学校、地域、職場等、各種団体の女性リーダーの養成に力を入れる
⑦ 保育、介護サービスの充実を図る
⑧ 女性のため、男性のための学習講座の充実を図る
⑨ 健康対策などの充実を図る
⑩ その他（具体的に：　　）

☆ご意見・ご要望等☆

最後に、この意識調査についての意見、感想、また男女共同参画の推進等についての意見などございましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

平成 30 年度

男女共同参画に関する意識調査報告書

編集・発行　　阿賀野市 総務部 市長政策・市民協働課 市民協働係
〒959－2092
新潟県阿賀野市岡山町 10 番 15 号
TEL（0250）62－2510(代)

発　行　日　　平成 31 年 1 月